

讀法 文法 翻譯 作文
 算學簿記
 算算 珠算 代數 幾何 單記複記
 地理歷史
 日本地誌 外國地誌 地文概論 日本歷史 外國歷史
 博物
 動物植物礦物地質ノ大要 人身生理及衛生
 物理化學
 理論及實驗
 家事
 衣食住金錢ノ出納等ニ係ル事項及裁縫具ノ用法各種衣服裁縫等ノ實業 管理ノ心得
 習字圖書
 楷書 行書 草書 自在書法及用器書法
 音樂
 單音唱歌 複音唱歌 樂器用法及音樂上ノ名稱記號 旋律和聲拍子等ノ要略
 體操
 準備法 美容術 徒手哑鈴棍棒球竿ノ諸體操
 第十二條 女子師範學科ノ修業年限ハ四箇年トス
 第十三條 女子師範學科ニ於テハ四學級ヲ設ケ每學級ノ授業時限ヲ一年トシ一年內ニ於テハ凡四

十週授業スヘキモノトス

第十四條 女子師範學科ノ授業ノ時間配當ハ左表ニ依ルヘシ

女子師範學科	第一年	第二年	第三年	第四年
倫理	二	二	二	二
教育	二	二	二	十四
國語	五	三	二	三
英語	六	四	三	三
歐州歷史	三	三	二	二
歐州地理	三	三	三	二
博物	四	三	三	二
物理		三	三	二
化學		三	三	二
家庭	三	三	四	三
國算	二	三	三	一
算術	二	三	三	一
體操	三	三	三	三

○文部省令第十八號

勅令第十三號師範學校令第八條ニ基キ高等師範學校生徒募集規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治十九年十月十四日 高等師範學校生徒募集規則

文部大臣 森有禮

第一條 高等師範學校男女生徒、府縣知事之ヲ選舉シ高等師範學校長其中ニ就キ選拔スルモノトス

第二條 高等師範學校ノ男生徒ハ尋常師範學校ヲ卒業シタルモノヨリ選舉シ女生徒ハ尋常師範學校ノ二箇年 課程 終リシモノ 若クハ、ニ均シキ學力並資格ヲ有スルモノヨリ選舉ス

第三條 高等師範學校 男女生徒、毎年一度之ヲ募集シ其期日及員數ハ其都府高等師範學校ヨリ府縣ニ通知スヘシ

第四條 新募生徒ハ初メ試驗生トシテ二箇月以内假ニ入學セシメ其資性品行等ヲ審察シ適當ト認ムルモノニ限リ本入學ヲ許スヘシ

○文部省令第十九號

勅令第十三號師範學校令第八條ニ基キ高等師範學校卒業生服務規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治十九年十月十四日 文部大臣 森 有禮

高等師範學校卒業生服務規則

第一條 高等師範學校男子師範學科卒業生ノ服務年限ハ卒業證書受得ノ日ヨリ十箇年トシ其間教職ニ從事スル 義務ヲ有スルモノトス

第二條 高等師範學校男子師範學科卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ三箇年間ハ文部省指定ノ場所ニ奉職スル義務ヲ有スルモノトス

第三條 高等師範學校女子師範學科卒業生ノ服務年限ハ卒業證書受得ノ日ヨリ五箇年トシ其間教職ニ從事スルノ義務ヲ有スルモノトス

第四條 高等師範學校女子師範學科卒業生ハ卒業證書受得 日ヨリ二箇年間ハ文部省指定ノ場所ニ奉職スル義務ヲ有スルモノトス

○内務省令第二十二號

戶籍取扱手續左ノ通相定ム

明治十九年十月十六日

内務大臣 伯耆山縣有朋

戶籍取扱手續

第一條 戶籍ハ戶籍用紙ヲ以テ之ヲ造リ各戶ヲ別葉ニ登記シ一町村毎ニ帳簿ニ編製スヘシ但便宜ニ因リ一町村ヲ數冊ニ分綴シ又ハ數町村ヲ一冊ニ合綴スルコトヲ得

第二條 戶籍簿ハ副本ヲ造リ郡役所ニ納メ置クヘシ區長ニ於テ戶籍ヲ取扱フトキハ之ヲ管轄廳ニ納メ置クヘシ

第三條 若シ登記ノ事項多クシテ欄内ニ餘白ナキトキハ用紙ヲ以テ其欄上ニ掛紙シ之ニ登記スヘシ但本紙ト掛紙トノ續目ニハ官印ヲ捺スヘシ

第四條 戶籍ハ字畫ヲ明瞭ニ記載シ謄ニ添削スルコトヲ得ス若シ錯誤脫漏ニ依リ添削スルトキハ之ニ認印ヲ捺シ且其剛ルヘキモノハ朱線ヲ畫シ原文ヲ存スヘシ

第五條 戶籍簿ノ改製ヲ要スルトキハ管轄廳ノ許可ヲ受ケテ之ヲ爲スヘシ

第六條 戶籍簿竊亡紛失シタルトキハ郡役所又ハ管轄廳ニ納メ置キタル副本ニ據リ編製スヘシ

第七條 戶籍簿ノ改製又ハ編製ヲ爲シタルトキハ郡長又ハ管轄廳ニ差出シ其検査ヲ受クヘシ但改製ニ係ル原戶籍簿ハ少クモ五十年間之ヲ保存スヘシ

登記

第八條 戶籍ニ關スル届書ヲ受領シタルトキハ先ツ届出ノ事項及届出期限アルモノハ其事項ノ年月日並届出ノ年月日届出期限ナキモノハ其届出ノ年月日ヲ登記目録ニ記入スヘシ但本籍地外ニ

在ル者ニ係ル事項ニシテ届出期限アルモノハ届書發送及受領ノ年月日ヲモ之ニ記入スヘシ

第九條 登記目録ハ左ノ三種ニ分チ毎年一種毎ニ之ヲ編製スヘシ但一種中ニ部門ヲ設ケ之ヲ分綴スルモ妨ナシ

一 加籍目録

一 除籍目録

一 異動目録

第十條 第八條ノ手續ヲ了リタルトキハ直ニ戸籍ニ届出ノ事項及届出期限アルモノハ共事項ノ年月日届出期限ナキモノハ届出ノ年月日ヲ登記シ届書ニハ受領ノ年月日及登記済ノ旨ヲ記入スヘシ

第十一條 戸籍ニ入ル者アルトキハ共戸籍ノ末ニ登記スヘシ戸籍ヲ除ク者アルトキハ共事項ヲ朱ニテ登記シ且其氏名ニ朱線ヲ畫スヘシ

第十二條 全戸入籍スル者アルトキハ直ニ戸籍簿ニ編入スヘシ

第十三條 全戸除籍スル者アルトキハ朱ニテ登記シ其戸籍ニ朱線ヲ畫シ便宜之ヲ除籍簿ニ移スヘシ

第十四條 戸主ニ代替アルトキ家族ハ總テ新戸主ノ續柄ヲ以テ戸籍ヲ改寫スヘシ但舊紙ハ官印ヲ以テ新紙ト割印シタル上除籍簿ニ移シ綴ツヘシ

第十五條 戸籍ニ登記シ諸届ニ記入シタルトキハ總テ之ニ認印ヲ捺スヘシ又諸届ハ一箇月分ヲ類集分綴シ翌月中ニ郡役所區役所ニ送付スヘシ但郡役所又ハ管轄廳ニ於テハ戸籍簿ヲ改製スル時マテ之ヲ保存スヘシ

送籍入籍

第十六條 送籍ヲ請求スル者アルトキハ戸籍用紙ヲ以テ送籍狀ヲ作り直ニ入籍地ノ戸長區長ハ發

送シ且其送籍ノ事項及發送ノ年月日ヲ登記目録ニ記入スヘシ

第十七條 人別ノ送籍狀ニハ其人別ニ關シ戸籍ニ登記シタル事項及戸主ノ氏名身分住所ヲ記載スヘシ

第十八條 全戸ノ送籍狀ニハ戸籍ニ登記シタル事項ヲ遺漏ナク記載スヘシ

第十九條 入籍ヲ届出ルトキハ原籍地戸長區長ヨリ送達シタル送籍狀ト照查シ入籍ノ手續ヲ爲シ

五日以内ニ入籍報知書ヲ原籍地戸長ヘ發送スヘシ原籍地戸長ニ於テ之ヲ受領シタルトキハ其受領ノ年月日ヲ登記目録送籍狀發送年月日ノ下ニ記入シ直ニ右入籍ノ日ヲ以テ除籍スヘシ

寄留

第二十條 他府縣又ハ他郡區ヨリ寄留シタルノ届出アルトキハ入寄留簿ニ登記スヘシ其登記ハ總テ戸籍ノ例ニ依ル

第二十一條 入寄留簿ハ左ノ二種ニ分チ一種毎ニ之ヲ編製シ且一種中ニ一世帯ヲ爲ス者ト然ラサル者トヲ區別編製スヘシ但一世帯ヲ爲サル者ハ一帳簿ニ列記スルモ妨ケナシ

一 他府縣人入寄留簿

一 他郡區人入寄留簿

第二十二條 寄留地ヲ去リタルノ届出アルトキハ朱ニテ記入シ共入寄留人名ニ朱線ヲ畫シ其別葉ヲ爲スモノハ便宜之ヲ除帳簿ニ移スヘシ

第二十三條 他府縣又ハ他郡區ヘ寄留シタルノ届書到達シタルトキハ出寄留簿ニ列記スヘシ

第二十四條 出寄留者復歸シタルノ届出アルトキハ朱ニテ記入シ共人名ニ朱線ヲ畫スヘシ

戸籍用紙様式第一

此欄内ニハ住所ヲ記ス 事項アルトキハ此欄内ニ記ス

此欄内ニハ年月日及事項ヲ記ス以下同シ

轉移居居継家ノ

事項アルトキハ此欄

此欄内ニハ身分ヲ記ス

身分變換アリタルトキハ此欄内ニ記ス

此欄内ニハ前戸主ヲ記ス

此欄

内ニハ父母ノ名及長ニ

内ニ

記ス以下同シ

主ト

此欄内ニハ戸主ノ氏名ヲ記ス

配ス

此欄内ニハ生年月日ヲ記ス

此欄内

ニハ戸主ノ氏名ヲ記ス

族主

此欄内ニハ本入ノ名ヲ記ス

同シ

以下同シ

下

此欄内ニハ本入ノ名ヲ記ス

同シ

以下同シ

下

此欄内ニハ本入ノ名ヲ記ス

同シ

以下同シ

下

此欄内ニハ本入ノ名ヲ記ス

同シ

以下同シ

下

此欄内ニハ本入ノ名ヲ記ス

戸籍用紙様式第二

此用紙ハ差渡紙或ハ差渡ニ類スル紙ヲ用ユルニシテ

戸籍用紙様式第二

入籍簿用紙第一

此欄内ニハ寄留地持地持家世帯家ヲ記ス

退去シタルトキハ此欄内ニ記ス

此欄内ニハ年月日寄留并退去及寄留中届出ノ事項ヲ記ス

此欄内ニハ本籍ヲ記ス

此欄内ニハ本籍ヲ記ス又寄留者非戸主ナルトキハ戸主ノ氏名ヲ記ス

此欄内ニハ父母ノ名及長ニ男

女タルコト又ハ夫ノ名ヲ記ス

此欄内ニハ戸主又ハ世帯主

ノ氏名ヲ記ス

此欄内ニハ生年月日ヲ記ス

此欄内ニハ本人ノ名ヲ記ス

此欄内ニハ生年月日ヲ記ス

入籍並用紙第三

此圖内ニハ年月日寄留地及退去等ヲ記ス

此圖内ニハ本籍及族籍ヲ記ス
非戸主ナルトキハ戸主トシテ
附カテ記スヘシ
此圖内ニハ本人ノ氏名ヲ記ス
此圖内ニハ生年月日ヲ記ス

廳府縣 集治監 假留監

○内務省令第二十三號

巡查看守俸給支給規則左ノ通相定ム

但來十一月一日ヨリ施行スヘシ

明治十九年十月十六日

巡查看守 俸給支給規則

内務大臣伯爵山縣有朋

- 第一條 巡查看守ノ月俸ハ毎月二十八日ヲ以テ支給ノ定日トス但休日ニ當ルトキハ繰上トス
- 第二條 巡查看守中ハ認可ヲ經テ定額ノ俸給ヲ減少支給スルコトヲ得
- 第三條 免職ノトキハ當月分ノ俸給日割ヲ以テ支給スヘシ
- 第四條 願濟休暇旅行ノ者及ヒ私事ノ故障(自己ノ病氣ヲ除ク)ニ由リ出署セサルモノ日數二十日
後ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減スルモノトス

第五條 豫備及後備軍籍ニアル者召集ノ節共出發ノ日ヨリ歸署ノ前日迄ハ俸給ヲ支給セズ

第六條 右ニ掲グルモノノ外ハ判任官俸給支給細則ニ依ル

海軍一般

○海軍省令第二百二十一號

海軍小銃射法教範別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒布ス(別册略ス)

明治十九年十月十八日

海軍大臣伯爵大山 巖

○大藏省令第三十號

本年勅令第六十六號整理公債條例第三十二條ニ據リ共取扱順序左ノ通相定ム

明治十九年十月十九日

大藏大臣伯爵松方正義

整理公債取扱順序

第一章 募集及證書發行

第一條 整理公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル日限マテニ應募ノ金額並ニ價格ヲ取扱店日本銀行
店又ハ代理店ヲ云フ以下之ニ依テハ申込ムヘシ

整理公債條例第四條但書ニ據リ記名證書ノ交付ヲ望ムモノハ前項申込ト同時ニ共旨ヲ取扱店へ
申出ヘシ

第二條 整理公債ノ應募者ハ申込ノトキ大藏大臣ノ指定スル割合ヲ以テ保證金ヲ拂込ムヘキモノ
トス但取扱店ハ本文保證金ニ對シ領收證書ヲ交付スヘシ

第三條 整理公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル期中ニ保證金ヲ扣除シタル跡金ノ拂込ヲナス
ヘキモノトス但取扱店ハ本文拂込金ニ對シ領收證書ヲ交付スヘシ

第四條 保債金及拂込金額收證書ヲ受取り未タ全額ノ拂込ヲ了ラヌシテ本人死亡スルトキハ相續人ヨリ該證書ノ繼承及跡金拂込ノ旨ヲ書面ニ認メ取扱店ヘ差出スヘシ

第五條 保債金及拂込金額收證書ハ各應募者ニ於テ其申込ヲナシタル取扱店ヘ抵當ニ差入ルノ外一切之ヲ授受賣買スルヲ得ズ

第六條 應募者ニ交付スヘキ整理公債證書ハ大藏大臣其種類ヲ定メ日本銀行本店ヘ交付スルモノトス

第七條 應募者ニ交付スヘキ整理公債證書ハ取扱店ニ於テ保證金額收證書及第一期以下ノ拂込金額收證書ト引換ニ交付スヘシ但最後ノ拂込金額ニ對シテハ別ニ領收證書ヲ交付セズ現金及他ノ領收證書ト共ニ本證書ト引換ニルコトヲ得

第八條 整理公債條例第七條ニ據リ應募額ヲ減少スルトキハ保證金ヲ還付シ之ニ對スル利子ハ日割ヲ以テ支拂フモノトス

第九條 整理公債募集ノ時應募者ハ現金ノ代リトシテ從前發行六分以上利付ノ公債證書ヲ以テ申込ヲナヌコトヲ得但本文ノ場合ニ於テハ最後ノ拂込ヲ除キ其割合ハ大藏大臣ノ指定スル金額ニ超過スルコトヲ得

第十條 前項公債證書ノ價格ハ新ニ交付スル整理公債證書ト共ニ額面ノ金額ヲ以テ計算シ其種類七分利公債六分利付金債公債ハ募集ノ都度大藏大臣之ヲ定メテ告示スルモノトス

第十一條 前條ニ據リ從前發行ノ公債證書ヲ以テ申込ノ高ハ需要額ニ超過スルモ之ヲ減少セズ整理公債證書發行ノ日マテ現拂込ヲナシタル從前發行公債證書ニ對スル利子ヲ交付スヘキニ由リ保證金注ニ第一期以下ノ拂込金額ニ相當スル利子ヲ付セサルモノトス

第十二條 整理公債條例第三十條ニ據リ從前發行六分以上利付ノ公債償還

元金ノ代リトシテ整理公債證書ノ交付ヲ望ムモノアルトキハ其旨ヲ取扱店ヘ申出ヘシ但此場合ニ於テ交付スヘキ整理公債證書ハ額面ノ金額ヲ以テ計算スルモノトス

第十三條 整理公債ノ保證金額收證書若クハ拂込金額收證書ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其實事ヲ取扱店ニ證明シ更ニ領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第二章 利子支拂

第十四條 整理公債ノ利子支拂期日ハ毎年六月一日ヨリ同二十五日マテ十二月一日ヨリ同二十五日マテトス

第十五條 整理公債ノ利子ハ各取扱店ニ於テ利札引換ニ之ヲ持參スルモノニ支拂フヘシ但記名證書ノ利札ハ記名證印ヲナシタル取扱店ニ限り記名者ニ之ヲ支拂フモノトス

第十六條 整理公債證書ノ發行及消滅又ハ滿期償還ノ時拂渡スヘキ利子ニシテ利札ノ金額ニ滿タサルモノハ取扱店ニ於テ領收證書ヲ徵シ之レカ支拂ヲナスモノトス

第十七條 整理公債條例第二十條第二十五條ニ據リ利子ノ支拂ヲ請求スルモノアルトキハ取扱店ニ於テ領收證書ヲ徵シ之レカ支拂ヲナスモノトス

第三章 元金償還

第十八條 整理公債條例第九條但書ニ據リ該公債償還金額ノ告示アルトキハ日本銀行本店ハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ抽籤ノ期日ヲ定メ官報及五種以上ノ新聞紙ヲ以テ三日以上之ヲ廣告スヘシ

第十九條 前條ノ抽籤ヲ執行シタルトキハ日本銀行本店ヨリ速ニ前條同様ノ手續ヲ以テ當籤證書ノ金額種類記號番號枚數等ヲ廣告スヘシ

第二十條 各地取扱店ニ於テハ前項ノ廣告ニ據リ更ニ適宜ノ方法ヲ以テ其地方限リ同様ノ廣告ヲナスヘシ

第二十一條 整理公債元金支拂ノ期日ハ各取扱店ニ於テ現金ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ十五日間ヲ

過ルヲ得ス

第二十條 整理公債ノ元金ハ各取扱店ニ於テ證書引換ニ之ヲ持參スルモノニ支拂フヘシ但記名證書ノ元金ハ記名證印ヲナシテ取扱店ニ限リ記名者ニ之ヲ支拂フモノトス

第二十一條 整理公債證書ノ當籤後紛失ノ届出アルトキ無記名證書ハ整理公債條例第二十五條ニ準シ其届出ヨリ滿六箇年記名證書ハ順序第十九條ノ支拂期日後三十日ヲ經過シ尙發見セザレハ元利金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得但取扱店ニ於テハ領收證書ヲ徵シ之レカ支拂ヲナスモノトス
第二十二條 整理公債條例第二十條ニ該當スル證書ニシテ當籤ニ係ルモノ及當籤後同條ニ該當スルモノハ代證書ヲ交付セズ取扱店ニ於テ保證人連署ノ請求書及領收證書ヲ徵シ元利金ヲ拂渡スヘシ

第四章 證書取扱

第二十三條 整理公債條例第二十條第二十四條第二十五條ニ據リ代證書代利札ノ交付ヲ請求スルモノハ其旨ヲ取扱店ニ申出ツヘシ取扱店ニ於テハ領收證書ヲ徵シ之ヲ引換ニ代證書代利札ヲ交付スルモノトス
條例第二十條ノ場合ニ於テ消滅ノ證據明確ナラサルトキハ記名證書ハ條例第二十四條無記名證書ハ條例第二十五條ニ準シテ取扱フモノトス

第二十四條 整理公債證書ノ消滅紛失又ハ毀損汚染ニ由リ交付スヘキ代證書ニハ前證書ニ當時附屬セシ利札ヲ附シ其種類ハ前證書ノ種類ト異ナルコトアルヘシ

第二十五條 記名證書ヲ交付スルトキハ取扱店ニ於テ其證書ニ證印シ記名簿ト割印スヘシ

第二十六條 無記名證書ヲ記名ニ變換スルノ請求アルトキハ取扱店ニ於テ本證書ニ對シテ預リ證書ヲ交付シ本店ハ(支店代理店ハ本店ヲ經由シテ)證書ニ記名印ノ押捺ヲ大藏省ヘ請求シ證書並

ニ記名紙ヲ受取リタルトキハ先キニ交付シタル預リ證書ト引換ニ本證書ヲ交付スヘシ

第二十七條 整理公債條例第十七條第十八條及第十九條ニ據リ記名證書ノ名前書換ノ請求アルトキハ取扱店ニ於テ其證書ニ證印シ記名簿ニ割印シテ證書ヲ交付スヘシ

第二十八條 整理公債記名證書ノ所有者其取扱店ヲ變換セントスルトキハ其旨ヲ甲店ニ申出テ其證書ヲ乙店ニ差出シ記名簿ニ登錄ヲ請フヘシ

第二十九條 甲(讓渡又ハ賣渡人)乙(讓受又ハ買受人)取扱店ヲ異ニスルモノニシテ整理公債記名證書ノ賣買讓渡ヲナシタルトキハ順序第二十七條及第二十八條ノ手續ヲナスヘシ

第三十條 記名證書所有者ハ戶長ノ保證ヲ經テ其印鑑ヲ取扱店ヘ差出スヘシ但改印改姓名ヲナシタルトキモ亦本條ノ手續ヲナスモノトス

第三十一條 整理公債條例第二十八條ニ掲グルル手数料ノ高ハ日本銀行ニ於テ之ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○陸軍省令乙第三百二十七號

陸軍給與規則第十一章第十二章別紙之通改正増補シ従前ノ第十二章以下順次繰下ク(別紙略ス)

但省令到達ノ日ヨリ施行シ當時出張ノ者ハ本人ヘ通知到達ノ日ヨリ改メ本年四月省令乙第六十五號ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

明治十九年十月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省令乙第三百二十八號

各軍管里程表別冊之通改正ス(別冊略ス)

明治十九年十月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省令乙第三百二十九號

明治十九年十月 省令 陸軍省乙第三百廿七號 乙第三百廿八號 乙第三百廿九號

明治十九年十月 省令 陸軍省令第百四十號 乙第百四十一號 大藏省令第百廿二號 第百廿三號 八百八

明治十四年三月達乙第十一號達ハ省令第百三十七號給與概則第十一章改正施行ノ日ヨリ廢止ス

明治十九年十月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省令第百四十號

去ル十八年一月達丙第一號達下士卒出戰軍隊手牒控ヲ下士卒戰時名簿ト改稱ス

明治十九年十月二十日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省令第百四十一號

將校並准士官戰時名簿別紙離形ノ通り定ム (別紙略ス)

明治十九年十月二十日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○大藏省令第三十一號

賣藥自用者ニ於テ無印紙ノ賣藥ヲ買受ケ預置キ又ハ所持スルヲ得キ犯ス者ハ金壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

明治十九年十月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○海軍省令第百二十二號

豫備艦機關室日誌自今別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒布ス (別冊略ス)

明治十九年十月二十一日

海軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省令第百二十三號

明治十六年九月乙第九號達海軍工夫規則第二條及第三條ヲ改定スルコト左ノ如シ

明治十九年十月二十一日

海軍大臣伯爵大山 巖

第二條 工夫ニ雇役スル者ハ雇職工服役六箇月ヲ歷年齡十五年以上四十年未滿ノ者ニ限ル

但雇職若クハ技藝技師ノ者ハ本文年齡ノ限ニ在ラズ

第三條 工夫志願者ノ年齡ニ因テ年期ヲ定ムルコト左ノ如シ

十五年以上二十年未滿ノ者 十箇年

二十年以上二十五年未滿ノ者 八箇年

二十五年以上三十年未滿ノ者 七箇年

三十年以上ノ者 五箇年

○陸軍省令第百四十二號

備員俸給支給規則別冊之通定ム

明治十九年十月二十二日

陸軍大臣伯爵大山 巖

(別冊)

備員俸給支給規則

第一條 備員俸給ハ職務ニ依リ月給又ハ日給トシ毎月二十七日支給スルモノトス

第二條 新ニ備入ノルハ職務ニ就タル當日ヨリ解備死亡ノルハ其當日迄支給スルモノトス

但日數計算ノ法ハ其支給スヘキ日數ヲ月額ニ乘シ而シテ其月ノ現日數ヲ以テ除シ四捨五入厘位ニ止メテ給ス

第三條 増俸減俸ハ發令ノ翌日ヨリ増減スヘシ

第四條 公務旅行中ノ俸給ハ豫メ受取人ヲ定メ發程前ニ具申スヘシ

但本人ノ情願ニ依リ翌月分ノ俸給繰上ケ支給スルコトヲ得

明治十九年十月 省令 陸軍省令第百四十二號

八百九

第五條 月給ノ者病氣(臨時)私事ノ故障(臨時)ニ因リ出務セサル者三十日以後ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減スルモノトス

第六條 日給ノ者大祭日祝日日曜日等ノ休暇ハ之ヲ支給シ病氣急引其他不參ノ日ハ總テ支給セサルモノトス

○陸軍省令第四百四十三號

明治十八年五月達乙第四十九號達陸軍武官家計保護金取扱手續中左ノ通改正加除ス

明治十九年十月二十二日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第一條 左ノ如ク改ム

陸軍武官結婚條例第七條ニ掲グル家計保護金ハ其所管長官ニ差出シ近衛鎮臺ニ在テハ之ヲ當該監督部ニ移シ該部ハ之ヲ中央司製部若クハ鎮臺司製部ニ本省各局ニ在テハ之ヲ會計局ニ移シ該局ハ之ヲ中央司製部ニ參謀本部其他官廨ニ在テハ直ニ之ヲ所屬計官ニ付シテ管理セシム

但官廨計官ニ於テ管理ノ現金並ニ公債證書ハ便宜該司製部ニ委託スルコトヲ得

第二條中 「會計部」ノ三字ヲ「中央司製部鎮臺司製部若クハ官廨計官」ノ十七字ニ改ム

第三條中 「會計主任官」ノ五字ヲ「司製部又ハ計官」ノ七字ニ改ム

第六條但書及第八條中

「會計部」ノ三字ヲ「主任官」ノ四字ニ改ム

一證券離形中朱書官廨ノ下「會計」ノ二字ヲ削リ墨書官ノ上ニ「職」ノ一字ヲ加シ割印面「會計部」ノ三字ヲ「司製部若クハ計官」ノ八字ニ改メ「課僚」ノ二字ヲ「出納官若クハ取扱者」ノ九字ニ改ム

○海軍省令第四百二十四號

海軍一 般

少尉候補生少機關士候補生少技士候補生少軍醫候補生少主計候補生ノ手當金支給細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治十九年十月二十二日

海軍大臣伯爵大山 巖

候補生手當金支給細則

第一條 候補生手當金ハ服務場所ノ異同ニ拘ハラヌ毎月末日所屬ノ各艦船船營ニ於テ支給スルモノトス其日休暇ニ當ルトキハ前日ニ繰上ケ支給スヘシ

第二條 第一條ニ掲グルノ外手當金増減及服務ニ異同アルトキノ支給方法ハ高等武官俸給支給細則第五條第六條第九條第十八條第十九條及第二十條ノ例ニ依ル

第三條 本官ニ任シ又ハ候補生ヲ免シ若クハ死亡シタルトキハ第一條ノ支給定日ニ拘ハラヌ其際支給スヘシ

○海軍省令第四百二十五號

海軍一 般

乘艦生徒手當金支給細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

海軍大臣伯爵大山 巖

明治十九年十月二十二日

乘艦生徒手當金支給細則

第一條 乘艦生徒手當金ハ修學ノ終期ニ於テ實地練習ノ爲メ乘艦ヲ命シタル生徒ニ支給スルモノトス

第二條 手當金ハ現ニ乘艦ノ日ヨリ退艦ノ日迄該艦ニ於テ之ヲ支給ス

第三條 手當金支給定日ハ毎月末日トス其日休暇ニ當ルトキハ前日ニ繰上ケ支給スヘシ

第四條 傷疾又ハ疾病治療ノ爲メ海軍病院ヘ入院セシメ或ハ海軍病院ナキ地方ニ於テ治療セシム

ルトキハ退艦ノ日ヨリ歸艦前日迄ハ手當金ノ半額ヲ支給ス
第五條 生徒乗艦中候補生ヲ命シタルトキハ其當日ハ本則ノ手當金ヲ支給セズ

○陸軍省令乙第百四十四號

陸軍服裝規則別冊ノ通改正ス

但馬具裝ノ儀ハ従前ノ通

明治十九年十月二十五日

陸軍大臣伯爵大山 巖

(別冊)

陸軍服裝規則

第一章 總則

第一條 陸軍軍人ノ服裝ハ左ノ五種ニ區分ス

- 一 正裝
- 一 軍裝
- 一 禮裝
- 一 通常禮裝
- 一 略裝

第二條 第一第二及第五ハ將校相當官准士官モ含下士卒皆着用スル所ノ服裝トシ第三第四ハ將校相當官准士官以下皆同シ按ノミ着用スル所ノ服裝トス

第三條 正裝ハ儀式祭典等總テ大禮ノ用着用スルモノニシテ其場合概テ左ノ如ク
一 新年

一 三大節新年 祝會 紀元節

一 歳暮ノ参賀

一 天機伺其他廉アリテ拜謁ノ爲メ參内スル時

一 陸軍始

一 靖國神社大祭

一 觀兵式又ハ儀仗ノ爲メ出場スル時

一 任官叙位叙勳

一 條例規則等ニ於テ明文アル場合

一 一般大禮服用ノ場合

一 自家ノ寶儀葬祭下士以下ニ在テハ親族ノ寶儀葬祭ニモ亦之ヲ用ニ

第四條 軍裝ハ將校及下士卒ニ論ナク概テ左ニ列記スル場合ニ於テ着用スルモノトス

一 戰時出征

一 非常出兵

一 軍隊諸勤務

一 衛戍勤務

一 週番勤務將校ニ限ル

一 大演習

一 小演習

一 廉アル野外演習等

第五條 禮裝ハ概テ左ニ列記スル場合ニ於テ着用スルモノトス

- 一 宮中ニ於テ 御宴ニ陪スルル
- 一 庶アリテ上官ニ對談スルル
- 一 夜會其他庶アル宴會等ニ臨ムル
- 一 一般通常禮服燕尾服ヲ着用ノ場合
- 一 親族ノ賀儀葬祭

第六條 通常禮裝ハ概テ左ニ列記スル場合ニ於テ着用スルモノトス

- 一 神職又ハ命課ノ辭令書拜受ノル
- 一 天覽ノ場所ニ臨ミ陪覽スルル
- 一 行幸行啓等ノ場所ヘ參集スルル
- 一 任官敍位敍勳ノ御禮及ヒ之ニ齊シキ場合ニテ參内スルル
- 一 通常ノ宴會ニ臨ムル
- 一 一般フロックコート着用ノ場合
- 一 一般ノ賀儀葬祭

第七條 略裝ハ公私ノ別ナク平常着用スル所ノ服裝トス

第八條 夏衣ハ炎暑ノ際凡ソ六月一日ヨリ九月一日ヨリ略裝ニノミ着用スルコトヲ得ルモノトス然レモ平時ノ勤務及ヒ演習等ニ在テハ時宜ニ依リ軍裝ニモ亦之ヲ着用スルコトヲ得但夏衣ヲ着用スルルハ必ス夏袴ヲ着用スルモノトス

第九條 夏袴ハ炎暑ノ際着用スルモノニシテ何レノ服裝ニ在テモ袴ニ代用スルコトヲ得

第十條 外套ハ何レノ服裝ヲ論セモ雨雪天ノル又ハ防寒ノ爲メ室外ニ於テ着用スルモノトス然レモ軍裝略裝ニ在テハ防寒ノ爲メ室内ニ於テモ亦之ヲ着用スルコトヲ得但觀兵式其他儀式ノ場所及

ヒ上官ノ居室内ニ在テハ之ヲ着用スルコトヲ許サズ

第十一條 雨襪ハ外套ノ上ニ着用スルコト正則トス然レモ時宜ニ依リ雨襪ノミヲ着用スルモ妨ナシ

第十二條 頤紐ハ何レノ服裝ヲ論セモ隊伍ニ列スルルハ必ス之ヲ用ユヘシ但其他ノ場合ニ在テハ各自ノ便宜ニ依リ之ヲ用ユルモノトス

第十三條 日覆ハ炎暑ノ際軍裝略裝ニ在テ第二種帽ニ用ユルモノトス然レモ第二種帽ノ制ナキ者ハ第一種帽ニ用ユルコトヲ得

第十四條 勳章及ヒ從軍記章ハ何レノ服裝ニ在テモ之ヲ佩用ス然レモ大勳位及ヒ勳一等ニ在テハ菊花大綬章又ハ旭日大綬章ハ正裝及ヒ禮裝ニノミ佩用シ軍裝及ヒ通常禮裝ニハ菊花章又ハ旭日章光章ノミヲ佩用スヘシ但略裝ハ勿論軍裝ト雖モ場合ニ依リ之ヲ佩用セサルコトヲ得

第二章 將校ノ服裝

其一 通則

第十五條 刀ハ將官並ニ各兵佐尉官准士官及ヒ軍樂長之ヲ佩用シ劍ハ將官並ニ相當官及ヒ監警軍吏軍醫獸醫部ノ上長官士官之ヲ佩用ス

第十六條 將官ハ正裝及ヒ禮裝ニハ劍ヲ佩用シ其他ノ服裝ニ在テハ各自ノ便宜ニ依リ刀或ハ劍ヲ佩用スルコトヲ得然レモ軍隊ノ長タル將官ハ何レノ服裝ニ在テモ必ス刀ヲ佩用スヘシ

第十七條 刀及ヒ劍ノ佩用方ハ(第一圖 共)其正衣ヲ着セシルハ衣ノ上ニ軍衣ヲ着セシルハ衣ノ下ニ刀(劍)帶ヲ締メ之ヲ佩用ス而シテ其刀ハ室内内外ヲ論セモ何レノ場合ト雖モ上部ノ鑲ヲ刀帶ノ鈎金ニ掛ケ乘馬ニ在テハ之ヲ掛ケサルヲ法トス但騎兵科將校ハ正衣軍衣ニ論ナク衣ノ下ニ佩用ス又軍裝略裝ニ在テ乘馬セシルハ其鞍側ニ附著スルコトヲ得

第十八條 正裝ハ正裝禮裝通常禮裝着用ノル刀或ハ劍ニ裝着ス(第四圖 第五圖)

第十九條 刀緒ハ刀ニ裝着シ劍緒ハ劍ニ裝着スルモノニシテ軍裝略裝ノ用ニ^(第五圖)
第二十條 飾緒ハ將官並ニ參謀官ノ佩用スヘキモノニシテ將官ハ正裝ノ限リ之ヲ用ヒ參謀官
ハ何レノ服裝ニモ必メ之ヲ用ユ^(第一圖此共二共三)但事務執行ノ場合等ニ在テハ脫除シアルモ
妨ケナシ

第二十一條 飾緒ハ金線製ノモノヲ用ユルハ勿論ナリト雖モ略裝ニ在テハ絹糸製^(白茶)ノモノヲ用
ユルモ妨ナシ但軍裝ニ在テモ場合ニ依リ本例ニ準スルヲ得

第二十二條 懸章ハ傳令使、週番、衛戍巡察ノ諸將校佩用スヘキモノニシテ何レノ服裝ニ在テモ必
メ之ヲ用ユルヲ例トス而シテ其佩用方ハ右肩ヨリ左脇ニ斜ニ掛ク但週番及ヒ衛戍巡察ハ服務中
ニ在ルモ現ニ勤務セサル場合^(例ハ週番ノ勤務ニ在ラサル時)ニ在テハ之ヲ佩用セヌ又傳令使ハ
事務執行ノ場合等ニ在テハ脫除シアルモ妨ナシ

第二十三條 短袴ハ何レノ服裝ニ在テモ長靴ヲ穿ツル着用スルモノトス而シテ炎暑ノ際ハ夏袴ヲ
短袴製ニ調製シ着用スルモ妨ナシ

第二十四條 手套ハ何レノ服裝ヲ論セメ白色草製ノモノヲ用ユヘシ

第二十五條 下襟ハ何レノ服裝ニ在テモ白布製ノ立襟ヲ用ユヘシ

第二十六條 何レノ服裝ヲ論セメ短靴ヲ穿ツルハ必メ留草^(草履)ヲ附着シ又乘馬本分ノ者ハ短靴長
靴共ニ必メ拍車ヲ附着スヘシ

其二 正裝

第二十七條 正裝ハ左ニ列記スルモノヲ着裝ス

- 一 第一種帽
- 一 前立

- 一 正衣
- 一 袴
- 一 肩章
- 一 飾帶^(第三圖共一)
^(此共三)
- 一 刀(劍)
- 一 正緒
- 一 手套
- 一 下袴
- 一 靴

第二十八條 此服裝ニ在テハ何レノ場合ト雖モ騎兵科將校ハ長靴ヲ穿テ其他ノ者ハ總テ短靴ヲ穿
ツヲ法トス但砲兵及ヒ輜重兵隊附將校ノ隊伍ニ列スルハ短袴長靴ヲ穿ツヘシ

第二十九條 炎暑ノ際ハ夏袴ヲ以テ袴ニ代用スルヲ得ルト雖モ室内ニ於テ備式等ニ列スルハ
必メ袴ヲ穿ツヘシ

其三 軍裝

第三十條 軍裝ハ左ニ列記スルモノヲ着裝ス

- 一 帽
- 一 軍衣
- 一 袴
- 一 刀(劍)
- 一 刀緒(劍緒)

- 一 手套
- 一 下襟
- 一 靴

第三十一條 帽ハ第一種帽ヲ着スルヲ正則トス然レモ時宜ニ依リ第二種帽ヲ用ユルコトヲ得
 第三十二條 此服裝ニ在テハ乘馬本分ノ者ハ必ズ短袴長靴ヲ穿テ其他ノ者ハ短靴ヲ穿テ脚絆ヲ着
 シ而シテ乘馬本分ニアラサル隊附尉官ハ背囊ヲ負フヲ法トス但週番及衛戍巡察等ノ如キハ時宜
 ニ依リ脚絆ヲ着セメ背囊ヲ負ハサルモ妨ナレ

第三十三條 背囊ヲ負フ者ハ之ニ雨覆又ハ夏外套ヲ附着ス其之ヲ負ハサル者ハ雨覆又ハ夏外套ヲ
 卷キ左肩ヨリ右脇ニ斜ニ掛クルヲ法トス但時宜ニ依リ之ヲ背囊ニ附着セメ又肩ニ掛ケサルモ妨
 ナレ

其四 禮裝

第三十四條 禮裝ハ左ニ列記スルモノヲ着裝ス

- 一 第一種帽
- 一 正衣
- 一 袴
- 一 肩章
- 一 刀(劍)
- 一 正緒
- 一 手套
- 一 下襟

一 靴

第三十五條 此服裝ニ在テハ騎兵科將校ハ長靴ヲ穿テ其他ハ總テ短靴ヲ穿ツヲ法トス

其五 通常禮裝

第三十六條 通常禮裝ハ左ニ列記スルモノヲ着裝ス

- 一 帽
- 一 軍衣
- 一 袴
- 一 刀(劍)
- 一 正緒
- 一 手套
- 一 下襟
- 一 靴

第三十七條 帽ハ第一種帽ヲ用ユルヲ正則トス然レモ時宜ニ依リ第二種帽ヲ用ユルコトヲ得

第三十八條 此服裝ニ在テハ騎兵科將校ハ長靴ヲ穿テ其他ハ短靴ヲ穿ツヲ例トス然レモ乘馬本分
 ノ將校騎兵科除クニシテ乘馬セシ儘其場ニ臨ム場合ニ在テハ各自ノ便宜ニ依リ短袴長靴ヲ穿ツモ妨
 ナレ

其六 略裝

第三十九條 略裝ノ着裝ハ概テ通常禮裝ト同一トス只帽ハ第一種第二種ニ論ナク之ヲ用ユルコトヲ
 得又刀(劍)ニ正緒ヲ裝着セメ刀(劍)緒ヲ裝着スルヲ異ナリトス

第四十條 此服裝ニ在テハ靴ハ短靴又ハ長靴ヲ穿テ或ハ脚絆ヲ着シ又ハ着セサル等總テ各自ノ

便宜ニ任ス

第四十一條 騎兵科將校ハ何レノ服裝ニ在テモ袴騎兵科ヲ用ニルハ勿論ナリト雖モ此服裝ニ在テハ隊外服務ノ者ハ他兵科ノ袴ト同製ノモノニシテ地藍色側章前黃色ノ袴ヲ用ニルコトヲ得但隊附將校ト雖モ隊務ニ在ラサルハ之ヲ用ニルモ妨ナシ

第四十二條 騎兵科將校ハ此服裝ニ在テハ刀帶ノ鈎鎖ヲ鈎革ニ換ヘ用ニルコトヲ得

第三章 下士卒ノ服裝

共一 通則

第四十三條 刀、劍、砲兵刀、徒卒刀ノ佩用方ハ何レノ服裝ヲ論セズ衣ノ上ニ革帶ヲ締メ之ヲ佩フ然レモ騎兵ニ在テハ必ズ衣ノ下ニ之ヲ佩フルモノトス又外套ヲ着スルハ憲兵步兵屯田兵モ各等砲兵工兵ニ在テハ外套ノ上ニ佩用シ其他ハ外套ノ下ニ佩用ス而シテ刀ヲ佩フル者ハ革帶ヲ外套ノ下ニ締メ刀ノ柄ヲ左側ノ裂目ヨリ出シ乘馬ニテ隊伍ニ列スルハ共鈎革ヲ左側ノ裂目ヨリ出シ刀ヲ外部ニ出スヘシ但曹長憲兵ハ之ハ何レノ兵種ヲ論セズ背囊ヲ負ハサル場合ニ在テハ皆外套ノ下ニ佩用ス

第四十四條 手套ハ共給與アル者ハ何レノ服裝ニ在テモ之ヲ用ニルハ勿論ナリト雖モ共給與ナキ者ニ在テモ隊伍ニ列セサルハ之ヲ用フルモ妨ナシ

第四十五條 下襟ハ何レノ服裝ニ在テモ白襟布ヲ衣ノ襟幅ヨリ稍々廣ク折リ之ヲ頸ニ卷クハ

第四十六條 小倉衣袴ハ兵卒平常屯營内ニ在ルハ及ヒ練兵等ヲナスルノミ着用スルモノトス

第四十七條 兵卒屯營内ニ在ルハ及ヒ練兵ヲナスルハ前條ニ掲グル如ク小倉衣袴ヲ着用スヘシト

雖モ時宜ニ依リ之ヲ要スルハ隊長ノ存意ヲ以テ絨衣袴ヲ着用セシムルコトヲ得然ルハ肩章ハ騎兵ニ在テハ之ヲ除去シ其他ニ在テハ卸ヲ外シ之ヲ卷キ置クモ妨ナシ

共二 正裝

第四十八條 正裝ハ兵種ニ依リ區別アリト雖モ總テ一般ニ着裝スルモノ概テ左ノ如シ

- 一 第一種帽
- 一 前立
- 一 衣袴
- 一 下襟
- 一 靴

第四十九條 各兵種ニ依リ區別アルモノ左ノ如シ

- 一 曹長ハ其兵種ノ如何ヲ問ハズ皆刀ヲ佩ヒ步兵工兵ニ在テハ短靴ヲ穿テ脚絆ヲ袴下ニ着シ騎兵ニ在テハ長靴ヲ穿テ憲兵砲兵及ヒ輜重兵ニ在テハ半長靴ヲ袴上ニ穿ツ
- 一 憲兵曹長一二等軍曹及ヒ兵卒ハ刀ヲ佩ヒ銃ヲ携帶シ半長靴ヲ袴上ニ穿ツ
- 一 步兵工兵一二等軍曹及ヒ兵卒ハ革帶ヲ締メ銃劍ヲ佩ヒ短靴ヲ穿テ脚絆ヲ袴下ニ着ス而シテ隊伍ニ列スル者ハ背囊ヲ負ヒ負重ヲ肩彈藥盒ヲ附著シ銃ヲ携持ス但背囊ニハ外套ヲ蹄鐵狀ニ附著シ而シテ工兵及ヒ鐵兵ハ其工具ヲ束裝ス
- 一 騎兵一二等軍曹及ヒ兵卒ハ刀ヲ佩ヒ長靴ヲ穿ツ而シテ隊伍ニ列スル者ハ槍又ハ銃ヲ携持ス銃ヲ携持スル者ハ
彈藥盒ヲ附著ス
- 一 砲兵一二等軍曹及ヒ兵卒ハ砲兵刀ヲ佩ヒ半長靴ヲ袴上ニ穿ツ而シテ隊伍ニ列スルハ徒歩ノ者ハ背囊ヲ負ヒ外套ヲ蹄鐵狀ニ附著ス

- 一 輜重兵一、二等軍曹及兵卒ハ刀ヲ佩ヒ半長靴ヲ袴上ニ穿ツ而シテ一、二等卒ノ隊伍ニ列スル者ハ彈藥盒ヲ附着シ銃ヲ携持ス
- 一 軍吏部軍醫部及ヒ軍樂部ノ下士卒ハ總テ徒卒刀ヲ佩ヒ短靴ヲ穿テ脚絆ヲ袴下ニ着ス
- 一 砲工兵監護及ヒ騎砲兵諸工長同下長並ニ同諸職工モ亦前項ト同一トス但隊附砲兵火工長同下長ニ在テハ砲兵下士ト同一トス

共三 軍裝

第五十條 軍裝ハ概テ第四十八條第四十九條ニ掲グル正裝ノ着裝ト同一トス但左ニ掲グルモノヲ取捨スルヲ異ナリトス

一 前立ヲ裝ヒス又時宜ニ依リ第二種帽ヲ用ニルコトヲ得

一 水筒ヲ携帶ス

一 徒歩ニシテ隊附ノ者ハ總テ背籠ヲ負フ但第四條第一第二ノ場合ニ在テハ隊外ノ者ニ在テモ亦同シ

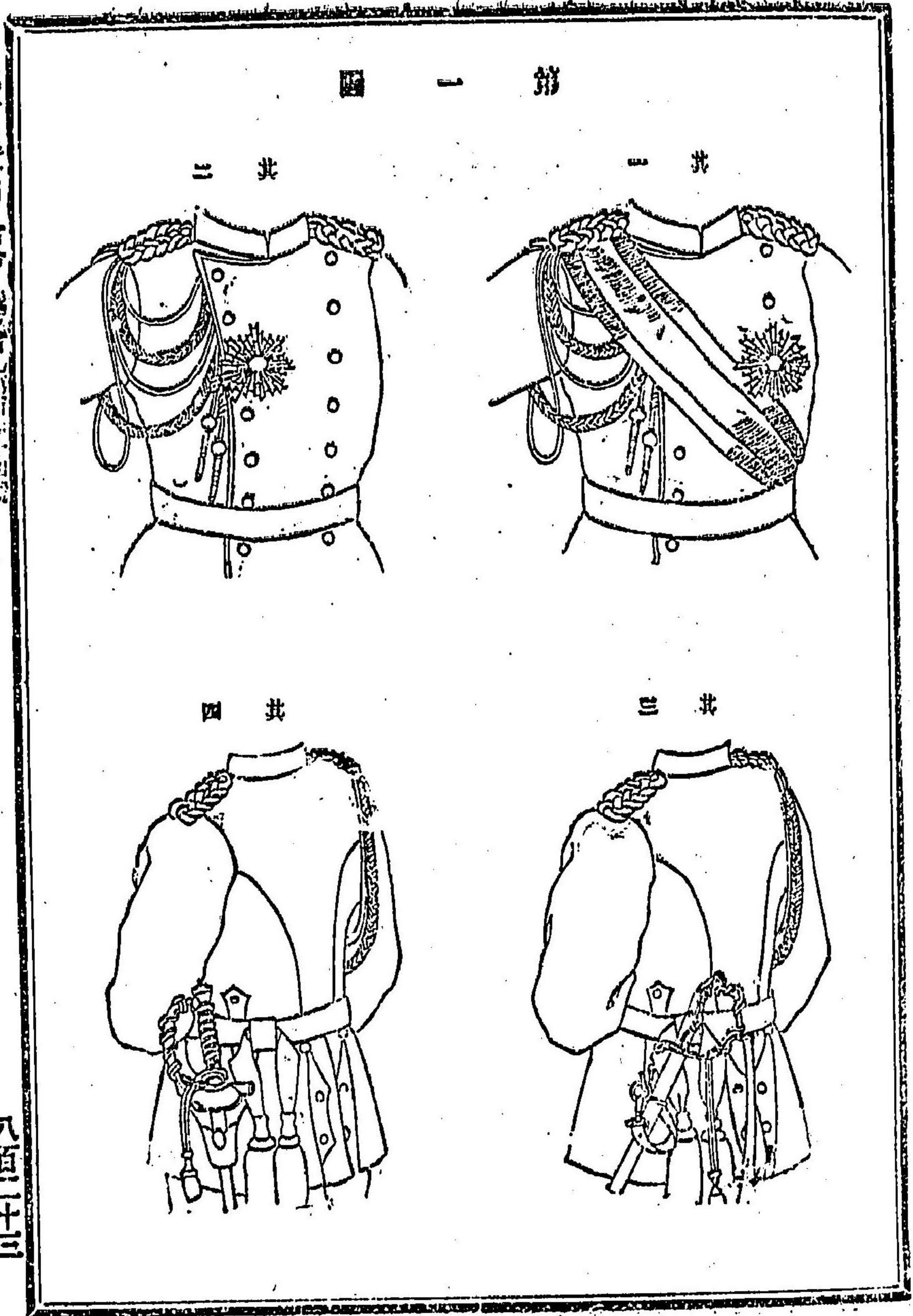
一 背籠ヲ負フ者ハ之ニ飯盒及ヒ豫備靴ヲ附着ス又時宜ニ依リ毛布ヲ附着スルコトアリ

一 脚絆ヲ着スルモノハ之ヲ袴上ニシ

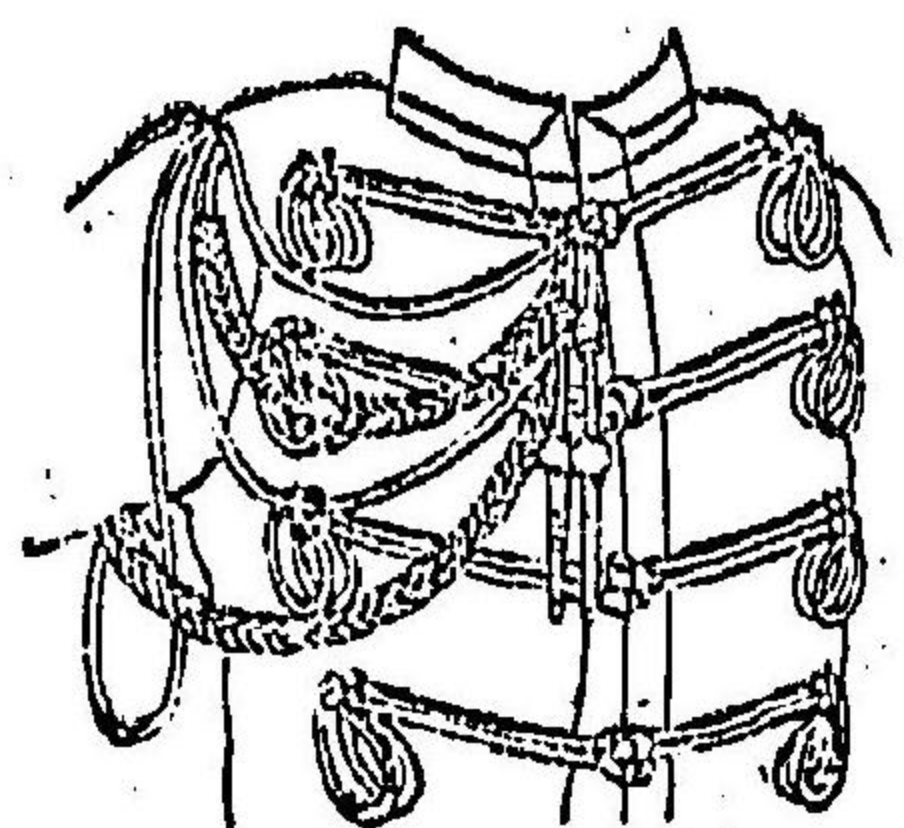
共四 略裝

第五十一條 略裝ノ着裝ハ概テ軍裝ニ同シ只帽ハ第二種帽ニ限リ之ヲ用ニルヲ異ナリトス但第二種帽ノ制ナキモノハ此限ニアラズ

第五十二條 此服裝ニ在テハ第五十條第二項乃至第五項ニ掲グルモノヲ適用セス又隊外奉職ノ者ハ各自ノ便宜ニ依リ脚絆ヲ附着セサル等適宜ニ之ヲ取捨スルコトヲ得

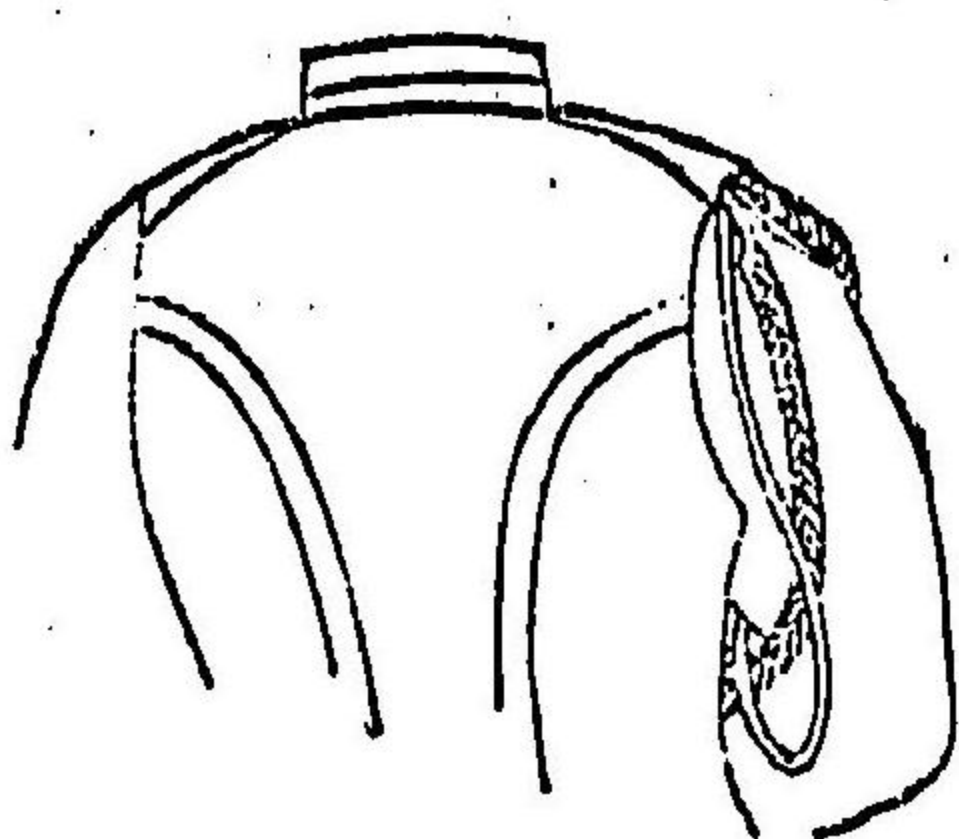


圖二第

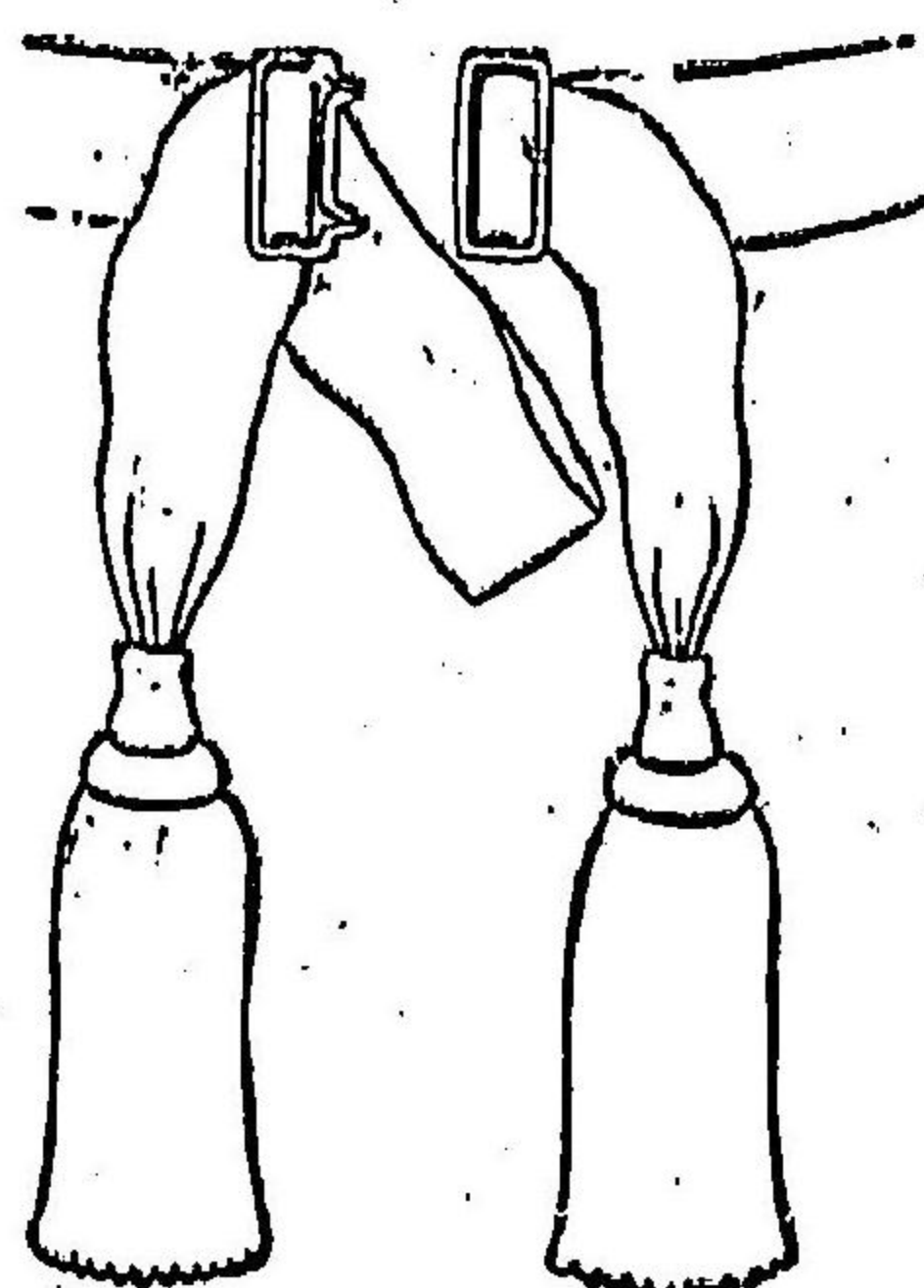


一 共

二 共

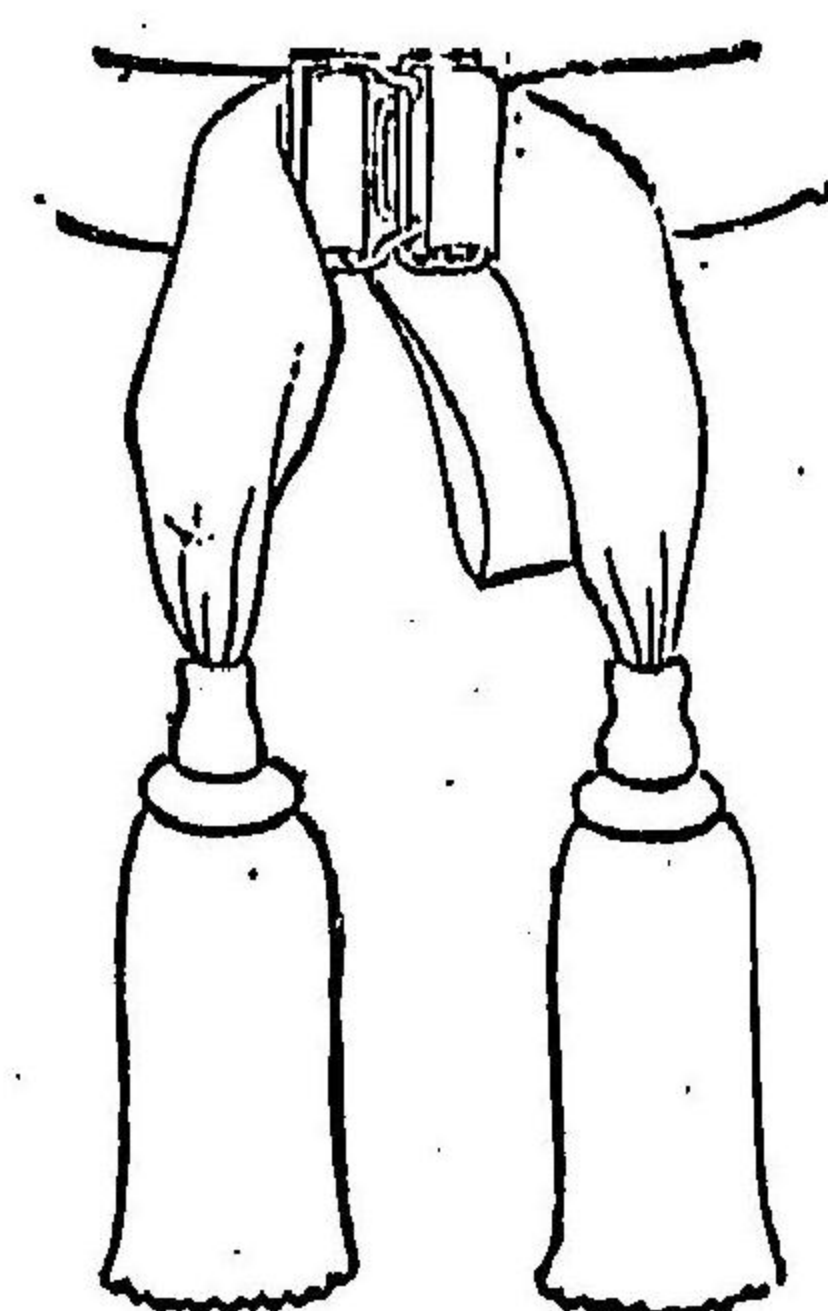


圖三第



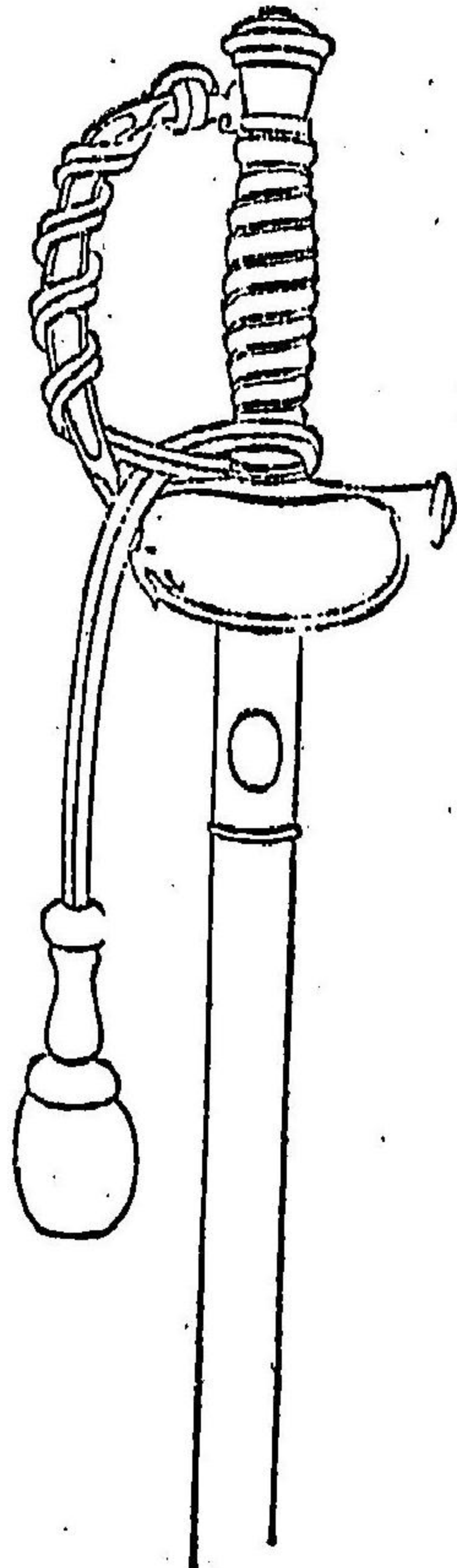
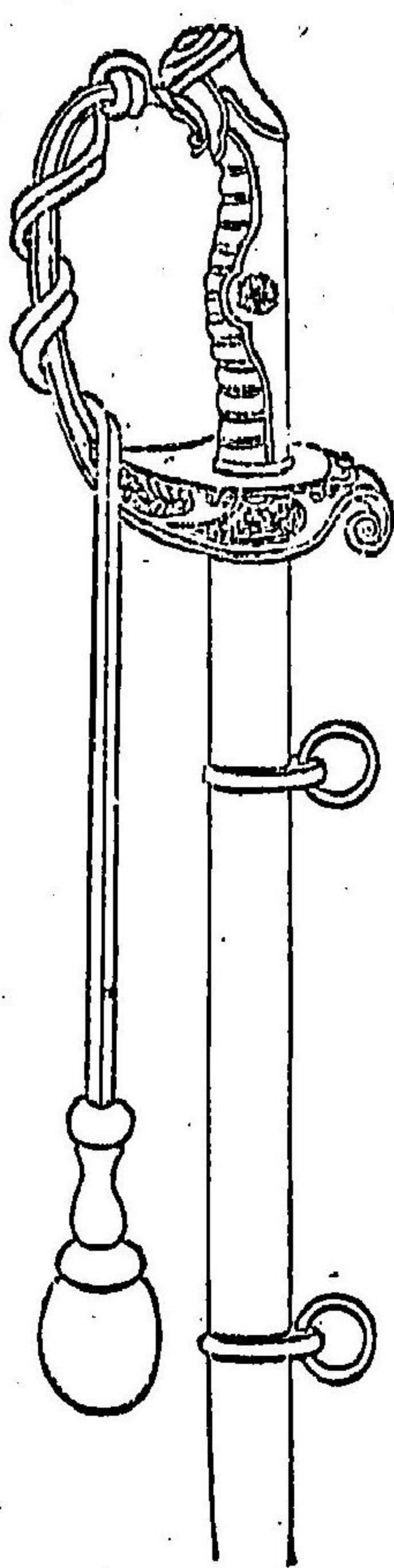
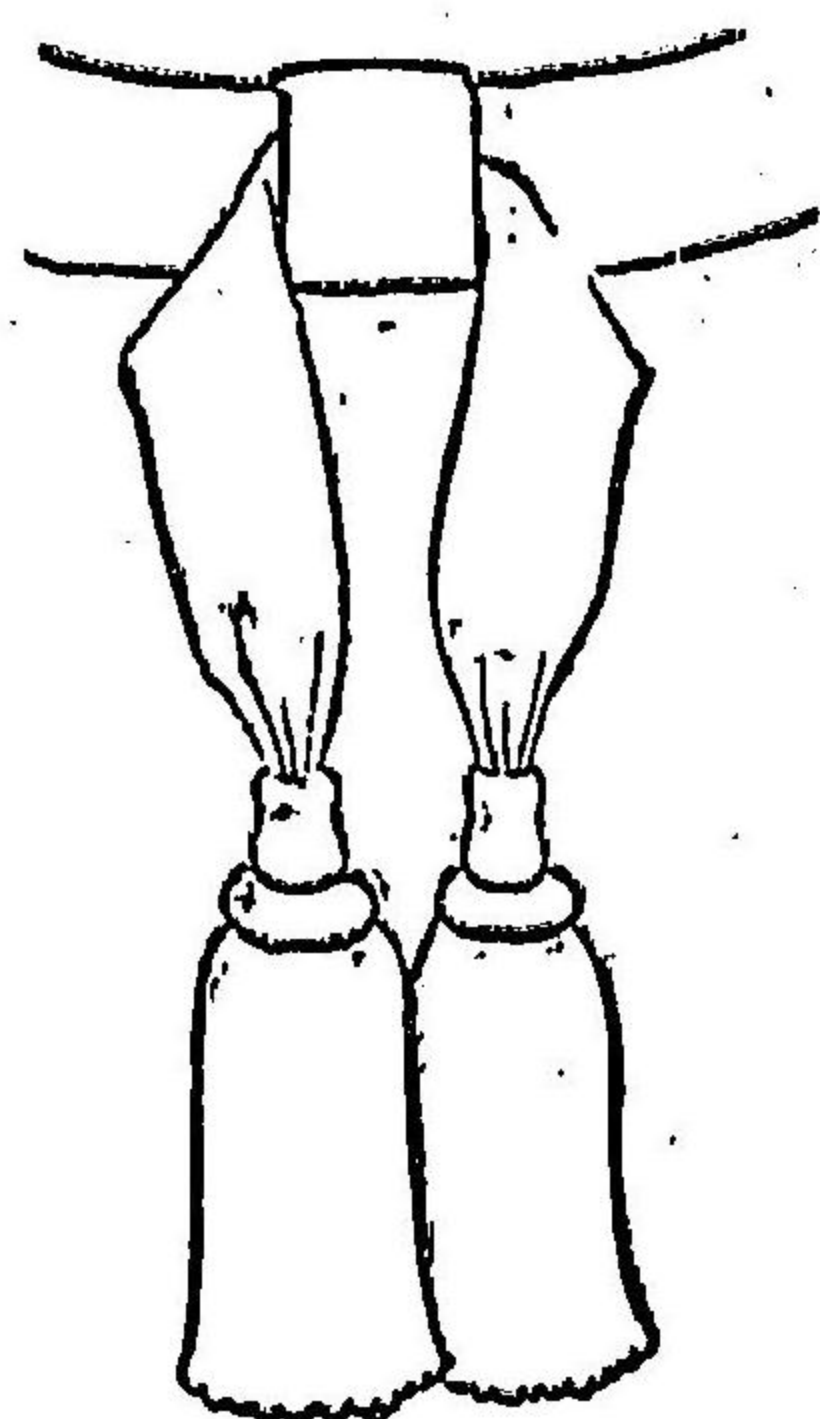
一 共

二 共



圖五第 圖四第

三 共



○海軍省令第二百廿六號

明治十九年九月二十五號省令續須賀海軍港規則第十二條ヲ改正スルコト左ノ如シ

明治十九年十月二十六日

海軍大臣伯爵大山 巖

第十二條 港内第一區第二區ニ於テ灰燼或ハ塵芥ヲ遺棄スヘカラス艦船ニ於テ其遺棄ニ供スル解舟ハ航海部ニ請求スヘシ其他第三區内ト雖モ有害ト認ムル場所ハ遺棄ヲ禁シ臨時遺棄スヘキ場所ヲ指示スルコトアルヘシ

○陸軍省令第四百十五號

本年三月達第四號達中第三項第四項左之通改正ス

明治十九年十月三十日

陸軍大臣伯爵大山 巖

一 下士卒再役ハ其年度ニ於テ可開雇人員ヲ豫テ本省主任ノ局長若クハ本管長ヘ協議ヲ遂ケ其期ニ至リ所管長官限リ開雇其旨報告スヘシ

但軍吏部下士ニ在テハ其願書ヲ所管長官ニ差出シ所管長官之ヲ當該監督部長ニ移シ同部長ハ會計局長ニ稟請ノ上處分スルモノトス

一 下士卒家事故障等ニ依リ現役免除豫備役ニ編入或ハ歸休等ハ其所管長官ニ於テ事實調査ノ上決行スヘシ

但下士ノ内砲兵監護及諸工長並軍吏部軍醫部下士等其本管アルモノハ其本管ニ於テ取計フヘシ尤軍吏部下士ニ在テハ當該監督部ヲ經由スルモノトス

○海軍省令第二百二十七號

少尉候補生少機關士候補生少技士候補生少軍醫候補生及少主計候補生ニ旅行ヲ命シタルトキハ准

海軍一般

士官ト同一ノ旅費ヲ支給ス

明治十九年十月三十日

海軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省令第二百二十八號

海軍一般

本年七月省令第七十二號海軍生徒及傭員内國旅費規則中第一條ヲ左ノ通り改正シ第一表中(生徒並事務傭及技術傭)ヲ(生徒並筆生技生工夫長器械手兵器保護手及監護)ト改正ス

明治十九年十月三十日

海軍大臣伯爵大山 巖

第一條 生徒並傭員及定傭夫ニ旅行セシムルトキハ第一表ニ從ヒ旅費ヲ支給ス

○海軍省令第二百二十九號

橫須賀鎮守府所轄田ノ浦倉庫ヲ廢ス

明治十九年十一月一日

海軍一般

海軍大臣伯爵大山 巖

海軍一般

○海軍省令第三百三十號

明治十七年五月丙第七十八號達海軍准士官以上増俸規則ヲ廢ス

明治十九年十一月二日

海軍大臣伯爵大山 巖

海軍一般

○海軍省令第三百三十一號

明治十年六月丙第九十號達大砲放發年報別冊ノ通改定ス

但別冊ハ別ニ頒布ス (別冊略ス)

明治十九年十一月五日

海軍大臣伯爵大山 巖

海軍一般

○海軍省令第三百三十二號

陸戰隊概則別冊ノ通定ス

但別冊ハ別ニ頒布ス (別冊略ス)

明治十九年十一月五日

海軍大臣伯爵大山 巖

海軍一般

○海軍省令第三百三十三號

軍艦兵員部署程式別冊ノ通定ス

但別冊ハ別ニ頒布ス (別冊略ス)

明治十九年十一月五日

海軍大臣伯爵大山 巖

○司法省令甲第三號

今般法律第一號第二號ヲ以テ登記法及ヒ公證人規則制定相成候ニ付其抗告手續左ノ通之ヲ定ム

明治十九年十一月 省令 海軍省令第二百二十九號 第三百卅號 第三百卅一號 第三百卅二號 第三百卅三號 司法省令甲第三號 八百二十九

明治十九年十一月九日

司法大臣 伯耆山田 顯義

抗告手續

- 第一條 登記官吏又ハ公證人ノ職務執行ニ關シ抗告ヲ爲ス者ハ抗告狀ヲ其登記官吏又ハ公證人ニ差出ヌ可シ
- 第二條 登記官吏又ハ公證人抗告狀ヲ受取リタルトキハ其翌日ヨリ三日以内ニ意見ヲ附シ且ツ關係書類ノ寫ヲ添ヘ抗告狀ヲ管轄始審裁判所ニ送致ス可シ
- 第三條 登記官吏又ハ公證人若シ前條ノ期限内ニ抗告狀ヲ管轄始審裁判所ニ送致セサルトキ又ハ急速ヲ要スル場合ニ於テハ抗告者ハ直チニ管轄始審裁判所ニ抗告狀ヲ差出ヌコトヲ得
- 第四條 登記官吏又ハ公證人若シ前條ノ期限内ニ抗告狀ヲ管轄始審裁判所ニ送致セサルトキ又ハ管轄始審裁判所ハ抗告ヲ受ケタル登記官吏又ハ公證人ヲシテ意見書ヲ差出サシメ及ヒ關係書類ヲ求ムルコトヲ得
- 第五條 抗告狀ヲ受取タル管轄始審裁判所ハ書面ニ依リ判定ヲ爲ス可シ
- 第六條 始審裁判所ハ必要ナリト認ムル場合ニ於テハ抗告者其他關係人ニ書面ヲ以テ答辯セシムルコトヲ得
- 第七條 公證人懲罰處分ニ對シ不服アル者ハ其處分ノ翌日ヨリ起算シ七日以内ニ其處分ヲ爲シタル管轄始審裁判所ニ抗告狀ヲ差出ヌ可シ

- 裁判所ハ其抗告ヲ正當ナリト認ムルトキハ速ニ其不服ノ點ヲ更正ス可シ若シ之ヲ正當ナラスト認ムルトキハ第二條ノ期限内ニ意見ヲ附シ關係書類ヲ添ヘ抗告狀ヲ管轄控訴院ニ送致ス可シ
- 第八條 公證人懲罰處分ニ對スル抗告ニ付テモ亦第三條ノ手續ニ依ルコトヲ得
- 第九條 公證人懲罰處分ニ對スル抗告狀ヲ受取タル控訴院ハ第五條ノ手續ニ從ヒ判定ヲ爲ス可シ
- 第十條 控訴院ハ其判定書ヲ處分ヲ爲シタル始審裁判所ニ送致シ之ヲ言渡サシム可シ
- 第十一條 控訴院ニ於テ抗告ヲ正當ナリト判定シタルトキハ處分ヲ爲シタル始審裁判所ハ其判定ニ依リ處分ヲ更正ス可シ

○内務省令第二十四號

刑法第七十九條第八十條第八十二條ニ依リ懲治場ニ留置セラレタル者ニシテ獄則ヲ遵守シ改悛ノ狀アル時ハ警視總監北海道廳長官府縣知事ハ左ノ規則ニ據リ假ニ出場ヲ許スコトヲ得

明治十九年十一月十日

内務大臣 伯耆山縣 有朋

假出場規則

- 第一條 假出場ヲ許スヘキ者アル時ハ典獄ヨリ其長官ニ狀ヲ具シテ認可ヲ受ク可シ
- 第二條 假出場ヲ許シタル時ハ典獄ヨリ其證票ヲ本人ニ下付ヌ可シ
- 第三條 假出場證票ニハ左ノ條件ヲ記載ヌ可シ
 - 一 本人ノ屬籍氏名年齢住所懲治期限及ヒ宣告并ニ満期ノ年月日
 - 一 幾期何年何月何日假出場ヲ許ス 何年何月何日起
何年何月何日滿
 - 一 本日出場ヲ許スニ由リ住居ノ地ニ歸着ノ上ハ即時所轄警察署ニ其旨ヲ届出ツ可シ

一 毎月一回謹慎ヲ表スル爲メ所轄警察署ニ到リ假出場證票ヲ出シ警察官吏ノ認印ヲ受ク可シ但
 已ムヲ得ツル事故アレハ其事由ヲ届出可シ
 一 日程ヲ過クル地ニ旅行スル時ハ其行先並往復滞在日數等ヲ詳記シ所轄警察署ニ届出可シ但
 其滞在一月以上ニ渉ル時ハ一箇月毎ニ其滞在地ノ警察署ニ到リ前項ノ手續ヲナス可シ
 一 事故アリテ其住居ヲ轉スル時ハ所轄警察署ニ届出ツ可シ
 一 第三項以下ノ事ハ本人自ラ爲ス能ハサル場合ニ於テハ親屬故舊代リテ之ヲ爲スコトヲ
 得
 右ノ各項ニ違背シタルトキハ直チニ出場ヲ停止シ出場中ノ日數ヲ懲治期限内ニ算入スルコトヲ
 得ス
 第四條 假出場ヲ許シタル時ハ典獄ヨリ假出場證票及懲治申渡書ノ原本ヲ具シ本人住居ノ地ノ警
 察署ニ通知スヘシ
 第五條 警察署ニ於テ轉居ノ届ヲ得タル時ハ之ヲ其轉居地ノ警察署ニ通知シ第四條ニ記載シタル
 書類ヲ遞送スヘシ
 第六條 假出場ヲ許ス可キ者住所ナク及ヒ引取人ナキ時ハ猶ホ懲治場ニ留置シテ他ノ懲治者ト殿
 ニ別異ス可シ但住居遺地ニアリテ歸着スルノ資力ナキ者モ亦同シ
 第七條 假出場ヲ停止スヘキ時ハ本人住居ノ地ノ典獄ニ於テ其旨ヲ言渡シ直チニ假出場證票ヲ取
 上ケ其殘期ヲ執行ス可シ但甲地方ニ於テ下付セシ證票ヲ乙地方ニ於テ取上ケタル時ハ其事狀ヲ
 甲地方典獄ニ通知シ證票ヲ送致ス可シ
 第八條 假出場ヲ許サレタル其懲治期滿限ノ日ニ到レハ假出場證票ヲ所轄警察署ニ還納シ該警察
 署ヨリ證票ヲ出シタル典獄ニ之ヲ遞送ス可シ

○大藏省令第三十二號

本月償還スル七分利付金祿公債元金三百萬圓並ニ六分利付同公債元金貳萬圓ニ對スル現金ノ代リ
 トシテ整理公債證書ノ交付ヲ望ムモノニハ整理公債假證書ヲ交付スルモノトシ其取扱左ノ通相定
 ム

明治十九年十一月十一日

大藏大臣 伯耆松方正義

- 一 假證書ノ交付ヲ望ムモノハ東京府下ハ大藏省ヨリ其他ハ所轄廳ヨリ當該證書記番號告示ノ日
 ヨリ十日以内ニ各自元利金ノ交付ヲ受クヘキ日本銀行本支店又ハ代理店へ申込ムヘシ
- 但シ本文ノ期日内ニ申込ヲナサハルモノハ總テ現金ヲ以テ拂渡スモノトス
- 一 假證書ノ利子ハ來ル十二月分ヨリ付スルモノトス
- 但シ本年十二月分ノ利子ハ假證書交付ト同時ニ拂渡スモノトス
- 一 假證書ハ抵當ニ差入ルノ外授受買賣スルヲ得サルモノトス
- 一 假證書ハ來ル明治二十年三月十五日ヨリ同三十一日マテニ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ
 本證書ト交換スヘキモノトス
- 但シ記名證書ト交換セントスルモノハ第一項申込ト同時ニ其旨ヲ申出ヘシ
- 一 假證書ハ前項ノ交換期限後一箇月ヲ過クルトキハ無効トス

○文部省令第二十號

北海道廳 府縣

學事ニ關スル廳府縣令ハ其公布ノ都度文部省ニ申報スヘシ
 但豫メ稟申シタル件ハ此限ニアラス

明治十九年十一月十一日

文部大臣 森 有禮

○内務省令第二十五號(官報十一月十三日)

内務省令第十九號第一條第二條第三條第四條ニ記載シタル事項ニシテ同令施行以前ノ届漏ニ係ルモノ及同令施行以前ヨリ現ニ寄留シテ其届出ヲ爲サ、ル者ハ同令ニ依リ本年十二月一日ヨリ十日マテニ届出ヘン違背シタル者ハ同令第九條ニ據リ處分ス

明治十九年十一月十日

内務大臣伯爵山縣有朋

○陸軍省令乙第百四十六號

陸軍給與概則第十一章附錄第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

明治十九年十一月十九日

陸軍大臣伯爵大山 巖

一第六條ニ掲クル三十里並ニ第七條ニ掲クル三里又ハ六里トハ都テ在職ノ地ヲ距ル里程トス故ニ右未滿ノ地ニ於テ往復又ハ縱橫經歷シ第六條ニ在テ其里程三十里以上ニ及フモ甲額ノ旅費ヲ給セス又第七條ニ在テ三里以上ニ及フモ旅費ヲ給セス六里以上ニ及フモ宿泊セサルハ日當ヲ給セサルモノトス

○大藏省令第三十三號

明治十九年四月大藏省令第十六號造幣規則第十三條左ノ通り改正ス

明治十九年十二月二日

大藏大臣伯爵松方正義

第十三條 金銀地金類ヲ大阪本局ニ輸入シテ東京又ハ横濱ニ於テ代リ貨幣拂渡ヲ望ムモノ又ハ東京出張所ニ輸入シテ東京横濱又ハ大阪神戸ニ於テ其拂渡ヲ望ムモノ其運賃保險料ノ割合ハ實費ニ基キ大藏大臣時々之ヲ定メ告示スヘシ

海軍 一般

○海軍省令第百三十四號

海軍軍人内國旅費規則第九條及第十條ニ各一項ヲ加フ

明治十九年十二月二日

海軍大臣伯爵大山 巖

第九條

甲任地ヨリ乘艦セシ准士官以上ノ者ニ乙地へ赴任ヲ命シタルトキハ其退艦地ヨリ乙任地マテハ通常ノ旅費ヲ支給シ別ニ甲任地ヨリ乙任地マテノ直路ニ從ヒ車馬賃汽車賃或ハ汽船賃ヲ支給ス第十條

出張又ハ舊任地ニ非ラサル地方ニ於テ待命中赴任ヲ命シタルトキハ其出張又ハ待命地ヨリ新任地マテハ通常ノ旅費ヲ支給シ別ニ舊任地ヨリ新任地マテノ直路ニ從ヒ車馬賃汽車賃或ハ汽船賃ヲ支給ス但乘艦者ニ待命ヲ命シタルトキハ乘艦以前ノ任地ヲ以テ舊任地トス

海軍 一般

○海軍省令第百三十五號

經費工場委託工業費償還規程左ノ通相定メ來二十年度ヨリ施行スヘシ

明治十九年十二月二日

海軍大臣伯爵大山 巖

經費工場委託工業費償還規程

- 第一條 海軍部内經費金ヲ以テ維持スル工場ニ委託シ器具物品ヲ製造修理スルトキハ此規程ニ依リ其費金ヲ償還シ委託ヲ受ケタル廳ニ於テハ此規程ニ依リ其費金ヲ補填スヘシ
- 人民ヨリ工業ノ委託ヲ受ケタルトキハ此規程ニ依リ工業費ヲ補填スヘシ
- 第二條 委託ヲ受ケタル各廳ニ於テハ一時經費金ヲ以テ工事ヲ爲スヘシ之レカ爲メ月額豫算不足スルトキハ次月以後ノ豫算額ヲ繰上ケ支用スルコトヲ得但繰上支用スル能ハサルトキハ費額ノ若干分ヲ委託廳ヨリ受取ルコトヲ得
- 人民ノ委託ヲ受ケタルトキ費額ノ若干分ヲ前納セシムルハ各廳ノ適宜タルヘシ
- 第三條 各廳ヨリ償還セシムヘキ金額ハ職工賃材料費運搬費及其工事ノ爲メ特ニ要スル模型雛形小器械小道具等ノ原價ヲ算出シ以テ定ムヘシ官吏傭員外國人ノ俸給其他工場一般ニ係ル經費ハ算入ノ限ニアラズ
- 職工賃材料費ノ原價ハ毎月平均算ヲ以テ算出スルモ妨ナレ
- 人民ノ委託ヲ受ケタルトキ償還セシムヘキ金額ハ前項ニ依リテ算出セル原價ノ外ニ器械損料其他雜費トシテ若干割ヲ加算シテ收入スヘシ
- 第四條 各廳ヨリ償還セル金額及人民ヨリ收入セル原價金額ハ毎月國庫ニ納入シ更ニ工場所轄廳ノ豫算増額トシテ交付シ割増收入ハ大藏省ニ納入スヘシ
- 第五條 此規程ニ關スル細則ハ會計局ニ於テ之ヲ定ム

○海軍省令第百三十六號

海軍一般

海軍監獄則第三十八條中「一帯長四尺三寸 白色」ヲ左ノ通改正ス

明治十九年十二月二日

海軍大臣伯耆大山 巖

一帯長三尺同

○司法省令甲第四號

登記所ノ位置及ヒ管轄區域別表ノ通之ヲ定ム (別表ハ末ニ載ス)

明治十九年十二月二日

司法大臣伯耆山田顯義

○司法省令甲第五號

本年八月法律第一號ヲ以テ登記法制定ニ付キ明治二十年二月以後登記ヲ請フ者ハ左ノ手續ニ依ル可シ

明治十九年十二月三日

司法大臣伯耆山田顯義

- 第一條 登記ヲ請フ者ハ第一號書式ニ準シ登記ノ件目等ヲ記載シ實印ヲ押シタル名刺ヲ登記所ニ差出ヌ可シ
- 登記簿ノ原本若クハ抜書又ハ登記簿ノ閱覽ヲ請フ者亦同シ
- 第二條 後見人ヨリ登記ヲ請フトキハ後見人タルノ證書ヲ登記所ニ差出ヌ可シ
- 代人ヲ以テ登記ヲ請フトキハ代理ノ委任狀ヲ付與シ之ヲ登記所ニ差出サシム可シ
- 第三條 初テ登記ヲ請フ者ハ第二號書式ニ準シ區戶長ノ證明シタル印鑑ヲ登記所ニ差出ヌ可シ
- 第四條 地所ニ付キ初テ登記ヲ請フ者ハ地券ヲ登記官ニ示ヌ可シ但現ニ賃入中ノ地所ニ付テハ此限ニ在ラズ
- 船舶ニ付テハ鑑札ヲ示ヌ可シ但船舶ニ釘付シタルモノハ此限ニ在ラズ
- 第五條 建物ニ付キ登記ヲ請フトキハ其圖面ヲ登記所ニ差出ヌ可シ
- 建物ノ圖面ハ邸地ノ形狀坪數(段別)方位及ヒ建物ノ形狀間尺位置等ヲ記シ登記ヲ受ク可キ建

物ノ圖ハ墨引墨字ト爲シ登記外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引朱字ト爲ス可シ
 建物ノ圖面ニハ登記法第九條第十六條第十七條第十八條第十九條ノ場合ヲ除クノ外結約者雙方
 之ニ署名捺印ス可シ但同第十五條第二項ノ場合ニ於テハ親屬又ハ近隣戶主之ニ連署ス可シ
 地所船舶ニ付キ圖面アルトキモ亦前項ニ定メタル署名捺印若クハ連署ヲ要ス
 第六條 地所ヲ分割シテ賣買讓與シ又ハ質入書入ト爲ストキハ前條ニ準シ其圖面ヲ差出ス可シ
 第七條 裁判執行上ノ賣買若クハ入札ニ因リ地所建物船舶ノ所有權ヲ得タル者其登記ヲ請ヒ又ハ
 地所建物船舶ニ關スル差押假差押差留假差留假處分及地所建物ノ收益差押ニ付キ記入若クハ取
 消ヲ請フニハ裁判所ヨリ其命令書ヲ受ケ之ヲ登記所ニ示ス可シ
 裁判言渡ニ依リ登記變更若クハ取消ヲ請フトキ亦前項ニ同シ
 第八條 登記法第三十二條ニ依リ評價ヲ要スルトキハ登記所ノ命令ニ從ヒ登記料ヲ納ムル者ヨリ
 評價費用ノ見積金額ヲ豫納ス可シ
 第九條 登記簿ノ謄ヲ請フ者ハ第三號書式ニ準シ物件等ヲ記載セル願書ヲ登記所ニ差出ス可シ
 第十條 登記ヲ受タル物件ノ全部若クハ一部毀壞燒失流亡等ニ依リテ消滅シタルトキハ其物件ノ
 所有者ヨリ登記ヲ爲タル登記所ニ書面ヲ以テ其旨ヲ届出シ可シ但其物件質入書入又ハ差押差留
 等ニ係ルトキハ債主又ハ差押差留等ノ權利者ノ連印ヲ要ス
 地目變換ノ場合ニ於テモ亦前項ノ例ニ準シ届出ヲ爲ス可シ
 第十一條 船舶ノ定製所ヲ更改シタルトキハ原登記所ヨリ登記簿ノ謄本ヲ受ケ之ヲ轉入地ノ登記
 所ニ差出シ其登記ヲ請フ可シ
 同一ノ登記所ニ屬スル町村ニ轉入シタル場合ニ於テハ其登記所ニ登記ノ變更ヲ請フ可シ
 第一號書式

(用紙半紙半截)

住所	住所
地所 建物 船舶	買賣(讓與)ニ付登記願
此代價 金何圓	買受人氏名
此登記料金何圓何錢	買受人氏名
年月日	
又ハ 何々質入ニ付登記願	
此貸借金何圓	
此登記料金何圓何錢	
又ハ 家督 相続ニ付登記願	
此價格金何圓	
此登記料金何圓何錢	
又ハ 何々地所ヲ得候ニ付登記願	
此標下代價金何圓	
此登記料金何圓何錢	
又ハ 何々登記ノ謄本又ハ抜書下付願	
此手数料金何圓	
又ハ 何々登記簿謄願	
此手数料金何圓	

又ハ

登記取消又ハ變更願
此手續料金何數

他者以上ノ例ニ依リ各別ニ認ム可シ
第二號書式 (印鑑用紙五寸横一寸但厚紙ヲ用フ可シ)

印鑑證明願

印鑑
又ハ
長役場
ノ印

右印鑑御證明被成下度奉願候也

明治何年何月何日

某處長何某職

右印鑑相違無之候也

明治何年何月何日

第三號書式甲

地所登記濟證下付願

何郡何町(村)何番地

一田何段何畝步

地價金何圓

同郡同町(村)何番地

一畑何畝步

地價金何圓

何國何郡何町何番地

何 某

何國何郡何町何番地

何 某

某處長何 某官印

右ノ地所今般何郡何町(村)何番地何某ヨリ讓受(買受)候ニ付地券書換願出度候間登記濟ノ證
御下付被成下度此段奉願候也

年 月 日

某登記所

御中

登記濟 所 某登記 所 印

明治何年何月何日

第三號書式乙

船舶登記濟證下付願

定額所何 郡何號 (籍札番號)

一西洋形船何々丸

橋 何本

長 何尺

幅 何尺

深 何尺

登簿噸數 何噸

公稱馬力 若干

汽機 何々

汽鐘 何々

端船 何艘

何郡何町(村)何番地

何 某

何々 何々
又ハ 何々

定取所何
第何號(鑑札番號)
一日本形船何々丸

石敷 何石敷

長 何間

幅 何間

深 何間

端船 何艘

何々 何々

何々 何々

右ノ船舶今般何郡何町(村)何番地何某ヨリ買受(讓受)候ニ付鑑札書換願出度候間登記簿ノ證
御下付被成下度此段奉願候也

年月日

何郡何町(村)何番地

何 某

某登記所

御中

登記簿

某登記所印

明治何年何月何日

○陸軍省令第四十號(官報 十二月十六日)

陸軍大學校條例中左ノ通改正追加ス

明治十九年十二月十五日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第一章第一條中參謀ヲ「高尙」ニ改ム

同 第十三條削除

同 第十四條ヲ第十三條トナシ左ノ如ク改正ス

卒業試験ニ於テ及第スル者ニハ卒業ヲ表章スル爲メ徽章ヲ授與シ其優等ノモノニハ更ニ參謀
職務適任證書ヲ與ヘ原隊隊外ハニ復歸セシム

同 第十三條ノ次ヘ左ノ一條ヲ追加シ第十四條トナス

大學校卒業徽章ヲ有スル者拔擢セラルトキハ進級検査ヲ行ハス決定候補名簿ニ登録ス

○海軍省令第三百二十七號

海軍一般

本年七月省令第七十三號海軍高等武官俸給支給細則第十三條左ノ通改正ス

明治十九年十二月十六日

海軍大臣伯爵大山 巖

第十三條 在職者ノ俸給ハ其所轄ノ何レニ在ルヲ問ハス第二條ノ支給定日現在勤務中ノ各艦船
營ニ於テ之ヲ支給ス

○海軍省令第三百二十八號

海軍一般

本年十月省令第二百二十四號候補生手當金支給細則第一條左ノ通改正ス

明治十九年十二月十六日

海軍大臣伯爵大山 巖

第一條 候補生手當金ハ其所轄ノ何レニ在ルヲ問ハス毎月末日現在勤務中ノ各艦船營ニ於テ支

給スルモノトス其日休暇ニ當ルトキハ前日ニ繰上ケ支給ス可シ

○陸軍省令第四十一號

砲兵射的演習規則第二條第五十三條及第五十一條ノ彈藥費數表左ノ通改正ス

明治十九年十二月十七日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第二條中此演習ハ毎年春季ニ於テシテ六字ヲ一回トシ改ム

第五十三條曰砲彈ハ一中隊ニ十二挺二十挺各十發ヲ目途トシ所要ニ應シ其都度支給スヘシ

射擊種類	彈藥種類		榴霰彈	霰彈	小計	號砲
	塙砂	塙砲				
試驗射擊		一三			一三	三
教示射擊	一〇				一〇	一一
教育射擊		七二		二四		九六
中隊戰間射擊		一三六		四〇	一三	一八八
大隊戰間射擊		四〇		二〇	一三	七二
撰拔射手競射射擊	三五					三五
中隊競射射擊		一六		一六		三二
一年計	四五	二七七	一〇〇	二四	四四六	三一一

○文部省令第二十一號

尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治十九年十二月二十二日

文部大臣 森 有禮

尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則

第一條 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許狀ハ高等師範學校卒業生及丁年以上ニシテ文部省ノ檢定ヲ經タルモノニ之ヲ授與スルモノトス

第二條 高等師範學校ノ男子師範學科卒業生ニハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校ノ教員免許狀ヲ授與シ女子師範學科卒業生ニハ尋常師範學校女子部及高等女學校ノ教員免許狀ヲ授與シ體操專修科卒業生ニハ體操ノ教員免許狀ヲ授與ス

第三條 高等師範學校ノ卒業生ニアラズシテ某學科ノ教員免許狀ヲ得ント欲スルモノハ文部省ノ檢定ヲ受ケハシ

第四條 檢定ハ毎年一回文部大臣檢定委員ヲシテ之ヲ施行セシム

- 第五條 檢定ノ要目左ノ如シ
- 一學力
- 一品行
- 一身體

第六條 學力ノ檢定ハ試驗ニ依ル

但内外國高等學校卒業生等ハ檢定委員ニ於テ教員タルニ適スヘキ學力アリト認ムルモノニ限リ特ニ本文ノ例ニ依ラサルコトアルヘシ

第七條 試驗ハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校ノ學科中受檢者志願ノ學科ニ就テ之ヲ施行シ該學科教員タルニ適スルヤ否ヲ判ス

第八條 身體ノ檢定ハ檢査ニ依ル

第九條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ族籍姓名宿所生年月及志願ノ學科ヲ記シタル願書ニ左ノ書面ヲ添ヘ文部省宛地方廳ニ差出スヘシ北海道廳長官府縣知事ハ本人ノ品行ニ付意見ヲ付記シテ文部大臣ニ差出スヘシ

- 一 學業業務賞罰等ノ履歷ニ係ル書面
- 一 學業證書免狀ノ寫

第十條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ檢定料金貳圓ヲ納ムヘシ

但檢定料ハ願書ト共ニ地方廳ニ差出スヘシ

第十一條 免許狀ハ分チテ一等二等三等トシ初メテ授與スル免許狀ハ三等トス又第六條但書ニ依リ授與スル免許狀ハ無等トス其既ニ得タル免許狀ヨリ高等ノモノヲ得ント欲スルモノ及無等免許狀ヲ有スルモノニシテ相當ノ有等免許狀ヲ得ント欲スルモノハ更ニ檢定ヲ受クヘシ

但一等免許狀ハ二等免許狀ヲ有シ五箇年以上二等免許狀ハ三等免許狀ヲ有シ二箇年以上教職ニ從事シ其性格能幹超衆ノモノニ限リ授與スルモノトス

第十二條 免許狀ヲ受クルモノハ高等師範學校卒業生ヲ除クノ外免許料金壹圓ヲ納ムヘシ

第十三條 免許狀ヲ毀損亡失シ若シハ姓名ヲ變更シタルカ爲メ其書換ヲ請フモノハ書換料金壹圓ヲ納ムヘシ

第十四條 左ノ一項若クハ數項ニ觸ルモノニハ免許狀ヲ授與セズ又既ニ授與シタルモノト雖モ之ヲ沒收ス

但特別ノ事情アルモノハ本文ノ例ニ依ラサルコトアルヘシ

一 新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハメシテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一 身代限ノ處分ヲ受ケ未ダ辦償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一 荒蕪暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル所行アルモノ

一 舊法ニ依リ懲役若クハ禁獄若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハズシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一 前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老小癡疾婦女等ノ故ヲ以テ收贖ヲ聽サレタルモノ

第十五條 前條ノ處分ヲ要スルモノアルトキハ北海道廳長官府縣知事ヨリ文部大臣ニ具申スヘシ

免許狀様式

何等免許狀(第六條但書ニ依リ授與スルモノハ等ヲ付セス)

族籍

姓名

生年月

右何學校(何科)教員タルコトヲ免許ス

年 文部
省印

文部大臣位勳爵姓名印

副印 番號

輪廊ハ高等師範學校卒業生ニ授與スルモノハ紅色トシ第六條ニ依リ授與スルモノハ綠色トシ第六條但書ニ依リ授與スルモノハ藍色トス

○文部省令第二十二號

文部省令第二十一號尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許規則發令前文部省ニ於テ授與シタル中學校師範學校教員免許狀及東京師範學校ニ於テ授與シタル中學校師範學校卒業證書ハ尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員免許狀ト同一ノ效ヲ有スルモノトス

明治十九年十二月二十二日

文部大臣 森 有禮

○文部省令第二十三號

文部省令第十二號小學校教員免許規則發令前東京師範學校及府縣立師範學校ニ於テ授與シタル小學師範學校卒業證書ハ其有效年限間小學校教員免許狀ト同一ノ效ヲ有スルモノトス

但初等師範學校卒業證書ヲ有スルモノハ尋常小學校以下中等及高等師範學校卒業證書ヲ有スルモノハ高等小學校以下ノ教員タルコトヲ得

明治十九年十二月二十二日

文部大臣 森 有禮

○文部省令第二十四號

某學校ノ教員免許狀ヲ有スルモノハ等位ノ該學校ニ準スヘキ諸學校以下ノ教員タルコトヲ得

明治十九年十二月二十二日

文部大臣 森 有禮

○陸軍省令第四十二號

砲兵工廠條例定員表備考中左ノ通改正ス

明治十九年十二月二十四日

陸軍大臣 伯爵 大山 巖

各所ノ下監務ハ時宜ニ依リ技師ヲ以テ之ニ充テ其ノ十八字ヲ加フ諸員ハノ下時宜ニ依リノ五字ヲ削ル

○陸軍省令第四十三號

本年當省令甲第三十九號陸軍省令第三十六號陸軍召集條例ノ儀明治二十年四月二十日ヨリ施行ス

但豫備役艦員及ヒ後備軍艦員兵員ノ定時演習召集ハ當分ノ内施行セス

明治十九年十二月二十八日

陸軍大臣 伯爵 大山 巖

○陸軍省令第四十四號

明治八年當省達第百十二號達後備軍召集條例及ヒ同十四年當省達甲第八號達後備軍及後備軍編制條例ノ儀明治二十年四月二十日ヨリ廢止ス

明治十九年十二月二十八日

陸軍大臣 伯爵 大山 巖

○陸軍省令第四十五號

明治十四年當省達甲第七號達後備軍司令部條例中左ノ通改正追加シ明治二十年四月二十日ヨリ施行ス

明治十九年十二月二十八日

陸軍大臣 伯爵 大山 巖

第五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但分營所在地府縣駐在官ハ分營ニ召集ス可キ歸休兵並ニ豫備役後備軍艦員兵員ニ係ル事務ヲ兼掌ス

第五條第二項中「徵兵調査及ヒ」ヲ削リ「擔任ス」ヲ擔任シ又毎年新兵徵集ノ際徵兵検査所ニ出頭シ同所ノ事務ヲ補助スニ改ム

「第四章後備兵點呼」ヲ削ル

第三十一條ヨリ第四十四條ニ至ル諸條ノ削ル

「第五章」ヲ「第四章」ニ「第四十五條」ヲ「第三十一條」ニ改メ以下箇條順次繰リ上ケ

第五十四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四十一條 分營ニ召集ス可キ歸休兵並ニ豫備役後備軍艦員兵員ノ名簿ハ適宜之ヲ調製シ同地府縣駐在所ニ備置ク可シ

○司法省令第六號

本年十二月 當省令甲第四號登記所位置管轄區域表中左ノ通改正ス

明治十九年十二月二十八日

司法大臣伯爵山田顯義

大阪始審裁判所管内黒崎登記所ノ位置ヲ初瀬村外四箇村戸長役場ニ移シ初瀬登記所ト改稱シ下
芳野登記所ノ位置ヲ古市場村外八箇村戸長役場ニ移シ古市場登記所ト改稱ス
富山始審裁判所管内舟見登記所ノ位置ヲ泊町外九箇村戸長役場ニ移シ泊町登記所ト改稱ス
山口始審裁判所管内長島登記所ノ位置ヲ室津村戸長役場ニ移シ室津登記所ト改稱ス
千葉始審裁判所管内勝浦登記所管轄町村ノ内七木村ヲ山田登記所ノ管轄ニ改ム
静岡始審裁判所管内興津登記所管轄町村ノ内入山村内房村ヲ由比登記所ノ管轄ニ改ム

新潟始審裁判所管内卷村登記所管轄西浦原郡ノ内大瀨植田場ヲ新瀨登記所ノ管轄ニ改ム
金澤始審裁判所管内羽咋登記所管轄村ノ内梨谷小山村、北吉田村、火打谷村、代田村、矢田村、印内村、館開村、徳田村、佛木村、谷屋村、直海村、栗山村、釋加堂村、小室村、松木村、田原村、米町村、大笹村、長田村市ノ谷村ヲ大念寺新村登記所ノ管轄ニ改ム
松江始審裁判所管内佐藤登記所管轄遠藤郡ノ内磯竹村、靜間村、鬼村、大屋村ヲ太田登記所ノ管轄ニ川本登記所管轄村ノ内宮内村、比敷村、伏谷村、布施村、村之郷、八色石村ヲ出羽登記所ノ管轄ニ岡崎登記所管轄村ノ内内田村、高内村、小坂村、枅木村ヲ濱田登記所ノ管轄ニ益田本郷登記所管轄村ノ内神田村、向横田村、隅村、白岩村、薄原村ヲ白上登記所ノ管轄ニ都茂登記所管轄村ノ内波田村、下波田村、馬谷村、長澤村、猪木谷村ヲ益田本郷登記所ノ管轄ニ改ム

○文部省令第二十五號

文部省令第八號小學校ノ學科程度第十條算術ノ部ニ左ノ二項ヲ追加ス

明治十九年十二月二十八日

文部大臣 森 有禮

尋常小學校ニ於テ算算ヲ用フルトキハ算用數字簡易ナル命位記數加法減法乘法除法普通ノ度量衡貨幣日用適切ノ雜題及暗算トシ高等小學校ニ至リ分數小數比例利息算開平開立求積雜題簿記ノ概略及暗算トス

又尋常小學校ニ於テハ算算珠算ヲ併置スルモ妨ケナシ

日本藥局方

緒言

明治十三年ノ年末日本政府ハ日本藥局方ヲ撰定スルコトヲ決シ内務省ニ於テ十七名ヨリ成レル日本藥局方編纂委員ヲ設置セリ委員ハ明治十四年一月ヨリ會議ヲ開キ當初ノ會議ニ於テ日本藥局方編纂ノ基本トスヘキ通則并ニ藥局方中ニ收載スヘキ藥品ノ目ヲ議決シタル後委員中ヨリ特別委員ヲ撰ミ獨逸語ハ委員ノ多數ニ通用スルヲ以テ先ツ獨逸語ヲ用テ藥局方ノ稿案ヲ起草シ次ニ之ヲ日本語ニ翻譯スルノ事ヲ托セリ而シテ其稿案最終ノ議決ハ殊ニ學術上ノ名稱ニ適當ノ日本譯語ヲ附スルノ困難ナルニ由リ之ヲ總會ニ附セリ

左ニ掲クル所ハ稿本編纂ノ際其標準ト爲セル要目ニシテ委員總會ノ議決ニ由テ成レルモノナリ

- 一 日本藥局方ハ日本語ヲ以テ編纂セルモノノ外外國ニ適用セシムルカ爲メ羅旬語ヲ以テ翻譯セルモノヲ發行スヘシ

- 二 日本語本並ニ羅旬語本ニ於ケル藥品ノ順序ハ藥品羅旬名ノ「アルファベット」ニ順フヘシ
- 三 藥品ノ各條ニハ日本及羅旬ノ兩主名ヲ掲クルノ外問、其別名ヲ附記スヘシ

- 四 藥品羅旬名ハ化學藥ニ在テハ現今ノ國語ニ於テ慣用スル名稱ニ符合シ且成ルヘキ特殊ノ化學構造ニ從屬セサルモノヲ撰用スヘシ又化學藥及生藥ニ於テハ藥品ノ主名ヲ首ニ翻譯名ヲ後ニ置キ製劑ニ於テハ解釋名ヲ首ニ主名ヲ後ニ置クヘシ例之ハ *Bismuthi Subnitras*, *Aurantii Flores*, *Extractum Cinchonae* 等ノ如シ但シ生藥ニ於テハ不明瞭若クハ錯誤ノ恐アルニ非サレハ解釋名ヲ附セサルヘシ

- 五 生藥ニ於テハ其基本ナル植物及動物ノ名稱ヲ掲クヘシ
- 六 製煉ノ方法ハ藥品一定ノ集成ヲ確定スルカ爲メ必要トスル場合ニ非サレハ之ヲ掲ケサルヘシ

- 七 製法ヲ掲ケサル場合ニ於テハ藥品ノ性質若クハ反應ノ記載ヲ以テ眞ニ該品タルコト并ニ夾雜及偽僞ナキコトヲ證明スルヲ要スヘシ但シ其名稱ト記載トヲ以テ藥名ノ本性已ニ明瞭ナル場合ニ於テハ特ニ該品タルヲ證明スヘキ實性反應ヲ掲ケサルヘシ
 - 八 藥品貯藏法ヲ掲ケルハ其性質ニ由リ特別ノ注意ヲ要スル場合ニ於テスヘシ
 - 九 藥局方中重量及度量ハメートル系統ニ由ルヘシ
 - 十 藥局方中溫度ハ總テ攝爾度斯氏(百分度)ノ度標ニ由ルヘシ
 - 十一 藥局方ノ卷尾ニハ左ノ諸項ヲ附スヘシ
 - 甲 越幾斯德刺眉爲刺舍利刺等ノ如キ或ル種類ノ藥品ニ關スル製法試法貯法ノ通規
 - 乙 藥品試驗ニ供用スル試藥ノ目
 - 丙 藥品試驗ニ供用スル定規液ノ目
 - 丁 (第一表)常ニ藥局ニ貯藏スルヲ要スル藥品ノ表
 - 一 此種ノ藥品ハ藥局方ノ本文中○標ヲ附シテ之ヲ別ツ
 - 戊 (第二表)化藥ト區別シ最モ注意シテ貯フヘキ藥品ノ表
 - 己 (第三表)化藥ト區別シ注意シテ貯フヘキ藥品ノ表
 - 庚 (第四表)大人ニ對スル藥物一日并ニ一回極量ノ表
- 醫師共處方箋ノ藥名下特ニ▽標ヲ記スルニ非サレハ此量ニ超ニテ處方スルヲ許サス

日本藥局方附例

- 一 藥局方中若干分ト記スルハ總テ重量ヲ指スモノトス
- 二 藥局方中溶液ノ此例ヲ掲ケテ(1:10)(1:5)等ト記スルモノハ溶液十分二十分等ノ中ニ藥品一分ヲ含ムノ記標ニシテ總テ其大概ヲ指スモノトス
- 三 藥局方中ニハ總テ攝氏十五度ノ溫ヲ以テ定規溫度トス
- 四 藥局方中藥品ノ化學試驗ニ於テ單ニ水ト記スルモノハ總テ蒸餾水ヲ指スモノトス
- 五 藥局方中試藥ニ就キ溶液ト稱シテ特ニ其溶解藥ヲ云ハサルモノハ總テ水溶液ヲ指スモノトス又簡便ノ爲メ單ニ試藥名ヲ記シテ溶液ノ字ヲ省略スルモノアリ
- 六 藥局方中ニ掲ケル冷浸ハ十五度乃至二十五度ノ溫ニ於テ行ヒ溫浸ハ三十五度乃至四十五度ノ溫ニ於テ行フモノトス
- 七 藥局方中光ヲ遮リ貯フヘシト記載セル藥品ヲ硝子壺ニ容ルルニハ黑色或ハ黃褐色ノモノヲ撰用スルモノトス
- 八 藥局方中生藥ハ特別ニ記載セル外總テ乾燥品ヲ供用スルモノトス而シテ生藥ヲ乾燥スルハ適宜ノ方法ニ由ルヘシト雖モ四十度ニ超エサル所ノ溫ヲ用ウルモノトス
- 九 藥局方ノ卷尾ニ附スル第五表ハ或ル液狀藥物ノ十度乃至二十度ノ溫ニ於ケル異重ノ變異ヲ示シ第六表ハ重要ナル化學原素ノ記號及原子量ヲ示ス所ノ表ニシテ藥品試驗ノ便ニ供スルモノトス
- 十 藥局方ノ卷尾ニハ藥品ノ日本名ヲ「イロハ」順ニ羅列名ヲ「アルファベット」順ニ序列セル索引ヲ附ス

日本藥局方

純醋 稀醋液 *Acetum purum, Acidum aceticum dilutum.*

純醋

蒸餾水

十七分
八十三分

ヲ取り混和シ製スル

本品ハ透明無色ノ液ニシテ純酸味ヲ有ス其試驗藥ニ對スル反應ハ醋酸ノ條ニ掲クル所ニ同シ

本品三十九瓦蘭酸ハ定規亞爾加里液三十一立方センチメートルヲ中和スルニ是レ百分中六分ノ純醋酸(CH₃CO₂)ヲ微メルモノトス

海藻醋 *Acetum Scillae.*

海藻醋

細割乾燥セル海藻

純醋

一分
九分
一分

ヲ取り三日間展振盪シテ冷浸シ輕ク壓搾シ濾過シ製スル

本品ハ透明黃色ノ液ニシテ不快ノ酸苦味ヲ有ス
樽中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯ンル

醋酸 *Acidum aceticum.*

醋酸ハ透明無色ノ液ニシテ強キ酸味ヲ有シ異重ハ一・〇四八ナリ重湯煎ノ温ニ由テ全ク揮散スル
ノ加里液ヲ以テ中和セルモ焦臭ヲ放ツ可カラズ

本品ニ同容量ノ硫酸ヲ混和セルモ染色メ可カラズ又此混和液ヲ冷却シ之ニ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加
ハニ液層ト爲スモ其境界ニ於テ類視色ヲ呈メ可カラズ

本品ニ五分ノ水ヲ加ヘテ稀釋シセルモノハ硝酸拔留膜 硝酸銀 安母尼亞又硫化水素ニ因テ變化ス

可カラズ此稀釋酸五十立方センチメートルニ過滿飽酸加留膜溶液一立方センチメートルヲ加ヘ
五分時ヲ經ルモ之ヲ脱色メ可カラズ
本品六瓦蘭酸ハ定規亞爾加里液三十六立方センチメートルヲ中和スルニ是レ百分中三十六分ノ
純醋酸(CH₃CO₂)ヲ微メルモノトス

氷醋酸 *Acidum aceticum glaciale.*

氷醋酸ハ透明無色ノ液ニシテ刺メカ如キ酸臭ヲ有シ寒冷ニ遇ハハ凝固シテ結晶塊ト爲リ大約十六
度ノ温ニ於テ再ヒ熔融シ重湯煎ノ温ニ由テ全ク揮散スルニ異重ハ一・〇五六乃至一・〇六四ニシテ
沸騰點ハ大約百十七度ナリ水酒精及依的兒ニハ隨意ノ比例ニ於テ透明ニ混和シ十五分ノ水ヲ以テ
稀釋シセルモノハ硝酸拔留膜 硝酸銀 安母尼亞又硫化水素ニ因テ濁濁或ハ染色メ可カラズ

本品ヲ水十五分ニ稀釋シセルモノ五十立方センチメートルニ過滿飽酸加留膜溶液一立方センチ
メートルヲ混和シ五分時ヲ經ルモ之ヲ脱色メ可カラズ

本品三瓦蘭酸ハ定規亞爾加里液少ナクモ四十八立方センチメートルヲ中和スルニ是レ百分中純
醋酸(CH₃CO₂)ノ最少含量九十六分ヲ微メルモノトス
樽中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯ンル

○亞砒酸 *Acidum arsenosum.*

亞砒酸ハ白色多量透明乃至發質樣ノ塊片或ハ白色ノ粉末ニシテ十五分ノ沸湯ニハ徐々ナルモ全ク
溶解シ熱ニ逢ハハ殘留物ヲ遺サメシテ揮散スル

本品〇・四九五瓦蘭酸ヲ重炭酸那篤留膜一瓦蘭酸ト共ニ沸湯中ニ溶解セルモノハ十分定規沃度液
九十七立方センチメートルヲ脱色スルニ是レ百分中純亞砒酸(As₂O₃)ノ最少含量九十七分ヲ微メ
ルモノトス

最モ注意シテ貯ンル

安息香酸 *Acidum benzoicum.*

安息香酸ハ昇華法ニ依テ安息香ヨリ製出セルモノニシテ細絲樣ノ光澤ナル白色乃至類黃色ノ小葉

狀結晶若クハ鹹狀結晶ヲ爲シ百二十度ノ熱ニ於テ熔融シ安息香ノ香氣ヲ有シ尿或ハ揮發苦扁桃油ニ類スル臭氣ヲ放ツ可カラヌ酒精、依的兒及阿囉仿酸ニ溶解シ冷水ニハ僅少ニ沸湯及那葛倫油液ニハ多量ニ溶解ス熱スレハ熔融シテ全ク揮散シ固性物ヲ殘留ス可カラヌ
本品ノ水溶液ハ過格魯兒化鐵ニ由テ紫藍色ヲ呈ス可カラヌ又安母尼亞ヲ以テ中和シテ後過格魯兒化鐵ヲ加フルトキハ黃褐色ノ沈澱ヲ生ズヘシ
本品一分ヲ等分ノ過錳酸加價酸及十分ノ水ト共ニ試驗管ニ容レ寬ク栓塞シ少時微熱ヲ與ヘ冷後之ヲ開クノ際揮發苦扁桃油ニ類スル臭氣ヲ放ツ可カラヌ

○硼酸 *Acidum boricum.*

硼酸ハ瑣珠樣ノ光澤ヲ有スル無色ノ小葉狀結晶ニシテ之ヲ熱スレハ水蒸氣ヲ發シテ熔融シ次ニ膨大シ終ニハ冷後固結シテ透映無色硝子樣ト爲ル所ノ物質ニ變ズヘシ
本品ハ沸湯及沸騰酒精ニハ容易ニ全溶スヘシ少量ノ硝酸ヲ和シタル本品ノ濃厚水溶液ハ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過キヌ又硝酸拔價酸ヲ加ヘテ二分時ヲ經ルモ濁濁ヲ生ス可カラヌ又其水溶液ハ硫化水素安母尼亞并ニ硫酸化加價酸ニ於テ濁濁若クハ染色ス可カラヌ

○石炭酸 *Acidum carbonicum.*

石炭酸ハ無色或ハ微ニ紅色ヲ帶ナル長キ尖銳ノ結晶ヨリ成レル塊ニシテ不快ナラサル特異ノ微臭ヲ有シ之ニ點火スレハ白色ノ火焰ヲ放テ燃焼シ殘留物ヲ遺サヌ大約三十八度ノ温ニ於テ熔融シ大約百八十度ニ於テ沸騰ス

本品十分ニ水一分ヲ混和スレハ透明ノ液ト爲リ之ニ稍多量ノ水ヲ加フレハ濁濁シ二百分ノ水ヲ和スレハ全ク溶解シテ透明ノ液ト爲ル此溶液ハ過格魯兒化鐵ニ逢フテ紫藍色ヲ呈スヘシ酒精依的兒、阿囉仿酸及偏里酸林ニハ隨意ノ比例ニ於テ透明ニ混和シ那葛倫油液ニモ亦隨意ノ比例ニ於テ透明ニ溶解スヘシ
注意シテ貯フヘシ

粗製石炭酸

Acidum carbonicum crudum.

粗製石炭酸ハ多少帶赤褐色ヲ有スル透明ノ液ニシテ焦臭ヲ有シ水ニ溶解スルコト不充分ナレトモ酒精及依的兒ニ溶ケ易ク那葛倫油液ニハ殆ト全ク溶解ス

本品ノ水溶液ハ過格魯兒化鐵ニ由テ紫藍色ヲ呈シ格羅謨水ヲ加フレハ乳狀ニ濁濁スヘシ
注意シテ貯フヘシ

格羅謨酸 *Acidum chromicum.*

格羅謨酸ハ大氣ニ觸レテ潮解スル猩紅色ノ結晶或ハ鮮紅色懸疎ナル絨毛樣ノ塊ニシテ水ニ溶解シ易ク之ヲ熱スレハ熔融シテ暗褐色ノ液ト爲リ酒精其他酸化シ易キ物質ニ混和シ或ハ熱ヲ加フレハ爆發シ又ハ火ヲ發スルコトアルヘシ

壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ

枸橼酸 *Acidum citricum.*

枸橼酸ハ透映無色ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セヌ熱スレハ熔融シ炭化シ終ニ固性物ヲ殘留セシメテ燃化シ〇・六分ノ水一分ノ酒精及大約五十分ノ依的兒ニ溶解ス其水溶液ニ石灰液ヲ過飽スルモ濁濁セズ但シ之ヲ煮沸スレハ白澱ヲ生ズレトモ冷後殆ト全ク消失スヘシ又其水溶液(1:10)ニ硫酸加爾斐酸溶液ヲ加フルモ透明ヲ失セヌ硝酸拔價酸又蔘酸安母紐酸ニ由テ濁濁セズ或ハ僅微ノ蛋白石濁ヲ生ズルニ過ク可カラヌ

本品ノ濃厚水溶液ニ安母尼亞ヲ加ヘテ大抵中和シタルモノニ硫化水素水ヲ注クモ變化ス可カラヌ又本品ノ酒精溶液(1:3)ニ同容量ノ醋酸加價酸溶液ヲ和スルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ス可カラヌ又本品一瓦爾酸ヲ硫酸十五瓦爾酸ニ和シ沸騰重湯煎上ニ一時間之ヲ熱スルモ赤褐色ヲ呈ス可カラヌ
本品一・四瓦爾酸ハ定規亞爾加里液二十立方センチメートルヲ中和スヘシ

○鹽酸 *Acidum hydrochloricum. Acidum muraticum.*

鹽酸ハ透明無色ノ液ニシテ氣中ニ於テ白霧ヲ放テ熱ニ逢フテ全ク揮散ス異重ハ一・一五ナリ水五分ヲ以テ之ヲ稀釋シ硫化水素ヲ以テ飽和スルモ變化セヌ硝酸拔價酸ヲ加ヘテ五分時ヲ經ルモ濁濁セズ又沃度化亞鉛澱粉溶液ニ因テ藍色ヲ呈ス可カラヌ但シ硝酸銀ヲ加フレハ安母尼亞ニ全溶スヘシ

キ白色乾酪様ノ沈澱ヲ生スヘシ又安母尼亞ヲ以テ過飽スルモ沈澱ヲ生セズ或ハ染色ス可カラズ且此液ニ硫化安母紐膜ヲ加フルモ微ニ綠色ヲ呈スルニ過ク可カラズ
 本品ニ澄明ノ濃厚格魯兒化錫鹽酸溶液ニ容量ヲ和シ少時微熱ヲ與ヘ久シク放置スルモ沈澱ヲ生セズ或ハ類赤色ヲ呈ス可カラズ
 本品三・六五瓦爾漢ハ定規亞爾加里液二十立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中二十分ノ無水鹽酸ニ符合スルモノトス
 燻中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ

粗製鹽酸 *Acidum hydrochloricum crudum. Acidum muriaticum Crudum.*

粗製鹽酸ハ大氣ニ觸レテ烟霧ヲ發スル澄明ノ液ニシテ多クハ類黃色ヲ有シ異重ハ一・一六乃至一・一七ナリ其百分中三十二乃至三十四分ノ無水鹽酸ヲ含有ス

本品ニハ硫酸亞硫酸鹽土格魯兒沃度鐵及砒素ノ痕跡ヲ混有スルヲ常トス
 注意シテ貯フヘシ

稀鹽酸 *Acidum hydrochloricum dilutum. Acidum muriaticum dilutum.*

稀鹽酸ハ

鹽酸

蒸餾水

一分
二分

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ異重ハ一・〇五ナリ其試驗藥ニ對スル反應ハ鹽酸ノ條ニ掲ケル所ニ同シ
 本品三・六五瓦爾漢ハ定規亞爾加里液十立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中十分ノ無水鹽酸ヲ微メタルモノトス

○硝酸 *Acidum nitricum.*

硝酸ハ澄明無色ノ液ニシテ重湯煎上ニ熱スレハ全ク揮散ス異重ハ一・三一七ナリ
 本品ニ水四分ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸銀又硫化水素水ニ因テ變化セズ硝酸拔留膜ヲ加ヘテ

五分時ヲ經ルモ微ニ蛋白質濁ヲ起スニ過ク可カラス又少量ノ硝酸仿膜ニ和シテ振盪スルモ之ヲ紫藍色ニ染ム可カラズ豫シメ錫屑少許ヲ加ヘテ微熱ヲ與ヘタルトキモ亦然リ又安母尼亞ヲ以テ過飽スルモ變化セズ之ニ硫化安母紐膜ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可カラズ

本品六・三瓦爾漢ハ定規亞爾加里液五十立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中五十分ノ純硝酸(HNO₃)ヲ微メタルモノトス

燻中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ

稀硝酸 *Acidum nitricum dilutum.*

稀硝酸ハ

硝酸

蒸餾水

一分
四分

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ異重ハ一・〇五九ナリ其試驗藥ニ對スル反應ハ硝酸ノ條ニ掲ケル所ニ同シ

本品六・三瓦爾漢ハ定規亞爾加里液十立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中十分ノ純硝酸(HNO₃)ヲ微メタルモノトス

發烟硝酸 *Acidum nitricum fumans.*

發烟硝酸ハ澄明類赤色ノ液ニシテ大氣ニ觸ルヘハ窒息スヘキ赤色ノ蒸氣ヲ放ツ異重ハ大約一・五ナリ

本品ニ水大約百分ヲ和シ稀釋セルモノニ硝酸銀又硝酸拔留膜ヲ加ヘ一二分時ヲ經ルモ僅微ノ個濁ヲ生メルニ過ク可カラズ

燻中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

磷酸 *Acidum phosphoricum.*

磷酸ハ澄明無色無臭ノ液ニシテ異重ハ一・一二ナリ是レ百分中二十分ノ純磷酸(H₃PO₄)ヲ微メタルモノトス

本品ハ炭酸那篤留膜ヲ以テ殆ト中和スルモ證明ヲ失セズ之ニ硝酸銀ヲ加フルハ硝酸并ニ安母尼亞ニ全溶スヘキ黃色ノ沈澱ヲ生スヘシ又硫化水素ヲ以テ飽和シ密閉シテ二十四時間放置スルモ類黃色或ハ佗色ヲ有スル沈澱ヲ生ス可カラヌ又同容量ノ硫酸ヲ混和シ冷後注意シテ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其境界ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラヌ又硝酸銀ヲ加フルモ濁濁ヲ起ス可カラヌ之ヲ熱スル時モ亦然リ又三倍容量ノ水ヲ以テ稀釋シ之ニ硝酸拔留膜ヲ加フルモ直チニ濁濁ス可カラヌ又四倍容量ノ酒精ヲ混和スルモ證明ヲ失ス可カラヌ

○撒里矢爾酸 *Acidum salicylicum.*

撒里矢爾酸ハ白色鐵狀ノ結晶或ハ蠟狀ノ結晶粉ヲ爲シ其味甘酸ニシテ稍苛辣ナリ大約百六十度ノ熱ニ達フテ熔融シ白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ殘留セシメテ揮散スヘシ

本品ハ冷水ニ溶ケ難ク(1:5)熱湯、酒精或ハ依的兒ニ溶解シ易シ其水溶液ハ酸性ノ反應ヲ微シ過格魯兒化鐵ニ由テ紫藍色ヲ呈スヘシ其純亞爾爾保爾飽和溶液ヲ自然ニ蒸散セシムレハ白色尖銳ノ結晶塊ヲ殘留スヘシ

本品ヲ酒精大約十分ニ溶解シ少量ノ硝酸ヲ和シテ後一二滴ノ硝酸銀溶液ヲ加フルモ濁濁ヲ起ス可カラヌ又本品ハ全ク或ハ殆ト染色セシメテ硫酸ニ溶解スヘシ

○硫酸 *Acidum sulphuricum.*

硫酸ハ無色無臭澄明油稠ノ液ニシテ白金板上ニ熱スレハ全ク揮散シ強キ酸性ノ反應ヲ微ス異重ハ大約一・八三八ナリ

本品ニ三倍容量ノ酒精ヲ和シテ久シキヲ經ルモ濁濁ス可カラヌ又證明ノ硫酸鐵飽和溶液大約同容量ヲ加ヘ注意シテ二液層ト爲スニ其境界ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラヌ又大約五分ノ水ヲ以テ稀釋セラルモノハ澄明ヲ失セシメ硝酸銀又硫化水素ニ因テ變化ス可カラヌ安母尼亞ヲ以テ過飽セル後硫化安母紐膜ヲ加フルモ亦然リ又此稀薄酸二十五立方センチメートルニ同容量ノ水ヲ和シ一立方センチメートルノ過飽飽酸加留膜溶液ヲ和セルモ直チニ之ヲ脫色ス可カラヌ又其十立方センチメートル

トルニ純亞鉛ヲ加ヘテ發生スル瓦斯ハ硝酸銀溶液(1:5)ニ浸シタル紙片ヲ類褐色乃至黑色ニ變ス可カラヌ

本品二・四五瓦爾膜ハ少ナクモ定規亞爾加里液四十七立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中純硫酸(H₂SO₄)ノ最少含量九十四分ヲ微スルモノトス

塔中ニ容レ硝子粒ヲ以テ密閉シ注意シテ貯ンヘシ

粗製硫酸 *Acidum sulphuricum erudum.*

粗製硫酸ハ無色或ハ類褐色澄明油稠ノ液ニシテ異重ハ少ナクモ一・八三ナルヘシ是レ百分中純硫酸(H₂SO₄)ノ最少含量九十一分ヲ微スルモノトス

塔中ニ容レ硝子粒ヲ以テ密閉シ注意シテ貯ンヘシ

稀硫酸 *Acidum sulphuricum dilutum.*

稀硫酸ハ

一分

硫酸

五分

蒸餾水

ヲ取リ絶ニス蒸餾水ヲ攪拌シ注意シテ徐々ニ硫酸ヲ注加レ製スヘシ
本品ハ異重一・一一〇乃至一・一一四ニシテ其試驗藥ニ對スル反應ハ硫酸ノ條ニ掲グルル所ニ同シ
本品四・九瓦爾膜ハ定規亞爾加里液十五・六乃至十六立方センチメートルヲ中和スヘシ是レ百分中大約十六分ノ純硫酸(H₂SO₄)ヲ微スルモノトス

亞硫酸 *Acidum sulphurosum.*

亞硫酸ハ澄明無色ノ液ニシテ燃燒スル硫酸ノ劇臭ヲ有シ熱スレハ全ク揮散ス異重ハ大約一・〇二三ナリ本品ハ藍色刺屈膜紙ヲ紅變シテ後之ヲ脫色ス又之ニ少量ノ硝酸拔留膜ヲ加フルモ濁濁ヲ起サヌ或ハ之アルモ僅微ニ止マルヘシ

本品三瓦爾膜ニ水五十立方センチメートルヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ十分定規沃度液三十三立方センチメートルヲ脫色スヘシ是レ百分中重酸化硫酸(SO₂)ノ最少含量二・五分ヲ微スルモノトス

塩中ニ全滿シ善ク橙蓋シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

○鞣酸 *Acidum tannicum.*

鞣酸ハ帶黃白色ノ粉末或ハ閃輝アル薄キ鱗屑片ニシテ酸性ノ反應ヲ微シ其味太々澁シ本品ハ酒精ニ全ク溶解シ依的兒嘔吐防誤偏蘇爾ニ溶解セス五分ノ温湯ニ溶解スレハ全ク或ハ殆ト透明ノ溶液ト爲リ冷後毫モ樹脂様ノ物質ヲ析出ス可カラヌ此溶液ニ膠質或ハ蛋白質ノ溶液ヲ加フレハ膠レク白色絮狀ノ沈澱ヲ生シ過極魯兒化鐵ヲ和スレハ藍黑色ノ沈澱ヲ生スヘシ本品ヲ稀酒精五分ニ溶解セルモノハ透明殆ト無色ニシテ二倍容量ノ依的兒ヲ和スルモ潤潤ス可カラヌ又本品ヲ白金板上ニ熱灼スルモ固性物ヲ殘留ス可カラヌ或ハ之アルモ痕跡ニ止マルヘシ

○酒石酸 *Acidum tartaricum.*

酒石酸ハ多クハ層片狀ニ集合シ大氣中ニ變化セサル無臭無色柱狀ノ結晶或ハ白色ノ結晶粉ニシテ等分ノ冷水及三分ノ酒精ニ全溶シ依的兒嘔吐防誤及偏蘇爾ニハ殆ト溶解セス白金板上ニ熱灼スレハ炭化シ燃燒スル砂糖ニ類スル臭氣ヲ放チ終ニ全ク燃化シテ固性物ヲ殘留ス可カラヌ或ハ之アルモ痕跡ニ止マルヘシ

本品ノ濃厚水溶液ニ安母尼亞ヲ加ヘテ殆ト中和シタルモノニ硫化水素ヲ加フルモ變化ス可カラヌ又本品ノ水溶液(1:10)ハ硫酸加爾更誤硝酸銀硝酸鉍加爾更誤并ニ稀酸安母紐誤ニ因テ潤潤ス可カラヌ醋酸加爾更誤溶液ヲ和スレハ結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ニ瓦爾誤ハ定規亞爾加里液大約二十六・五立方センチメートルヲ中和スヘシ

○豚脂 *Adeps.*

Suis serolis. Lim.

豚脂ハ豚ノ腸網膜及腎臟周圍ノ脂肪組織ヨリ熔出シ水ヲ以テ之ヲ洗ヒ爾後乾燥シテ得タル所ノ脂肪ナリ

本品ハ三十五度乃至四十度ノ温ニ於テ熔融シ全ク無色透明ニシテ敗油性ヲ帶ヒサル液ト爲ルヘシ此溶液ニ温酒精ヲ和シ振盪シ冷後濾過シテ得タル液ニ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ刺屑誤斯紙ヲ變色ス可カラヌ

○依的兒 *Aether.*

依的兒ハ透明無色充分揮發性ノ液ニシテ流動シ易ク全ク中性ノ反應ヲ微シ特異ノ香氣ヲ有ス大約三十五度ノ温ニ於テ沸騰シ酒精水醋酸及脂肪油ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和ス異重ハ〇・七二八ニ超ユ可カラヌ

本品十立方センチメートルヲ皿上ニ取り自然ニ蒸散セルムルモ臭氣ヲ遺ス可カラヌ又本品ニ同容量ノ水ヲ加ヘテ劇シク振盪スルモ水ノ容量ヲ増スコト十分一ニ過ク可カラヌ

標中ニ容レ密栓シ全滿セムニテ冷處ニ貯フヘシ

○蘆薈 *Aloe.*

Aloe. 屬ノ諸種

蘆薈ハ多少暗褐色ヲ有スル塊片ニシテ破碎面ハ貝殼狀ヲ爲シ或ハ曇暗或ハ硝子樣ノ光澤ヲ帶フ味ハ極メテ苦ク特異ノ臭氣ヲ有ス

本品一分ニ沸湯二分ヲ和スレハ殆ト透明ナル溶液トナルヘシ但シ本品大約半量ハ冷後軟樹脂ト爲リテ此液中ヨリ分離スヘシ

本品ノ酒精溶液(1:10)ニ依的兒三分一容量ヲ加フルモ潤潤セス或ハ甚々微微ノ潤潤ヲ起スニ過ク可カラヌ本品ヲ灰化スルモ百分ニ付キ五分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

○蜀葵根 *Althaea.*

Althaea rosea Cav.

蜀葵根ハ帶黃灰色ノ枳層ヲ剝除シタル手指大ノ長根ニシテ外面ハ粉白色ヲ帶ヒ内皮層ハ長纖維性ナリ横断面ノ皮部ハ白色ニシテ稍厚ク木心部ハ放射狀ヲ現ハス味ハ淡泊ニシテ粘滑ナリ

○明礬 *Sulfurum album.*

明礬ハ無臭無臭透映堅硬ナル正鹽八面晶或ハ結晶塊ヲ爲シ其味微甘ニシテ強ク酸性ノ反應ヲ微シ十・五分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ熱スレハ熔融シ次ニ甚シク膨起シ終ニ疎鬆白色ノ塊ヲ殘留ス本品ノ飽和水溶液ハ硫化水素ニ由テ變化セス又一滴ノ黄色血鹽鹽溶液ヲ加フルモ微ニ類藍色ヲ呈スルニ過ク可カラヌ又那篤倫濾液ニ和スレハ凝膠樣ノ白澱ヲ生スレトモ其過剩ヲ加フレハ更ニ全

ク溶解スヘシ此那篤倫瀉液ハ之ヲ熱スルモ安母尼亞ヲ殺メ可カラヌ又少量ノ硫化水素水ヲ加フ
ルモ沈澱ヲ生セサレトモ過剰ノ格魯兒化安母紐膜ヲ和スレハ夥シク白澱ヲ生スヘシ

枯礬

乾燥硫酸亞礬結核加價膜

Alumen exsiccatum, Aluminii et Kali Sulphas exsiccatus.

枯礬ハ細微白色ノ粉末ニシテ水ニハ徐々ナレバ殆ト全ク溶解シ弱クシテ之ヲ熾灼スルニ共重量ヲ減失
スルコト百分ニ付キ十分ニ過ク可カラヌ其水溶液ノ試験藥ニ對スル反應ハ明礬ノ條ニ掲タル所ニ同シ
塩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

安母尼亞屈膜

護膜安母尼亞屈

Ammoniacum.

Dorema Ammoniacum Don, Dorema Ancheri Boiss.

安母尼亞屈膜ハ多少粘着シ或ハ粘着セサル顆粒ヨリ成リ又ハ稍巨大ナル塊片ヲ爲シ帶黄褐色ヲ
有ス其新破碎面ハ曇白色ヲ呈シ寒冷ノ時ハ脆ク熱ニ逢ハハ軟化スレバ溶解シテ澄明トナルコトナレ
臭氣ハ特異ニシテ味ハ苦ク且辛烈ナリ

本品ハ鹽酸ヲ注キ微温ヲ加フルモ赤色乃至紫藍色ヲ呈ス可カラヌ又本品ヲ水ニ研和スレハ白色ノ
乳液ト爲ルヘシ

本品ハ寒冷ノ時粉末ト爲シ篩過シテ不潔物ヲ除去シ冷乾處ニ貯フヘシ此粉末ヲ灰化スルモ百分ニ
付キ六分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

炭酸安母紐膜

Ammonii Carbonas.

炭酸安母紐膜ハ緻密堅硬多ク透映ナル纖維狀ノ結晶塊ニシテ焦性ナラサル強キ安母尼亞臭ヲ有シ
大氣中ニ風化シテ不透映白色ト爲ル五分ノ水ニ溶解シ稀酸類ニハ強ク泡沸シテ溶解ス弱熱ニ逢フ
テ全ク揮散スヘシ

本品ノ水溶液(1:20)ヲ稀硝酸ニテ過飽シメルモニ硝酸抜價膜溶液二三滴又ハ硝酸銀ヲ加フルモ
濁濁ス可カラヌ或ハ二三分時ヲ經ルノ後始メテ蛋白濁ヲ起スニ過ク可カラヌ又稀硫酸ヲ以テ過
飽セル水溶液(1:50)ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラヌ又此液ノ五十立方センチメートルニ一立方

「センチメートル」ノ過飽飽酸加價膜溶液ヲ加フルモ五分時内ニ於テ著シク其紅色ヲ變ス可カラヌ
本品一瓦爾膜ヲ硝酸ニテ過飽シ重湯煎上ニ蒸發スレハ無色ノ殘留物ヲ得ヘシ此殘留物ハ高度ノ熱
ニ逢フテ全ク揮散シ黑色ヲ呈ス可カラヌ

○格魯兒化安母紐膜

硃砂 *Ammonii Chloridum.*

格魯兒化安母紐膜ハ白色中性ノ結晶性粉末ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ熱ニ逢フテ揮散
シ三分ノ冷水及大約等分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ殆ト溶解セズ

本品ノ水溶液ニ硝酸銀ヲ加フルハ安母尼亞ニ溶解スレトモ稀硝酸ニ溶解セサル白色乾酪樣ノ沈澱
ヲ生スヘシ又那篤倫液ヲ和シテ熱スレハ安母尼亞ヲ殺スヘシ

本品ノ水溶液(1:50)ハ硫化水素硝酸抜價膜并ニ稀硫酸ニ由テ變化セズ硫化安母紐膜ニ由テ沈澱ヲ
生ス可カラヌ

本品大約一瓦爾膜ニ少量ノ硝酸ヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發スレハ白色ノ殘留物ヲ得ヘシ此殘留物ハ高
度ノ熱ニ逢フテ全ク揮散シ黑色ヲ呈ス可カラヌ

苦扁桃

Amygdala amara.

Prunus Amygdalus Bast. var. a. amara.

苦扁桃ハ扁平長卵圓形ニシテ長サ大約一二センチメートルノ種子ナリ淺キ縱皺アリテ粉塵ヲ帶ヒ
タル褐色皮膜樣ノ子衣ヲ被リ其味ハ苦シ

本品ハ敗油性ヲ有ス可カラヌ又水ヲ注テ搗碎スレハ揮發苦扁桃油ノ臭氣ヲ有スル白色ノ乳液ト
爲ルヘシ

杏仁(*Prunus Armeniaca Linn.*ノ種子)及桃仁(*Prunus Persica Linn.*ノ種子)ハ本品ニ代用スルヘシ
本品ハ用ニ臨ミテ温湯ニ浸シ子衣ヲ去ルヘシ

甘扁桃

Amygdala dulcis.

Prunus Amygdalus Bast. var. b. dulcis.

甘扁桃ハ其形狀苦扁桃ニ類シ多クシテ種ノ長キ種子ニシテ其味ハ甘ク油樣ナリ
本品ハ敗油性ヲ有ス可カラヌ又水ヲ注テ搗碎スレハ揮發苦扁桃油ノ臭氣ヲ有セサル白色ノ乳液ト
爲ルヘシ

ト爲ルヘシ

本品ハ用ニ臨ニテ温湯ニ浸シ子衣ヲ去ルヘシ

亞硝酸亞密爾 Amyl Nitris.

亞硝酸亞密爾ハ澄明類黃色ノ液ニシテ大約九十八度ノ熱ニ於テ沸騰シ果實様ノ香氣ヲ有シ其味香味料様ニシテ燒クカ如ク中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ徵ス水ニハ殆ト溶解セサレトモ酒精依的兒嘔囉仿謨及偏蘇爾ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解ス異重ハ大約〇・八七三ナリ之ニ點火スレハ光輝強ク且煤烟ヲ發スル黃焰ヲ放テ燃燒ス

本品十立方センチメートルニ水十立方センチメートルニ定規亞爾加里液一立方センチメートルヲ和シ振盪シテ得タル液ハ藍色刺屈蘇斯紙ヲ紅變メ可カラヌ又本品ヲ安母尼亞ト酒精トノ等分ヨリ成レシ混和液ニ三倍容量ニ和シ之ニ少量ノ硝酸銀ヲ加ヘテ微熱ヲ與フルモ褐色或ハ黑色ヲ呈ス可カラヌ本品ニ過剩ノ加里液ヲ和シテ煮沸シ冷後沃度化加價試ヲ加ヘ醋酸ヲ以テ酸性ト爲ストキハ直チニ沃度ヲ析出シテ濁濁ヲ起メヘシ

小壇ニ容レ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

澱粉 Amylum.

(甲) Erythronium dens canis Linn. (山慈姑)

本品ハ純白色無臭無味細微ノ粉末ニシテ顯微鏡下ニ檢視スレハ多少扁平ナル卵圓形ノ單一顆粒ヲ爲シ其狹端ニ近キ處ニ核點ヲ有シ同心性ノ層ヲ現ハス

(乙) Pueraria Thunbergiana Benth. (葛)

本品ハ白色細小不整ノ塊片ニシテ之ヲ粉碎スレハ純白色無臭無味ノ粉末トナル顯微鏡下ニ檢視スレハ圓形ノ集合顆粒ヲ爲シ同心性ノ層ヲ現ハス間ニ分離シテ單一ノ顆粒ヲ爲スモノアリ澱粉ハ冷水及酒精ニ溶解ス可カラヌ百分ノ水ニ攪和シ煮沸シテ放冷スルトキハ微ニ濁濁シ異臭異味ヲ有セサル稀薄ノ粘漿ト爲ルヘシ此粘漿ハ刺屈蘇斯紙ヲ變色ス可カラヌ又沃度溶液ヲ加フレハ暗藍色ヲ呈スヘシ

本品ヲ灰化メルモ百分ニ付キ一分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

砒石解毒劑 Antidotum Arseni.

過硫酸鐵液

冷水

ヲ取り混和シテ後豫メ

冷水

ト親密ニ研和セル

酸化麻痺涅更謨

ヲ加ヘ全質均同ナル糜粥ト爲ルニ至ル迄注意シテ振盪シ製スヘシ

本品ハ用ニ臨テ製スヘシ

臨時本品ヲ製シ得ルカ爲メ常ニ過硫酸鐵液大約五百瓦蘭謨及酸化麻痺涅更謨自五十瓦蘭謨ヲ貯フルヲ要ス

鹽酸亞刺莫兒比涅 Apomorphini Hydrochloras.

鹽酸亞刺莫兒比涅ハ白色或ハ灰白色乾燥結晶性ノ粉末ニシテ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ徵シ濕潤セル大氣又ハ光ニ觸ルレハ速ニ綠色ヲ呈ス水ニ全溶シテ無色或ハ微綠色ノ液ヲ爲シ嘔囉仿謨ニ溶解セシ過剩ノ那篤倫液ニ溶解スレハ大氣ニ觸レテ速ニ紫紅色ヲ呈シ終ニ黑色ニ變スル所ノ液ヲ爲ス本品ノ水溶液(1:10)ハ美綠色ヲ呈ヌ可カラヌ硝酸銀ヲ和スレハ硝酸ニ溶解セサル白晝ヲ生シ之ヲ安母尼亞ニテ過飽スレハ黑色ト爲ルヘシ又本品ノ水溶液(1:10)ニ重炭酸那篤倫謨ヲ加フレハ白色無晶形ノ沈澱ヲ生ヌヘシ此沈澱ハ大氣中ニ於テ速ニ綠色ト爲リ依的兒嘔囉仿謨ニ和シテ振盪スレハ紫色ヲ呈シ嘔囉仿謨ニ和シテ振盪スレハ紫藍色乃至藍色ヲ呈シテ全溶スヘシ

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

〇常水 Aqua.

常水ハ最モ清潔ナル天然水ニシテ澄明中性臭氣ナク味清冽ニシテ異味ヲ帶フ可カラス共一ガ分ヲ蒸發シテ燥灼スルモ三分已上ノ殘滓ヲ留ム可カラス又硫化水素硫化安母紐誤「チツスレ」氏試薬ニ由テ變化ス可カラス又其百五十立方「センチメートル」ニ稀硫酸十立方「センチメートル」ヲ加ヘテ酸性ト爲シ煮沸シ之ニ過滿飽酸加個體溶液一立方「センチメートル」ヲ加フルモ五分時内ニ於テ全ク其色ヲ脱ス可カラス

○安母尼亞水 確砂精 *Agua Ammoniac. Liquor Ammonia caustici.*

安母尼亞水ハ無色澄明ノ液ニシテ刺ヌカ如キ特異ノ臭氣ヲ有シ強キ亞爾加里性ノ反應ヲ微ス重湯煎ノ温ニ由テ全ク揮散スヘシ異重ハ〇・九六〇ナリ
本品ハ四倍容量ノ石灰液ニ混和スルモ微微ノ溷濁ヲ起スニ過キス稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ毫モ焦臭ヲ放メス之ニ硫化水素ヲ加フルモ變化ス可カラス本品ハ硫化安母紐誤並ニ蔞酸安母紐誤ニ由テ變化ス可カラス稀硝酸ヲ以テ過飽セルモノハ硝酸拔個體並ニ硝酸銀ニ由テ溷濁セヌ又蒸發スレハ無色ノ殘留物ヲ得ヘシ此殘留物ハ高度ノ熱ニ逢フテ全ク揮散シ黑色ヲ呈ス可カラス
本品三・四瓦爾誤ハ定規溶液二十立方「センチメートル」ヲ中和スヘシ是レ百分中十分ノ安母尼亞(NH₃)ヲ微メルモノトス
燻中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ冷處ニ貯フヘシ

強安母尼亞水 *Agua Ammoniac fortior.*

強安母尼亞水ハ無色澄明ノ液ニシテ刺ヌカ如キ劇臭ヲ有シ強キ亞爾加里性ノ反應ヲ微ス重湯煎上ニ熱スレハ全ク揮散スヘシ異重ハ大約〇・九〇三ナリ其試驗藥ニ對スル反應ハ安母尼亞水ノ條ニ揭クル所ニ同シ

本品三乃至三・二瓦爾誤ハ定規酸液五十立方「センチメートル」ヲ中和スヘシ是レ百分中大約二十八分ノ安母尼亞(NH₃)ヲ微メルモノトス

燻中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

○苦扁桃水 *Agua Amygdalae amarae.*

苦扁桃水ハ
ヲ取り搗碎シ熱ヲ加ヘシテ壓搾シ成ルヘク充分ニ脂肪油ヲ除キ細末ト爲シ潤大ナル蒸餾器ニ容レ
ヲ泥和シ更ニ
常水
一分
酒糟
一分
蒸餾水
五分
ノ混液ヲ加ヘテ其千分中藏化水素一分ヲ含ムノ度ト爲ルニ至ル迄稀釋シ製スヘシ
本品二十四・五瓦爾誤(即チ二十五立方「センチメートル」ニ水五十立方「センチメートル」ヲ加ヘテ稀釋シ之ニ糜爛狀ノ抱水酸化蔞個體厚膜ヲ和シテ其液ノ不透明ト爲ルニ至リ五乃至十滴ノ格羅誤酸加個體溶液ヲ加ヘ十分定規硝酸銀液ヲ滴加シ之ヲ振盪スルニ毎次現出セシ所ノ赤色復々消失セサルニ至ルヘシ茲ニ費シタル銀液立方「センチメートル」ノ數ニ〇・一一ヲ乘スレハ則チ苦扁桃水一千分中ニ含有スル藏化水素ノ量ヲ知ルヘシ
本品ハ澄明或ハ殆ト澄明ニシテ著シク揮發苦扁桃油ノ臭氣ヲ有スヘシ硝酸銀ヲ加ヘ振盪シテ藏化水素ヲ結合シタル後ト雖モ亦然リ
「マンチ」樹 *Prunus macrophylla Sieb. et Zucc.* ノ葉ヨリ製出セル餾水モ亦其性狀并ニ藏化水素及酒精ノ含量上文ニ記スル所ニ適スルトキハ之ニ代用スルヲ得ヘシ
本品ハ老利兒兒兒斯水ニ代用スヘシ
注意シテ貯フヘシ

○橙花水 *Agua Aurantii Florum.*

本品ハ老利兒兒兒斯水ニ代用スヘシ

橙花水ハ

新鮮ノ橙花

二分

ヲ取り混和シ五分ヲ蒸餾シ製スヘシ
壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯メヘシ

石炭酸水 *Agua carbolisata.*

石炭酸

四分

ヲ取り

ニ溶解シ製スヘシ

九十六分

格魯兒水 *Agua Chlori. Aqua chlorata.*

格魯兒水ハ透明帶綠黃色ノ液ニシテ重湯煎上ニ熱メレハ全ク揮散シ窒息スヘキ臭氣ヲ放チ直チニ藍色刺屈膜紙ヲ脱色スヘシ過剰ノ水銀ト共ニ振盪シテ格魯兒臭ノ消失スルニ至リ濾過シテ得タル液二十立方センチメートルニ定規亞爾加里液一立方センチメートルヲ加フルノ後酸性ノ反應ヲ微メ可カラズ

本品ノ三十五・四瓦爾膜ヲ沃度化加留膜ニ瓦爾膜ノ水溶液ニ注加シテ遊離セル沃度ヲ脱色スルニハ十分定規次亞硫酸那篤留膜液少ナクモ四十立方センチメートルヲ費スヘシ是レ百分中格魯兒ノ最少含量〇・四分ヲ微メルモノトス

小壺ニ全滿シ硝子栓ヲ以テ密閉シ光ヲ遮リ貯メヘシ

桂皮水 *Agua Cinnamomi.*

桂皮水ハ

二分

桂皮油

熱蒸餾水

千分

ヲ取り混和シ強ク振盪シ冷後豫メ水ヲ以テ濡ホシタル濾紙ヲ用井テ濾過シ製スヘシ

〇蒸餾水 *Agua destillata.*

蒸餾水ハ適當ノ蒸餾法ニ由テ常水ヨリ餽取セル透明中性ノ液ニシテ之ヲ蒸發スルモ殘留物ヲ見ス石灰水ニ容量ニ和メルモ潤濁セメ又昇汞硝酸銀硝酸拔留膜并ニ萘酸安母紐膜ニ由テ潤濁ス可カラズ

茴香水 *Agua Foeniculi.*

茴香水ハ

二分

熱蒸餾水

千分

ヲ取り混和シ強ク振盪シ冷後豫メ水ヲ以テ濡ホシタル濾紙ヲ用井テ濾過シ製スヘシ

薄荷水 *Agua Menthae.*

薄荷水ハ

二分

薄荷油

千分

ヲ取り混和シ強ク振盪シ冷後豫メ水ヲ以テ濡ホシタル濾紙ヲ用井テ濾過シ製スヘシ

硝酸銀加硝石 *Argentii et Kalii Nitras.*

硝酸銀加硝石ハ

一分

硝酸銀

硝酸加留膜

ヲ取り混和シ注意シテ熔融シ其溶化物ヲ槌子形ニ鑄成シ製スヘシ
本品ハ白色或ハ帶灰白色堅硬ノ小槌子ニシテ其破折面ハ顆粒狀結晶性ヲ現ハス
本品一瓦爾膜ヲ水十立方センチメートルニ溶解シ之ニ十分定規格魯兒化那篤留膜液三十立方センチ

ンチメートルニ及格羅試酸加仰試液五乃至十滴ヲ和シ更ニ此液ニ十分定規硝酸銀液ヲ加フルニ由テ生ズル赤色ノ復タ消失セサルニ至ルニハ其硝酸銀液ヲ費スコト一立方センチメートルニ過ク可カラズ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

硝酸銀 *Argentum Nitras.*

硝酸銀ハ無色板狀中性ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セス水〇六分、酒精及依的兒ニ溶解シ又安母尼亞水ニ溶解シテ澄明無色ノ液ヲ爲メヘシ

本品ノ水溶液ニ稀鹽酸ヲ加ヘ盡ク銀分ヲ沈降シテ濾過スレハ無色ノ濾液ヲ得ヘシ其濾液ヲ蒸發スルモ殘留物ヲ見ル可カラズ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

○熔製硝酸銀

Argentum Nitras fusus, Tapis infernalis.

熔製硝酸銀ハ白色或ハ帶灰白色ノ小槌子ニシテ其破折面ハ放線狀ノ結晶紋理ヲ現ハシ之ヲ熱スレハ熔融ス其他試驗藥ニ對スル反應ハ硝酸銀ノ條ニ掲グル所ニ同シ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

亞兒尼加花

Arnicae Flores.

Arnica montana Lam.

亞兒尼加花ハ毛茸アルニ重總萼及高ク隆起シテ小窩アル花牀ヲ具ヘ赤黃色ノ花ヲ有スル花頭ナリ其放線花ハ其數大約二十ニテ舌狀ヲ爲シ末端裂テ三齒ト爲リ廣サ六ミリメートル長サ三十七ミリメートルニ過キメ七乃至十條ノ脈理ヲ有メ其扁板花ハ管狀ニシテ兩性ナリ果實ハ硬毛ヲ帶ヒ大抵五稜ヲ有シ長サ八ミリメートル許ノ尖銳硬勁ナル毛茸ヨリ成レル毛冠ヲ戴ク

本品ハ總萼及花牀ヲ除去シ用ツヘシ

本品ノ香味ハ弱芳香味ニシテ微苦ナリ

亞兒尼加根

Arnicae Radix.

Arnica montana Lam.

亞兒尼加根ハ太サ大約二乃至五センチメートルノ褐色ナル根莖ニシテ輪節ヲ有シ鱗片及莖幹ノ殘餘ヲ存シ其一邊ニ於テ多數ノ副根ヲ具フ根莖ノ橫斷面ニハ類白色厚大ノ髓質ヲ現ハシ其髓質ハ分在セル類黃色楔狀ノ木纖維束ニ因テ包圍セラレ新生組織輪ヲ以テ外皮ト分界ス外皮ニハ新生組織輪ニ接シテ拔爾撒謨管ノ環輪アリ副根ハ稍長ク太サ大約一センチメートルニシテ中心ニ木質ノ圓環ヲ有シ其圓環ハ拔爾撒謨管ノ環輪及褐色ノ胞層ヲ有スル厚キ外皮ニ因テ包圍セラル

本品ノ香氣ハ弱芳香味ニシテ味ハ苦ク稍辛烈ナリ

沃度化砒素

Arseni Iodidum.

沃度化砒素ハ帶褐橙赤色結晶性ノ塊片或ハ光澤アル小葉狀結晶ニシテ中性ノ反應ヲ微シ沃度線ノ臭氣ヲ有シ熱ニ逢ハハ全ク揮散シ水及酒精ニハ容易ク溶解シ依的兒及硫化炭素ニ全溶ス

本品ノ水溶液ハ黃色ヲ呈シ硫化水素ヲ和スレハ枸橼黃色ノ沈澱ヲ生スヘシ

燥中ニ容シ密栓シ光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

阿魏

Asa foetida.

Ferula Seorolosma Bernh. et Hook. Ferula Narkex Boiss. 及其他 Ferula 屬ノ樹脂

阿魏ハ多少粘着シ或ハ粘着セズ或ハ暗色ノ物質中ニ包藏セル顆粒ヨリ成レル澱糊樹脂ニシテ蒜樣ノ臭味ヲ有シ其新破折面ハ類白色ニシテ外面ハ類褐色ナリ

本品ニ水ヲ加ヘテ研磨スレハ白色ノ乳樣液ト爲ルヘシ又之ヲ灰化スルモ百分ニ付キ十分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラズ

本品ハ寒冷ノ時粉末ト爲シ篩過シテ不潔物ヲ除去シ冷乾處ニ貯フヘシ

○硫酸亞篤魯必涅

Atropini Sulphas.

硫酸亞篤魯必涅ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ等分ノ水及六分ノ酒精ニ溶解シテ中性ノ溶液ヲ爲シ白金板上ニ熱スレハ熔融シ白色ノ蒸氣ヲ放チ終ニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液(1:250)ハ格魯兒化白金、重炭酸那篤留誤、安母尼亞又硝酸銀ニ由テ濁濁ス可カラヌ又硝酸波爾撒ヲ和スレハ稀鹽酸ニ溶解セサル沈澱ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液ニ格魯兒化金ヲ加ヘテ生スル所ノ沈澱ヲ取リ鹽酸ヲ以テ酸性ト爲シタル沸湯ニ之ヲ溶解シ再ヒ結晶セシムルハ黃金線ノ色澤ヲ有セサル小葉狀結晶ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液(1:1000)ハ味苦辣ニシテ苦ク唾孔ヲ散大スルノ効力アルヘシ

本品ハ硫酸ニ溶解シテ染色セズ之ニ少量ノ硝酸ヲ加フルモ亦然リ本品大約〇・〇〇一瓦爾誤ヲ小硝子管中ニ熱シテ白霧ヲ起スニ至リ硫酸大約一立方センチメートルヲ和シ褐色ヲ呈スルニ至ル迄之ヲ熱シ一頓ニ水大約二立方センチメートルヲ加フレハ佳快特異ノ香氣ヲ放チ次ニ過滿飽酸加留誤ノ小結晶一片ヲ加フレハ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ發スヘシ

橙皮 *Aurantii Cortex.*

Citrus bigaradia Dulcam.

橙皮ハ熟橙ノ外皮ヲ乾シタルモノニシテ外面ハ類褐色多腺性内面ハ白色海綿樣ナリ味ハ芳香性ニシテ苦シ

本品ハ成ルヘク内面ノ白色海綿樣部ヲ除去シテ用ウヘシ

橙花 *Aurantii Flores.*

Citrus 屬ノ諸種

橙花ハ未メ開放セズ或ハ始メテ開放セル新鮮ノ花ニシテ大約長サ十五ミリメートル廣サ五ミリメートル種々種々佳快ナル酸烈ノ香氣ヲ有シ等ハ細小ニシテ五個ニ齒裂シ花瓣ハ白色長形稍肥厚ニシテ五片ヨリ成リ腺點ヲ帶フ雄蕊ハ多數ニシテ大抵三束ニ癒著シ雌蕊ハ單一ナリ

骨湃波拔爾撒謨 *Balsamina Copaiyae.*

Copaifera officinalis Linn. 及其他Copaifera 屬ノ諸種

骨湃波拔爾撒謨ハ帶褐色澄明ノ拔兒撒謨ニシテ脂肪油ノ稠度及特異芳香性ノ香氣ヲ有シ或ハ微ニ螢石彩ヲ現ハヌモノアリ味ハ微苦ニシテ久シク辛烈ヲ遺ス異重ハ〇・九五〇乃至〇・九九〇ナリ

本品ヲ蒸發スルモ著シク列並底ノ臭氣ヲ放ツ可カラヌ終ニハ冷後脆クシテ粉碎シ易キ樹脂ヲ遺スヘシ又本品ハ隨意ノ比例ニ於テ純亞爾撒爾保爾ニ證明ニ混和スヘシ

本品一容量ニ石油依的兒四容量ヲ混和シタル液ハ久シキヲ經ルモ澄明ヲ失セス或ハ微ニ絮狀ノ濁ヲ生スルニ過ク可カラヌ

本品一滴ヲ硫化炭素二十滴ニ溶解シ之ニ硝酸硫酸等分ノ冷混和液一滴ヲ和シテ振盪スルモ類紫藍色ヲ呈ス可カラヌ

佩兒雲拔爾撒謨 *Balsamina Difteroearpi.*

Difteroearpus 屬ノ諸種

佩兒雲拔爾撒謨ハ稍稠厚ナル澄明ノ拔兒撒謨ニシテ類綠色ノ螢石彩ヲ現ハシ透射ノ光ニ於テハ帶赤暗褐色ヲ呈シ落射ノ光ニ於テハ類綠色ヲ呈シテ透明ナラス其香味ハ弱芳香性ニシテ苦ク辛烈ナラス

本品ヲ蒸發スルモ著シク列並底ノ臭氣ヲ放ツ可カラヌ終ニハ冷後脆クシテ粉碎シ易キ樹脂ヲ遺スヘシ

百露拔爾撒謨 *Balsamina peruvianum.*

Tolifera Peruviae Baill.

百露拔爾撒謨ハ黑褐色舍利別稠ノ拔爾撒謨ニシテ其層薄ケレハ赤褐色透明ナリ香氣ハ佳快芳香性ニシテ味ハ稍苦ク後時辣ナリ異重ハ一・二三五ヨリ一・一五〇ニ至ル

本品ニ等分ノ酒精ヲ加フレハ澄明ニ混和スヘシ又水ニ和シテ蒸餾スレハ揮發油ヲ析出セサル餾液ヲ得ヘシ

本品大約一瓦爾誤ヲ石油依的兒大約五瓦爾誤ニ和シテ強ク振盪スレハ其多分ハ溶解セス少時之ヲ靜置スルノ後石油依的兒層ハ微ニ類黃色ヲ呈スルニ止マルヘシ此石油依的兒ヲ小瓷皿ニ瀉取シ自然ニ蒸散セシムレハ酒精ニ溶解シ易ク佳快ノ香氣アル類黃色稀薄ノ油狀物ヲ殘留シ之ニ微温ヲ與フルモ的列並底、流動融合骨湃波拔爾撒謨或ハ佩兒雲拔爾撒謨ノ臭氣ヲ放ツ可カラヌ

本品十滴ニ硫酸二十滴ヲ加ヘテ研和メレハ粘稠ナル櫻子赤色ノ混和物ヲ生シ水ヲ以テ之ヲ洗ヘハ可塑性ノ物質ヲ殘留スヘシ此物質ハ依的兒ニ溶解シ寒冷ナレハ破碎シ易シ

本品三分ニ硫化炭素一分ヲ加フレハ潤滑セメシテ混和シ更ニ硫化炭素大約八分ヲ加フレハ褐色樹脂樣ノ塊ヲ分離スヘシ其液分ヲ瀉取メレハ澄明ニシテ微ニ淡褐色ヲ呈スルニ止マリ螢石彩ヲ現ハスヨアルモ僅微ニ過ク可カラズ

篤留拔爾撒謨

Balsamum toluianum.
Tolifiera Balsamum Tinn.

篤留拔爾撒謨ハ破碎シ易ク多少堅硬ナル乾塊ニシテ帶褐色ヲ有シ香氣ハ極メテ佳快ニシテ味ハ緩和芳香性ナリ

本品ニ酒精ヲ和スレハ澄明ノ液ト爲リ水ヲ以テ之ヲ稀釋スレハ酸性ノ反應ヲ微スヘシ

本品ニ溫硫化炭素ヲ注クモ殆ト全ク溶解セズ此液ヲ蒸發スレハ酸性ヲ有スル僅微ノ殘滓ヲ遺シ其殘滓中ニハ毫モ樹脂ヲ抽出メ可カラズ

別刺敦那葉

Belladonna.

Atropa Belladonna Tinn.

別刺敦那葉ハ卵圓形ニシテ長サ二センチメートル廣サ一センチメートルニ過キサル薄キ葉ナリ上端ハ尖銳ニシテ邊緣ハ缺裂セメ下部ハ漸ク狭クシテ葉柄ニ移ル毫モ毛茸ヲ帶ヒス或ハ背面ニ於テ僅ニ腺性ノ毛茸アリ其兩面共ニ白點ヲ有シ表面ハ帶褐色ニシテ背面ハ帶綠灰色ナリ本品ハ乾燥ノ後殆ト消散スル微弱ノ麻酔臭ヲ帶ヒ嫌フハ苦味アリ

本品ハ開花ノ後直チニ採集シ速ニ乾燥スヘシ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ但シ一年已上ニ過ク可カラズ

石油偏陣

Benzinum Petrolei.

石油偏陣ハ石油中ノ一成分ニシテ螢石彩ヲ現ハサメ色ナク蒸餾スレハ五十五度乃至七十五度ノ溫ニ於テ殆ト全ク溜出シ異重ハ〇・六四ヨリ〇・六七ニ至リ容易ク點火シ不快ナラツル特異ノ劇臭ヲ有シ中性ノ反應ヲ微メ水ニ溶解セメ六分ノ酒精ニ溶解シ時時仿謨偏蘇爾及硫化炭素ニハ隨意ノ

比例ヲ以テ混和ス

本品ニ少量ノ安母尼亞性硝酸銀液ヲ和シ之ニ酒精少許ヲ加ヘテ熱スルモ褐色ヲ呈ス可カラズ

硫酸一分發烟硝酸四分ヲ混和シ冷後之ヲ本品二分ニ和シテ振盪スルモ染色セズ又揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ放ツ可カラズ

坩中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

安息香

Benzoi.

Syrax Benzoin Dryander.

安息香ハ一ハ淡褐色或ハ帶赤黄色蠟樣ノ光澤ヲ有シ相粘着セル顆粒ニシテ其破碎面ハ乳白色ヲ呈ス一ハ黄色乃至帶赤褐色ノ塊片ニシテ淡色ノ顆粒ヲ孕包シ間々多數ノ空隙ヲ有ス其香氣ハ共ニ佳快ナリ

本品一分ヲ酒精大約五分ニ和シテ熱スレハ殆ト全ク溶解スヘシ水ヲ以テ此溶液ヲ稀釋スレハ酸性ヲ有スル乳樣ノ液ト爲ルヘシ

石灰乳ニ和シテ煮沸シ濾過シ其濾液ニ過濃飽和加價謨溶液ヲ加フルニ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ發スル品ハ供用メ可カラズ

次硝酸蒼鉛

Bismuti Subnitras.
Magisterium Bismuti.

次硝酸蒼鉛ハ白色無臭殆ト無味ナル細微結晶性ノ重キ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ變化セズ濕潤セル藍色刺屑紙ニ酸性ノ反應ヲ微ス

本品ハ水及酒精ニ溶解セズ共ニ瓦爾謨ハ稀硫酸五十分ニ澄明ニ全溶シ炭酸ヲ發ス可カラズ此溶液ノ一部分ヲ取り安母尼亞ノ過剩ヲ和シテ濾過スレハ全ク無色ノ液ヲ得ヘシ又此溶液ノ一部分ニ水ヲ和シテ稀釋シ硫化水素ヲ以テ充分ニ沈澱ヲ生セシメ之ヲ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後固性物ヲ殘留スルモ痕跡ニ過ク可カラズ

本品ヲ過剩ノ硝酸ニ溶解シ水ヲ以テ稀釋シタル液ハ澄明ニシテ之ニ硝酸銀又二三滴ノ硝酸拔爾撒謨溶液ヲ加フルモ潤滑メ可カラズ又本品ヲ過剩ノ那篤倫液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ヲ發ス可カラズ

本品一瓦爾讓ヲ燒灼スレハ初メ水蒸氣次ニ亞硝酸ノ蒸氣ヲ發シ終ニ〇・七八乃至〇・八四瓦爾讓ノ黃色酸化著録ヲ殘留スヘシ此殘留物ヲ鹽酸ニ溶解シニ倍容量ノ濃厚格魯兒化錫鹽酸溶液ヲ加ヘテ熱ヲ與フルモ沈澱ヲ生シ又ハ類赤色ヲ呈ス可カラス

白礬土 *Bolus alba. Argilla pura.*

白礬土ハ磨碎シ易ク物ニ觸ルヘハ染着スル類白色ノ礬土ニシテ水ヲ以テ濡ホセハ稍、可塑性ヲ呈シ水ニハ可溶性ノ物質ヲ溶出ス可カラス
本品ニ鹽酸ヲ注シモ泡沸メ可カラス又淘汰スルモ砂狀ノ殘留物ヲ遺ス可カラス

貌羅謨 *Bromum.*

貌羅謨ハ暗褐色全ク揮發性ノ液ニシテ甚タ流動シ易ク強キ刺激性ノ黃赤色蒸氣ヲ發シ酒精、依的兒、硫化炭素及噁囉仿謨ニ容易ク溶解ス異重ハ二・九乃至三・〇ナリ
本品ハ那葛倫瀉液ニハ全ク或ハ殆ト脫色シテ溶解シ四十分ノ水ニハ黃赤色ヲ呈シテ溶解ス其水溶液ニ鐵粉ノ過剩ヲ和シテ振盪シ濾過シ其濾液ニ過格魯兒化鐵少許ヲ加ヘテ後少量ノ噁囉仿謨ヲ和シテ振盪スルモ之ヲ紫藍色ニ染ム可カラス
坩中ニ容レ硝子粒ヲ以テ密閉シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

菖蒲 *Galanus.*

Acorus spicata Scholt.

菖蒲ハ莖莖ノ殘餘及小根ヲ除去セル根莖ニシテ表面ハ褐色内部ハ灰白色海綿樣ノ組織ヲ爲ス其表面ノ一側ニハ淺綠隆起セル根痕アリテ雁行樣ニ連ナリ他ノ一側ニハ赤褐色ノ面ト交錯シテ灰褐色三角形ノ葉痕ヲ有ス香氣ハ佳快芳香性ニシテ味ハ香味料樣辛烈ナリ

沈降製炭酸加爾叟謨 *Calci Carbonas praecipitatus.*

沈降製炭酸加爾叟謨ハ純白色無臭無味細微結晶性ノ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ變化セズ水ニハ殆ト酒精ニハ全ク溶解セズ醋酸ニハ劇ク泡沸シテ澄明ニ全溶シ其溶液ニ修酸安母紐謨ヲ和スレハ醋酸ニ溶解セザレトモ稀鹽酸ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ

稀鹽酸ヲ加ヘ煮沸シテ全ク炭酸ヲ除キタル本品ノ水溶液(1:20)ニ硝酸拔留謨ヲ加フルモ直チニ濁ス可カラス安母尼亞、硫酸加爾叟謨並ニ硫化水素ヲ和スルモ濁潤ス可カラス又安母尼亞ヲ以テ之ヲ過飽セル後硫化安母紐謨ヲ加フルモ綠色ヲ呈スルニ過ク可カラス又本品ノ鹽酸溶液ニ安母尼亞、炭酸安母紐謨及少量ノ修酸安母紐謨ヲ加ヘテ悉トク石灰分ヲ沈降セシメテ後濾過シテ得タル液ニ磷酸那葛倫讓ヲ加フルモ濁潤ス可カラス
本品ヲ水ニ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ亞爾加里性ノ反應ヲ散ス可カラス之ニ硝酸銀ヲ和スルモ僅微ノ蛋白石濁ヲ生スルニ止マルヘシ又之ヲ蒸發スルニ殘留物ヲ見ルコトアルモ痕跡ニ過ク可カラス

次亞磷酸加爾叟謨 *Calci Hypophosphis.*

次亞磷酸加爾叟謨ハ白色結晶性ノ粉末若クハ無色透映板狀ノ結晶ニシテ七分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ之ヲ熱スレハ帶赤黃色ヲ呈シ自然ニ發火スル燐化水素ヲ發スヘシ
本品ノ水溶液ニ修酸安母紐謨ヲ和スレハ稀鹽酸ニ溶解スレトモ醋酸ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生スヘシ鹽酸ヲ加ヘテ酸性ト爲レタル水溶液ノ過剩ヲ昇汞溶液ニ和スレハ初メ白色後灰色ヲ呈スル所ノ沈澱ヲ生スヘシ
本品ノ水溶液(1:20)ハ中性ノ反應ヲ散シ醋酸鉛ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラス又格魯兒化安母紐謨ヲ混和シ炭酸安母紐謨及修酸安母紐謨ヲ加ヘテ悉トク石灰分ヲ沈降セシメタル後濾過シテ得タル液ハ磷酸那葛倫讓ニ由テ全ク或ハ殆ト濁潤ス可カラス
坩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

沈降製磷酸加爾叟謨 *Calci Phosphas praecipitatus.*

沈降製磷酸加爾叟謨ハ純白色無臭無味細微ノ粉末ニシテ水ニハ殆ト酒精ニハ全ク溶解セズ硝酸銀溶液ヲ以テ濡ホセハ黃色ヲ呈シ熱灼スレハ水分ヲ放離ス
本品ハ稀硝酸ニ由テ澄明ニ溶解シ炭酸ヲ發生ス可カラス此溶液ニ二三滴ノ硝酸拔留謨溶液ヲ加フルモ直チニ濁潤ス可カラス又硝酸銀ヲ加フルモ僅微ノ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又醋酸那葛

僧讓ノ過剩ヲ加ヘテ後修酸安母紐讓ヲ和レ或ハ安母尼亞又ハ硫化安母紐讓ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ
 本品ヲ那篤倫滴液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ヲ發生ス可カラズ此液ヲ濾過シテ得タル液ニ格魯兒化安母紐讓ノ過剩ヲ加ヘテ熱スルモ沈澱ヲ生ス可カラズ
 本品ヲ醋酸ニ和シテ振盪シ之ニ修酸安母紐讓ヲ加ヘテ濾過スレハ澄明ノ液ヲ得ヘシ此液ニ安母尼亞ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラズ後更ニ少量ノ磷酸那篤倫讓ヲ加フルモ亦然リ

煨製硫酸加爾叟讓 燒石膏 *Calcii Sulphas ustus.*

煨製硫酸加爾叟讓ハ強烈ニ過キサル熱ヲ以テ坊間ノ石膏ヲ煨化シタルモノニシテ白色無晶形ノ粉末ヲ爲ス其一分ニ〇・五分ノ水ヲ和スレハ五分時以内ニ於テ固結セル塊ト爲ルヘシ
 器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

煨製石灰 *Calx Calcaria usta.*

煨製石灰ハ類白色緻密ノ塊ニシテ臭氣ナク白熾熱ニ逢フテ變化セス其一分ニ〇・五分ノ温湯ヲ注ケハ之ヲ吸收シテ熱ヲ發シ漸々崩解シテ白粉ニ變ス本品ニ大約三分ノ水ヲ和スレハ全質均同ノ稠粥ヲ生シ又硝酸ヲ注ケハ著シク泡沸セシメテ溶解スヘシ
 器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

格魯兒石灰 *Calx chlorata.*

格魯兒石灰ハ水化石灰ニ格魯兒瓦斯ヲ通スルニ由テ生成セルモノナリ
 本品ハ白色或ハ類白色ノ粉末ニシテ多少水ニ溶解シ格魯兒様ノ臭氣ヲ放チ過剩ノ鹽酸ヲ注ケハ劇シク格魯兒ヲ發生シテ殆ト全ク溶解ス
 本品〇・三五瓦蘭讓ヲ大約七十立方センチメートルノ水ニ和シテ研磨シ沃度化加爾叟讓一瓦蘭讓及稀鹽酸五立方センチメートルヲ加ヘテ遊離シ來レル沃度ヲ結合スルニハ十分定規次亞硫酸那篤倫讓液少ナクモ二十立方センチメートルヲ費スヘシ是レ百分中有力格魯兒ノ最少含量二十分ヲ徵スルモノトス

本品ノ水溶液ハ用ニ臨テ濾過スヘシ
 器中ニ容レ密閉シ冷處ニ貯フヘシ

樟腦 *Camphora.*

Cinnamomum Camphora Aze.

樟腦ハ無色結晶様不整ノ塊片ニシテ香氣ハ蜜透特異芳香味ハ始メ稍灼クカ如ク後ニ清涼ヲ覺ニ百七十五度ノ熱ニ於テ熔融シ二百四度ニ於テ沸騰シ熱火スレハ煤烟多ク光輝アル火焰ヲ放チ燃焼ス水ニハ殆ト溶解シ酒精依的兒氷醋酸脂肪油及揮發油ニハ容易ニ溶解ス本品ハ其質稠性ナレトモ酒精或ハ依的兒ヲ以テ濡セハ粉碎スルヲ得ヘシ
 本品一分ヲ試驗管ニ容レ之ニ硝酸及水ノ同容量ヨリ成レル混液十分ヲ注キテ重湯煎上ニ温ムルモ暗赤色ノ蒸氣ヲ發メ可カラズ
 器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

貌羅讓化樟腦 *Camphora monobromata.*

貌羅讓化樟腦ハ無色稜柱形ノ針狀結晶或ハ板狀結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セス樟腦ニ類スル緩和ノ香味ヲ有シ中性ノ反應ヲ徵ス殆ト水ニ溶解シ酒精依的兒嘔囉仿讓及硫酸ニハ容易ク且無色ニ溶解シ大約六十五度ノ温ニ於テ熔融ス白金板上ニ熱スレハ固性物ヲ殘留セシメテ揮散スヘシ
 本品ヲ一容量ノ稀硫酸ト五容量ノ酒精トノ混液ニ和シ熱ヲ與ヘテ溶解シ之ニ純亞鉛ヲ投シ水素瓦斯ノ發生一時稽續シタル後之ニ硝酸銀ノ少量ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ之ニ酒精ヲ加フルモ此沈澱ヲ消失ス可カラズ又本品ノ酒精溶液ニ硝酸銀ヲ加ヘ煮沸スルモ沈澱ヲ生ス可カラズ
 注意シテ貯フヘシ

印度大麻 *Cannabis indica.*

Cannabis sativa Linn.

印度大麻ハ印度北部ニ於テ果實稔熟ノ初期ニ當リ採集セル帶花枝尖ニシテ多クハ雌性ナリ分葉ハ狹ク鉞狀ヲ爲シ粗キ鋸齒ヲ有シ兩端ニ向テ殊ニ狹細トナリ間ノ樹脂様ノ物質ニ由テ花ノ萎落セ

ル穂本ニ粘着シ單顯微鏡ヲ以テ檢視スレハ多数ノ油腺ヲ見ル臭氣ハ峻烈特異麻醉性ニシテ味ハ僅微ナリ其色ハ褐色ヨリモ綠色ニ近シ
本品ハ莖並ニ長サ五ミリメートルニ至リ稜線アル果實ヲ混有スルモ僅微ニ過ク可カラヌ
注意シテ貯フヘシ

羯若利斯 *Gantharis*

Epicauta Gorhami Mars.

羯若利斯ハ長サ十五乃至十八ミリメートル廣サ四乃至五ミリメートルノ黑色甲裂蟲ナリ頭ハ心臟形ニシテ三稜ヲ爲シ後部ニ代赭色ヲ帯ビ甲裂ハ雲黑色ニシテ邊緣及中央ニ於テ類黃色ノ毛ヨリ成レル縱紋アリ腹部ハ光澤アル黑色ヲ有シ四節或ハ五節ニ分レ黄色ノ毛ヨリ成レル横紋アリテ著シク之ヲ分界ス

善ク乾燥シ注意シテ貯フヘシ

骨湃波膠囊 *Capsulae Copaiuae*

骨湃波膠囊ハ骨湃波拔爾撒膜ノ條ニ記メン性質ヲ具有セル骨湃波拔爾撒膜各〇・五瓦蘭膜ヲ包有スル所ノ膠囊ナリ

木炭 *Carbo Tigni*

木炭ハ輕キ木材ヨリ製シタル尋常ノ木炭ヲ搗碎シ坩堝中ニ投シ閉蓋シテ善ク煨灼シ復タ蒸氣或ハ可燃性瓦斯ヲ發セサルニ至リ冷後更ニ粉碎シ坩堝中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

本品ハ黑色無味ノ粉末ニシテ水ニ和シテ煮沸スルモ其水ヲ染色ス可カラス又燃化スルモ少量ノ灰分ヲ殘メニ過ク可カラヌ

骨炭 *Carbo Ossium*

骨炭ハ大氣ヲ閉チテ骨片ヲ煨灼シ爾後之ヲ搗碎シテ得タル雲黑色ノ粉末ナリ

精製骨炭 *Carbo Ossium purificatus*

精製骨炭ハ骨炭ヲ粉碎シ數回稀鹽酸ニ温浸シ沸湯ニテ充分ニ洗淨シタル後其一小部分ヲ取リ燃焼スルモ固性殘留物ヲ見ル極メテ僅微ニ過キサルニ至リ之ヲ乾燥シ更ニ坩堝中ニ容レ閉蓋シテ煨灼シ微温ニ乘シテ器中ニ密閉シ貯フヘシ

本品ハ深黑色ノ粉末ニシテ水ニ和シテ煮沸スルモ其水ニ酸性ノ反應ヲ微ス可カラス又稀鹽酸ニ和シテ煮沸シ濾過スルニ其濾液ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラス

縮砂 *Cardanominum*

Amomum xanthioides Wall.

縮砂ハ暗褐色ノ子衣ヲ有スル多角堅硬ノ種子ニシテ多クハ坩堝中ニ長サ大約一センチメートルノ長圓球ヲ爲シ間々又偃伏セル柔刺ヲ帶フル棘草様ノ果被中ニ包裹セラルモノアリ香氣ハ弱芳香性味ハ峻烈芳香性ニシテ苦カラヌ

器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

加兒拉健 *Carraegen*

Gigartina mamillatus J. Ag.

加兒拉健ハ次第ニ分岐セル叢狀ノ聚胞植物ニシテ長サ二センチメートル許其端瓣ハ廣サ大約三ミリメートルニシテ多少黄色ヨリ帶赤褐色ニ至ルノ色ヲ有ス其乾燥シタルモノハ角様質ヲ爲シ之ヲ水ニ浸漬スレハ粘滑ト爲リ又三十分ノ水ヲ以テ煮沸スレハ淡味ノ液汁ヲ生シ冷後濃厚ノ粘漿ト爲ルヘシ

丁香 *Caryophyllus*

Eugenia caryophyllata Thunb.

丁香ハ濃褐色ノ長莖ヲ有スル未開ノ花ニシテ其莖ハ殆ト圓筒狀ヲ爲シ上端四裂シ頂端ニハ四個ノ花瓣アリテ數多ノ雄蕊ヲ擁包シ圓球狀ヲ爲メ

本品ハ其香味特異峻烈香味料樣ナリ之ヲ縱斷シ濾紙ニ壓スレハ紙面ニ揮發油ヲ留ムヘシ
器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

葛斯加利刺 *Cascarilla*

Croton Elaterii Bennett.

葛斯加利刺ハ管狀或ハ半管狀ヲ爲シ大約長サ數センチメートル直徑一センチメートル厚サ二
「ミリメートル」ニ至ル樹皮片ナリ其胞層ハ薄ク灰白色ニシテ多クハ纖維ナル縱溝及著明ナル橫裂
ヲ有シテ不整ノ非紋ヲ爲シ地衣ノ芽胞房ヲ附着スルニ因テ黑色ノ斑點ヲ現ハス此胞層ハ往々剝脫
セルコトアリ之ヲ除去シタル樹皮ノ外面ハ類綠色ヨリ灰褐色ニ至リ内面ハ褐色ニシテ細キ線紋ヲ
現ハシ破折面ハ滑坦ナリ

本品ヲ燒ケハ強キ芳香性ノ烟ヲ發ス味ハ始メ苦ク後稍灼クカ如シ

阿仙藥

Catechu.

Uncaria Gambier Roob.

阿仙藥ハ本植物ノ葉ヨリ製シタル水製越幾斯葛拉屈葛ヲ乾燥セルモノニシテ大サ二・五乃至三・七
センチメートル許ノ散子狀塊片ヲ爲シ其内部ハ最黃褐色外面ハ内部ヨリモ稍暗色ナリ顯微鏡ニテ
檢視スレハ多數ノ鏡狀結晶ヲ現ハシ臭氣ナク味始メ稍苦ク收斂性ニシテ後微甘ナリ

本品ハ沸湯及温酒精ニ溶解シテ只僅微ノ涎滓ヲ遺スヘシ其水溶液ハ過格魯兒化鐵ニ由テ深綠色類
ヲ呈スヘシ

○黃蠟

Gera Flava.

Apis mellifera Linn.

黃蠟ハ黄色ノ塊ニシテ其破折面ハ顆粒狀ヲ現ハシ六十三乃至六十四度ノ温ニ於テ熔融シ澄明ノ液
ト爲リ蜂蜜燦ノ微臭ヲ帶ヒ異重ハ〇・九五乃至〇・九七ナリ

本品ハ温偏蘇爾、温醇、噶仿膜及大約三百分ノ沸騰酒精ニ溶解シテ只僅微ノ涎滓ヲ遺スヘシ此酒精
溶液ハ冷ルニ隨テ白色ノ結晶粥ヲ生シ充分放冷シタル後濾過シテ得タル液ハ水ヲ注加スルモ濁濁
ス可カラヌ又藍色刺屈葛紙ヲ赤色ニ變セヌ或ハ之ヲ變スルモ僅微ニ過ク可カラヌ

本品一瓦蘭膜ヲ那葛倫濾液及水ノ同容量ヨリ成レル混液五十立方センチメートルニ和シ蒸散ス
ル水分ヲ補ヒツ、煮沸スルコト半時ニシテ充分ニ之ヲ放冷スルニ其液不透映ナル可カラヌ之ヲ濾過
シテ得タル液ニ稀鹽酸ヲ加ヘテ酸性ト爲スモ沈澱ヲ生ス可カラヌ

尿酸攝留膜

Ceriti Oxalas.

尿酸攝留膜ハ白色顆粒狀ノ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ變化セヌ水及酒精ニ溶解セヌ弱キ紅燦ヲ以
テ變化スレハ其百分ニ付キ黄色若クハ帶黃赤色中性ノ粉末大約五十分ヲ殘留スヘシ此殘留物ニ鹽
酸ヲ和シテ煮沸シ安母尼亞ヲ以テ過飽和濾過シテ得タル液ハ尿酸安母紐膜ヲ和シ又更ニ磷酸那葛
留膜ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可カラヌ

本品ニ加里濾液ヲ和シテ煮沸シ冷後濾過シテ得タル液ヲ醋酸ニテ過飽和シ之ニ格魯兒化加爾曼膜ヲ
加フルハ鹽酸ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又此亞爾加里性濾液ノ一部分ニ格魯兒化安母紐
膜ノ過剩ヲ和シテ熱スルモ沈澱ヲ生ス可カラヌ之ニ硫化安母紐膜ヲ加フルモ亦然リ

本品ハ炭酸ヲ發セシメテ鹽酸ニ溶解シ其溶液ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラヌ

注意シテ貯フヘシ

鯨蠟

Cetaceum.

Physeter macrocephalus Linn. 及其他 Physeter 屬ノ諸種.

鯨蠟ハ鯨ノ頭部ヨリ採取シ精製シタル一種ノ蠟ニシテ珣珠樣ノ光澤ヲ有シ巨葉狀ノ結晶紋理ヲ帶
フル白色ノ塊ヲ爲シ異重ハ〇・九四乃至〇・九五ナリ大約五十度ノ温ニ於テ熔融シテ微ニ特異ノ臭
氣アル無色澄明中性ノ液ト爲リ依的兒或ハ四十分ノ沸騰酒精ニ溶解スヘシ

本品一瓦蘭膜ヲ那葛倫濾液及水ノ同容量ヨリ成レル混液五十立方センチメートルニ和シ蒸散ス
ル水分ヲ補ヒツ、煮沸スルコト半時ニシテ冷後之ヲ濾過シテ得タル液ハ鹽酸ヲ以テ酸性ト爲スモ沈
澱ヲ生ス可カラヌ

乙斯蘭土苔

Cetraria.

Cetraria islandica Achar.

乙斯蘭土苔ハ葉狀ノ聚胞植物ニシテ大サ二・二センチメートルニ至リ廣狹種々ニ瓣裂シ其瓣ハ粗毛ヲ
帶ヒ或ハ半管狀ニ卷曲シ或ハ皺縮シ其一面ハ帶靑綠色他ノ一面ハ類白色或ハ灰色ヲ爲シテ鮮明ノ
凹點アリ

本品一分ヲ水二十分ニ和シ煮沸シテ得タル液ハ冷後苦味ノ凝膠塊ヲ爲スヘシ

加密爾列 *Chamonilla*.

Matricaria Chamonilla Linn.

加密爾列ハ放線狀ノ小花藍ニシテ毛茸ヲ帶ヒス屋瓦樣ニ鱗次セル總萼及高サ五「ミリメートル」許ノ空洞ナル圓錐形裸出花牀ヲ有シ放線花ハ類白色舌狀ヲ爲シ扁板花ハ管狀ヲ爲シ數多ニシテ黃色ナリ其果實ハ細小ニシテ毛冠ヲ被ラヌ
本品ハ其香味特異強烈香料樣ニシテ微苦ヲ帶フ

羯答利斯紙 *Charta Cantharidis*.

羯答利斯紙ハ

黃蠟

鯨蠟

阿列布油

羯答利斯末

的列並底

常水

ヲ取リ絶エヌ攪拌シテ二時間煮沸シ壓ヲ加ヘメシテ毛布ニテ濾過シ濾液ノ凝塊ヲ扁皿中ニ入レ重湯煎上ニ溶解シテ液狀ヲ保メシメ共一面ノミ平等ニ硬膏ヲ以テ塗敷セラルハニ至ル迄紙片ヲ熔液上ニ曳搖シ製スヘシ

硝石紙 *Charta nitrata*.

硝石紙ハ

硝酸加價試

ヲ取リ

蒸餾水

ニ溶解シ之ニ白色ノ濾紙片ヲ浸潤シ微温ニ乾燥シ製スヘシ

一分

五分

芥子紙 *Charta Sinapis*.

芥子紙ハ

芥子末

ヲ取リ石油偏障ヲ以テ其脂肪油ヲ除キ大氣中ニ乾燥シ均等ノ細末ト爲シ假答百兒加液或ハ其他適當ノ物質ヲ以テ粘着性ト爲セル紙片ニ此粉末ヲ撒布シ壓ヲ加ヘ平等ニ其紙片ノ一面ニ固着セシメ製スヘシ

本品ヲ製スルニハ紙片一平方「デシメートル」ニ付キ大約六瓦爾讓ノ芥子末ヲ用ツヘシ
本品ハ水ニ濡ホレハ強ク揮發芥子油ノ臭氣ヲ放ツヘシ

硫酸規尼質涅 *Chinidini Sulphas*.

硫酸規尼質涅ハ白色細絲樣狀ノ結晶ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ味甚タ苦ク中性或ハ極メテ弱キ亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大約百分ノ冷水及八分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶ケ易ク又大約二十分ノ嘔囉仿試ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サシテ燃化スヘシ

硫酸ヲ以テ酸性ト爲シタル本品ノ水溶液ハ著シク螢石彩ヲ現ハシ格魯兒水ニ和シテ後安母尼亞ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス又硝酸ヲ以テ酸性ト爲シタル水溶液ニ硝酸拔價試ヲ和スレハ白澱ヲ生スヘシ但シ硝酸銀ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラヌ

本品ハ硫酸及硝酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解スヘシ又石灰乳ニ和シテ熱スルモ安母尼亞蒸氣ヲ發ス可カラヌ

本品〇・五瓦爾讓ヲ熱湯十立方「センチメートル」ト共ニ振盪シ沃度化加價試〇・五瓦爾讓ヲ加ヘ放冷シ半時ヲ經タル後結晶性ノ沈澱ヲ濾別シ其濾液ニ那篤倫濾液二三滴ヲ加フルモ極メテ微微ノ濁濁ヲ起ヌニ過ク可カラヌ

本品ヲ百二十度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ五分ニ過ク可カラヌ

貌羅謨水素酸規尼涅 *Chinini Hydrobromas*.

親羅漢水素酸規尼涅ハ光澤ヲ有スル無色無臭ノ鍼狀結晶ニシテ味甚ク苦ク中性或ハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ酒精ニ溶ケ易ク又水依的兒及嘔吐仿酸ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液ニ稀硫酸ヲ加フレハ藍色ノ螢石彩ヲ現ハシ又之ニ硝酸銀ヲ和スレハ稀硝酸ニ溶解セシル白濁ヲ生スヘシ此沈澱ヲ濾別洗滌シテ炭酸安母紐膜ト共ニ振盪シ其濾液ニ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲メモ僅微ノ濁濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品ノ水溶液ニ安母尼亞ヲ和スレハ容易ク依的兒ニ全溶スヘキ白濁ヲ生シ格魯兒水及安母尼亞ヲ加フレハ綠色ヲ呈スヘシ稀硫酸ヲ加フルモ濁濁セメ又硝酸拔留膜ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品ハ硫酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解シ硝酸ニハ赤色ヲ呈セシテ溶解スヘシ

本品一・五瓦蘭膜ヲ熱湯十五立方「センチメートル」ニ溶解シ更ニ此液ニ硫酸那篤備膜ノ粉末〇・六瓦蘭膜ヲ溶解シ大約十五度ノ温ニ於テ半時間放置シテ濾過シ其濾液五立方「センチメートル」ヲ取リ之ニ安母尼亞水ヲ加ヘテ初メ生シタル沈澱ノ全ク溶解スルニ至ルニハ其安母尼亞水ヲ費スコト七立方「センチメートル」ニ過ク可カラズ

本品ヲ百度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セザルニ至ルニ其減失百分ニ付キ八・五分ニ過ク可カラズ

鹽酸規尼涅 Chinini Hydrochloras.

鹽酸規尼涅ハ光澤ヲ有スル白色無臭ノ鍼狀結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セシ味甚ク苦ク中性或ハ極メテ弱キ亞爾加里性ノ反應ヲ微シ三十四分ノ水ニ溶解シ又三分ノ酒精ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液ハ稀硫酸ヲ加フルノ後藍色ノ螢石彩ヲ現ハシ又格魯兒水ヲ和シ安母尼亞ヲ滴加スレハ綠色ヲ呈シ安母尼亞ノミヲ和スレハ容易ク依的兒ニ全溶スヘキ沈澱ヲ生スヘシ又稀硫酸ヲ加フルモ濁濁セメ硝酸拔留膜ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ但シ硝酸銀ヲ和スレハ稀硝酸ニ溶解セサル多量ノ白濁ヲ生スヘシ又本品ハ硫酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解シ硝酸ニハ赤色ヲ

呈セシテ溶解スヘシ又石灰乳ニ和シテ振盪スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發ス可カラズ

本品一・五瓦蘭膜ヲ熱湯十五立方「センチメートル」ニ溶解シ更ニ此液ニ硫酸那篤備膜ノ粉末〇・七五瓦蘭膜ヲ溶解シ大約十五度ノ温ニ於テ半時間放置シテ濾過シ其濾液五立方「センチメートル」ヲ取リ之ニ安母尼亞水ヲ加ヘテ初メ生シタル沈澱ノ全ク溶解スルニ至ルニハ其安母尼亞水ヲ費スコト七立方「センチメートル」ニ過ク可カラズ

硫酸規尼涅 Chinini Sulphas.

硫酸規尼涅ハ白色輕嫩絹絲線ノ光澤ヲ有スル鍼狀結晶ニシテ大氣ニ觸レテ風化シ臭氣ナク味甚ク苦ク中性或ハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大約八百分ノ冷水及三十分ノ沸湯ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液ニ少量ノ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性ト爲ストキハ鮮明ナル藍色ノ螢石彩ヲ現ハシ又格魯兒水ト安母尼亞トヲ和スレハ綠色ヲ呈スヘシ又硝酸ヲ加ヘタル水ニ本品ヲ溶解セルモノハ硝酸拔留膜ニ由テ白濁ヲ生スルモ硝酸銀ニ由テ濁濁ス可カラズ又安母尼亞ヲ和スレハ容易ク依的兒ニ全溶スヘキ沈澱ヲ生スヘシ

本品ハ硫酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解シ硝酸ニハ赤色ヲ呈セシテ溶解スヘシ又石灰乳ニ和シテ振盪スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發ス可カラズ

本品ニ瓦蘭膜ヲ水二十立方「センチメートル」ニ和シテ振盪シ十五度ノ温ニ於テ半時間放置シテ濾過シ其濾液五立方「センチメートル」ヲ取り之ニ安母尼亞水ヲ如ヘ初メ生シタル沈澱ヲ全ク溶解スルニ至ルニハ其安母尼亞水ヲ費スコト七立方「センチメートル」ニ過ク可カラズ

本品一瓦蘭膜ニ嘔吐仿酸ニ容量純亞爾爾保爾一容量ノ混和液七立方「センチメートル」ヲ和シテ微熱ヲ與フレハ冷後尙ホ澄明ナル所ノ溶液ヲ得ヘシ

本品ハ百度ノ熱ヲ以テ乾燥シ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ十二乃至十六分ニ過ク可カラズ

規尼涅 Chininum.

規尼涅ハ白色無晶形或ハ細微結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ大約十六度ノ温ニ於テ溶解シ大約一千六百分ノ水及大約六分ノ酒精ニ溶解シテ亞爾加里性ノ液ヲ爲シ稀薄酸類嘔嘔仿談及依的兒ニハ容易ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ殘留セステ燃化スヘシ
本品ハ稀硫酸ヲ加ヘメル水ニ溶解スレハ鮮明ナル藍色ノ莖石形ヲ現ハスヘシ此溶液ニ格魯兒水ヲ和シ安母尼亞ヲ滴加スレハ綠色ヲ呈スヘシ又硝酸ヲ加ヘメル水ニ本品ヲ溶解セルモノハ之ニ硝酸銀又硝酸拔留談ヲ加フルモ濁濁ヲ生ヌ可カラヌ
本品ハ硫酸ニ溶解シテ染色セズ或ハ微ニ類黃色ヲ呈スルニ止マリ硝酸ニハ赤色ヲ呈セステ溶解スヘシ

本品一瓦蘭談ヲ取リ硫酸安母紐談〇・五瓦蘭談及水五立方センチメートルニ善ク混和シ重湯煎上ニ蒸發シテ乾涸スルニ至ルニ亞爾加里性ノ反應ヲ微セサル殘留物ヲ得ヘシ其殘留物ニ水十立方センチメートルヲ和シテ振盪シ十五度ノ温ニ於テ半時間放置シテ濾過シ其濾液五立方センチメートルヲ取リ之ニ安母尼亞水ヲ加ヘテ初メ生シタル沈澱ノ全ク溶解スルニ至ルニハ其安母尼亞水ヲ費ヌコト七立方センチメートルニ過ク可カラヌ
本品ハ大約百二十五度ノ熱ヲ以テ乾燥シ復々重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ十五分ニ過ク可カラヌ

規納乙實涅 Chinoïdium.

規納乙實涅ハ光澤アル樹脂様ノ塊ニシテ破折シ易ク褐色乃至黑褐色ヲ有シ味苦ク亞爾加里性ノ反應ヲ微シ水ニハ僅ニ溶解シ酒精ニ溶解ケ易ク又嘔囉仿談ニ溶解ス
本品ハ十分ノ純劑ニ溶解シ不溶解ノ部分アルモ極メテ僅微ニ止マリ十分ノ稀酒精ニハ澄明ニ溶解スヘシ又本品ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留スルコト百分ニ付キ一分ニ過ク可カラヌ

抱水格魯刺爾 Chlorali Hydras.

抱水格魯刺爾ハ乾燥透明無色ノ結晶ニシテ徐々ニ揮散シ稍刺戟スル特異ノ臭氣ヲ放チ微苦腐蝕

性ノ味ヲ有シ水、酒精及依的兒ニ溶解ケ易ク脂肪油及硫化炭素ニハ僅ニ溶解シ大約五十八度ノ温ニ遂フテ燃融ス

本品ヲ加里滴液ニ和シテ熱スレハ濁濁セル無色ノ混和物ヲ生シ次ニ嘔囉仿談ヲ析出シテ澄明ト爲ルヘシ

本品ノ酒精溶液(1:10)ハ藍色刺屈談斯紙ヲ紅變ヌ可カラヌ又少量ノ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲シ之ニ硝酸銀ヲ加フルモ濁濁ヌ可カラヌ本品ヲ大約等分ノ硫酸ニ和シ熱ヲ與ヘテ燃融スルモ色ヲ呈ヌ可カラヌ

本品ヲ熱灼スレハ燃燒メヘキ蒸氣ヲ放タヌ固性物ヲ遺サヌレテ揮散スヘシ

嘔囉仿談 Chloroformum.

嘔囉仿談ハ澄明無色全ク揮散性ノ液ニシテ六十度乃至六十一度ノ温ニ於テ沸騰シ特異ノ臭氣ヲ有シ味微ニ甘ク異重ハ一・四八五乃至一・四九〇ナリ水及佩里波林ニハ極メテ僅微ニ溶解シ酒精依的兒、冰醋酸及脂肪油ニハ容易ク溶解ス

本品ノ酒精溶液ニ加里滴液及少量ノ亞尼林ヲ和シテ熱スレハ不快ノ甕透臭ヲ放ツヘシ又本品ニ和シテ振盪シタル水ハ刺屈談斯紙ヲ變色セズ硝酸銀ニ由テ濁濁セヌ又沃度化加留談溶液ニ由テ染色ヌ可カラヌ

本品ヲ同容量ノ硫酸ト共ニ硝子管ヲ有スル乾燥清潔ノ硝子管ニ容レ屢振盪シテ數時間放置スルモ色ヲ呈ヌ可カラヌ

本品ヲ自然ニ大氣中ニ揮散セシムルニ異臭ヲ遺ヌ可カラヌ

壇中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

苦利沙羅並 Chrysaobianum.

Andira Anroba Agular.

苦利沙羅並ハ淡橙黃色結晶性無臭無味ノ粉末ニシテ水ニハ殆ト溶解セズ酒精ニハ僅微ニ依的兒及

沸騰偏蘇爾ニハ容易ニ溶解ス大約百六十二度ノ熱ニ於テ熔融シ之ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留スル
 コトアルモ痕跡ニ過ク可カラズ
 本品ハ亞爾加里鹼液ニ溶解シテ黃赤色ヲ呈シ大氣ニ觸レテ尙ホ暗色ト爲ルヘシ又硫酸ニハ暗血紅
 色ヲ呈シテ溶解スヘシ

支奈 無糖支奈

China.

Arenaria maritima Linn. var. *Siechmanniana* Besser.

支奈ハ類綠色乃至類褐色末開ノ小花藍ニシテ長サ大約三「ミリメートル」厚サ一「ミリメートル」半
 ニ過キス總葉瓣ハ十二乃至十八片ニシテ毛茸ヲ帶ヒ中央ニ稜線ヲ有シ邊緣ハ皮狀ヲ爲シ背面
 ハ極メテ小ナル黃金色ノ腺ヲ有シ其中ニハ三乃至五箇ノ末開小花ヲ包莖ス
 本品ハ特異ノ臭氣ヲ有シ味稍シ酸味ニシテ苦シ

本品ハ土耳其斯坦ヨリ輸出セル所謂「ウツメント」産ノ品ニシテ梗葉及莖部ヲ除去シタルモノノミヲ
 用フヘシ

規那

Cinchona.

Cinchona succubra Forst. 及其他 *Cinchona* 屬ノ諸種

規那ハ管狀半管狀或ハ扁板狀ヲ爲セル幹皮若クハ枝皮ニシテ内皮ノ被折面ハ短ク縞細ナル纖維ヲ
 現ハシ顯微鏡ヲ以テ横断面ヲ檢視スレハ規那ノ特徵タル内皮纖維ヲ見ルヘシ
 本品ノ粉末ハ赤褐色ヲ有シ小硝子管中ニ熱メレハ美麗ナル洋紅色ノ莖兒ヲ生スヘシ
 次ニ掲グル方法ニ由テ本品ヲ試験スレハ百分ニ付キ三・五分乃至六分ノ規那「アルカロイド」ヲ檢
 出セサル可カラズ
 本品ノ粉末十五瓦蘭酸ヲ水化石灰二十五瓦蘭酸酒精二百二十五立方「センチメートル」ト共ニ硝子壺
 ニ入レ共全量ヲ秤定シ酒精ノ著シク蒸散セサルニ注意シ二時間重湯煎上ニ熱シテ煮沸シタル後重
 湯煎ヨリ下シテ冷却スルニ至リ蒸散セル酒精ヲ補充シ直徑二十二「センチメートル」ノ濾紙上ニ硝
 子壺ノ含有物ヲ濾過スヘシ次ニ其濾液百五十立方「センチメートル」ヲ取リテ重湯煎上ニ蒸散シ其
 殘留物二十立方「センチメートル」ノ定規酸液ヲ加ヘ温ヲ與ヘツ、親密ニ研和シ次ニ二十五立方「セン

チメートル」ノ水ヲ加ヘ最小ナル濾器ヲ用井テ分液漏斗中ニ濾入レ少量ノ水ヲ以テ尙ホ二三回濾
 器ヲ洗ヒ分液漏斗中ニ存スル全濾液ニ大約半容量ノ那篤倫德液ヲ加ヘ玆ニ游離ニ來レル「アルカ
 ロイド」ヲ陸續三回毎々五十立方「センチメートル」ノ那篤倫德液ニ和シ適當ノ方法ニ由テ振盪瀉取
 シ其那篤倫德液ノ全ク消澄ト爲レルモノヲ取リ精密ニ秤定セル小硝子壺ニ盛リ蒸餾シテ那篤倫德
 ヲ去リ其殘留物ヲ百十度ノ熱ニ於テ充分ニ乾燥シ毫モ那篤倫德ノ痕跡ヲ附着セザルニ至ルヘシ玆
 ニ得タル「アルカロイド」ハ〇・三五乃至〇・六瓦蘭酸ノ重量ヲ有セサル可カラズ

硫酸聖古尼實涅

Cinchonidini Sulphas.

硫酸聖古尼實涅ハ絹絲線ノ光澤ヲ有スル白色無臭ノ結晶ニシテ味甚ク苦ク中性或ハ弱亞爾加
 里性ノ反應ヲ徴シ大約百分ノ冷水及五分ノ沸湯ニ溶解シ又酒精及硫酸ヲ以テ酸性ト爲セル水ニハ
 著明ノ螢石彩ヲ呈セシメテ溶解シ那篤倫德及依的兒ニハ殆ト溶解セズ白金板上ニ熱灼スレハ固性
 物ヲ遺サズシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液ニ硝酸拔留液ヲ和スレハ白濁ヲ生スヘシ但シ硝酸銀ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラズ
 本品ハ硫酸及硝酸ニハ染色セズシテ溶解スヘシ
 本品〇・五瓦蘭酸ニ水二十立方「センチメートル」ヲ加ヘ熱ヲ與ヘテ溶解シ更ニ其液ニ酒石酸加留液
 那篤倫德ノ粉末〇・五瓦蘭酸ヲ溶解スレハ夥ク沈澱ヲ生スヘシ之ヲ放冷シ半時間ノ後濾過レテ得
 タル液ニ一二滴ノ那篤倫德液ヲ加フルモ僅微ノ濁濁ヲ起スニ過ク可カラズ
 本品ヲ百度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ十三分ニ過ク可カラズ

鹽酸聖古尼涅

Cinchonini Hydrochloras.

鹽酸聖古尼涅ハ無色結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化ヒス二十五分ノ水一三分ノ酒精大約二十
 二分ノ那篤倫德及二百七十五分ノ依的兒ニ溶解ス本品ノ水溶液ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性ト爲スモ濁
 濁セス或ハ螢石彩ヲ現ハスコトアルモ僅微ニ過ク可カラズ白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ殘留セ
 スシテ燃化スヘシ
 本品ノ水溶液ニ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セルモノハ硝酸拔留液ヲ加フルモ濁濁セス但シ硝酸銀ヲ

加フレハ夥シク白色ノ沈澱ヲ生スヘシ本品ハ硫酸及硝酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解スヘシ又石灰乳ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發ス可カラス
 本品ノ水溶液 (1:50)ニ酒石酸加價該那篤留誤ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可カラス又ニ容量ノ格魯兒水ヲ和シ次ニ安母尼亞ヲ滴加スルモ綠色ヲ呈ス可カラス
 本品ヲ百度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ十分ニ過ク可カラス

硫酸聖古尼涅 *Cinchonini Sulphas.*

硫酸聖古尼涅ハ白色堅硬無臭ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セズ味大ニ苦ク中性或ハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大約七十分ノ冷水及十五分ノ沸湯ニ溶解シ依的兒ニ溶解セズ硫酸ヲ以テ酸性ト爲シタル水ニ溶解スルニ螢石彩ヲ現ハメコトアルモ極メテ僅微ニ過ク可カラス白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サシメテ燃化スヘシ
 本品ノ水溶液ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲シ之ニ硝酸拔留誤ヲ和スレハ白澱ヲ生スヘシ但シ硝酸銀ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラス
 本品ハ硫酸及硝酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解スヘシ又石灰乳ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發ス可カラス

本品ノ冷飽和水溶液ニ酒石酸加價該那篤留誤ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可カラス又此水溶液ニニ容量ノ格魯兒水ヲ加ヘテ後安母尼亞ヲ滴加スルモ綠色ヲ呈ス可カラス

本品ヲ百度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ五分ニ過ク可カラス

桂皮 *Cinnamomum.*

Cinnamomum, Cassia, Blume.

桂皮ハ枝條或ハ雜幹ノ皮ニシテ厚サ三「ミリメートル」ニ至リ卷曲シテ或ハ管狀ヲ爲レ或ハ半管狀ヲ爲メ其管ノ直徑ハ五乃至三十一「ミリメートル」内面ハ褐色ヲ爲レ表面ハ帶赤褐色ニシテ縱ニ脈理ヲ有シ或ハ帶褐色ニシテ微ニ裂セル袍層ヲ被レルモノアリ被折面ハ殆ト滑坦ニシテ纖維狀ヲ爲サス香氣ハ特異佳快ニシテ味ハ峻烈芳香性微甘ナリ

古達乙涅 *Godeinum.*

古達乙涅ハ無色乃至帶黃白色ノ結晶ニシテ温ニ達フテ風化シ八十分ノ水ニ溶解シテ苦味亞爾加里性ノ液ト爲リ安母尼亞水ニハ水ト同一ノ比例ニ於テ溶解シ加里瀉液ニハ僅ニ溶解ス酒精呀囉仿膜依的兒及酸性ト爲セル水ニハ容易ク溶解シテ無色ノ液ヲ爲シ水ニ和シテ表沸スレハ其溶解スルニ先チテ燃融ス又白金板上ニ熱灼スレハ固性物ヲ遺サシメテ燃化スヘシ
 稀硫酸ヲ加ヘテ弱酸性ト爲シタル水ニ本品ヲ溶解シ沃度酸ヲ加フルモ染色ス可カラス

本品ノ水溶液ハ昇汞ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス又硫酸ニ溶解セルモノハ無色ニシテ之ニ少量ノ稀薄過格魯兒化銀溶液ヲ加ヘ微熱ヲ與フレハ暗藍色ヲ呈スヘシ

注意シテ貯フヘシ

咖啡涅 *Coffeinum.*

咖啡涅ハ絹絲線ノ光澤アル撓屈スヘキ細長白色中性ノ鍼狀結晶ニシテ臭氣ナク其味微ニ苦ク大約八十分ノ冷水ニ溶解シ沸湯ニ溶ケ易ク大約五十分ノ酒精及九分ノ呀囉仿誤ニ溶解シ依的兒ニハ僅ニ溶解ス

本品ノ飽和熱湯溶液ハ冷後凝結シテ結晶應弱ト爲ルヘシ又本品ヲ白金板上ニ熱スレハ固性物ヲ遺サシメテ揮散スヘシ

本品ハ硫酸及硝酸ニハ染色セズシテ溶解スヘシ其水溶液ニ沃度化汞加價該那篤留誤溶液ヲ和スルモ沈澱ヲ生セズ稀酸ヲ和スレハ其過剩ニ溶解スヘキ夥多ノ沈澱ヲ生スヘシ又格魯兒水ヲ和スルモ溷濁ス可カラズ其格魯兒水溶液ヲ重湯煎上ニ蒸發スレハ黃赤色ノ殘留物ヲ遺シ之ニ少量ノ安母尼亞ヲ和スレハ紫赤色ヲ呈スヘシ

本品ヲ百度ノ熱ニ乾燥シテ復タ重量ヲ變セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ九分ニ過ク可カラス

注意シテ貯フヘシ

古爾矢屈誤子 *Colchicum.*

Colchicum autumnale Linn.

古爾矢屈誤子ハ...

古爾矢屈護子ハ殆ト球形ノ種子ニシテ臭氣ナク臍點アル位置ハ稍尖起シ大サ三・三ミリメートル許細微ノ斑點アル堅硬ノ子殻ヲ被リ外面ハ褐色内部ハ帶灰白色角樣質ニシテ味ハ甚々苦ク辛烈ナリ
 注意シテ貯フヘシ

格魯胃膜 Colloidum.

格魯胃膜ハ

硝酸(異重一・三八〇ノモノ)

粗製硫酸

ヲ取リ注意シテ混和シ二十度ノ温ニ至ル迄冷却スルノ後之ニ

精製綿

ヲ浸漬シ十五度乃至二十度ノ温ニ於テ二十四時間放置シ其混和物ヲ漏斗中ニ移シ更ニ二十四時間放

置シテ過剰ノ酸液ヲ滴去シ玆ニ殘留スル格魯胃膜綿ヲ水ニテ洗滌シ酸液全ク脫除スルニ至リ之ヲ

壓搾シ二十五度ノ温ニ乾燥セル所ノ

格魯胃膜綿

ヲ取リ

酒精

依的兒

ニ和シ善ク振盪シ二十四時間ノ後振盪シ之ニ更ニ

四百分

一千分

五十五分

二分

八分

十分

三十分

ヲ加ヘ二三週間靜置シテ澄液ヲ傾取シ製スヘシ

本品ハ澄明中性舍利別稠ノ液ニシテ微ニ類黃色ヲ有シ薄層ト爲シテ其依的兒酒精ヲ蒸散スレハ無

羯答利斯格魯胃膜

Colloidum cantharidatum.

羯答利斯格魯胃膜ハ

羯答利斯粗末

ヲ取リ三日間

依的兒

ニ冷浸シ濾過シ尙ホ其殘滓ヲ依的兒ニテ洗滌シ濾液ノ全量二分ト爲ルニ至リ之ニ

二分

三分

一分

格魯胃膜

ヲ混和シ製スヘシ

壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

彈力性格魯胃膜

格魯胃膜

蓖麻子油

ヲ取リ振盪シ混和シ製スヘシ

壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

古魯聖篤

Colocynthis.

Citrullus Colocynthis Schrad.

古魯聖篤ハ外皮ヲ剝除シ乾燥シタル果實ニシテ海綿樣輕嫩類白色ノ瓢肉及數多ノ扁卵形種子ヲ有

シ臭氣ナク味極メテ苦シ

本品ハ種子ヲ除去シテ用ウヘシ

注意シテ貯フヘシ

古倫僕

Colombo.

Jacechiza Calumba Miers.

古倫僕ハ直徑三乃至六センチメートル厚サ二乃至十二ミリメートル多少反曲シ外皮ハ皺紋多ク
 灰褐色ニシテ内部ハ類綠色或ハ帶褐黃色ヲ有スル圓形若クハ橢圓形ノ橫截根片ナリ其中央部ハ周
 邊ヨリモ薄ク周邊ハ膨起シ多散ノ幅線ヲ有スル暗色波狀ノ新生組織層ニ因テ分劃セラル其凹陷セ
 ル中央部ニハ多散ナル黃金色ノ木纖維束ヲ散在ス
 本品ハ強キ苦味ヲ有シ淡度溶液ニ由テ藍色ヲ呈ス

洎美蘭

Crocus sativus Linn.

洎美蘭ハ深橙黃赤色ノ雌蕊頭ニシテ水ニ浸シ軟化シタルトキハ長サ大約三センチメートルノ線狀
 小管ヲ爲シ上部ニ向テ楔狀ニ擴大シ邊緣ハ鈍鋸齒ヲ有シ一側ニ於テ開裂ス淡黃色ノ雌蕊柄ヲ混有
 スルモ僅少ニ過ク可カラズ香味ハ峻烈芳香性ニシテ稍苦シ百度ノ熱ヲ與ヘテ乾燥スルモ百分ニ
 付キ十五分已上ノ重量ヲ失セヌ又之ヲ灰化スルモ百分ニ付キ八分已上ノ固性物ヲ殘留ス可カラ
 本品ノ水製浸出液(1:10)ハ黃赤色ヲ有シ甘味ヲ帶フ可カラズ又本品ヲ水ニ浸シテ軟化スルニ至モ
 異物ノ夾雜ヲ認ム可カラズ
 光ヲ遮リ貯フヘシ

菓澄茄

Cubeba

菓澄茄ハ乾燥シタル未熟ノ果實ニシテ殆ト球形ヲ爲シ大サ五ミリメートルニ至リ上部ニハ凸
 起セル雌蕊痕ヲ存シ基部ハ長サ六ミリメートルニ至ル所ノ小梗ニ移ル果壁ハ薄シテ網狀ニ皺
 縮シ大抵萎縮セル底立種子ヲ包藏ス味ハ燒クカ如ク香味料樣ナリ

銅鑿

神効石 *Cupri Alumen. Lapis divinus.*

銅鑿ハ

硫酸銅
硝酸加價試

十分
十分

明礬

ヲ取リ混和シ粉末ト爲シ瓷皿ニ盛り砂鍋上ニ熱シテ熔融スルニ至リ之ニ

椀屑末

十分
一分

ヲ加ヘ瓷器中或ハ小槌子ノ鑄型中ニ傾瀉シ製スヘシ

本品ハ帶白藍色ノ乾燥塊ニシテ椀屑ノ香氣ヲ有シ十六分ノ水ニ溶解シ只少量ノ殘滓ヲ留ムルニ過
ク可カラズ

坩中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

○硫酸銅

Cupri Sulphas.

硫酸銅ハ透映藍色三斜系ノ結晶ニシテ乾燥セル大氣中ニハ徐々ニ風化シ三・五分ノ冷水及一分ノ
沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ

本品ノ水溶液ニ硝酸抜價試ヲ和メレハ鹽酸ニ溶解セサル白沈ヲ生シ過剩ノ安母尼亞ヲ和スレハ澄
明深藍色ノ溶液ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ加ヘテ酸性ト爲シ硫化水素ヲ以テ飽和シ茲ニ生スル黑色ノ沈澱ヲ濾過シテ
得タル液ハ炭酸那篤價試ヲ以テ過飽スルモ沈澱ヲ生ヌ可カラズ又之ヲ蒸散スルノ後固性物ヲ殘留
ス可カラズ

注意シテ貯フヘシ

○實斐答利斯

Digitalis

Digitalis purpurea Linn.

實斐答利斯ハ皺紋アル長卵圓形ノ莖ニシテ長サ一乃至三センチメートル「廣サ一センチメートル」貯
 下部ハ莖柄ニ沿フテ狹長ト爲リ邊緣ハ不正ノ鈍鋸齒ヲ有シ裏面ハ分岐セサル單純ノ小毛ヨリ成レ
 ル柔毛ヲ被リ著シク隆起且分岐セル網脈ヲ現ハヌ味ハ不快ニシテ苦シ

本品ハ花時ニ當テ採集シ急ニ乾燥スヘシ
注意シテ貯フヘシ但シ一年以上ニ過ク可カラズ

油糖 *Elaeosaccharum.*

油糖ハ
白糖
處方セル揮發油

一二瓦蘭設
一滴

ヲ取り混和シ製スヘシ
用ニ臨テ調製スヘシ

旃那紙劑 *Electuarium Sennae.*

旃那紙劑ハ
答滿林度
ヲ取り少量ノ熱湯ニ混和シテ軟化セシメ全量均同ノ果泥ヲ得ルニ至リ毛篩上ニ研磨シ篩過シ

其果泥

五十分

ヲ取り之ニ

四十分
十分

單舍利別

旃那細末

ヲ親密ニ混和シ重湯煎上ニ温メテ紙劑ノ稠度ト爲シ製スヘシ
本品ハ帶綠褐色ノ紙劑ナリ
乾燥冷涼ノ處ニ貯ンヘシ

○英法粘着硬膏 *Emplastrum adhaesivum anglicum.*

英法粘着硬膏ハ

魚膠

十分

ヲ取り滴液百二十分ヲ得ルノ比例ニ於テ熱湯ニ溶解シ先ツ溶液六十分ヲ取り緊張セル白色ノ網片
上ニ毛刷ヲ以テ塗敷スルコト數回毎次之ヲ乾燥シ次ニ溶液ノ殘餘六十分ヲ徐々ニ
酒精

四十分

個里設林

一分

ニ混和シ此混液ヲ網片ニ塗敷スルコト前法ノ如クシ最後ニ安息香丁幾手兒ヲ以テ充分ニ網片ノ裏
面ニ敷キ善ク乾燥シテ製スヘシ

本品ハ光澤ヲ有シ濡ホセハ能ク皮膚ニ粘着スヘシ

本品ヲ製スルニハ魚膠一瓦蘭設ヲ百五十平方センチメートルニ展敷スルノ計算ニ由ル
乾處ニ貯ンヘシ

別刺敦那硬膏 *Emplastrum Belladonnae.*

別刺敦那硬膏ハ

九十分

松脂硬膏
ヲ取り重湯煎上ニ溶解シ注意シテ

十分

別刺敦那越幾斯葛拉屈篇
ヲ親密ニ混和シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ硬膏ナリ

○羯答利斯硬膏 *Emplastrum Cantharidis.*

羯答利斯硬膏ハ

五十分

羯答利斯末

二十五分

阿列布油

ヲ取り一二時間温浸シ之ニ

百分
二十五分

黃蠟

的列並底

ヲ加ヘ重湯煎上ニ溶解シテ親密ニ混和シ製スヘシ
本品ハ柔軟ノ硬膏ナリ

護膜硬膏 *Emplastrum gummosum.*

鹽酸硬膏ハ

單鉛硬膏

七十分
九分

ヲ取り重湯煎上ニ溶解シ半ハ冷却シメル後豫メ重湯煎上ニ温メテ混和シタル

瓦爾拔奴謀末

七分

安母尼亞屈謀末

七分

的列並底
ヲ加ヘテ全質均同ノ塊ト爲シ充分放冷シ延轉シテ錠子狀ト爲シ製スヘシ

本品ハ帶弱黃色ノ硬膏ナリ

水銀硬膏 *Emplastrum Hydrargyri.*

二十分

水銀

十分

的列並底

ヲ取り少許ノ的列並底油ヲ加ヘテ水銀ト的列並底トヲ最モ親密ニ研和シタル後豫メ熔和シテ半ハ

冷却セル

六十分
十分

單鉛硬膏

ヲ之ニ密和シ製スヘシ

阿片硬膏 *Emplastrum Opii.*

阿片越巽斯葛拉屈末

本品ハ灰色ノ硬膏ニシテ肉眼ヲ以テ水銀球ヲ見ル可カラズ

常水

一分
一分

ヲ取り重湯煎上ニ温メテ均同柔軟ト爲ルニ至リ豫メ重湯煎上ニ溶解セル
松脂硬膏 九分

ヲ親密ニ混和シ尙ホ温メテ水分ノ消散スルヲ度トシ充分放冷セル後延轉シテ錠子狀ト爲シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ硬膏ナリ

單鉛硬膏 *Emplastrum Plumbi.*

阿列布油

豚脂

酸化鉛細末

各等分

ヲ取り文火ニ上セ絶ニス攪拌シ時々少許ノ温湯ヲ加ヘテ煮沸シ硬膏塊ヲ得ルニ至リ延轉シテ錠子

狀ト爲シ製スヘシ

本品ハ類白色精細ニシテ脂肪性ヲ有セシ遊離ノ酸化鉛ヲ含ム可カラズ

○松脂硬膏 粘着硬膏 *Emplastrum Resinae.*

松脂硬膏ハ

單鉛硬膏

松脂

黃蠟

八十分
十四分
六分

ヲ取り先ツ單鉛硬膏ト黃蠟トヲ文火ニ上セテ熔和シ之ニ松脂ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ類黃色ノ硬膏ナリ

麥角 *Esgota. Secale cornutum.*

Claviceps purpurea Tul.

麥角ハ裸麥及佗ノ禾本科植物ノ寄生菌ニシテ其發育休止期ニ採集セルモノナリ鈍キ三稜或ハ四稜

ヲ有シ多シハ精、彎曲シ大約長サニセンチメートル半太サ四「ミリメートル」ニ至リ深キ縱溝ヲ有シ外部ハ紫黒色内部ハ類白色ナリ尖端ニ類黄色ノ贅物ヲ附著スレトモ多クハ之ヲ離脱セリ味ハ不快淡泊臭氣ハ特異ニシテ嫌惡スヘク加里酒精液ト共ニ研磨スレハ愈々強烈ト爲ル但シ取油性ナル可カラヌ

本品ハ用ニ臨テ粉末ト爲スヘシ
善ク乾燥シ注意シテ貯フヘシ但シ一年已上ニ過ク可カラヌ

有加利布手斯 *Eucalyptus*

Eucalyptus globulus Labill.

有加利布手斯ハ卵圓錐形若クハ彎曲錐形ニシテ短キ葉柄ヲ具シ長ク大約十乃至二十センチメートル「廣サ三乃至七」センチメートル「幹草様ニシテ油腺ヲ有シ其色藍綠其面ハ毛茸ナク邊緣ハ缺裂セメ上端ハ尖銳ナリ日光ニ透シ視レハ透映シテ細點ヲ現ハヌ香味ハ峻烈芳香性ナリ

蘇普越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Aloes*

蘇普越幾斯篤拉屈篤ハ

瀝青

一分

ヲ取リ之ヲ

五分

ニ溶解シ二日間放置シ其樹脂分ノ析出セル後上液ヲ傾取シ蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ黃褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ瀰濁シテ溶解ス

○別刺敦那越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Belladonnae*

別刺敦那越幾斯篤拉屈篤ハ

花時ニ採集セル別刺敦那ノ生菜

二十分

ヲ取リ

常水

一分

ヲ撒注シ石臼中ニ搗爛シ強ク壓搾シ更ニ

常水

三分

ヲ濾キテ壓搾シ其搾液ヲ合シ八十度ニ至ル迄温メ布濾シ濾液ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ二分ト爲シ之ニ

酒精

二分

ヲ混和シ時々振盪シテ二十四時ヲ經メル後布濾シ強ク壓搾シ其殘滓ニ

稀酒精

一分

ヲ搗和シ更ニ壓搾シ濾液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ暗褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ褐色ヲ呈シテ殆ト澄明ニ溶解ス

注意シテ貯フヘシ

印度大麻越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Cannabis indicae*

印度大麻越幾斯篤拉屈篤ハ

ヲ取リ

一分

酒精

五分

ヲ注キ六日間冷浸シ壓搾シ又其殘滓ニ

酒精

五分

ヲ注キ三日間冷浸シ壓搾シ濾液ヲ合シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ黒綠色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニ溶解セズ

注意シテ貯フヘシ

葛斯加刺越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Cascariae*

葛斯加刺越幾斯篤拉屈篤ハ

葛斯加刺粗末

一分

ヲ取リ
 沸湯
 ヲ注キ二十四時間放置シ、壓漉シ、又其殘滓ニ
 五分
 ヲ注キ更ニ二十四時間放置シテ、壓漉シ、漉液ヲ合シ、其沈定スルヲ俟テ、上液ヲ傾取シ、蒸發シテ稠厚越
 幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ
 本品ハ暗褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ瀉濁シテ溶解ス
 規那越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Cinchonae.*
 規那越幾斯篤拉屈篤ハ
 一分
 ヲ取リ
 規那
 五分
 稀酒精
 ヲ注キ、展、振盪シテ六日間冷浸シ、壓漉シ、又其殘滓ニ
 五分
 稀酒精
 ヲ注キ三日間冷浸シ、壓漉シ、漉液ヲ合シ、濾過シ、蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ
 本品ハ赤褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ瀉濁シテ溶解ス
 古魯聖篤越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Colocyntoidis.*
 古魯聖篤越幾斯篤拉屈篤ハ
 二分
 ヲ取リ
 種子ヲ除キ粗ニ割截セル古魯聖篤
 十分
 酒精
 五分
 常水
 ヲ注キ、展、振盪シテ六日間冷浸シ、壓漉シ、又其殘滓ニ

酒精
 四分
 常水
 六分
 ヲ注キ更ニ三日間冷浸シ、壓漉シ、漉液ヲ合シ、濾過シ、蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ
 本品ハ黃褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ瀉濁シテ溶解ス
 注意シテ貯ンヘシ
 古倫僕越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Colombo.*
 古倫僕越幾斯篤拉屈篤ハ
 一分
 ヲ取リ
 古倫僕粗末
 二分
 酒精
 二分
 常水
 一分
 ヲ注キ、展、振盪シテ三日間冷浸シ、壓漉シ、又其殘滓ニ
 一分
 酒精
 一分
 常水
 一分
 ヲ注キ二日間冷浸シ、壓漉シ、漉液ヲ合シテ濾過シ、蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ
 本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ瀉濁シテ溶解ス
 ○麥角越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Ergotae. Extractum Secalis cornuti.*
 麥角越幾斯篤拉屈篤ハ
 十分
 ヲ取リ
 麥角粗末
 二十分
 蒸溜水
 二十分
 ヲ注キ六時間冷浸シテ後、壓漉シ、又其殘滓ニ
 二十分

ヲ注キ六時間冷浸シ壓濾シ濾液ヲ合シ蒸發シテ六分ト爲シ之ニ
稀酒精

四分

ヲ混和シ屢ニ振盪シテ三日間放置シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ
本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ澄明ニ溶解ス
注意シテ貯フヘシ

○綿馬越幾斯篤拉屈篤

Extractum Filicis.

綿馬越幾斯篤拉屈篤ハ
新メニ乾燥シ粉末ト爲セル綿馬

一分

ヲ取リ

依的兒

三分

ヲ注キ器中ニ容レ密閉シテ三日間冷浸シ上液ヲ傾取シ又其殘滓ニ
依的兒

二分

ヲ注キ更ニ三日間冷浸シテ壓濾シ濾液ヲ合シ濾過シ蒸發シテ全ク依的兒ヲ除キ稀薄越幾斯篤拉屈
篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ類綠色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニ溶解セス依的兒ニハ澄明ニ溶解ス

○龍膽越幾斯篤拉屈篤

Extractum Gentianae.

龍膽越幾斯篤拉屈篤ハ

別截セル龍膽

一分

ヲ取リ

常水

五分

ヲ注キ四十八時間冷浸シ壓濾シ又其殘滓ニ

常水

五分

ヲ注キ十二時間冷浸シ壓濾シ濾液ヲ合シ煮沸シ其沈定スルヲ待テ上液ヲ傾取シ蒸發シテ稠厚越幾

斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ澄明ニ溶解ス

甘草越幾斯篤拉屈篤

Extractum Glycyrrhizae.

甘草越幾斯篤拉屈篤ハ別截セル甘草ヲ以テ龍膽越幾斯篤拉屈篤ノ如ク製スヘシ

本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ澄明ニ溶解ス

尋常甘草越幾斯篤拉屈篤

甘草

Extractum Glycyrrhizae venale. Sucus Liquiritiae.

尋常甘草越幾斯篤拉屈篤ハ坊間ニ販賣スル甘草ニシテ黑色ヲ有シ光澤ヲ帶ヒ長サ大約一・五テ
シメートルトシ太サ三・三センチメートルニ至ル圓柱形ヲ爲シ破折面ハ鋭尖具數線ナリ味甚ダ甘シ其百
分ニ付キ少ナクモ六十分ハ冷水ニ溶解スヘシ顯微鏡ヲ以テ檢視スルモ澱粉粒ヲ見ル可カラズ

柘榴根皮越幾斯篤拉屈篤

Extractum Granati.

柘榴根皮越幾斯篤拉屈篤ハ

新メニ乾燥セル柘榴根皮粗末

十分

ヲ取リ

酒精

二十四分

常水

十六分

ヲ注キ三日間冷浸シテ壓濾シ又其殘滓ニ

酒精

十二分

常水

八分

ヲ加ヘ二日間冷浸シ更ニ壓濾シ濾液ヲ合シ蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ暗褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ濁濁シテ溶解ス

○菲沃斯矢亞謨斯越幾斯篤拉屈篤

Extractum Hyoscyami.

菲沃斯矢亞謨斯越幾斯篤拉屈篤ハ花時ニ採集セル菲沃斯矢亞謨斯草ノ生葉及細枝ヲ以テ別刺敦那

越幾斯篤拉屈篤ノ如ク製スヘシ

本品ハ帶綠褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ潤潤シテ溶解ス
注意シテ貯フヘシ

阿片越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Opii.*

阿片末

ヲ取リ

一分

蒸餾水

四分

ヲ注キ屢振盪シテ冷浸シ二十四時ノ後原液ヲ又其殘滓ニ

蒸餾水

三分

ヲ注キ更ニ二十四時間冷浸シ原液ヲ合シ其沈定メルヲ俟テ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉

屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ潤潤シテ溶解ス

本品三・五瓦蘭ヲ水六十五瓦蘭ニ溶解シ濾過シ其濾液四十二・五瓦蘭ヲ取リ阿片ノ條ニ掲グル

方法ニ由テ試験スルニ少ナクモ〇・四瓦蘭ノ其兒比涅ヲ檢出セサル可カラヌ

注意シテ貯フヘシ

加刺拔兒豆越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Physostigmatis.*

加刺拔兒豆越幾斯篤拉屈篤ハ

加刺拔兒豆粗末

十分

ヲ取リ

酒精

二十四分

常水

十六分

ヲ注キ三日間温浸シ原液ヲ又其殘滓ニ

酒精

二十四分

常水

十六分

ヲ注キ一日間温浸シ原液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ其容量三分一ト爲ルニ至リ冷處ニ靜置シ

テ其沈定スルヲ俟テ再ヒ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ稀酒精ニ溶解スレトモ水ニ溶解セス

最も注意シテ貯フヘシ

林檎鐵越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Pomii ferratum.*

林檎鐵越幾斯篤拉屈篤ハ

酸味アル林檎

五十分

ヲ取リ搗爛シテ粥狀ト爲シ壓搾シテ得タル液ニ

鐵粉

一分

ヲ混和シ重湯煎上ニ温メテ瓦斯ノ發生止ムニ至リ常水ヲ加ヘテ其全量ヲ五十分ト爲シ數日間放置

シテ濾過シ其液ヲ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ帶綠黑色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ澄明ニ溶解ス

大黃越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Rhei.*

大黃越幾斯篤拉屈篤ハ

細割セル大黃

二分

ヲ取リ

酒精

四分

常水

六分

ヲ注キ二十四時間冷浸シ原液ヲ又其殘滓ニ

酒精

二分

常水

ヲ注キ更ニ二十四時間冷浸シテ壓漉シ漉液ヲ合シ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製ス

本品ハ帶黃褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ溷濁シテ溶解ス

○番木甯越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Strychni*, *Extractum Nucis vomicae*.

番木甯越幾斯篤拉屈篤ハ

ヲ取リ

十分

稀酒精

二十分

ヲ注キ時々振盪シテ二十四時間温浸シ壓漉シ又其殘滓ニ

稀酒精

十五分

ヲ注キテ前法ヲ反復シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ溷濁シテ溶解ス

注意シテ貯フヘシ

蒲公英越幾斯篤拉屈篤 *Extractum Taraxaci*.

蒲公英越幾斯篤拉屈篤ハ

春季開花前ニ採集シテ乾燥割截セル蒲公英ノ全草

一分

ヲ取リ

常水

五分

ヲ注キ四十八時間冷浸シテ壓漉シ又其殘滓ニ

常水

五分

ヲ注キ前法ヲ反復シ漉液ヲ合シテ蒸發シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯篤拉屈篤ト爲シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ越幾斯篤拉屈篤ニシテ水ニハ澄明ニ溶解ス

枸橼酸鐵 *Ferri Citras*.

枸橼酸鐵ハ

枸橼酸鐵液

ヲ取リ六十度ニ超ヘサル温ヲ與ヘテ蒸發シ舍利別稠トナルヲ度トシ薄ク之ヲ硝子板上ニ塗布シ小

葉片ト爲シテ剝離シ得ルニ至ル迄微温ニ於テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ透映赤褐色酸性ノ小葉片ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ冷水ニハ徐々ナレトモ全ク

溶解シ酒精ニ溶解セズ

本品ノ水溶液ニ黄色血滷鹽ヲ和メレハ藍綠色ヲ呈シ之ニ少量ノ鹽酸ヲ加フレハ暗藍色ニ變スヘシ

但シ安母尼亞ヲ和メルモ沈澱ヲ生ヌ可カラヌ又本品ノ飽和水溶液ニ加里滷液ノ過剩ヲ和シ其鐵分

悉ク褐色ノ沈澱ト爲テ沈降スルニ至ル迄蒸餾スルニ其際安母尼亞ヲ覆ヌ可カラヌ此近滓ヲ濾別シ

得メル液ニ醋酸ヲ和シテ酸性ト爲メニ久シキヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ヌ可カラヌ

本品ヲ大氣中ニ燥灼スレハ終ニ亞爾加里性ノ反應ヲ徴セサル褐色ノ酸化鐵ヲ殘留スヘシ其重量ハ

茲ニ用井メル本品百分ニ付キ二十五分ヨリ少ナカル可カラヌ

枸橼酸鐵安母紐膜 *Ferri et Ammonii Citras*.

枸橼酸鐵液

三分

安母尼亞水

一分

ヲ取リ混和シ六十度ニ超ヘサル温ニ於テ蒸發シ舍利別稠ト爲ルニ至リ薄ク之ヲ硝子板上ニ塗敷シ

小葉片ト爲シテ剝離シ得ルニ至ル迄微温ニ於テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ透映赤褐色中性ノ小葉片ニシテ臭氣ナク好シテ濕氣ヲ引キ水ニ溶解シ易ク酒精ニ溶解セ

ズ

本品ノ水溶液ハ少量ノ鹽酸ヲ加フル後始メテ黄色血滷鹽ニ由テ藍色ヲ呈スヘシ又本品ノ濃厚水溶

液ニ加里滷液ノ過剩ヲ和シ蒸發シ其鐵分悉ク褐色ノ沈澱ト爲テ沈降スルニ至リ濾過スルトキハ無

色ノ濾液ヲ得ヘシ之ニ醋酸ヲ和シテ酸性ト爲シ久シキヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ヌ可カラヌ
本品ヲ大氣中ニ燻灼スレハ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發シテ炭化シ終ニ亞爾加里性ノ反應ヲ徵セサル褐色
ノ物質ヲ殘留スヘシ此殘留物ノ重量ハ茲ニ用井メル本品百分ニ付キ大約二十五分ナラサル可カラ
ヌ

燻中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

枸橼酸鐵規尼涅 Ferris et Chinini Citras.

枸橼酸鐵規尼涅ハ

十五分

ヲ取リ之ニ

一分

規尼涅
ヲ加ヘ六十度ニ超ヘサル温ヲ與ヘテ溶解スルニ至リ蒸發シテ舍利別稠ト爲ルヲ度トシ薄ク硝子板
上ニ塗布シ少葉片ト爲シテ剝離シ得ルニ至ル迄微温ヲ與ヘテ乾燥シ製スヘシ
本品ハ透映赤褐色乃至帶褐黃色ノ薄キ小葉片ニシテ臭氣ナク微ニ濕氣ヲ引キ弱酸性ノ反應ヲ徵シ
其味苦ク稍鐵味ヲ帶ヒ冷水ニハ徐々ナレトモ全ク溶解シ酒精ニハ僅ニ溶解ス

本品ヲ大氣中ニ燻灼スレハ亞爾加里性ノ反應ヲ徵セサル酸化鐵ヲ殘留スヘシ
本品ノ飽和水溶液ニ加里瀉液ノ過剩ヲ和シ其鐵分悉ク褐色ノ沈澱ト爲テ沈降スルニ至ル迄煮沸ス
ルニ其際安母尼亞ヲ發ヌ可カラヌ又其沈澱ヲ濾別シ得タル液ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性ト爲スニ久シキ
ヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ヌ可カラヌ又本品ノ水溶液ハ鹽酸一二滴ヲ加フル後始メテ黃色血瀉鹽
ニ由テ暗藍色ヲ呈スヘシ又其水溶液ニ硝酸拔價試ヲ和セルモ僅微ノ濁濁ヲ起スニ過ク可カラヌ
本品四瓦蘭試ヲ枸橼酸一瓦蘭試水四十立方センチメートルニ和シ温ヲ與ヘテ溶解シ其溶液ヲ分
液漏斗ニ盛リ那篤倫瀉液ノ過剩及嘔囉仿膜三十立方センチメートルヲ加ヘ強ク之ヲ振盪シテ後
靜置スルトキハ澄明ナルニ液層ヲ生ヌヘシ次ニ豫メ秤量セル器中ニ其下層ナル嘔囉仿膜ヲ證明ニ
注瀉シ取リ褐色ノ水液ニハ尙ホ兩回毎大二十立方センチメートルノ嘔囉仿膜ヲ加ヘテ振盪瀉出

スヘシ斯ノ如クシテ集採シタル嘔囉仿膜液ヨリ全ク其嘔囉仿膜分ヲ驅除シ其殘留物ヲ百十度ノ熱
ニ於テ乾燥スレハ規尼涅大約〇・五瓦蘭試ヲ得ヘシ是レ本品百分ニ付キ十二分ノ無水規尼涅ヲ徵
スルモノトス其試驗藥ニ對セル反應ハ規尼涅ノ條ニ掲グル所ニ同シ
燻中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

酒石酸鐵加價試 Ferris et Kalii Tartas.

酒石酸鐵加價試ハ

十二分

過硫酸鐵液

百二十分

ヲ取リ

常水

二十分

ヲ和シテ稀釋シタル

ヲ以テ稀釋シタル

十分

安母尼亞水

ノ中ニ攪拌シツノ之ヲ注加シ茲ニ生シタル沈澱ヲ始メハ常水終ニハ蒸餾水ニテ洗滌シ其洗液ニ硝
酸拔價試溶液ヲ和セルモ其濁濁極メテ僅微ナルニ至ルヲ度トシ尙ホ濕潤セル沈澱ニ

蒸餾水

三十分

重酒石酸加價試

四分

ヲ加ヘ重湯煎ニ上セテ六十度ニ超ヘサル温ヲ與ヘ攪拌シテ溶解スルヲ候ヒ温ニ乘シテ濾過シ其濾
液ヲ冷暗處ニ於テ二十四時間放置シタル後茲ニ生セル所ノ沈澱ヲ攪拌シテ全液中ニ均同ニ散布セ
シ正ニ其沈澱ノ溶解スルニ至ル迄注意シテ安母尼亞水ヲ加ヘ蒸發シテ舍利別稠ト爲シ薄ク硝子
板上ニ塗布シ小葉片ト爲シテ剝離シ得ルニ至ル迄微温ヲ與ヘテ乾燥シ製スヘシ
本品ハ光澤アル透映赤褐色中性ノ小葉片ニシテ臭氣ナク微ニ濕氣ヲ引キ水ニハ極メテ溶解シ易ク
酒精ニ溶解セヌ

本品ノ水溶液ハ少量ノ鹽酸ヲ加フル後始メテ黃色血濁鹽ニ由テ藍色ヲ呈スヘシ又之ニ安母尼亞ヲ和スルモ沈澱ヲ生ヌ可カラヌ又本品ノ濃厚水溶液ニ加里滿液ノ過剩ヲ和シテ煮沸シ其鐵分悉ク褐色ノ沈澱ト爲テ沈降スルニ至リ濾過スレハ無色ノ濾液ヲ得ヘシ其液ニ醋酸ヲ和シテ酸性ト爲ストキハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ヌヘシ

本品ヲ大氣中ニ燥灼スレハ燃燒スル砂糖ニ類スル臭氣ヲ放チ強亞爾加里性ノ反應ヲ微スル褐色ノ物質ヲ殘留スヘシ其殘留物ノ重量ハ茲ニ用ヰタル本品百分ニ付キ大約六十分ナラサル可カラヌ且ツ水ニ溶解セサル酸化鐵大約三十分ヲ含有スヘシ
坩中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

含糖沃度化鐵 Ferri Iodidum saccharatum.

含糖沃度化鐵ハ

無錫純潔ナル細鐵線ノ倒切セルモノ

蒸餾水

沃度

ヲ取リ硝子皿ニ容レ混和シ厚シ之ヲ振盪シテ温處ニ放置シ其液ノ褐色變シテ類綠色ト爲ルヲ度トシ之ヲ濾過シ

乳糖末

ヲ盛リタル瓷皿ニ受ケ尙ホ少量ノ蒸餾水ヲ以テ硝子皿及濾器ヲ洗滌シタル液ヲ之ニ濾入シ重湯煎ニ上セ攪拌シツテ蒸發シテ乾涸スルニ至リ豫メ

乳糖末

ヲ盛リタル温鐵臼中ニ其乾燥塊ヲ速ニ投入シ搗碎シテ乾燥粉末ト爲シ直チニ小坩ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

本品ハ帶黃白色或ハ類灰色ノ粉末ニシテ甚メ濕氣ヲ引キ易ク緩和ノ鐵味ヲ有シ弱酸性ノ反應ヲ微シ七分ノ水ニ和メレハ殆ト濁濁セサル溶液ヲ生ヌ

本品ヲ大氣中ニ燥灼スレハ沃度ノ蒸氣ヲ發シテ燃化シ燃燒スル砂糖ノ臭氣ヲ放チ終ニ亞爾加里性ノ反應ヲ微セサル殘留物ヲ得ヘシ又本品ノ水溶液ハ少量ノ格魯兒水ヲ加フルノ後始メテ澱粉溶液ニ由テ暗藍色ヲ呈スヘシ
本品五瓦蘭膜ヲ水三十五立方「センチメートル」ニ和シテ得ル所ノ液ニ定規昇液ヲ滴加シテ永ク消失セサル類赤色ノ濁濁ヲ生スルニハ其昇液十五乃至十六立方「センチメートル」ヲ費スヘシ
レ百分中大約二十分ノ沃度化鐵ヲ微スルモノトス

乳酸鐵 Ferri Lactas.

乳酸鐵ハ小鐵狀ノ結晶ヨリ成レル帶綠白色ノ地片或ハ結晶性ノ粉末ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ五十分ノ水ニ溶解ス

本品ノ飽和水溶液ハ帶綠黃色ニシテ弱酸性ノ反應ヲ微シ赤色血濁鹽ヲ和スレハ夥シク藍色ノ沈澱ヲ生ヌヘシ又醋酸鉛ヲ和スルモ或ハ少量ノ鹽酸ヲ加ヘテ後硫化水素ヲ和スルモ蛋白石濁ヲ生スルニ止マリ有色ノ濁濁ヲ起ヌ可カラヌ又本品ヲ硫酸ニ混和シテ稀薄ト爲ヌモ瓦斯ヲ發ス可カラヌ
本品〇・五瓦蘭膜ニ稀鹽酸五立方「センチメートル」ヲ和シテ少時煮沸シ更ニ過剩ノ那萬倫滿液ヲ加ヘテ尙ホ之ヲ熱シ靜置スルモ其上清ハ無色ナラサル可カラヌ又本品ヲ大氣中ニ燥灼スレハ燃燒スル砂糖ノ臭氣ヲ放チ終ニ燃化シテ亞爾加里性ノ反應ヲ微セサル殘留物ヲ得ヘシ其殘留物ノ重量ハ茲ニ用ヰタル本品百分ニ付キ殆ト二十七分ナラサル可カラヌ又此殘留物ニ稀鹽酸ヲ和シテ煮沸シ安母尼亞ヲ以テ過飽和シ濾過シテ得タル液ハ之ヲ蒸發スルノ後固性物ヲ殘留ヌ可カラヌ
坩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

過格魯兒化鐵 Ferri Perchloridum.

過格魯兒化鐵ハ類褐色乃至橙黃色ノ結晶塊ニシテ甚メ濕氣ヲ引キ易ク鹽酸樣ノ微臭ヲ有シ酸性ノ反應ヲ微シ水ニ溶ケ易ク酒精及依的兒ニ全溶ヌ安母尼亞ヲ以テ濡ホレタル硝子瓶ヲ之ニ近接スルモ白霧ヲ生ヌ可カラヌ又濕潤セル沃度化亞鉛澱粉紙ヲ近クルルモ之ニ藍色ヲ呈ヌ可カラヌ
本品ノ水溶液ニ硝酸銀ヲ和スレハ稀硝酸ニ溶解セサル多量ノ白澱ヲ生ヌヘシ又其水溶液ニ稀鹽酸

ヲ加ヘテ酸性ト爲シタル後黃色血濁鹽ヲ和スルトキハ深藍色ノ沈澱ヲ生ズヘシ
 本品ノ水溶液(10%)ニ同容量ノ安母尼亞ヲ和シ温ヲ與ヘ濾過スレハ無色ノ液ヲ得ヘシ此液ニ硫化水
 素ヲ和スルモ沈澱ヲ生ズ可カラヌ又染色ス可カラヌ稀鹽酸ヲ以テ酸性ト爲シタル後モ亦然リ又
 此濾液ヲ蒸發シテ後細ク燥灼スルモ固性物ヲ殘留ス可カラヌ此濾液ノ一部分ヲ取リ冷却シテ徐
 ヲニ同容量ノ硫酸ヲ混和シタル後之ニ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其接界ニ於テ褐
 色ヲ呈ス可カラヌ

本品ノ水溶液(10%)ハ之ヲ煮沸スルモ潤濁セズ又硝酸拔留膜ヲ加フルモ五分時内ニ潤濁ス可カラ
 ス又赤色血濁鹽ニ由テ藍色ヲ呈ス可カラヌ

○次炭酸鐵 Ferrisubcarbonas.

次炭酸鐵ハ極メテ細緻ナル無晶形ノ粉末ニシテ帶赤褐色ヲ有シ臭氣ナク中性ノ反應ヲ微シ水ニ和
 レテ振盪スルモ其水中ニ可溶性物質ヲ溶出セズ稀鹽酸ニハ微ニ泡沸シテ全溶ス此溶液ニ黃色血濁
 鹽ヲ加フレハ藍色ヲ呈スヘシ

硝酸ヲ以テ得タル本品ノ溶液ニ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノ(10%)ニ硝酸銀又硝酸拔留膜ヲ加フル
 モ潤濁ス可カラヌ或ハ蛋白石潤ヲ起スニ止マルヘシ又本品ノ鹽酸溶液ニ熱ヲ與ヘテ安母尼亞ノ過
 剩ヲ和シ濾過スルトキハ澄明無色ノ液ヲ得ヘシ此濾液ニ硫化水素ヲ加フルニ鹽酸ヲ以テ酸性ト爲
 シタル後ト雖モ染色或ハ潤濁ヲ生ズ可カラヌ又炭酸那葛留膜ニ由テ變化ス可カラヌ

○硫酸鐵 Ferrisulphas.

硫酸鐵ハ

無錫純潔ナル纖細ノ鐵線

ヲ取リ之ヲ

蒸餾水

硫酸

二分

八分

三分

ノ混和液中ニ投シ熱ヲ與ヘテ溶解シ殆ト瓦斯ノ發生止ムニ至リ温ニ乘シテ濾過シ其濾液ヲ攪拌シ
 ツ、

酒精

四分

ノ中ニ注加シ爰ニ生スル微細ノ結晶粉ヲ採テ直チニ濾器ニ上セ少量ノ酒精ヲ以テ洗滌シ次ニ壓搾
 シテ速ニ濾紙上ニ散布シ常温ニ乾燥シ製スヘシ但シ日光ニ曝シ乾スヲ最佳トス

本品ハ結晶性ノ粉末ニシテ乾燥セル大氣ニ觸ルレハ風化シ易ク一八分ノ水ニ溶解シテ類綠色ノ
 液ヲ爲ス

本品ノ極メテ稀薄ナル水溶液ニ赤色血濁鹽ヲ加フレハ深藍色ヲ呈シ硝酸拔留膜ヲ加フレハ硝酸ニ
 溶解セサル白澱ヲ生ズヘシ

本品ニ瓦爾謨ヲ水溶液ト爲シ硝酸ヲ加ヘ煮沸シテ全ク酸化セシメ安母尼亞ノ過剩ヲ加ヘテ濾過ス
 ルトキハ無色ノ濾液ヲ得ヘシ此液ハ硫化安母紐膜ニ由テ潤濁セズ之ヲ蒸發シテ燥灼スルモ固性物
 ヲ殘留ス可カラヌ坩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

粗製硫酸鐵 Ferrisulphas crudus.

粗製硫酸鐵ハ類綠色結晶性ノ塊片或ハ綠色ノ結晶ニシテ通常其表面微ニ酸化シ稍、濕氣ヲ帶ヒ又
 ハ類白色ノ粉塵ヲ被ルコトアリ五分ノ水ニハ著シキ褐色ノ潤濁ヲ起サスシテ溶解シ其溶液ハ硫化
 水素ニ由テ僅微ノ褐色ヲ呈スルニ止マルヘシ

本品ハ主トシテ消毒ノ目的ニ應用スルモノニシテ内服藥ト爲ス可カラヌ

鐵粉 Ferrum pulveratum.

鐵粉ハ微ニ鐵輝アル重キ灰色ノ細末ニシテ磁石ニ引攝セラレ水ニ容量稀鹽酸一容量ノ混液ヲ注ケ
 ハ瓦斯ヲ發シテ溶解シ黑色ノ殘留物アルモ僅微ニ過ク可カラヌ其際發生スル所ノ水素瓦斯ハ硝酸
 銀溶液(1%)ニ滴ホシタル紙片ヲ直チニ黃色或ハ褐色ニ染ム可カラヌ又其溶液ニ硝酸ヲ加ヘテ酸
 化シタル後安母尼亞ノ過剩ヲ和シ濾過シテ得タル液ハ無色ニシテ之ニ硫化安母紐膜ヲ加フルモ潤
 濁ス可カラヌ

還元鐵 Ferrum reductum.

還元鐵ハ灰色ヲ有スル極メテ細微ノ粉末ニシテ光澤ナク磁石ニ引攝セラレ之ヲ熱スレハ自カラ紅
鐵シテ黒褐色ノ酸化物ニ變ス
本品ヲ水ニ容量ト稀鹽酸一容量トノ混液ニ溶解シテ發スル所ノ瓦斯ハ殆ト臭氣ナク且硝酸銀溶液
(1%)ニ滲ホシタル紙片ヲ直チニ黃色或ハ褐色ニ染ム可カラヌ又其際極メテ僅微ノ不溶解分ヲ遺
スニ過リ可カラヌ其溶液ニ硝酸ヲ加ヘテ酸化シタル後安母尼亞ノ過剰ヲ和シ濾過スルトキハ無色
ノ濾液ヲ得ヘシ此濾液ニ硫化安母紐膜ヲ和スルモ濁濁ス可カラヌ又本品ニ和シ振盪シタル水ハ刺
肌試紙ヲ變色セス之ヲ蒸發スルモ殘留物ヲ見ル可カラヌ
本品ニ瓦蘭膜ヲ小硝子蓋ニ取り水二十立方センチメートルノ沃度化加價膜二・五瓦蘭膜及沃度二・七
瓦蘭膜ヲ加ヘ蒸リ極盛シ展振盪シツ、微温ニ於テ二時間放置シタル後硫化炭素少許ヲ加ヘ振盪
スルニ其硫化炭素ヲ紫藍色ニ染ム可カラヌ是レ百分中純鐵ノ最少含量六十分ヲ微スルモノトス
燻中ニ容レ密栓メテ貯ンハム

綿馬 Filix mas.

Aspidium Filix mas Spartz.

綿馬ハ根及鱗包ヲ除キタル根莖ニシテ太サ大約二センチメートル長サ大約五センチメートルニ
至ル所ノ葉基アリテ其一邊ニ葉生シ葉基ノ横斷面ニハ類綠色ノ組織中ニ散在セル脈管束大約八個
ヲ現ハス根莖中ニハ稍多數ノ脈管束アリ味ハ微甘苦辣ナリ
之ヲ貯フルコト一年已上ニ過リ可カラヌ

茴香 Foeniculum.

Foeniculum capillaceum Gild.

茴香ハ長圓柱形帶稍綠色長サ四乃至八センチメートル太サ三センチメートルニ至ル果實ニシテ其兩
分果多クハ分裂ス各分果ニハ稜線ヲ具フル淡色ノ隆起五條ヲ有シ其中間ニハ一ノ油脈ヲ有スル褐
色ノ淺溝アリ

本品ハ其香味特異芳香性ニシテ微甘ナリ

瓦爾拔奴膜 Galbanum.

Ferula galbanifera Boiss. et Buhse 及其餘北亞細亞ニ産スル Ferula 屬ノ諸種

瓦爾拔奴膜ハ類黃色乃至帶赤褐色ヲ有シ或ハ相粘着シ或ハ粘着セサル不整ノ顆粒ヨリ成リ又ハ顆
粒ヲ包藏セル類綠色乃至淡褐色ノ多少柔軟ナル塊ヨリ成レル護膜樹脂ニシテ共ニ蠟燭ノ破碎面ヲ
爲ス香味ハ佳快芳香性ニシテ苦

本品ヲ酒精ニテ滲ホシ之ニ鹽酸ヲ加フレハ紫藍色ヲ呈スハム

本品ハ寒冷ノ時粉末ト爲シ篩過シテ不潔物ヲ除去スハム

五倍子 Galia.

Rhus semialata

五倍子ハ樹木 Rhus semialata ノ葉ニ樹木吸蟲 Aphis chinensis ノ刺蝟スルニ由テ成リタル發生物
ニシテ製子狀乃至塊狀ヲ爲シ或ハ單一ニ或ハ數個ニ分レ多數ノ薄凹ヲ有シ大サ一センチメートル
ルヨリ六センチメートルニ至リ厚一ノ穿孔アリ内部ハ空洞ニシテ麩包心狀灰色ノ粉質及吸蟲
ノ殘餘ヲ含有ス外面ハ赤褐色ニシテ尖銳細絲狀ノ毛ヨリ成レル淺灰色ノ毳被ヲ帶フ

龍膽 Gentiana.

Gentiana scabra Bunge var. Buergeri Max.

龍膽ハ外面褐色内部ハ淡黃色ノ短キ根莖ニシテ太サ大約十センチメートル其根根ハ帶赤黃色柔靱
多數ニシテ長ク太サ大約三センチメートルナリ根莖ノ横斷面ニハ微ニ大理石樣ノ紋理ヲ呈シ根
ノ横斷面ニハ木心ニ近クニ從テ漸ク暗色ト爲ル所ノ厚キ外皮及細キ木心ヲ現ハス
本品ハ澱粉ヲ含有セシ臭氣ナク味ハ甚メ苦

偲里設林 Glycerinum.

偲里設林ハ澄明無色會利別稠ノ液ニシテ味甘ク臭氣ナク水及酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解スレ
トモ依的兒嚼囉仿膜及脂肪油ニ溶解セシ異重ハ一・二三乃至一・二四ナリ
本品ヲ水五分ニ溶解セルモノハ中性ノ反應ヲ微シ萘酸安母紐膜硝酸拔留膜硝酸銀硫化水素及硫

化安母根根ニ由テ潤滑又ハ染色ス可カラス
本品ヲ加里瀉液ニ和シテ熱スルモ染色セズ且安母尼亞ヲ煮ス可カラス又稀硫酸ニ和シテ熱スルモ不快散油性ノ臭氣ヲ放ツ可カラス之ヲ重湯煎上ニ蒸發スルモ黑色ヲ呈ス可カラス又安母尼亞性ノ硝酸銀溶液ニ和スルモ十五分時内ニ於テ還元作用ヲ現ハス可カラス
本品ヲ白金板上ニ熱スルモ固性物ヲ殘留ス可カラス

甘草 *Glycyrrhiza*

Glycyrrhiza glabra Linn. var. B. flandulifera.

甘草ハ太サ二センチメートルニ至ル長キ圓柱形ノ根ニシテ内部ハ黄色外部ハ赤褐色ニシテ皺紋ヲ有シ破折面ハ纖維様ヲ爲シ横断面ニハ放射狀ニ並列シテ互ニ隔離セル楔狀ノ木纖維束ヲ現ハス味ハ甘シ

精製綿 *Gossypium depuratum*

本品ノ粉末ヲ製スルニハ外皮ヲ剝除セルモノヲ用ツヘシ

精製綿ハ
白色最良ノ彈綿
ヲ取リ之ヲ

炭酸那篤價膜

常水

五分
九十五分

ノ溶液ニ浸漬スルコト二三時ノ後初メニハ常水終ニハ蒸餾水ヲ以テ洗滌シ其水全ク中性ト爲ルニ至リ壁撒シテ乾燥シ製スヘシ

本品ヲ水ニ投スレハ速ニ沈降シ滯濁セル則肩膜斯紙ニ接觸スルニ全ク中性ノ反應ヲ微スヘシ之ヲ灰化スルモ百分ニ付キ一分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

止血綿 *Gossypium stypticum*

止血綿ハ

過格魯兒化鐵液

酒精

ヲ取リ混和シ之ニ

精製綿

二十五分
十五分
十分

ヲ浸シ其綿ヲ液中ヨリ出メシテ壁撒シ光ヲ遮リ微温處ニ乾燥シ製スヘシ
罐中ニ容レ密栓シテ貯ンヘシ

石榴根皮 *Granatum*

Punica granatum Linn.

石榴根皮ノ乾燥セルモノハ多少半管狀ヲ爲シ厚サ二ミリメートルニ至リ外面ハ帶綠黄色乃至帶褐灰色ヲ爲シ地衣若クハ其黑色ナル芽胞房ヲ附着セズ内面ハ滑澤ニシテ帶褐黄色ナリ味ハ不快收斂性ニシテ稍苦シ

本品ハ成ルハク新鮮ノ根皮ヲ採用スヘシ

癒瘡木 *Gujacum*

Gujacum officinale Linn.

癒瘡木ハ堅硬緻密ニシテ直線ニ割裂ス可カラサル重キ木材ナリ樹脂ニ富メル帶綠褐色ノ木心ト之ヨリ輕キ類黄色ノ木膚トヨリ成リ之ヲ熱スレハ佳快ナル安息香様ノ香氣ヲ放ツ

本品ハ水ニ投スレハ沈降スヘシ又酒精ニテ滯水シ過格魯兒化鐵液ヲ注ケハ藍綠色ヲ呈スヘシ
坊間ニ販賣スル本品ノ削屑ハ類白色ノ木膚ヲ混スルコト多キニ過ク可カラス又他種ノ木片ヲ混ス可カラズ

○亞拉馬亞護膜 *Gummi arabicum*

Acacia Veresk Guill. et Perr.

亞拉馬亞護膜ハ無色或ハ微ニ類黄色ヲ帶フル球圓形或ハ多稜ノ塊片ニシテ外面ハ龜裂シ破折面ハ透明ニシテ硝子様ノ光澤ヲ有シ殆ト臭氣ナク淡泊粘滑ノ味ヲ有ス之ヲ粉碎スレハ全ク白色ノ粉末ト爲ル

本品ハ二分ノ水ニ徐々ニ溶解シ微ニ酸性ヲ微スル證明ノ粘漿ヲ生スヘシ此粘漿ハ酒精若クハ次醋酸鉛液ニ因テ大ニ絮狀ノ沈澱ヲ生スレトモ醋酸鉛溶液ニ因テハ毫モ沈澱ヲ生ス可カラヌ本品ヲ次化スルモ百分ニ付キ三分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

佩答百兒加 Gutapercha

Dichopsis Gutta Hooker.

佩答百兒加ハ灰色乃至帶黃褐色或ハ展赤褐色ノ膜理ヲ有スル角質狀ノ塊片ニシテ稍撓屈スルヲ得ヘキモ殆ト彈力ヲ有セメ大約七十度ノ温ニ於テ柔軟可塑性ト爲リ沸湯中ニハ極メテ柔軟ト爲ル水及酒精ニ溶解セス嚼囉仿膜の列並底油、硫化炭素及偏蘇爾ニ溶解ス異重ハ〇・九六乃至〇・九九ナリ

〇水蛭 Hirudo

Hirudo medicinalis Linn. var. japonica.

水蛭ハ腹面ハ阿列布線綠色背面ハ褐色ナル小水蛭ニシテ其背面ニハ黒線ヲ有スル黃色ノ縱紋五條アリ此縱紋ハ均一ノ距離ヲ隔テ、其幅狹隘トナリ或ハ間斷ス

其既ニ吸血シタルモノハ再用ス可カラヌ

大麥 Hordeum

Hordeum vulgare Linn.

大麥ハ外皮及其實皮モ殆ト除去セル白色橢圓形ノ種實ナリ其兩端ハ鈍圓ニシテ一側ニハ縱ニ類褐色ノ凹溝アリ

〇甘汞 格魯兒化汞 Hydrargyri Chloridum, Colomel.

甘汞ハ昇華法ニ由テ製シタル帶黃白色ノ重キ粉末ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セス熱スレハ熔融セシメテ全ク揮散ス水酒精及依的兒ニ溶解セス硝酸中ニ投シテ熱スルトキハ赤色ノ蒸氣ヲ放テ容易ク全溶ス此溶液ニ水ヲ和シテ稀釋シタルモノハ硝酸銀ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又那篤倫滴液ニ和シテ熱スルトキハ安母尼亞ヲ發セシメテ黑色ニ變メヘシ又十分ノ水或ハ酒精ニ和シ振盪シテ後濾過シテ得タル液ハ硫化水素及硝酸銀ニ由テ濁濁ス可カラヌ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

黃色沃度化汞 沃度化汞 Hydrargyri Iodidum.

黃色沃度化汞ハ

水銀 八分
沃度 五分

ヲ取リ先ツ沃度ニ少量ノ酒精ヲ注キ強熱ヲ發セサルニ注意シテ漸々水銀ヲ研和シ終ニ一ノ水銀球ヲ認メシテ其粉末均シク帶綠黃色ヲ呈スルニ至リ酒精ヲ以テ洗滌シ其洗液ニ硫化水素ヲ加フルモ復タ變化セサルヲ度トシ光ヲ遮リ乾燥シ製スヘシ

本品ハ帶綠黃色無晶形ノ粉末ニシテ極メテ重ク酒精ニ溶解セス水ニモ亦殆ト溶解セス熱スレハ全ク揮散ス本品ヲ二十分ノ酒精ニ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液ニ硫化水素ヲ加フルモ全ク或ハ殆ト變化ス可カラヌ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

黃色酸化汞 黃降汞 Hydrargyri Oxydum Flavum.

黃色酸化汞ハ

二分

ヲ取リ温蒸餾水ニ溶解シ之ヲ

那篤倫滴液

六分

蒸餾水

十分

ノ混液中ヘ攪拌シツ、徐々ニ注加シ茲ニ得タル沈澱ヲ濾器上ニ集メ熱蒸餾水ヲ以テ充分ニ洗滌シ其洗液ニ硝酸銀ヲ加フルモ復タ變化ヲ見サルニ至リ四十度ヲ超エサル温ヲ以テ乾燥シ製スヘシ本品ハ黃色無晶形ノ重キ粉末ニシテ臭氣ナク水及酒精ニ溶解セス稀鹽酸ニハ容易ク溶解ス熱スレハ先ツ黒變シ終ニ全ク揮散スヘシ

過シテ得タル液ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラヌ
硝酸ヲ以テ得タル本品ノ稀薄水溶液ハ硝酸銀ニ由テ毫モ濁濁セヌ或ハ僅微ノ蛋白石濁ヲ生スルニ
止マルヘシ

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

○赤色酸化汞 赤降汞 Hydrargyri Oxidum rubrum.

赤色酸化汞ハ橙赤色結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セヌ極メテ微細ニ研末スレハ
稍黄色ヲ増シ之ヲ熱スレハ先ツ黒變シ終ニ全ク揮散シ其際發スル蒸氣ハ類赤色ヲ有ス可カラヌ
又水ニ滯ホシタル藍色刺扁膜紙ヲ赤變ス可カラヌ本品ハ水ニ溶解セサレトモ稀鹽酸ニハ容易ク
溶解ス

本品ヲ稀酸ノ濃厚溶液ニ和シテ振盪スルモ白色ヲ呈ス可カラヌ

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

○昇汞 過格魯見化汞 Hydrargyri Perchloridum. Mercurius sublimatus corrosivus.

昇汞ハ白色透映重キ放線狀ノ結晶塊片或ハ白色結晶性ノ粉末或ハ銀狀ノ結晶ヲ爲シ之ヲ熱スレハ
熔融シテ終ニ全ク揮散シ十六分ノ冷水三分ノ沸湯三分ノ酒精及四分ノ依的兒ニ溶解ス

本品ノ水溶液ハ酸性ノ反應ヲ微シ之ニ格魯見化那箇備膜ヲ加フレハ中性ト爲リ石灰水ヲ和スレハ
類赤色ノ沈澱ヲ生シ硝酸銀ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又其水溶液ヲ温メ硫化水素ヲ以テ飽
和シ冷後更ニ安母尼亞ヲ以テ過飽シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ稀鹽酸ヲ以テ酸性ト爲ヌモ黄色ノ
物質ヲ析出ス可カヌ

最モ注意シテ貯フヘシ

最モ注意シテ貯フヘシ

最モ注意シテ貯フヘシ

最モ注意シテ貯フヘシ

白降汞 含備過格魯見化汞

Hydrargyri Perchloridum ammoniatum. Mercurius praecipitatus albus.

白降汞ハ

昇汞

ヲ取リ

温蒸餾水

ニ溶解シ冷後濾過シテ得タル液ニ

安母尼亞水

ヲ(或ハ安母尼亞水ノ二倍)過剩ナルニ至ル迄攪拌シツ、徐々ニ注加シ茲ニ得タル沈澱ヲ濾器上

ニ集メ其液分ノ成ルハク滴去ヌルヲ俟テ

蒸餾水

ヲ以テ洗滌シ濾紙間ニ掃ミ微温ヲ以テ暗處ニ乾燥シ製スヘシ

本品ハ白色無臭ノ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ變化セヌ水及酒精ニハ全ク或ハ殆ト溶解セヌ稀硝酸或

ハ稀鹽酸ニハ泡沸セヌシテ容易ク溶解シ又次亞硫酸那箇備膜ノ冷溶液ニ溶解ス本品ノ醋酸溶液ハ

稀硫酸ニ由テ濁濁ス可カラヌ

本品ヲ那箇備膜液ニ和シテ温ムレハ安母尼亞ヲ發シテ黄色酸化汞ヲ析出スヘシ又試験管中ニ燒灼

スレハ自ラ分解シ溶解セヌシテ全ク揮散スヘシ

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

赤色沃度化汞 過沃度化汞 Hydrargyri Periodidum.

赤色沃度化汞ハ

昇汞

ヲ取リ

温蒸餾水

ニ溶解シ冷後之ヲ

沃度化加備膜

蒸餾水

十分

二百分

十五分

九十分

九分

百五十分

十一分

三十分

ノ溶液中ハ攪拌シテ注加シテ得タル沈澱ヲ濾器上ニ集メ蒸餾水ヲ以テ充分ニ洗滌シ其洗水ニ硝酸銀ヲ和メルモ蛋白質濁ヲ生ズルニ過キサルニ至リ微温ヲ以テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ猩紅色無臭ノ粉末ニシテ之ヲ熱スレハ黃色ヲ呈シ終ニ全ク揮散シ百二十分ノ冷酒精二十分ノ沸騰酒精又ハ沃度化加留液ニ溶解シテ無色ノ溶液ヲ生ズ

本品ヲ水ニ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素又ハ硝酸銀ニ由テ濁濁ス可カラズ或ハ之アルモ極メテ微微ニ止マルヘシ

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

赤色硫化汞 朱

Hydrargyri Sulphidum rubrum. Cinabar.

赤色硫化汞ハ重キ細微ノ粉末ニシテ鮮麗ノ猩紅色ヲ有シ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ熱スレハ暗色ト爲リ遂ニ全ク揮散ス水酒精鹽酸硝酸及稀薄ノ亞爾加里液ニ溶解セズ但シ熱ヲ與フレハ王水ニ溶解ス

本品ヲ加里滿液ニ和シ微温ヲ與ヘテ振盪シ濾過スルトキハ無色ノ濾液ヲ得ヘシ此液ハ少量ノ醋酸鉛ヲ加ヘ又ハ稀鹽酸ヲ以テ過飽スルモ有色ノ濁濁ヲ起ス可カラズ本品ヲ稀硝酸ニ和シテ一二分時間温浸スルモ其色ヲ變ス可カラズ之ヲ濾過スレハ無色ノ濾液ヲ得ヘシ其濾液ニ多量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ硫化水素ヲ以テ飽和スルモ染色セズ又有色ノ沈澱ヲ生ズ可カラズ

水銀 Hydrargyrum.

水銀ハ銀樣ノ光澤ヲ有スル液狀ノ金屬ニシテ熱スレハ全ク揮散シ常温ニ於テモ徐々ニ蒸散ス異重ハ十三・五七ナリ

本品ハ充分乾燥シ之ヲ坩中ニ振盪スルモ其壁面ニ粘着セズ又純潔ノ銀光ヲ失フ可カラズ

菲沃斯矢亞謨斯

HYOSCYAMUS.

Hyostrangus niger Linn.

菲沃斯矢亞謨斯ハ長卵圓形上端尖銳長サ大約二・五センチメートル廣サ十センチメートルニ至ル灰綠色ノ葉ニシテ腺毛ヲ帶ヒ邊緣灣狀ニ齒裂シテ兩緣各三乃至六箇ノ巨大ナル齒瓣ヲ有シ不

快ナル麻酔性ノ臭氣アリ

本品ハ花時ニ當テ採集シ速ニ乾燥スヘシ

注意シテ貯フヘシ但シ一年以上ニ過ク可カラズ

耶僕蘭日 Jaborandi.

Phacarus Pennsylvanicus Lemaitre.

耶僕蘭日ハ長サ三十一センチメートルニ至ル奇性ノ莖葉ナリ其莖葉ハ二列乃至四列ニシテ或ハ短キ葉柄ヲ有シ或ハ之ヲ有セズ頂端ノ奇葉ハ葉柄稍長シ各葉片ハ長サ七乃至七センチメートル廣サ四乃至七センチメートル長形若クハ卵圓錐形ヲ爲シ邊緣ハ缺裂セズ上端ハ或ハ稍鈍ク或ハ凹入シ日光ニ向テ透シ視レハ不透明映ノ點ヲ現ハス

本品ハ微ニ芳香性ノ香氣ヲ有シ之ヲ磨碎スレハ益著シ味ハ微苦ニシテ稍辛烈ナリ

葯刺巴根 Jalapa.

Iponoea purga Hayne.

葯刺巴根ハ球圓形梨子形或ハ稍長形ノ重キ球根ニシテ榛子大ヨリ拳大ニ至リ其大ナルモノハ間截割セルモノアリ外面ハ褐色ニシテ皺裂ヲ有シ淡灰色ノ胞壳ヲ帶ヒ葉痕及副根ヲ有セズ破碎面ハ角質線ニシテ纖維性ナラズ橫斷面ハ淡灰褐色緻密ノ組織中ニ於テ同心性ニ並列セル暗色多數ノ樹脂細胞ヲ現ハス臭氣ハ弱ク特異ニシテ間煙臭ヲ帶フルモノアリ味ハ始メ淡泊ニシテ後辛辣ナリ

本品ノ粉末十瓦蘭謨ニ酒精ヲ注シ充分ニ浸出シ濾過シテ得タル液ヲ重湯煎ニ上セ酒精分ヲ蒸發シ殘滓ヲ少量ノ温湯ニテ洗滌シ其洗液無色ナルニ至リ之ヲ乾燥シ秤量スルニ其量少ナクモ一瓦蘭謨ニ至ラサル可カラズ且此殘滓ハ葯刺巴根ノ條ニ記載セル性質ヲ具有スヘシ

魚膠

Ichthyocola.

Acipenser Huso Linn. 大鰭鰐 Acipenser 屬ノ鰐

魚膠ハ類白色強韌半透映殆ト角質狀ノ皮膜ニシテ虹彩ヲ帶ヒ其纖維ノ方向ニ於テ破綻シ易ク葉片狀或ハ槌子狀ト爲シ又ハ纖維細ニ割截シテ販賣ス本品ハ臭味ナク冷水ニ浸セハ膨起シ水及同量ノ水ヲ以テ稀釋セル酒精ニハ沸騰ノ溫度ニ於テ殆ト全ク溶解ス三十分ノ熱湯ニ溶解シタルモノハ冷後殆ト透明無色ノ膠塊ト爲ルヘシ

大黃浸 水製大黃丁幾美兒 Infusum Rhei.

大黃浸ハ

割截セル大黃

炭酸那篤留膜

ヲ取り之ニ

沸湯

ヲ注キ十五分時間放置シ

酒精

ヲ加ヘ更ニ一時間ヲ經テ輕ク壓搾シテ布濾シ其濾液ニ

桂皮水

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明赤褐色ノ液ニシテ強キ亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大黃ノ臭氣ヲ有ス

小壺ニ全滿シ貯フヘシ但シ久シキニ過ク可カラス

複方旃那浸 Tafusum Sennae compositum.

複方旃那浸ハ

割截セル旃那

ヲ取り之ニ

沸湯

ヲ注キ五分時間重湯煎上ニ溫浸シ冷後布濾シ其濾液ニ

十四分

六分

十五分

十分

九十分

三分

十分

酒石酸加留膜那篤留膜

滿那

ヲ溶解シ製スヘシ茲ニ得タル液ハ之ヲ沈定シ布濾シタル後其量五十分ヲ爲スヘシ

五分

十分

○沃度仿膜 Iodoformum.

沃度仿膜ハ光澤アル拘絲黃色細小ノ葉狀結晶ニシテ之ニ觸ルレハ脂肪樣ノ感覺ヲ爲シ臭氣ハ甞透性ニシテ稍消滅爾ニ類シ大約百十五度ノ熱ニ熔融シ強熱ヲ與フレハ紫藍色ノ蒸氣ヲ放チ固性物ヲ遺サスシテ揮散シ水ニハ殆ト溶解セズ大約八十分ノ冷酒精十分ノ沸騰酒精及大約六分ノ依的兒ニ溶解シ又嚼嚙仿膜硫化炭素偏蘇爾脂肪油及揮發油ニ溶解ス
本品ヲ水ニ和シテ(1:10)振盪シ濾過シテ得タル液ハ無色ニシテ中性ノ反應ヲ微シ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過キヌ又硝酸加留膜ニ由テ變化ス可カラス
注意シテ貯フヘシ

沃度 Iodum.

沃度ハ灰黑色ヲ呈シ鑄輝ヲ有スル重キ菱角系小板狀ノ結晶ニシテ濕潤ナラス磨碎シ易ク特異ノ臭氣ヲ放チ熱スレハ紫藍色ノ蒸氣ヲ發シテ全ク揮散シ百十四度ノ熱ニ於テ熔融シ水ニハ僅微ニ溶解シ十分ノ酒精依的兒及沃度化加留膜溶液ニハ褐色ヲ呈シテ溶解シ嚼嚙仿膜偏蘇爾及硫化炭素ニハ紫藍色ヲ呈シテ少量ニ溶解シ透明ノ液ト爲ル

本品〇・五瓦羅膜ニ水二十立方センチメートルヲ和シテ振盪スルトキハ微ニ類褐色ヲ有スル液ヲ得ヘシ此液ヲ瀉取シ之ニ亞硫酸那篤留膜溶液ヲ加ヘテ脫色スルニ至リ少量ノ硫酸鐵溶液及那篤倫油液ヲ和シ微溫ヲ與ヘ冷後稍過剩ノ稀鹽酸ヲ以テ過飽スルニ數時間ヲ經ルモ藍色ヲ呈セス又藍色ノ沈澱ヲ生ス可カラス又此脫色セル液ニ安母尼亞ノ過剩ヲ和シテ後硝酸銀ヲ加ヘテ沈降セシメ濾過シテ得タル液ハ硝酸ヲ以テ過飽スルニ潤濁ヲ起スモ沈澱ヲ生ス可カラス

本品〇・二瓦羅膜及沃度化加留膜〇・五瓦羅膜ヲ水五十立方センチメートルニ溶解セルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸那篤留膜液十五・五乃至十五・七立方センチメートルヲ費サハル可

カラス

壺中ニ容レ硝子粒ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ

○吐根

Ipecacuanha.

Cephaelis Ipecacuanha A. Rich.

吐根ハ太サ二乃至五「ミリメートル」長サ十五「センチメートル」ニ至リ多クハ蠕蟲狀ニ蜿蜒スル根枝ニシテ大抵分岐セシ膨起セル密接ノ環輪ヲ有シ兩端ハ稍細シ外皮ハ内部ノ木心ヨリ剝離シ易ク外面ハ灰色乃至帶褐色ヲ有シ破折面ハ顆粒狀ヲ爲ス木心ハ淡黄色ニシテ細ク其横断面ニハ著シキ放線狀ヲ現ハサス且氣脈孔ヲ有セシ臭氣ハ弱ク特異ニシテ味ハ苦ク不快ナリ

本品ノ水製煎液ハ沃度溶液ニ因テ暗藍色ヲ呈スヘシ

本品ノ粉末ヲ製スルニハ篩過シテ大約全量四分一ヲ成ス所ノ木心ヲ除去スヘシ

杜松實

Juniperus.

Juniperus communis Linn.

杜松實ハ球圓形ノ漿果様果實ニシテ直徑九「ミリメートル」ニ至リ黒褐色ヲ有シ光澤ヲ帶ヒ藍色ノ粉ヲ被リ頂端ニハ三箇ノ溝アリテ放線狀ヲ爲ス果肉ハ帶靑綠色ヲ爲シ殆ト三稜ナル卵圓形堅硬ノ種子三箇ヲ包裹ス其種子ノ外面ニハ大ナル油腺アリ味ハ微甘香味料様ニシテ稍苦ク香氣ハ芳香性ナリ

苛性加里

Kali causticum.

苛性加里ハ強キ腐蝕性ヲ有セル白色乾燥ノ塊片或ハ小槌子ニシテ破折面ハ結晶性ヲ呈シ大氣ニ觸レテ潮解シ水ニハ容易ク溶解ス其水溶液ハ無色ニシテ酒石酸ノ過剰ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生マヘシ

本品一瓦蘭誤ヲ水ニ瓦蘭誤ニ溶解シテ四瓦蘭誤ノ酒精ニ混和スレハ極メテ僅微ノ濁濁ヲ起スニ止マリ舍利別様ノ液ヲ析出ス可カラヌ

本品ヲ過剰ノ稀硫酸中ニ投スレハ初メ僅微ノ瓦斯ヲ發シ其液ハ硝酸拔留誤又硝酸銀ニ由テ微ニ濁濁スルニ止マルヘシ

本品ノ水溶液ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セルモノニ半容量ノ硫酸ヲ和シ冷後硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スニ其境界ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラヌ

壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

○醋酸加留誤

Kali Acetas.

醋酸加留誤ハ潤潤ノ大氣ニ觸ルレハ速ニ潮解スル白色弱亞爾加里性ノ結晶粉或ハ稍光澤アル葉狀纖維線ノ結晶塊ニシテ〇・五分ノ水及二・五分ノ酒精ニ溶解シ硫酸ヲ注ケハ染色セシテ醋酸ヲ發生シ其水溶液ニ酒石酸ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生マヘシ

本品ノ水溶液(1:5)ニ少量ノ醋酸ヲ和シテ酸性ト爲セルモノハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラヌ又硝酸拔留誤、硝酸安母紐誤並ニ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白濁ヲ起スニ過ク可カラヌ又此水溶液ハ硫化安母紐誤ニ由テ濁濁ス可カラヌ之ニ磷酸那篤留誤ヲ加フルモ亦然リ又本品ヲ等分ノ水ニ溶解セルモノニ酸類ヲ加フルモ泡沸ス可カラヌ

壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

重碳酸加留誤

Kali Bicarbonas.

重碳酸加留誤ハ乾燥透映無色ノ結晶ニシテ四分ノ水ニハ徐々ニ溶解シ酒精ニハ溶解セズ

本品ノ水溶液ハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ酒石酸ノ過剰ヲ和スレハ泡沸シテ白色結晶性ノ沈澱ヲ生マヘシ又醋酸ヲ以テ過飽セル後ト雖モ硫化水素ニ由テ變化ス可カラヌ

硝酸ヲ以テ過飽セル本品ノ水溶液(1:5)ハ硝酸拔留誤ニ由テ濁濁セシ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白濁ヲ起スニ過ク可カラヌ

本品五瓦蘭誤ニ冷水五立方「センチメートル」ヲ和シ十分時間靜置シテ後傾瀉シ得タル液二十倍容量ノ水ヲ和シテ稀釋シ之ニ昇汞溶液二滴ヲ加フルモ赤褐色ノ沈澱ヲ生ス可カラヌ

本品二瓦蘭誤ヲ中和スルニハ定規酸液二十立方「センチメートル」ヲ費サハル可カラヌ

重酒石酸加留膜

純精酒石

Kalii Bitartras, Cremor Tartari.

重酒石酸加留膜ハ大氣ニ觸レテ變化セサル白色堅硬無臭ノ結晶或ハ白色ノ結晶粉ニシテ酸性ノ反應ヲ微シ冷水ニ溶解シ難ク熱湯ニハ冷水ヨリ易ク溶解シ易ク酒精ニ溶解セズ
本品ヲ煨灼スレハ炭化シ燃焼スル砂糖ノ臭氣ヲ放チ終ニ白色強亞爾加里性ノ殘留物ヲ得ヘシ
本品ニ瓦蘭膜ヲ酒石酸加留膜那葉留膜及安母尼亞水各等分ヨリ成レル澄明ノ溶液五立方センチメートルニ和シテ熱スルニ茲ニ得タル溶液ハ一日ヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ヌ可カラス又硫化安母紐膜ニ由テ變化スヘカラス

本品ノ粉末ヲ二十分ノ水ニ和シテ少時振盪シ濾過シテ得タル液ニ少量ノ稀硝酸ヲ和シタルモノハ硝酸被留膜ニ由テ潤濁セズ硝酸銀ヲ和スルモ蛋白潤濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品五・三瓦蘭膜ニ弱熱ヲ與ヘ全ク炭化シテ得タル殘留物ニ水ヲ和シ煮沸シタルモノヲ中和スルニハ定規酸液二十八立方センチメートルヲ費サハル可カラス

○貌羅膜化加留膜

Kalii Bromidum.

貌羅膜化加留膜ハ光澤アル白色微子形ノ結晶ニシテ臭氣ナク大氣ニ觸レテ變化セズ二分ノ水及二百分ノ酒精ニ溶解ス本品ノ水溶液ニ格魯兒水ヲ加フレハ褐色ヲ呈シ酒石酸ノ過剩ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ヌヘシ

本品ノ水溶液(1%)ハ直チニ赤色刺屈膜紙ヲ藍色ニ變ヌ可カラス又硝酸被留膜ニ由テ潤濁ス可カラス又之ニ少量ノ硝酸被留膜ヲ和シタル後一滴ノ稀硫酸ヲ加ヘテ振盪スルモ又ハ一二滴ノ過格魯兒化鐵溶液ヲ加ヘテ振盪スルモ其硝酸被留膜ヲ藍色ス可カラス

本品ノ善ク乾燥セルモノ〇・五瓦蘭膜ヲ水二十五立方センチメートルニ溶解シ格羅膜化加留膜溶液五乃至十滴ヲ加ヘタルモノニ十分定規硝酸銀液ヲ滴入シテ永ク消失セサル赤色ヲ呈スルニ至ルニハ其銀液ヲ費ムコト四十二乃至四十三立方センチメートルニ過ク可カラス

炭酸加留膜

Kalii Carbonas.

炭酸加留膜ハ純白色顆粒狀結晶性ノ粉末ニシテ好テ濕氣ヲ引キ強亞爾加里性ノ反應ヲ微シ適度ニ

煨灼スレハ百分ニ付キ十五乃至十九分ノ水ヲ減失シ等分ノ冷水ニハ澄明ニ溶解シ其液ニ酒石酸溶液ノ過剩ヲ和スレハ泡沸シテ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ヌヘシ

本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰ノ中ニ熱スレハ其火焰ニ類紫藍色ヲ呈シ永ク黃色ヲ現ハヌ可カラス

稀硫酸ヲ以テ過飽シタル本品ノ温水溶液ハ過滿飽酸加留膜溶液ヲ脱色ヌ可カラス又醋酸ヲ以テ過飽シタル本品ノ水溶液ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラス

本品ノ水溶液(1%)ニ硫化安母紐膜ヲ加フルモ又ハ格魯兒化安母紐膜ノ過剩ヲ和シテ熱スルモ變化ヲ見ル可カラス又少量ノ硫酸鐵溶液ヲ和シテ振盪シ微温ヲ與ヘテ後稀鹽酸ヲ和シテ弱酸性ト爲シ尙ホ久シキヲ經ルモ藍色ヲ呈シ又ハ藍色ノ沈澱ヲ生ヌ可カラス又稀硝酸ヲ以テ過飽セル後硝酸銀又ハ硝酸被留膜ヲ和スルニ潤濁スルコトアルモ僅微ノ度ニ止マルヘシ

稀硫酸ヲ以テ得タル本品ノ酸性溶液ニ半容量ノ硫酸ヲ混和シ冷後之ニ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其接界ニ於テ褐色ヲ呈ヌ可カラス

本品ノ煨灼セルモノニ瓦蘭膜ヲ中和スルニハ定規酸液二十七・五立方センチメートル「已上ヲ費サハル可カラス

燻中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

粗製炭酸加留膜

Kalii Carbonas crudus.

粗製炭酸加留膜ハ白色強亞爾加里性顆粒狀ノ粉末ニシテ等分ノ水ニハ殆ト全ク溶解ス本品ノ水溶液ニ酒石酸ノ過剩ヲ和スレハ炭酸瓦斯ヲ發シテ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ヌヘシ

本品ニ紅燐熱ヲ與フルニ其量ヲ減失スルコト百分ニ付キ二十分ニ過ク可カラス

本品ノ煨灼セルモノニ瓦蘭膜ヲ中和スルニハ定規酸液二十三乃至二十三・五立方センチメートルヲ費サハル可カラス

○格魯兒酸加留膜

Kalii Chloras.

燻中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

格魯兒酸加留膜ハ光澤アル無色ノ葉狀或ハ小板狀結晶ニシテ大氣ニ觸レテ變化セス十七分ノ冷水及三分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ僅ニ溶解ス其水溶液ハ中性ノ反應ヲ微シ鹽酸ニ和シテ熱スレハ帶綠黃色ヲ呈シテ格魯兒瓦斯ヲ發シ酒精ニ過剩ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液(1:10)ハ硫化水素、硫化安母紐膜、磷酸安母紐膜又硝酸拔留膜ニ由テ變化ス可カラス

硝酸銀ヲ加フルモ濁濁セズ或ハ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ

本品ハ試験管中ニ燒灼スレハ熔融シテ膠シク酸素瓦斯ヲ發シテ後中性或ハ微亞爾加里性ノ反應ヲ微シ水ニ溶解スル所ノ殘留物ヲ遺スヘシ

酒石酸加留膜那篤留膜

羅尼越魯鹽

Kalium et Natrii Tartarus, Sal Seignetti.

酒石酸加留膜那篤留膜ハ無色無臭透明ノ柱狀結晶或ハ白色ノ粉末ニシテ其味緩和微苦ヲ帶ヒ鹹ク中性ノ反應ヲ微シ酒精ニハ殆ト溶解セズ二分ノ冷水ニ溶解シテ透明ノ溶液ヲ爲シ之ニ醋酸ヲ加フレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ヲ大氣中ニ燒灼スレハ先ツ溶解シ燃焼スル砂糖ノ臭氣ヲ放テ炭化シ其殘留物ヲ水ニ浸出シテ得タル液ハ無色ノ火焰ヲ黃色ニ染ムヘシ

本品ノ水溶液(1:10)ハ硫化水素、磷酸安母紐膜又硫化安母紐膜ニ由テ變化ス可カラス

少量ノ硝酸ヲ加ヘタル本品ノ澄明水溶液(1:10)ハ硝酸拔留膜ニ由テ濁濁セズ又硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又本品ヲ那篤倫濁液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發ス可カラス

本品五瓦爾膜ヲ熱灼シテ復々蒸氣ヲ發セサルニ至リ炭化セル殘留物ヲ水ニ和シテ煮沸シタルモノハ之ヲ中和スルニ定規酸液幾ト三十五・五立方センチメートルヲ費スヘシ

罐中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

沃度化加留膜

Kalium Iodidum.

沃度化加留膜ハ白色乾燥微子狀ノ結晶ニシテ其味辛鹹微苦〇・八分ノ水及十八分ノ酒精ニ溶解ス本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰ノ中ニ熱スレハ其火焰初メヨリ紫藍色ヲ呈シ黃色ヲ現ハヌ可カ

本品又本品ノ水溶液ニ格魯兒水ヲ和スレハ沃度ヲ析出スヘシ

本品ノ水溶液(1:10)ハ直チニ赤色刺屈膜斯紙ヲ藍色ニ變ス可カラス又硫化水素水ヲ和スルモ變化ス可カラス

本品ノ水溶液(1:10)ハ硝酸拔留膜ニ由テ濁濁セズ或ハ少時ヲ經ルノ後ト雖モ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又濃粉溶液ニ和シテ後稀硫酸二三滴ヲ加フルモ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品ノ善ク乾燥セルモノ一瓦爾膜ヲ水二立方センチメートルニ溶解シ之ニ定規昇液ヲ加ヘテ永ク消失セサル類赤色ヲ呈スルニハ其昇液少ナクモ十四・五乃至十五立方センチメートルヲ費サハル可カラス是レ百分中純沃度化加留膜ノ最少含量殆ト九十七分ヲ微スルモノトス

罐中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

硝酸加留膜

硝石 Kalium Nitras.

硝酸加留膜ハ大氣ニ觸レテ變化セサル無色無臭透明ノ稜柱結晶或ハ乾燥結晶性ノ粉末ニシテ四分ノ冷水及〇・四分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ殆ト溶解セズ本品ノ水溶液ハ中性ノ反應ヲ微シ之ニ酒石酸ノ過剩ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ又之ニ硫酸鐵溶液ヲ混和シ硫酸ヲ加フレハ褐色ノ星ヲ呈スヘシ

本品ノ水溶液(1:10)ハ硫化水素、硫化安母紐膜、炭酸那篤留膜又硝酸拔留膜ニ由テ變化ス可カラス又硝酸銀ヲ加フルモ微ニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

過滿俺酸加留膜

Kalium Permanganas.

過滿俺酸加留膜ハ黑色ニ近キ暗紫紅色ノ稜柱結晶ニシテ臭氣ナク金屬樣ノ光澤ヲ有シ大氣ニ觸レテ變化セズ二十分ノ冷水及三分ノ沸湯ニ溶解ス其稀薄水溶液(1:100)ハ刺屈膜斯紙ヲ變色セズ亞硫酸及他ノ還元藥ニ逢ハハ褐色ノ沈澱ヲ生シ或ハ生セズシテ脫色スヘシ

本品〇・五瓦爾膜ニ酒精二瓦爾膜及水二十五立方センチメートルヲ加ヘテ煮沸シ濾過スレハ無色ノ液ヲ得ヘシ此濾液ハ硝酸拔留膜又硝酸銀ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又其濾液ニ稀硫酸及純亞鉛ヲ加ヘテ後沃度化亞鉛粉溶液ヲ和スルモ藍色ヲ呈ス可カラス

壺中ニ容レ硝子粒ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

硫酸加留膜 *Kali Sulphas.*

硫酸加留膜ハ白色堅硬無臭ノ結晶或ハ結晶層片ニシテ十分ノ冷水及四分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶解セシメ白金線環ニ抄取シテ無色燄中ニ熱スレハ其火焰ヲ紫藍色ニ染メ永ク黃色ヲ現ハス可カラ

本品ノ水溶液(1:5)ハ中性ノ反應ヲ微シ硝酸拔留膜ヲ和スレハ硝酸ニ溶解セサル白泥ヲ生スヘシ又硫化水素硫化安母紐膜 炭酸那篤留膜 碳酸安母紐膜並ニ硝酸銀ニ由テ變化ス可カラス又同容量ノ硫酸ニ混和シ冷後硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ハニ液層ト爲ヌモ其境界ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラス

硫化加留膜 *Kali Sulphidum.*

本品ノ水溶液(1:5)ヲ酢酸ニテ過飽和シ熱ヲ與フレハ硫黃ヲ析出シテ膠シク硫化水素ヲ發スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ニ酒石酸ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

粗製炭酸加留膜

ヲ取リ密和シ潤大ナル坩堝中ニ熱シ時々攪拌シ終ニ熔塊ノ泡沸休ムヲ候ヒ其一小部分ヲ取テ試ムルニ能ク水ニ溶解スルニ至リ板上ニ傾瀉シ冷後破碎シテ小塊片ト爲シ製スヘシ

本品ハ肝樣褐色ノ塊片ニシテ漸々綠色或ハ帶褐黃色ニ變シ微ニ硫化水素ノ臭氣ヲ放チ潤潤ノ大氣ニ觸レテ糊解シ大約二分ノ水ニ溶解シテ黃綠色殆ト證明ノ溶液ヲ爲シ亞爾加里性ノ反應ヲ微ス

本品ノ水溶液(1:5)ヲ酢酸ニテ過飽和シ熱ヲ與フレハ硫黃ヲ析出シテ膠シク硫化水素ヲ發スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ニ酒石酸ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

壺中ニ容レ密閉シ貯フヘシ

酒石酸加留膜 *Kali Tartas.*

酒石酸加留膜ハ無色無臭透映ノ結晶或ハ結晶粉ニシテ大氣ニ觸レテ變化セヌ一五分ノ冷水及五分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ僅微ニ溶解ス

本品ヲ大氣中ニ煨灼スレハ燃燒スル砂糖ノ臭氣アル蒸氣ヲ放チ無色ノ火焰ヲ紫藍色ニ染ムル所ノ

壺中ニ容レ密閉シ貯フヘシ

亞爾加里性殘留物ヲ得ヘシ本品ノ水溶液ハ中性ノ反應ヲ微シ之ニ醋酸ヲ和スレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液(1:5)ハ硫化安母紐膜又碳酸安母紐膜ニ由テ變化ス可カラス鹽酸ヲ和シタル後硫化水素ヲ加フルモ變化ス可カラス又硝酸ヲ加ヘタル本品ノ證明水溶液ハ硝酸拔留膜ニ由テ潤潤セヌ或ハ硝酸銀ニ由テ蛋白質濁ヲ起メニ過ク可カラス又本品ヲ那篤倫濾液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ヲ發ス可カラス

本品一二三五瓦爾酸ヲ弱ク煨灼シ復々蒸氣ヲ發セサルニ至リ其炭化殘留物ヲ水ニ和シテ煮沸シ得タル液ヲ中和スルニハ定規酸液二十立方センチメートルヲ費サル可カラス

壺中ニ容レ密閉シ貯フヘシ

加麻刺 *Kamala.*

加麻刺ハ線疎無味無臭ノ粉末ヲ爲シ主トシテ代赭色壓扁圓球形ノ腺ヨリ成リ其腺ハ樹脂ヲ充填セ

ル楔狀ノ細胞數多ヲ含包メ且本品ニハ常ニ細小ナル輕キ無色ノ束毛ヲ混有ス

本品ハ稀薄亞爾加里液 依的兒又ハ附離仿膜ニ和シテ振盪スレハ之ニ赤色ヲ附與スヘシ又本品ヲ灰化スルモ百分ニ付キ十二分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

吉納 *Kino.*

吉納 *Kino.*

吉納ハ暗褐赤色不整ノ塊片ヨリ成ル所ノ乾溜セル樹液ニシテ臭氣ナク強キ收斂味ヲ有シ粉碎シ易

シ其薄片ハ紅寶石樣ノ紅色ヲ呈シ光澤ヲ帶フ

本品ハ酒精ニハ全ク冷水ニハ僅ニ溶解ス温湯ニ溶解スレハ血紅色潤潤ノ液ヲ爲シ依的兒ニハ溶解セヌ其水溶液ハ過格魯兒化鐵ニ因テ暗綠色ヲ呈スヘシ

苦蘇 *Kousso.*

苦蘇 *Kousso.*

苦蘇ハ雌性ノ圓錐狀穗花ニシテ多數ノ花ヲ著ケ通常沙草科植物ヲ以テ螺旋狀ニ纏絡シ長サ三乃至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

至五センチメートルトシ太サ六乃至八センチメートルノ束ヲ爲ス其花ハ花梗短ク大ナル二片ノ包花葉

ヲ具ハ節毎トニ屈曲セル莖上ニ密簇ス其莖ハ大抵夥多ノ毛茸ヲ帶ヒ太サ大約一「ミリメートル」ナリ外等ハ四乃至五葉ヨリ成リ赤褐色ヲ有シ長サ大約一「センチメートル」ニシテ網狀ノ脈理ヲ具ヘ其基部ニ硬毛ヲ帶フ此外等ハ同數ノ葉片ヨリ成レル細小ノ内等及更ニ之ヨリモ細小ナル同數ノ花辦多數ナル假雄蕊及二條ノ雌蕊ヲ包裹ス味ハ始メ粘滑後辛辣ニシテ苦ク收斂性ナリ
本品ハ花穂枝ノ大ナルモノヲ除キ用ツヘシ

結麗阿曹篤 *Kresotum.*

結麗阿曹篤ハ澄明無色或ハ微類黃色乃至類赤色ヲ有スル油狀ノ液ニシテ強ク光線ヲ屈曲シ竄透性ノ煙臭ヲ有シ異重ハ一・〇三乃至一・〇八ナリ二百五度乃至二百二十度ノ熱ヲ與フレハ其大半ヲ餾出シ零下二十度ノ寒ニ逢フモ凝固セズ之ヲ蒸發スルニ毫モ固性物ヲ殘留ス可カラス又大約二十分ノ沸湯ニ溶解シ其溶液ハ冷後濁潤ス純亞爾爾保爾依約兒呀囉仿謨氷醋酸及硫化炭素ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和シ同容量ノ偏里設林或ハ十倍容量ノ安母尼亞水ニハ澄明ニ混和ス可カラス又同容量ノ古魯阿漢ニ和スレハ澄明濃稠ノ液ヲ爲シ凝膠樣ノ物質ヲ生ス可カラス
本品ノ飽和水溶液ニ魏羅漢水ヲ和スレハ脂樹樣ノ沈澱ヲ生スヘシ又極メテ少量ノ過格魯兒化鐵ヲ和スレハ濁潤シテ灰綠色ヲ呈シ或ハ暫時ニシテ消失スル所ノ藍色ヲ呈スルニ止マルヘシ
本品ヲ等分ノ那篤倫滴液ニ和スレハ澄明ノ混和液ヲ生スヘシ其液ハ暗色ヲ呈セヌ又多量ノ水ヲ以テ稀釋スルモ不快ノ臭氣ヲ有スル釜兒ヲ析出ス可カラヌ
燻中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

刺苦丟葛倫謨 *Lactucarium.*

Lactuca virosa Linn.

刺苦丟葛倫謨ハ乾潤セル乳液ノ塊片ニシテ黃褐色乃至赤褐色ヲ有シ内部ハ其色稍淡ク破碎面ハ蠟樣ナリ臭氣ハ特異麻醉性ニシテ味ハ苦シ
本品ニ水ヲ和シテ煮沸スレハ軟化シ之ヲ濾過シテ得タル液ハ冷後濁潤スレトモ酒精或ハ安母尼亞ヲ加フレハ更ニ澄明ト爲ルヘシ此安母尼亞溶液ニ硫酸加爾曼酸溶液ヲ和スレハ著シク白色ノ沈澱

ヲ生スヘシ其酒精ニ因テ澄明ト爲リタル液ハ過格魯兒化鐵ニ逢フモ變化ス可カラヌ又本品ヲ次化スルモ百分ニ付キ十分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ
注意シテ貯フヘシ

亞麻仁粉 *Lini Farina.*

Linum usitatissimum Linn.

亞麻仁粉ハ亞麻仁ヨリ油分ヲ搾取セル滓餅ヲ粉末ト爲セルモノナリ
本品ハ成ルヘク充分ニ油分ヲ除キタル粗末ニシテ取油性ヲ有ス可カラヌ

亞麻仁 *Lini Semen.*

Linum usitatissimum Linn.

亞麻仁ハ扁平卵圓形褐色ノ種子ニシテ強キ光澤ヲ帶ヒ臭氣ナク長サ大約四乃至五「ミリメートル」其兩面滑カニシテ稍彎隆ス味ハ油樣粘滑ニシテ取油性ナル可カラヌ
本品一分ニ水二十五分ヲ和シテ煮沸スレハ澄明ニシテ冷後濃厚トナル所ノ粘涎ヲ生スヘシ此粘涎ハ沃度溶液ニ逢フモ藍色ヲ呈ス可カラヌ

安母尼亞擦劑 *Tinctura Ammoniac.*

安母尼亞擦劑ハ

安母尼亞水

胡麻油

ヲ取リ白色均同ノ物質ヲ得ルニ至ル迄振盪混和シ製メヘシ

別刺敦那擦劑 *Tinctura Belladonnae.*

別刺敦那擦劑ハ

別刺敦那越幾斯葛拉屈葛

稀酒精

樟腦

四分
十五分
一分

ヲ取り樟腦ヲ稀酒精ノ一部分ニ溶解シ別刺數那越幾斯然拉屈爲ヲ殘餘ノ稀酒精ニ研和シ兩液ヲ混和シ濾過シ製スヘシ

燻中ニ容シ密栓シ注意シテ貯メヘシ

石灰擦劑

Linimentum Calcis.

石灰液

各等分

阿列布油

石鹼流動擦劑

Linimentum Saponis liquidum. Opodeldoc.

石鹼流動擦劑ハ

藥用石鹼

十分

常水

十五分

酒精

七十分

樟腦

二分

迷迭香油

一分

安母尼亞水

二分

ヲ取り先ツ石鹼ヲ水ニ溶解シ安母尼亞水ヲ加ヘ樟腦及迷迭香油ヲ溶解セル酒精ヲ之ニ混和シ濾過シ製スヘシ

本品ハ證明類黃色ノ液ナリ

燻中ニ容シ密栓シテ貯メヘシ

○醋酸安母紐膜液

民達列里精

Liquor Armonii Acetatis. Spiritus Mindereri.

醋酸安母紐膜液ハ

一分

ヲ取り之ニ

醋酸

一分

ヲ混和シ燻皿中ニ於テ二三分時間煮沸シテ後其全ク冷却メルヲ待チ更ニ安母尼亞水ヲ以テ中性ト爲シ蒸餾水ヲ加ヘテ其重量三分トナルニ至リ濾過シ製スヘシ

本品ハ全ク揮散スヘキ證明無色ノ液ニシテ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ微シ焦臭ヲ有ス可カラス異重ハ大約一・〇三三ナリ

本品ハ硫化水素、硝酸、拔留膜、醋酸安母紐膜ニ由テ潤滑セヌ又硝酸ヲ以テ酸性ト爲セル後硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品十立方センチメートルニ稀硫酸五立方センチメートルヲ和シテ後過錳酸加留膜溶液一立方センチメートルヲ加フルモ五分時内ニ於テ之ヲ脱色ス可カラズ

本品五立方センチメートルニ鹽酸十立方センチメートルヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發シテ全ク乾燥スルニ至リ白色ノ殘留物ヲ水ニ溶解シ其中性溶液百立方センチメートルヲ得ルニ至リ此溶液二十

五立方センチメートルヲ取り五乃至十滴ノ格羅膜酸加留膜溶液ヲ加ヘテ後之ニ十分定規硝酸銀液ヲ滴入シテ再ヒ消失セサル沈澱ヲ生ズルニハ其硝酸銀液幾ト二十四乃至二十五立方センチメートルヲ數サ、ル可カラズ是レ百分中殆ト十五分ノ醋酸安母紐膜ヲ微メルモノトス

沃度化砒汞液

度納酸氏液

Liquor Arseni et Hydrargyri Iodidi. Liquor Donovanii.

沃度化砒汞液ハ

沃度化砒素

一分

赤色沃度化汞

一分

ヲ取り之ヲ

蒸餾水

十五分

ニ研和シテ溶解メルニ至リ濾過シ其濾液ノ百分トナルニ至ル迄濾器上ニ蒸餾水ヲ注テ洗滌シ製スヘシ

本品ハ澄明無色或ハ微黃色ノ液ナリ
最モ注意シテ貯フヘシ

石灰液 石灰水 *Liquor Calcis. Aqua Calcis.*

石灰液ハ

煨製石灰

一分

ヲ取リ

四分

ヲ加ヘテ水化石灰ト爲シ攪拌シツ、

五十分

ヲ注加シ靜置シテ沈定セシメ上液ヲ傾瀉シ去リ其滓滓ニ

五十分

蒸餾水

ヲ混和シ燻中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

本品ハ用ニ臨ミ傾瀉シ或ハ濾過シテ取ルヘシ

本品ハ澄明無色ニシテ強亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大氣ニ觸レ或ハ煮沸スレハ涸濁ス又本品ニ炭酸

ノ過剰ヲ通シテ少時之ヲ煮沸スルモ亞爾加里性ノ反應ヲ微シ可カラズ

定規酸液五立方センチメートルヲ中和スルニハ少ナクモ本品百二十五立方センチメートルヲ費

枸橼酸鐵液 *Liquor Ferri Citratis.*

枸橼酸鐵液ハ

過硫酸鐵液

八十四分

ヲ取リ

一千分

ヲ以テ稀釋シ之ヲ

安母尼亞水

八十四分

蒸餾水

二百分

ノ混液中ニ攪拌シツ、注加シ茲ニ得メル沈澱ヲ濾布上ニ置キテ液分ヲ滴下シ去リ再ヒ其沈澱ニ

蒸餾水

一千分

ヲ混和シ復テ濾布上ニ置キテ液分ヲ去リ斯ノ如クスルコト數回此操作ヲ反復シ其洗水ニ硝酸拔留

膜ヲ加フルモ殆ト蛋白石濁ヲ起サハルヲ度トシテ止メ其濁潤セル沈澱ヲ瓷皿ニ移シ之ニ

三十分

枸橼酸
ヲ加ヘテ重湯煎ニ上セ攪拌シツ、六十度ヲ超ヘサル温ヲ與ヘ其沈澱ノ溶解スルニ至リ濾過シ全量

百分トナルニ至ル迄蒸餾シ製スヘシ

本品ハ暗褐色無臭ノ液ニシテ酸性ノ反應ヲ微シ異重ハ一・二六ナリ水ヲ以テ稀釋シ少量ノ鹽酸ヲ

加ヘテ後黃色血濁鹽ヲ和メレハ暗藍色ノ沈澱ヲ生ズレトモ安母尼亞ヲ和メルニ沈澱ヲ生ズ可カラ

ス
本品ニ加里瀉液ノ二倍容量ヲ加ヘ其鐵分悉ク褐色ノ沈澱トナリテ析出スルニ至ル迄煮沸スルモ著

シク安母尼亞臭ヲ放ツ可カラズ又之ヲ濾過シテ得メル液ノ一部分ヲ醋酸ニテ過飽シ久シキヲ經ル

モ結晶性ノ沈澱ヲ生ズ可カラズ
本品ヲ薄層ト爲シ適宜ノ温ヲ與ヘテ蒸餾スレハ其百分ニ付キ枸橼酸鐵ノ小葉片大約四十分ヲ得ヘ

○過格魯兒化鐵液 *Liquor Ferri Perchloridi.*

過格魯兒化鐵液ハ

過格魯兒化鐵

ヲ取リ殆ト等分ノ水ニ溶解シ異重一・二八〇乃至一・二八二ノ液ト爲シ製スヘシ

本品ハ澄明深褐色ノ液ニシテ酒精ニハ澄明ニ混和ス

本品ハ安母尼亞水ヲ以テ稀ホセル硝子甕ヲ近クルニ白霧ヲ生ズ可カラズ又濕潤セル沃度化亞鉛膜

粉紙ヲ近クルニ之ヲ藍色ニ變ヌ可カラヌ
 本品ニ五倍容量ノ水ヲ和シ安母尼亞ノ過剩ヲ加ヘテ熱シ濾過シテ得タル液ハ無色ナラサル可カラ
 ス此濾液ハ硫化安母紐誤ニ由テ沈澱ヲ生ヌ可カラス稀鹽酸ヲ加ヘテ酸性ト爲シタル後硫化水素ニ
 由テ變化ヌ可カラヌ又之ヲ蒸發シ弱熱ヲ與フルニ固性物ヲ殘留スルコトアルモ痕跡ニ過ク可カ
 ラヌ又同容量ノ硫酸ヲ此液ニ混和シ冷後硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スニ其接界ニ於テ
 褐色ヲ呈ヌ可カラヌ

本品ニ水ヲ加ヘテ稀釋シタル液(1:50)ハ之ヲ煮沸スルモ濁濁ヲ起ヌ可カラス之ニ二三滴ノ稀鹽酸
 ヲ加ヘテ後赤色血濁鹽ノ稀薄溶液ヲ和スルモ藍色ヲ呈ヌ可カラス又硝酸拔價誤ヲ加フルモ蛋白石
 濁ヲ起ヌニ過ク可カラヌ

本品五瓦蘭誤ヲ取り水ヲ以テ稀釋シ安母尼亞ノ過剩ヲ加ヘテ煮沸シテ得タル沈澱ハ之ヲ洗滌シ次ニ
 燒灼スルニ〇・七一乃至〇・七二瓦蘭誤ノ重量ヲ有セサル可カラス是レ本品百分中十分ノ鐵及二十
 九分ノ無水過格魯兒化鐵ヲ微スルモノトス

過硫酸鐵液 *Liquor Ferri Persulphatis.*

過硫酸鐵液ハ

硫酸鐵

蒸餾水

硝酸

硫酸

ヲ取り硝子皿中ニ容レ重湯煎上ニ熱シテ其液ノ澄明褐色トナルニ至リ其一滴ヲ取り水ヲ以テ稀釋
 シ赤色血濁鹽ヲ加ヘテ試ムルモ復タ藍色ヲ呈セサルヲ度トシ豫メ秤量シタル瓷皿中ニ此液ヲ移シ蒸
 發シテ百分ト爲ルニ至リ其殘留物ヲ少量ノ水ニ溶解シテ更ニ蒸發シ數回此操作ヲ反復シテ其溫液
 中復タ硝酸ノ臭氣ヲ感知セサルヲ度トシ蒸餾水ヲ加ヘテ百六十分ト爲シ製スヘシ
 本品ハ澄明帶褐色稍濃厚ノ液ニシテ異重ハ一・四二八乃至一・四三〇ナリ

八十分

四十分

十五分

十八分

本品ニ五倍容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノニ硝酸拔價誤ヲ和スレハ白色ノ沈澱黃色血濁鹽ヲ和
 スレハ深藍色ノ沈澱ヲ生ヌレトモ赤色血濁鹽ニ由テハ藍色ヲ呈セス又硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁
 ヲ起ヌニ過ク可カラヌ又此稀釋液ニ過剩ノ安母尼亞ヲ加ヘテ熱ヲ與ヘ濾過スレハ無色ノ濾液ヲ得
 ヘシ此液ハ硫化安母紐誤ヲ加フルモ沈澱ヲ生セス又稀鹽酸ヲ以テ酸性ト爲シタル後硫化水素ヲ加
 フルモ變化ヌ可カラヌ之ヲ蒸發シ弱熱ヲ與フルモ極メテ僅微ノ固性殘留物ヲ遺ヌニ過ク可カラ
 ス又此濾液ニ同容量ノ硫酸ヲ混和シ之ニ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スニ其接界ニ於テ
 褐色ヲ呈ヌ可カラヌ

本品五瓦蘭誤ヲ取り水ヲ以テ稀釋シ過剩ノ安母尼亞ヲ加ヘテ煮沸シテ得タル沈澱ハ之ヲ洗滌シ次ニ
 燒灼スルニ大約〇・七一乃至〇・七二瓦蘭誤ノ重量ヲ有セサル可カラス是レ本品百分中十分ノ鐵及
 大約三十六分ノ無水過硫酸鐵ヲ微スルモノトス

假答百兒加液 *Liquor Gutta Serenae.*

假答百兒加液ハ

薄キ切片ト爲セル假答百兒加

嘔囉仿膜

炭酸鉛

ヲ取り先ツ假答百兒加ニ嘔囉仿膜七分ヲ和シ燥中ニ容レ密栓シ溶解スルニ至ル迄振盪シ殘餘ノ嘔
 囉仿膜ヲ和シタル炭酸鉛ニ此溶液ヲ加ヘ數日間屢振盪シ其液ヲ沈定シ上清ヲ傾取シ製スヘシ
 本品ハ澄明無色或ハ殆ト無色ノ液ニシテ之ヲ薄層ト爲シ嘔囉仿膜分ヲ揮散セシムレハ透明ノ彈力
 性皮膜ヲ留ムヘシ

小樽ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

亞砒酸加價誤液

亞砒酸加價誤液ハ

亞砒酸末

法列兒氏水

Liquor Kalii Arsenitis. Liquor Fowleri.

一分

一分

十分

一分

重碳酸加價試

蒸餾水

一分
十分

ヲ取り混和シ硝子壺ニ容レ熱シテ亞硫酸ノ溶解スルニ至リ冷後
複方刺賢煙兒丁幾手兒

三分

ヲ和シ之ニ蒸餾水ヲ加ヘテ其全量ヲ百分ト爲シ八日間靜置シテ後濾過シ製スヘシ
本品ハ澄明或ハ微濁帶赤黃色ノ液ニシテ芳香性ノ香氣ヲ有シ百分ニ付キ一分ノ亞硫酸(Ag₂O)ニ符
合スル砒素ヲ含有ス
最モ注意シテ貯フヘシ但シ久シキニ過シ可カラズ

格魯兒那篤倫液 Lignor Natii chlorati.

格魯兒石灰
粗製炭酸那篤倫試

百分
百二十五分
八百分

常水

ヲ取り先ツ格魯兒石灰ニ水ノ半量ヲ加ヘテ精密ニ研和シ他ノ半量ノ水ヲ沸湯ト爲シ之ニ粗製炭酸
那篤倫試ヲ溶解シ攪拌シツ、前液ニ注加シ器中ニ容レ蓋覆シテ靜置シ共上清ヲ傾取シ製スヘシ
本品ハ亞爾加里性ノ反應ヲ微スル澄明ノ液ニシテ微ニ格魯兒ノ臭氣ヲ放チ稀鹽酸ヲ加フレハ格魯
兒瓦斯ヲ發ス又炭酸那篤倫試ヲ加フルモ濁濁ヲ生ス可カラズ

本品十立方センチメートルヲ取り沃度化加價試ニ瓦爾試ヲ水二百立方センチメートルニ溶解シ
タルモノヲ加ヘ之ニ稀鹽酸十五立方センチメートルヲ混和シテ後十分定規次亞硫酸那篤倫試液
ヲ以テ茲ニ遊離セル沃度ヲ結合スルニハ其次亞硫酸那篤倫試液少クモ六十立方センチメートル
ルヲ費サハル可カラズ是レ百分中有力格魯兒ノ最少含量二分ヲ微スルモノトス
燻中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

稀鉛液 廣刺兒度氏水 Lignor Plumbi dilutus. Aqua Goulardi.

稀鉛液ハ

次醋酸鉛液

二分
九十八分

常水

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ微ニ類白色ヲ有シ濁濁セル液ナリ

本品ハ用ニ臨テ調製スヘシ

○次醋酸鉛液 鉛醋 Lignor Plumbi Subacetatis.

次醋酸鉛液ハ

醋酸鉛

六十分

極メテ微細ノ粉末ト爲セル酸化鉛

二十分

ヲ取り

蒸餾水

十分

ヲ滴加シツ、之ヲ研和シ重湯煎上ニ熱シテ初メ類黃色ナル混和物ノ白色或ハ帶赤白色ト爲ルニ至
リ更ニ

蒸餾水

百五十分

ヲ加ヘ沈定セシメテ後其上清ヲ傾取シ蒸餾水ヲ以テ稀釋シ異重一・二三乃至一・二四〇トナルヲ
度トシ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ炭酸ニ逢ヘハ白濁ヲ生シ醋酸ヲ加ヘテ後黃色血濁鹽ヲ和スレハ純白色
ノ沈澱ヲ生シ硫化水素ヲ以テ飽和スレハ黑色ノ沈澱ヲ生スヘシ此沈澱ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發
スルモ固性物ヲ殘留ス可カラズ

本品ニ那篤倫液ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ此沈澱ハ那篤倫液ノ過剩ニ溶解シ其液ヲ熱
燻中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

炭酸利去謨 Lithii Carbonas.

炭酸利去謨ハ白色亞爾加里性ノ輕キ粉末ニシテ臭氣ナク熱スレハ熔融シ百五十分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ
本品ヲ硝酸ニ溶解スレハ泡沸シテ澄明ノ溶液ヲ爲シ其液ハ無色ノ火焰ヲ洋紅色ニ染ムヘシ
本品ノ鹽酸溶液ハ硫化水素並ニ安母尼亞ニ由テ變化ス可カラヌ又此安母尼亞ヲ加ヘタル液ニ硫化安母紐謨或ハ尿酸安母紐謨ヲ加フルモ變化ス可カラヌ又本品ノ稀硝酸溶液ハ硝酸銀並ニ硝酸拔留謨ニ由テ濁濁ヲ起ス可カラヌ
本品〇・二瓦爾謨ヲ稀硫酸一立方センチメートルニ溶解シ之ニ水一立方センチメートル及酒精四立方センチメートルヲ和スレハ澄明ノ液ヲ生ヌヘシ

魯別利亞 Isobelia.

Isobelia inflata Lam.

魯別利亞ハ花時ニ當テ採集乾燥シタル後倒置壓縮シテ長方形ノ小包ト爲シ北亞米利加ヨリ輸出スル草ナリ其葉ハ柄無ク散生シ長ク大約五乃至七センチメートル長卵圓形ニシテ不同ナル鈍鋸齒ヲ有シ兩面ニ短キ毛茸ヲ帶ヒ花冠ハ淡紫藍色ニシテ二層ヲ有シ葇ハ五裂シテ各一脈アル狹長形ノ裂片ヲ爲シ果殼ハ球圓形下立性ニシテ大サ〇・五ミリメートルニ過キサル褐色多數ノ種子ヲ包莖ス其味始メハ緩和ナレトモ後辛辣ニシテ苦辣ナリ
注意シテ貯フヘシ

律彪林 Lupulinum.

Humulus Lupulus Linn.

律彪林ハ葎草ノ聚果ヨリ採取セル腺ニシテ帶褐黃色ノ粗粉ヲ爲シ顯微鏡ニテ檢視スレハ多少莖狀ヲ有シテ網狀ノ脈理ヲ帶ヒ少シク葎草ノ碎屑ヲ混スル外他物ヲ夾雜ス可カラヌ
本品ヲ依的兒ニ溶解スレハ不溶分ノ量ハ其全量三分ノ一ニ過ク可カラヌ此依的兒浸出液ヲ蒸發シタル殘滓ハ褐色ヲ爲シ著シク葎草ノ臭氣ヲ有スヘシ

本品ヲ灰化スルモ百分ニ付キ十分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ
燥中ニ容レ密栓シテ光ヲ遮リ貯フヘシ但シ一年已上ニ過ク可カラヌ

石松子 Lycopodium.

Lycopodium clavatum Linn. 及他種 *Lycopodium* 屬ノ諸種

石松子ハ淡黃色無味無臭甚ク搖動シ易キ極メテ細微ノ粉末ニシテ水ニ和シテ振盪スレハ水面ニ浮遊シ火焰中ニ撒布スレハ微鳴シテ速ニ燃化ス顯微鏡ニテ檢視スレハ網狀ノ隆起線ヲ有スル四面ノ細胞ヨリ成リ其三面ハ殆ト平坦ニシテ一面ハ穹窿狀ヲ爲ス松櫟香蒲屬ノ花粉澱粉、硫黃、沙石等ヲ混有ス可カラヌ
本品ヲ灰化スルモ百分ニ付キ五分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

炭酸麻屈涅更謨 Magnesii Carbonas.

炭酸麻屈涅更謨ハ純白色無味無臭粉碎シ易キ輕キ塊片若クハ輕鬆ノ粉末ニシテ酒精ニ溶解セヌ水ニハ僅微ニ溶解シテ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ酸類ニハ炭酸ヲ發シテ容易ク溶解ス
本品ヲ水ニ和シテ煮沸シ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルモ僅微ノ殘留物ヲ見ルニ過ク可カラヌ又本品ヲ燻灼スレハ百分ニ付キ五十五乃至六十分ノ重量ヲ減失スヘシ

本品〇・二瓦爾謨ヲ稀硝酸十立方センチメートルニ和シテ煮沸シ水十立方センチメートルヲ以テ稀釋スレハ澄明無色ノ溶液ヲ得ヘシ此液ハ硫化水素ニ由テ變化セヌ又過剩ノ格魯兒化安母紐謨ヲ加ヘテ後安母尼亞ニテ過飽シ之ニ硫化安母紐謨ヲ加フルニ濁濁ヲ起サヌ尿酸安母紐謨ヲ加フルモ亦濁濁セヌ或ハ之アルモ極メテ僅微ニ過ク可カラヌ但シ磷酸那篤留謨ヲ加フレハ膠シク白色結晶性ノ沈澱ヲ生ヌヘシ
本品ノ稀硝酸溶液(1:50)ニ硝酸拔留謨並ニ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起ヌニ過ク可カラヌ

沸騰枸橼酸麻屈涅更謨 Magnesii Citras effervesens.

沸騰枸橼酸麻屈涅更謨ハ

炭酸麻屈涅更謨

二十五分

枸橼酸

蒸餾水

ヲ取り善ク混和シ大約二十度ノ温ニテ乾燥シ細末ト爲シ又之ニ

重碳酸那篤留膜細末

枸橼酸細末

白糖細末

ヲ混和シ酒精ヲ滴和シツ、乳棒ヲ以テ徐々ニ研磨シ麩包心様ノ塊ト爲ルニ至リ微温ニテ乾燥シタル後篩過シ均同ナル顆粒狀ノ粗末ト爲シ製スヘシ

本品ハ粗粒狀ヲ爲セル酸性ノ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ潮解シ水ニハ夥シク炭酸ヲ發シテ徐々ニ溶解ス

本品ノ飽和水溶液ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス又醋酸加留膜溶液及少量ノ醋酸ヲ和スルモ結晶狀ノ沈澱ヲ生ス可カラス又本品ノ水溶液ニ格魯兒化安母紐膜ノ過剰ヲ加ヘテ安母尼亞ヲ以テ過飽セル後磷酸安母紐膜ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス但シ之ニ磷酸那篤留膜ヲ加フレハ夥シク白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

少量ノ硝酸ヲ和シタル本品ノ水溶液ハ硝酸拔留膜並ニ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

酸化麻屈涅更膜 煇製苦土 Magnesi Oxidum.

酸化麻屈涅更膜ハ白色細織ノ輕キ粉末ニシテ水ヲ以テ濕潤スレハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微ス

本品ヲ水ニ和シテ煮沸シ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後殘留物ヲ見ルモ極メテ僅微ニ過ク可カラ

本品〇ニ瓦爾酸ヲ水五立方センチメートルニ和シテ煮沸シ冷後五立方センチメートルノ鹽酸注ヲ加スルモ著シク瓦斯ヲ發ス可カラス此溶液ハ硫化水素ニ由テ變化セス又過剰ノ格魯兒化安母紐

膜ヲ和シ安母尼亞ヲ以テ過飽セル後硫化安母紐膜ヲ加フルニ毫モ濁潤セズ磷酸安母紐膜ヲ加フルモ亦濁潤ヲ起サヌ或ハ之アルモ極メテ僅微ニ止マルヘシ但シ磷酸那篤留膜ヲ加フルハ夥シク白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ
本品ノ稀硝酸溶液(HNO₃)ハ硝酸拔留膜及硝酸銀ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

○硫酸麻屈涅更膜 瀉利鹽 Magnesi Sulphas.

硫酸麻屈涅更膜ハ無色ノ小結晶ニシテ大氣ニ觸レテ微ニ風化シ其味清涼苦鹹〇・八分ノ冷水及〇・一五分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ殆ト溶解セズ

本品ノ水溶液ニ硝酸拔留膜ヲ和スレハ酸類ニ溶解セサル白濁ヲ生スヘシ又格魯兒化安母紐膜及安母尼亞ヲ和シテ後磷酸那篤留膜ヲ加フルハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ノ水溶液ハ中性ナラサル可カラス之ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セルモノハ硫化水素ニ由テ濁潤セズ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又之ニ過剰ノ格魯兒化安母紐膜ヲ和シテ後硫化安母紐膜ヲ加フルモ變化ス可カラス

本品ヲ無色焰中ニ熱スルモ其火焰ニ永ク黄色ヲ呈ス可カラス

黑酸化滿佻 Mangani Oxidum nigrum.

黑酸化滿佻ハ結晶性或ハ粗硬性灰黑色ニシテ物ニ觸ルレハ汚染スル重キ塊片或ハ粉末ヲ爲シ臭味ナク大氣ニ觸レテ變化セズ鹽酸ヲ和シテ熱スレハ夥シク格魯兒瓦斯ヲ發スヘシ

本品ノ粉末ニ稀硝酸ヲ注クモ泡沸ス可カラス又苛性加里及硝酸加留膜ヲ和シテ煇灼スレハ綠色ノ塊塊ヲ生スヘシ

本品ノ細末五瓦爾酸ニ鹽酸及水各十五立方センチメートルヲ和シ硫酸鐵十九瓦爾酸ヲ加ヘテ煮沸シ濾過シ其濾液ヲ放冷シテ後赤色血滴鹽ノ新製溶液ヲ和スルモ藍色ヲ呈ス可カラス是レ百分中過酸化滿佻ノ最少含量六十分ヲ微スルモノトス

滿那 Mannan. Faxisus Orans Linn.

滿那ハ木植物ノ樹幹ニ施セル截口ヨリ滲出セル液汁ヲ取リ乾燥シタルモノニシテ其色ハ淡黃其味ハ甘ク或ハ結晶性ノ顆粒ヲ爲シ或ハ鈍三稜形若クハ扁坦半管狀ノ塊片ヲ爲シ間、稍、辛辣ニシテ甘味ヲ有スル類褐色柔軟ノ物質ニ因リテ粘着シ大塊ヲ爲スモノアリ
本品一分ハ沸騰酒精二十分ニ殆ト全ク溶解シ此溶液ヲ放冷スレハ夥シク「マンニット」ノ結晶ヲ析出スヘシ

麻質古 Matigo.

Arantia elongata Miq.

麻質古ハ短キ葉柄ヲ有シ長サ二十センチメートル廣サ五センチメートルニ至ル長鉞形ノ葉ナリ頂端ハ尖銳基底ハ不齊ニシテ殆ト心臟形ヲ爲シ邊緣ハ細小ノ鈍鋸齒ヲ有シ表面ハ綠色背面ハ灰色ニシテ網眼狀ノ紋理ヲ呈シ毳毛アリ光ニ向テ透シ視レハ透映ニシテ斑點ヲ現ハシ摩擦スレハ佳快芳香性ノ香氣ヲ發ス味ハ峻烈芳香性ニシテ稍、苦シ

蜂蜜 Mel

Apis mellifera Linn.

蜂蜜ハ其新鮮ナルニ當テ透映粘稠ノ濃液ヲ爲シ後潤潤シテ顆粒狀ト爲リ帶白黃色ヲ有シ味甚タ甘ク佳快微甘ノ香氣ヲ帶ヒ水及酒精ニ溶解ス
本品ヲ水ニ溶解スレハ「G」全ク或ハ殆ト透明ノ液ト爲ルヘシ此液ニ硝酸銀溶液或ハ硝酸拔留液ノ二三滴ヲ和メルモ極メテ微微ノ濁濁ヲ生スルニ過ク可カラヌ又本品ニ同容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ徐々ニ五容量ノ純亞爾爾保爾ヲ混和スルモ不透明ト爲ラス或ハ絮狀若クハ舍利別樣ノ近滓ヲ生ヌ可カラヌ

精製蜂蜜 Mel depuratum.

精製蜂蜜ハ

一分

蒸餾水

一分

ヲ取リ混和シ沸騰セシメメシテ温ムルコト大約一時間終ニ百度ノ熱ニ至リ火ヨリ下シ七十度乃至五十度ノ温ニ低降セル後絨布ヲ以テ濾過シ更ニ重湯煎上ニ蒸發シテ舍利別樣ノ稠度ヲ得ルニ至リ再ヒ濾過シ製スヘシ
本品ハ黃褐色透明ノ液ニシテ水ヲ混和スルモ尙ホ透明ニ止マリ異重ハ一・三四ナリ其臭味ハ焦性若クハ酸性ナル可カラヌ
湯中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

薄荷

Mentha.

Mentha arvensis Linn. var. *peperisens* Holmes.

薄荷ハ卵圓鉞形ノ葉ニシテ葉柄ヲ具ハ毛茸ヲ帶ヒ基部ノ邊緣ハ缺裂ナク前部ノ邊緣ハ鋸齒ヲ爲シ特異強烈ノ香氣ヲ有シ味ハ始メ均クカ如ク香味料煉ニシテ後清涼ナリ

鹽酸莫兒比涅 Morphini Hydrochloras.

鹽酸莫兒比涅ハ絹絲線ノ光澤ヲ有セル白色無臭ノ鉞狀結晶ニシテ多クハ束絲狀ニ集團シ大氣ニ觸レテ變化セズ二十五分ノ水及大約六十五分ノ酒精ニ溶解シ依的兒ニ溶解セズ百度ノ熱ニテ乾燥スレハ其百分ニ付キ大約十四・五分ノ水ヲ失ヒ白金板上ニ熱灼スレハ先ツ熔融シ次ニ炭化シ終ニ固性物ヲ遺サスシテ燃化スヘシ
本品ハ硝酸ヲ以テ濡ホセハ赤色ヲ呈シ過格魯兒化鐵ノ稀薄溶液ヲ以テ濡ホセハ藍色ヲ呈スヘシ又硫酸ニハ染色セズシテ溶解スヘシ
本品ノ水溶液ハ中性ノ反應ヲ微シ硝酸銀ヲ和メレハ硝酸ニ溶解セサル白渣ヲ生シ加里鹼液ヲ和スレハ其過剩ニ溶解スル白渣ヲ生ヌヘシ又安母尼亞ヲ和メレハ漸ク結晶性ヲ呈スル沈渣ヲ生ヌヘシ其沈渣ハ依的兒ニ溶解スルモ著明ナル可カラヌ
最モ注意シテ貯フヘシ

硫酸莫兒比涅

Morphini Sulphas.

硫酸其兒比涅ハ絹絲様ノ光澤ヲ有スル無色或ハ白色ノ鍼狀結晶ニシテ臭氣ナク二十四分ノ水及大
約七百分ノ酒精ニ溶解シ中性ノ反應ヲ微ス百三十度ノ熱ニ逢ハハ大約十二分ノ水ヲ失ヒ白板上
ニ熱灼スレハ先ツ熔融シ次ニ炭化シ終ニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

本品ノ水溶液ニ硝酸添加シ和スレハ稀硝酸ニ溶解セサル白澱ヲ生シ加里瀉液ヲ和スレハ其過剩
ニ溶解スル沈澱ヲ生スヘシ
本品ニ硝酸ヲ和スレハ赤色ヲ呈シ過格魯兒化鐵ノ稀薄溶液ヲ和スレハ藍色ヲ呈スヘシ硫酸ニハ染
色セスシテ溶解スヘシ

本品ノ水溶液ハ少量ノ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セル後硝酸銀ヲ和スルモ瀉濁ヲ生ス可カラス又安
母尼亞ヲ和スレハ漸々結晶性ヲ呈スル所ノ沈澱ヲ生スヘシ此沈澱ハ依約兒ニ溶解スルモ著明ナル
可カラス
最モ注意シテ貯フヘシ

桑實

Morus

Morus alba Linn.

桑實ハ長サ二センチメートルニ至リ太サ大約一センチメートル圓柱形乃至圓球形ニシテ全ク熟
セル多液新鮮ノ複性果實ナリ其色ハ暗紫紅其味ハ微甘ナリ

麝香

Moschus

Moschus moschiferus Linn.

麝香ハ麝ノ分泌物ニシテ新鮮ノ時ニ於テハ稍柔軟ナレトモ乾燥スルニ至レハ麪包心狀ニシテ
相粘着セサル顆粒ヨリ成レル黒褐色或ハ暗赤褐色ノ塊ヲ爲シ大サ四乃至五センチメートルノ麝
中ニ包裹セラレ細毛及軟薄ナル小膜アリテ錯綜ス其麝ノ一面ハ毛ナク一面ハ毛アリ麝ノ周縁ニ生
スル毛ハ假伏シ中央ニ在ル二孔ノ周圍ニ生スル毛ハ堅立シテ旋渦狀ヲ爲ス皮膚及毛ヲ除去シ用
ヘシ
本品ハ久シク消失セサル特異質遂ノ香氣ヲ有ス

亞拉昆亞護膜漿

Mucilago Gummi arabici.

亞拉昆亞護膜漿
ヲ取リ蒸餾水ヲ以テ急速ニ洗滌シ之ニ

蒸餾水

二分

ヲ注キ振盪溶解セル後布濾シ製スヘシ
冷處ニ貯フヘシ但シ久シキニ過ク可カラス

肉苣蔻

Myrsinica.

Myrsinica fragrans Houtt.

肉苣蔻ハ長サ大約二十五ミリメートル厚サ十五ミリメートルニ至ル卵圓形ノ子核ニシテ外面ハ
類褐色ヲ爲シ類白色ノ粉衣ヲ被リ皺紋ヲ有シ或ハ多少著明ナル淺溝ヲ具フ破碎面ハ淡褐色ノ組織
ヲ爲シ暗褐色ナル内子皮ノ内部ニ延長スルニ因テ大理石様ノ紋理ヲ現ハス香味ハ佳快香味料様ニ
シテ稍苦味ヲ帶フ

密兒拉

Myrrha.

Balsamodendron Myrrha Nees.

密兒拉ハ不整類圓形ノ塊片ヨリ成レル護膜樹脂ニシテ其大サ一ナラス外部ハ類黃色ヨリ帶赤褐色
ニ至リ内部ニハ多ク鮮明ノ脈理アリテ通走ス破碎面ハ微ニ光澤アリ香味ハ特異芳香性ニシテ且苦
ク苛辣ナリ
本品ニ水ヲ加スレハ過半溶解シテ瀉濁液ト爲リ酒精ニハ大約三分ノ一ヲ溶解シ澄明赤黃色ノ液ト
爲ル此液ニ硝酸ヲ加フレハ紫藍色ヲ呈スヘシ

醋酸那篤儻膜

Natrii Acetas.

醋酸那篤儻膜ハ無色無臭透明ノ結晶ニシテ乾燥ノ大氣ニ觸レテ風化シ三分ノ冷水一分ノ沸湯三十
分ノ冷酒精及二分ノ沸騰酒精ニ溶解ス熱スレハ先ツ熔融シテ白色ノ乾燥塊ト爲リ更ニ強熱ヲ與フ

レハ再ヒ熔融シ炭化シ無色ノ火焰ヲ永ク黄色ニ染ムル亞爾加里性ノ殘留物ヲ得ヘシ本品ニ硫酸ヲ和スレハ醋酸ノ臭氣ヲ放チ毫モ染色ス可カラズ

本品ノ水溶液(1:5)ハ中性若クハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ過格魯兒化鐵液ヲ和スレハ暗赤褐色ヲ呈スレトモ沈澱ヲ生セス硫化水素硫化安母紐誤及磷酸安母紐誤ニ由テ變化ス可カラズ又少量ノ硝酸ヲ加ヘテ後硝酸拔留誤ヲ和スルモ濁濁ヲ起サズ硝酸銀ヲ和スルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

坩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

安息香酸那篤留誤

Natrii Benzoes.

安息香酸那篤留誤ハ白色無晶形或ハ多少結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク二分ノ水及五十分ノ酒精ニ溶解ス熱スレハ熔融シ次ニ炭化シ終ニ亞爾加里性ノ殘留物ヲ遺スヘシ此殘留物ハ酸類ニ逢フテ泡沸シ無色ノ火焰ヲ永ク黄色ニ染ムヘシ

本品ヲ那篤倫滴液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ヲ發ス可カラズ

本品ノ水溶液(1:5)ハ弱酸性ノ反應ヲ微シ硝酸拔留誤ニ由テ濁濁セス過格魯兒化鐵ヲ和スレハ淡紅褐色ノ沈澱ヲ生スヘシ硝酸ヲ和スレハ安息香酸ノ結晶塊ヲ析出スヘシ但シ此酸ハ安息香酸ノ條ニ掲グル反應ヲ有セサル可カラズ又此水溶液ニ硝酸ヲ和シ酒精ヲ加ヘテ澄清シタルモノハ硝酸銀ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラズ

坩中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

重碳酸那篤留誤

Natrii Bicarbonas.

重碳酸那篤留誤ハ白色無臭ノ結晶塊或ハ結晶層片或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ大氣ニ觸レテ變化セシ清涼弱亞爾加里性ノ微鹹味ヲ有シ十四分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セス

本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ニ永ク黄色ヲ呈シ藍色硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ紅色ヲ見ルコトアルモ暫時ニシテ消失スヘシ

本品ヲ熱灼スレハ變色セメシテ炭酸ヲ發シ其百分ニ付チ六十三分ノ無水炭酸那篤留誤ヲ殘留スヘシ

本品ノ水溶液(1:5)ニ那篤倫滴液ヲ和シテ熱スルモ安母尼亞ノ蒸氣ヲ發セス硫化安母紐誤又磷酸安母紐誤ヲ和スルモ變化ス可カラズ又此水溶液ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性ト爲ストキハ夥シク炭酸ヲ發シ硫化水素ニ由テ變化セシ沃度溶液ヲ脱色ス可カラズ又硝酸ヲ以テ酸性ト爲セル後硝酸銀並ニ硝酸拔留誤ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品ニ瓦爾誤ヲ冷水三十立方センチメートルニ溶解シ之ニ昇汞溶液六立方センチメートルヲ加フルニ三分時以内ニ於テ白濁ヲ生スルモ赤褐色ノ沈澱ヲ生ス可カラズ

本品ニ一瓦爾誤ヲ中和スルニハ定規酸液二十四・五乃至二十五立方センチメートルヲ費サヘル可カラズ

硼酸那篤留誤

Natrii Boras.

硼酸那篤留誤ハ透映無色ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ微ニ風化シ緩和清涼微亞爾加里性ノ味ヲ有シ十五分ノ冷水及〇・五分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶解セス熱灼スレハ初メ其結晶水中ニ熔融シ若シ終ニ白色硬塊ノ塊ト爲リ此塊ヲ紅灼スレハ熔融シテ白色硝子樣ノ物質ニ變ス其際本品百分ニ付キ大約四十七分ノ水ヲ失フ

本品ノ水溶液(1:5)ハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ炭酸那篤留誤ヲ加フルモ變化ス可カラズ又鹽酸ヲ加フルノ後ト雖モ硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ又此水溶液ニ酸類ヲ和スルモ泡沸ス可カラズ

硝酸ヲ加ヘタル本品ノ水溶液(1:100)ニ二三滴ノ硝酸拔留誤溶液ヲ加フルモ濁濁セス硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

炭酸那篤留誤

Natrii Carbonas.

炭酸那篤留誤ハ無色無臭透映ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ風化シ強亞爾加里性ノ反應ヲ微シ一分ノ冷水及〇・二分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶解セス酸類ニハ泡沸シテ溶解ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ酸性ト爲シタル後ト雖モ硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ又稀硫酸

酸ヲ以テ過飽シタル後沃度溶液ヲ脱色ス可カラズ
 本品ノ水溶液(1:50)ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セルモノハ硝酸拔留膜ニ由テ變化セズ又硝酸銀ヲ加
 フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ
 本品ノ稀硫酸溶液ニ同容量ノ硫酸ヲ混和シ之ニ硫酸飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其境界ニ
 於テ褐色ヲ呈ス可カラズ
 本品ヲ熱灼スレハ熔融シ終ニ其百分ニ付キ幾ト三十七分ノ白色ナル無水鹽ヲ殘留シ之ヲ無色焰中
 ニ熱スレハ其火焰ニ永ク黄色ヲ呈スヘシ又此殘留物一・〇六瓦蘭膜ヲ中和スルニハ定規酸液十九
 五乃至二十立方センチメートルヲ費サヘル可カラズ
 燥中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

粗製炭酸那篤留膜 *Natrii Carbonas crudus.*

粗製炭酸那篤留膜ハ無色巨大ノ結晶或ハ結晶塊ニシテ強亞爾加里性ノ反應ヲ微シ大氣ニ觸レテ風
 化シ水ニ溶解シ易ク酸類ニハ泡沸シテ溶解ス
 本品ノ水溶液ハ鹽酸ヲ以テ酸性ト爲セル後ト雖モ硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ
 本品ノ水溶液(1:50)ニ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性ト爲セル後硝酸銀又硝酸拔留膜ヲ和スルモ蛋白石濁ヲ
 起スニ過ク可カラズ
 本品ノ稀硫酸溶液ニ同容量ノ硫酸ヲ混和シ之ニ硫酸飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其境界
 ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラズ
 本品ヲ熱灼スレハ熔融シ終ニ其百分ニ付キ少ナクモ三十二分ノ白色ナル無水鹽ヲ殘留シ之ヲ無色
 焰中ニ熱スレハ其火焰ニ永ク黄色ヲ呈スヘシ又此殘留物一・〇六瓦蘭膜ヲ中和スルニハ定規酸液
 十九乃至二十立方センチメートルヲ費サヘル可カラズ

乾燥炭酸那篤留膜 *Natrii Carbonas siccus.*

乾燥炭酸那篤留膜ハ
 炭酸那篤留膜

ヲ取り粗末ト爲シ塵埃ノ摻入ヲ防キ大氣中ニ於テ數日間風化セシメ次ニ四十度乃至五十度ノ温ニ
 テ乾燥シ其重量減少シテ原量ノ半ト爲ルヲ度トシ篩過シ製スヘシ

本品ハ白色微細顆粒ノ粉末ニシテ其試驗藥ニ對スル反應ハ炭酸那篤留膜ノ條ニ掲タル所ニ同シ又
 本品ヲ熱灼スルニ百分ニ付キ大約七十五分ノ白色ナル無水鹽ヲ殘留スヘシ此殘留物ハ無色ノ火焰
 ヲ永ク黄色ニ染ムヘシ且其一・〇六瓦蘭膜ヲ中和スルニハ定規酸液十九・五乃至二十立方センチメ
 ートルヲ費サヘル可カラズ
 燥中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

格魯兒化那篤留膜 *Natrii Chloridum.*

格魯兒化那篤留膜ハ白色微細顆粒ノ結晶或ハ結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク純鹹味ヲ有シ大氣ニ觸レ
 テ變化セズニ・八分ノ水ニ溶解シ酒精ニハ殆ト溶解セズ

本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ニ永ク黄色ヲ呈スヘシ
 本品ノ水溶液ニ硝酸銀ヲ和スレハ安母尼亞ニ容易ク溶解シ硝酸ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生スヘ
 本品ノ水溶液(1:50)ハ中性ノ反應ヲ微シ硫化水素硫化安母組膜硝酸拔留膜炭酸那篤留膜又核酸
 安母組膜ニ由テ濁濁ス可カラズ又其飽和水溶液ニ嘔吐仿膜ヲ加ヘテ振盪シ格魯兒水ヲ滴加スルモ
 類褐色或ハ紫藍色ヲ呈ス可カラズ

磷酸那篤留膜 *Natrii Phosphas.*

磷酸那篤留膜ハ無色無臭透映ノ結晶ニシテ乾燥ノ大氣ニ觸レテ風化シ清涼微鹹ノ味ヲ有シ亞爾加
 里性ノ反應ヲ微シ六分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ四十度ノ温ニ於テ熔融ス
 本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染メ藍色硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ
 紅色ヲ見ルコトアルモ暫時ニシテ消失スヘシ
 本品ノ水溶液ニ硝酸拔留膜ヲ加フレハ稀硝酸ニ溶解スル白澱ヲ生スヘシ又硝酸銀ヲ和スレハ稀硝
 酸及安母尼亞ニ溶解スヘキ黃澱ヲ生スヘシ

本品、水溶液(1:10)ハ硫化安母紐膜ニ由テ變化ス可カラズ鹽酸ヲ加フルモ泡沸ス可カラズ又此酸性液ハ硫化水素ヲ以テ飽和スルモ變化ス可カラズ
本品ニ弱燐熱ヲ與ヘテ水分ヲ去ルトキハ其百分ニ付キ三十七乃至二十八分ノ白色殘留物ヲ得ヘレ」
壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

○撒里矢爾酸那篤留膜 *Natrii Salicylas.*

撒里矢爾酸那篤留膜ハ大氣ニ觸レテ風化セサル白色無臭ノ結晶鱗屑或ハ結晶性粉末ニシテ其味甘鹹等分、水及六分ノ酒精ニ溶解ス
本品、極メテ稀薄ナル水溶液ニ過格魯兒化鐵ヲ和スレハ紫藍色ヲ呈スヘシ其濃厚水溶液ハ無色或ハ微ニ類赤色ヲ有シ弱酸性ノ反應ヲ微シ之ニ鹽酸ヲ和スルモ泡沸セス容易ク依的兒ニ溶解スベキ白色ノ結晶ヲ沈降スヘシ
本品ヲ大氣中ニ燦灼スレハ其百分ニ付キ三十乃至三十一分ノ殘留物ヲ遺レテ燃化スヘシ此殘留物ハ無色ノ火焰ヲ永ク黃色ニ染メ又酸類ヲ注ケハ劇レク泡沸スヘシ
本品ハ全ク或ハ殆ト染色セズシテ硫酸ニ溶解スヘシ
本品ノ水溶液(1:10)ハ硝酸拔留膜ニ由テ變化セズ又硝酸ヲ加ヘテ後酒精ヲ和メレハ透明ノ溶液ヲ生メヘシ此溶液ニ硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

○硫酸那篤留膜 *Natrii Sulphas.*

硫酸那篤留膜 無色透明ノ結晶ニシテ臭氣ナク容易ク熔融シ乾燥ノ大氣ニ觸レテ風化シ微苦味ヲ帶フル清涼ノ鹹味ヲ有シ三分ノ冷水及三十三度ノ温ニ於ケル水0.3分ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ」
本品ハ無色ノ火焰ヲ永ク黃色ニ染ムヘシ又其水溶液ニ硝酸拔留膜ヲ和スレハ酸類ニ溶解セサル白濁ヲ生メヘシ

本品ノ水溶液(1:20)ハ中性ノ反應ヲ微シ硫化水素並ニ硫化安母紐膜ニ由テ變化セズ安母尼亞ヲ加ヘテ後磷酸那篤留膜並ニ萘酸安母紐膜ヲ和スルモ變化ス可カラズ又硝酸銀ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品ヲ那篤倫油液ニ和シテ熱スルモ安母尼亞ヲ發ス可カラズ又硫酸ニ溶解シ硫酸鐵ノ飽和溶液ヲ加ヘテ二液層ト爲スモ其境界ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラズ壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

亞硫酸那篤留膜 *Natrii Sulphis.*

亞硫酸那篤留膜ハ無色透明ノ結晶ニシテ乾燥ノ大氣ニ觸レテ風化シ中性若クハ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ四分ノ水ニ溶解シテ透明ノ液ヲ爲ス
本品ヲ白金線環ニ抄取シテ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ永ク黃色ニ染メ藍色硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ紅色ヲ見ルコトアルモ暫時ニシテ消失スヘシ

本品ノ水溶液ニ稀硫酸ヲ和メレハ泡沸及濁ヲ起サズシテ燃燒スル硫黃ノ臭氣ヲ放ツヘシ
本品ノ水溶液(1:100)ニ稀鹽酸ヲ加ヘテ後硝酸拔留膜ヲ和スルモ僅微ノ濁ヲ起スニ過ク可カラズ

本品0.6ニ瓦爾膜ヲ水十立方センチメートルニ溶解セルモノハ十分定規沃度液四十五立方センチメートル「已上ヲ脫色スヘシ」是レ百分中亞硫酸那篤留膜($\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 + 7\text{H}_2\text{O}$)ノ最少含量九十分ヲ微壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

揮發苦扁桃油 *Oleum Amygdalae aetherum.*

揮發苦扁桃油ハ苦扁桃水ヲ製スルノ際傍生物トシテ得ル揮發油ニシテ類黃色中性或ハ弱酸性油狀ノ液ヲ爲シ特異芳香性ノ香氣ヲ有シ異重ハ1.06乃至1.07ナリ酒精及依的兒ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解シ水ニ溶解シ難シ百七十度乃至百八十度ノ熱ニ於テ沸騰ス
本品二三滴ヲ十倍容量ノ稀薄加里油液ニ和シ少許ノ硫酸鐵溶液ヲ加ヘ微熱ヲ與ヘテ振盪スルノ後稀鹽酸ヲ以テ酸性ト爲ストキハ藍色ヲ呈スヘシ又本品ヲ發烟硝酸ニ和スレハ赤色ノ蒸氣ヲ發セズシテ透明ニ溶解スヘシ又本品ニ瓦爾膜ヲ酒精二十立方センチメートルニ溶解シ稀硫酸五立方センチメートルヲ和シ少許ノ純亞鉛ヲ加ヘ二三時ヲ經テ後濾過シ其濾液ヲ重湯煎上ニ温メ酒精ヲ蒸散セシメテ後殘留スル液ハ那篤倫油液ヲ以テ中和シ格魯兒那篤倫液ヲ加フルモ紫藍色ヲ呈ス可カ

ラヌ
○○○
最モ注意シテ貯ンヘシ

扁桃油 *Oleum Amygdalae expressum.*

Prunus Amygdalus Reil. Prunus armeniaca Lam.

扁桃油ハ本植物ノ種子ヨリ冷壓シ得タル透明淡黄色稀薄ノ脂肪油ニシテ吸油性ナラス殆ト臭氣ナク味ハ緩和ナリ之ヲ冷シテ零下十度ニ至ルモ凝固ス可カラズ異重ハ〇・九一五乃至〇・九二〇ナリ
發烟硝酸一容量ニ同容量ノ水ヲ混シタル液ニ本品大約二容量ヲ混和シ劇シク振盪スレハ類白色ノ混和液ト爲リ赤色或ハ褐色ヲ呈ス可カラズ但シ二三時ヲ經レハ白色ノ固塊ト殆ト無色ナル液トニ分離スヘシ

本品大約十滴ヲ白瓷皿ニ取り硫酸二三滴ヲ點加シ之ヲ混和スルモ帶褐黄色ヲ呈ス可カラズ

橙皮油 *Oleum Aurantii Corticis.*

Citrus Bigaradia DuRoi.

橙皮油ハ新鮮ノ橙果皮ヨリ得タル類黄色稀薄ノ揮發油ナリ香味ハ特異芳香性ニシテ稍苦シ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和スル能ハヌ又沃度ニ逢ヘハ劇シク爆噴スヘシ異重ハ〇・八四五乃至〇・八七五ナリ

橙花油 *Oleum Aurantii Florum.*

Citrus 屬ノ諸樹

橙花油ハ新鮮ノ橙花ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル帶褐黄色稀薄ノ揮發油ニシテ中性ノ反應ヲ微シ極メテ佳快ナル香氣ヲ有ス本品一分ハ酒精一分乃至二分ニ溶解シテ透明ノ液ト爲ルヘシ異重ハ〇・八六乃至〇・八九ナリ
本品少許ヲ試験管ニ取り混和セサル様注意シテ少量ノ酒精ヲ注加シ二層ト爲ラシメ此器ヲ激搖スレハ美麗ナル紫藍色ノ螢石彩ヲ現ハヌヘシ

柯々阿脂 *Oleum Cacao.*

Theobroma Cacao Lam.

柯々阿脂ハ柯々阿ノ子仁ヨリ壓搾シ得タル脂肪ニシテ微弱ナル特異ノ香氣及緩和ノ味ヲ有レ其色白ク大約三十五乃至四十五度ノ温ニ於テ熔融シ透明中性ノ液ト爲リ吸油性ヲ有ス可カラズ又本品一分ハ依的兒三分ニ全ク溶解シ透明ノ液ト爲ルヘシ異重ハ〇・九四乃至〇・九五ナリ

加耶布的油 *Oleum Cajuputi.*

Melaleuca Leucadendron Lam.

加耶布的油ハ加耶布の葉ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル淡黄色乃至類綠色中性稀薄ノ揮發油ニシテ樟腦ニ類スル質透ノ香氣ヲ有シ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和シ透明ノ液トナルヘシ異重ハ〇・九一乃至〇・九三ナリ
本品ニ純酢及一滴ノ黄色血濁醗液ヲ加ハ振盪スルモ褐色ヲ呈ス可カラズ

丁香油 *Oleum Caryophylli.*

Eugenia caryophylla Thunb.

丁香油ハ丁香ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル透明類黄色乃至類褐色稍稠厚ノ揮發油ニシテ水ニ沈降シ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解スヘシ異重ハ一・〇四乃至一・〇六ナリ
本品一分ヲ熱湯百分ニ和シテ振盪シ冷後濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應ヲ微スヘシ之ニ過格魯兒化鐵ヲ加フルモ藍色或ハ綠色ヲ呈ス可カラズ又本品ニ同容量ノ強安母尼亞水ヲ和シ熱ヲ與ヘヌヘシテ振盪スレハ凝固シテ柔軟黄色ノ結晶塊ヲ生ヌヘシ

桂皮油 *Oleum Cinnamomi.*

Cinnamomum Cassia Blume.

桂皮油ハ桂皮ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル透明金黄色或ハ黄褐色稍濃厚ノ揮發油ニシテ弱酸性ノ反應ヲ微シ水ヨリ重シ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解ス異重ハ一・〇四乃至一・〇七ナリ
本品五滴ヲ取り之ニ發烟硝酸五滴ヲ和シ振盪スレハ結晶ヨリ成レハ魔術ヲ生ヌヘシ又純酢ニ和シテ振盪スルニ共純酢ハ硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ

巴豆油 *Oleum Crotonis.*

Croton Tiglium Lam.

巴豆油ハ子皮ヲ除キタル巴豆ヨリ冷壓シ得タル黄色乃至帶褐黄色稍濃厚ノ脂肪油ニシテ特異不快ノ臭氣ヲ有シ酸性ノ反應ヲ微シ皮膚ニ塗擦スレハ引赤ス味ハ始メ緩和ナレトモ後辛烈ニシテ灼クカ如キ感覺ヲ留ム酒精ニハ溶解シ易カラサルモ依的兒ニハ容易ニ溶解ス異重ハ〇・九四乃至〇・九五ナリ

本品一滴ニ硫酸二十滴ヲ和スレハ暗褐色透明ノ混和液ヲ生スヘン
燥中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ

有加利布丟斯油 *Oleum Eucalypti.*

Eucalyptus globulus Labillardiere.

有加利布丟斯油ハ有加利布丟斯ノ葉ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル透明中性無色乃至淡黄色稀薄ノ揮發油ニシテ異重ハ〇・九〇〇乃至〇・九二五ナリ沃度ニ達フモ燻噴セズ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ透明ニ混和スヘシ又的列並底ニ類スル臭氣ヲ放シ可カラズ

茴香油 *Oleum Foeniculi.*

Foeniculum capillaceum Gzib.

茴香油ハ茴香ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル揮發油ニシテ寒冷ニ達ヘハ白色ノ結晶塊ヲ分離シ沃度乃至十度ノ温ニ於テ既ニ全ク固結ス大約等分ノ酒精ニ溶解シテ透明ノ液ト爲ルヘシ異重ハ〇・九六乃至〇・九九ナリ

肝油 *Oleum Jecoris.*

Gadus Morhua Linn. 及其他 Gadus 屬ノ諸種

肝油ハ大口魚屬ノ肝臟ヨリ得タル透明琥珀色乃至金黄色ノ脂肪油ニシテ不快敗油性ナラサル魚性ノ微臭ヲ有シ味緩和ニシテ稍魚味ヲ帶フ異重ハ〇・九二五乃至〇・九三〇ナリ

本品ハ酒精ヲ以テ濡水セル藍色刺屑紙ヲ赤變スルモ僅微ニ止マルヘシ又零度ニ於テ久シキヲ經ルモ透明ニ止マリ白色ノ固形物ヲ分離ス可カラズ
本品十滴ヲ白瓷皿ニ注キ硫酸一滴ヲ注加メレハ兩液相觸ル處ニ紫堇紅色ヲ呈シ漸ク褐色ニ變ス

本品ヲ同容量ノ發烟硝酸ニ和シテ振盪シ數時間ヲ經ルモ赤褐色ヲ呈シテ透明液狀ニ止マルヘシ又本品ヲ純醋ニ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素ニ由テ褐色或ハ黑色ヲ呈ス可カラズ

杜松實油 *Oleum Juniperi.*

Juniperus communis Linn.

杜松實油ハ杜松實ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル透明無色或ハ淡黄色稀薄ノ揮發油ニシテ十分ノ酒精ニハ微濁シテ溶解シ硫化炭素ニハ透明ニ混和スヘシ異重ハ〇・八六乃至〇・八八ナリ

刺薔瑰爾油 *Oleum Lavandulae.*

Lavandula vera D. C.

刺薔瑰爾油ハ刺薔瑰爾花ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル殆ト無色或ハ類黃或ハ帶綠黄色ノ揮發油ニシテ佳快ノ香氣及芳香性ノ苦味ヲ有シ同容量ノ酒精ニハ透明ニ混和スヘシ異重ハ〇・八七乃至〇・九〇ナリ

枸橼油 *Oleum Limonis.*

Citrus limonum Risso.

枸橼油ハ新鮮ノ枸橼實皮ヨリ壓搾シ得タル淡黄色稀薄ノ揮發油ニシテ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ透明ニ混和スル能ハス又沃度ニ達ヘハ劇シク燻噴スヘシ異重ハ〇・八四乃至〇・八六ナリ

亞麻仁油 *Oleum Lini.*

Linum usitatissimum Linn.

亞麻仁油ハ亞麻仁ヨリ冷壓シ得タル澄明黄色ノ乾潤性脂肪油ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ緩和ニシテ敗油性ナル可カラズ零下十五度ノ寒ニ於テモ尙水液狀ニ止マリ大約五分ノ純亞爾爾保爾ニ溶解スヘシ異重ハ〇・九二五乃至〇・九四〇ナリ又本品ヲ同容量ノ發烟硝酸ニ和シテ振盪シ久シキヲ經ルモ暗色ヲ呈シテ澄明液狀ニ止マルヘシ

薄荷油 *Oleum Menthae.*

Mentha arvensis Linn. var. piperascens Holm.

薄荷油ハ薄荷ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル揮發油ニシテ寒冷ニ由テ分離シタル固形分ヲ成ルヘク除去シタルモノナリ

本品ハ稀薄流動シ時ヲ經レハ稍濃厚ト爲リ無色乃至類黃色ニシテ隨意ノ比例ニ於テ酒精ニ混和スヘシ味ハ始メ灼クカ如ク後冷涼異重ハ〇・九〇乃至〇・九一ナリ

○阿列布油 *Oleum Olivae.*

Olea europaea Linn.

阿列布油ハ阿列布ノ果肉ヨリ冷壓シ得タル脂肪油ニシテ淡黃色及特異ノ微臭ヲ有シ味ハ緩和ニシテ敗油性ナル可カラズ異重ハ〇・九一五乃至〇・九二〇ナリ大約十度ノ温ニ於テハ潤滑ヲ催シ零度ニ於テハ凝結シテ顆粒狀軟膏樣ノ塊ト爲ルヘシ

本品十五分ヲ水二分發烟硝酸三分ヨリ成レル混和液ニ和シテ劇シク振盪スレハ類白色ノ混和物ヲ生シ赤色或ハ褐色ヲ呈ス可カラズ此混和物ハ數時ヲ經ルノ後固形ノ塊ト殆ト無色ノ液トニ分離スヘシ

本品一瓦蘭該ニ硫化炭素一瓦蘭該ト硫酸硝酸同容量ヨリ成レル混和液ノ放冷セルモノ一瓦蘭該トヲ加ヘ一二分時振盪シ静置スルノ後綠色或ハ赤色ノ液層ヲ生ス可カラズ

○蓖麻子油 *Oleum Ricini.*

Ricinus communis Linn.

蓖麻子油ハ皮殼ヲ除キタル蓖麻子ヨリ壓搾シ得タル澄明無色乃至微黃色濃厚ノ脂肪油ニシテ微特異ノ臭氣ヲ有シ零度ノ寒ニ於テハ潤滑ノ向ホ低度ニ至レハ乳脂樣ニ凝結ス味ハ始メ緩和ニシテ後稍辛辣ナリ

本品一分ハ酒精一乃至三分ニ溶解シ澄明ノ液ト爲ルヘシ又純亞爾爾保爾及冰醋酸ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解スヘシ異重ハ〇・九五乃至〇・九七ナリ

本品三瓦蘭該ニ硫化炭素三瓦蘭該硫酸二瓦蘭該ヲ加ヘ一二分時間振盪スルモ黒褐色ヲ呈ス可カラズ

薔薇油

Oleum Rosae.

Rosa moschata Mill. Rosa damascena Mill. 及其他 Rose 屬ノ諸種

薔薇油ハ新鮮ナル薔薇花ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル揮發油ニシテ淡黃色ヲ有シ大約百分ノ酒精ニ溶解スヘシ異重ハ〇・八六乃至〇・八九ナリ

迷迭香油

Oleum Rosmarini.

Rosmarinus officinalis Linn.

迷迭香油ハ新鮮ノ迷迭香ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル無色或ハ帶綠黃色稀薄ノ揮發油ニシテ樟腦ニ類スル散透ノ香氣及香味料樣ノ味ヲ有シ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解シ同容量ノ硫化炭素ニ混和シテ澄明ノ液ト爲ルヘシ異重ハ〇・八八乃至〇・九〇ナリ

胡麻油

Oleum Sesami.

Sesamum indicum D. C.

胡麻油ハ胡麻子ヨリ壓搾シ得タル稀薄ノ脂肪油ニシテ類黃色乃至金黃色ヲ有シ零下五度ノ寒ニ於テハ凝結シテ帶黃白色軟膏樣ノ塊ト爲ル殆ト臭氣ナク味ハ緩和ニシテ異重ハ〇・九一五乃至〇・九二五ナリ

本品十立方センチメートルニ硫酸硝酸同容量ヨリ成レル混和液ノ放冷セルモノ三滴ヲ加ヘテ振盪スレハ速ニ暗赤色ニ變スル綠色ヲ現ハスヘシ同容量ノ發烟硝酸ニ和シテ振盪スレハ綠色或ハ赤色ヲ呈シテ凝結シ終ニ類赤色ノ塊ト爲ルヘシ

揮發芥子油

Oleum Sinapis aetherum.

揮發芥子油ハ澄明稀薄無色或ハ類黃色ノ液ニシテ極メテ強烈ナル刺激性ノ臭氣ヲ有シ酒精及硫化炭素ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解シ大約百四十八度ノ熱ニ於テ沸騰ス異重ハ一・〇一乃至一・〇二ナリ

本品ヲ水ニ滴スレハ清澄透明ノ油點ト爲リテ器底ニ沈降シ其油點ハ一分時内ニ類白色ヲ呈ス可カラズ

本品ノ酒精溶液(1:10)ニ少量ノ過格魯兒化鐵ヲ加フルモ色ヲ呈メ可カラス
注意シテ貯フヘシ

○的列並底油

Oleum Terebinthinae.

Abietinae 科ノ植物株ニ Pinus 屬

的列並底油ハ本植物ヨリ水ヲ以テ蒸餾シ得タル無色或ハ淡黃色稀薄ノ揮發油ニシテ五乃至十分ノ酒精ニ溶解シ大約百六十度ノ熱ニ於テ沸騰ス異重ハ〇・八五乃至〇・八七ナリ
其焦臭ヲ放ツモノハ供用ス可カラズ

精製的列並底油

Oleum Terebinthinae rectificatum.

精製的列並底油ハ

一分
六分

石灰液

ヲ取リ混和振盪シ之ヲ蒸餾シテ其油ノ大約四分ノ三ヲ得ルニ至リ餾液ヨリ油分ヲ分取シ乾燥セル
濾紙ヲ以テ濾過シ製スヘシ

本品ハ全ク中性ニシテ色ナク稀薄流動シ五乃至十分ノ酒精ニ全ク溶解シ大約百六十度ノ熱ニ於テ
沸騰ス異重ハ〇・八五乃至〇・八七ナリ

○阿片 Opium.

Papaver somniferum Linn.

阿片ハ罌粟嫩乳液ノ乾涸セルモノニシテ通常扁扁セラレ或ハ殆ト球形ヲ有シ重量大約四分三キ
ロ瓦蘭ニ至ル所ノ餅狀塊ヲ爲シ罌粟葉ヲ以テ纏包シ羊蹄屬植物ノ種子ヲ撒布シ麻酔性ノ臭氣及
奇烈ノ苦味ヲ有ス其塊初メハ柔軟ナレトモ乾燥スレハ硬脆ト爲リ内部ハ褐色ニシテ破碎面ハ稍
光澤ヲ帶ヒ小涙珠ヲ現ハス

本品ノ水ニ溶解セサル部分ハ百分ニ付キ四十分ニ過ク可カラズ
本品ハ之ヲ細割シ六十度ニ過キサル温ヲ以テ乾燥シ製シタル粉末ト爲シテ供用スヘシ下ニ掲グル

所ノ法ヲ以テ其粉末ヲ試驗スルニ其百分ニ付キ少ナクモ其見比湿十分ヲ檢出セサル可カラズ
其粉末ハ瓦蘭ニ取リ水八十五瓦蘭ニ和シ器中ニ盛リ密栓シテ時々振盪シ冷浸スルコト半日間ニ
シテ濾過シ其濾液四十二・五瓦蘭ニ取リ之ニ酒精十二瓦蘭依的兒十瓦蘭及安母尼亞水一瓦
蘭ニ混和シ此混和液ヲ硝子器ニ盛リ密栓シテ大約十五度ノ温ヲ與ヘ履、振盪シ十二時間ヲ經ル
ノ後之ヲ八十・モリメートルノ直徑ヲ有シ百度ノ熱ニ於テ乾燥シ且秤量セル濾紙上ニ傾瀉シ其紙
上ニ殘留シタル結晶ヲ稀酒精ニ瓦蘭水ニ瓦蘭及依的兒ニ瓦蘭ヨリ成レル混和液ヲ以テ洗滌
スルコト二回爾後百度ノ熱ニ於テ其濾紙ヲ結晶ト共ニ乾燥シ秤量スレハ其結晶ノ重量少ナクモ〇・
四瓦蘭ニ達セサル可カラズ
注意シテ貯フヘシ

巴拉賓 Paraffinum.

巴拉賓ハ無色透映細微結晶性ノ塊ニシテ臭氣ナク異重ハ〇・九一乃至〇・九三ナリ大約七十五度ノ
温ニ熔融シテ澄明油狀無色ノ液トナリ水那篤倫液及酒精ニ溶解セズ呀囉仿膜ニ溶解ス本品ニ硫
酸ヲ注加シ履、振盪シテ數時間ヲ經ルモ褐色ヲ呈ス可カラズ或ハ僅微ノ褐色ヲ呈スルニ止マルハ
本品ノ熔融シタルモノニ那篤倫膜ヲ投シ久シキヲ經ルモ其鐵輝ヲ失フ可カラズ又本品ニ酒精ヲ注
キテ煮沸スルモ其酒精ハ酸性ノ反應ヲ微メ可カラズ

本品ヲ大氣中ニ熱メレハ燃化シテ固性物ヲ殘留ス可カラズ

含糖百弗聖 Pepsinum saccharatum.

含糖百弗聖ハ豚或ハ牛ノ胃粘膜ヨリ得タル胃液ノ消化性成分ニ乳糖ヲ混和セルモノニシテ白色ノ
粉末ヲ爲シ弱酸性ノ反應ヲ微シ臭味ハ僅微ニシテ不快若クハ安母尼亞性ナル可カラズ水ニ全溶セ
サレトモ少許ノ鹽酸ヲ加フレハ稍、澄明ニ溶解スヘシ

本品〇・二五瓦蘭ヲ水百五十五瓦蘭及鹽酸二・五瓦蘭ニ溶解シタルモノハ小豆大ニ製截セル炭
熟卵白十瓦蘭ヲ和シ四十度ノ温ニ於テ履、強ク振盪スルニ四乃至六時間内ニ其卵白ヲ溶解シテ

微ニ蛋白石濁ヲ有メル液ヲ生メヘシ

磷素 Phosphorus.

磷素ハ白色或ハ類黄色透映ノ塊ニシテ蠟燭ノ光澤ヲ有シ多クハ圓柱形ヲ爲シ四十四度ノ温ヲ有スル水中ニ溶融シ大氣中ニハ特異ノ臭氣ヲ放チ白色ノ蒸氣ヲ發シ暗處ニ置ケハ光輝ヲ現ハス久シク大氣ニ接觸シ或ハ熱ヲ與フレハ火ヲ發シ易ク水ニハ全ク酒精ニハ殆ト溶解セシ依的兒及脂肪油ニハ稍溶解シ易ク硫化炭素ニハ容易ニ溶解ス本品ニハ往々砒石及硫黃ノ痕跡ヲ混有スルコトアリ水ヲ滿メセル壺中ニ沈メ硝子栓ヲ以テ栓塞シ鐵藥箱中ニ納メ最モ注意シテ貯フヘシ

加刺拔兒豆 Physostigma. Calabar.
Physostigma venenosum Bayour.

加刺拔兒豆ハ長扁圓形ヲ爲シ稍腎臟形ニ變曲セル無臭ノ種子ニシテ長サ大約三十「ミリメートル」廣サ十五「ミリメートル」厚サ七「ミリメートル」ニ至リ其子皮ハ堅硬ニシテ褐色ヲ有シ微ニ光澤ヲ帶ビ顆粒狀ニ皺縮シ卵圓形類白色ナル二箇ノ子葉ヲ包含シ凸出シタル邊縁ニハ其全長徑ニ亘リテ深キ溝狀ノ臍痕ヲ有ス此臍痕ハ其一端一小帽ヲ以テ終リ茲ニ卵門ヲ認ム味ハ微ニ豆味様ナリ

注意シテ貯フヘシ

撒里矢爾酸比蘇斯知佩密涅 Physostigmini Salicylas. Eserini Salicylas.

撒里矢爾酸比蘇斯知佩密涅ハ無色或ハ微黄色ノ結晶ニシテ百五十分ノ水及十二分ノ酒精ニ溶解シ光ニ觸ルハトキハ其乾燥品ハ極メテ徐々ニ其水溶液或ハ酒精溶液ハ速ニ赤色ニ變ス

本品ハ白金板上ニ熱灼メルモ固性物ヲ殘留ス可カラズ
本品ノ水溶液ニ過格魯兒化鐵ヲ和スレハ紫藍色ヲ呈シ沃度溶液ヲ和スレハ濁濁スヘシ
光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

鹽酸必魯加兒必涅 Pilocarpini Hydrochloras.

鹽酸必魯加兒必涅ハ白色ノ結晶ニシテ大氣ニ觸レテ濕氣ヲ引キ水及酒精ニハ容易ク溶解シ依的兒

及貯藏仿誤ニハ僅微ニ溶解ス白金板上ニ熱灼スレハ熔融シ終ニ燃化シテ固性物ヲ殘留ス可カラズ
本品ノ稀薄水溶液ハ酸性ノ反應ヲ微スルコト極メテ僅微ニ過ク可カラズ又安母尼亞ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラズ硝酸銀、鞣酸又昇汞ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又本品ニ少量ノ加里鹼液ヲ注ケハ油狀ノ露珠ヲ析出シ之ヲ熱スレハ其露珠溶解シテ澄明ノ液トナリ尙ホ之ヲ熱シテ止マサレハ「トリメチールアミン」ノ臭氣ヲ放ツヘシ

本品ハ硫酸ニハ無色ニ溶解スヘシ
壺中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ

蘆薈丸 Pilulae Aloës.

蘆薈丸ハ

蘆薈末

藥用石鹼

各等分

ヲ取り常水ヲ加ヘテ搗和シ適宜ノ丸劑塊ヲ得ルニ至リ每丸〇・一瓦爾誤ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ製スヘシ

蘆薈鐵丸 Pilulae Aloës et Ferri.

蘆薈鐵丸ハ

硫酸鐵

五分

ヲ取り重湯煎ノ温ヲ以テ乾燥シ復メ水分ヲ失ハサルニ至リ冷後之ニ

三分

ヲ混和シ酒精ヲ加ヘテ搗和シ適宜ノ丸劑塊ヲ得ルニ至リ每丸〇・一瓦爾誤ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ製スヘシ

古魯聖篤菲沃斯矢亞謨斯丸 Pilulae Colocythidis et Hyoscyami.

古魯聖篤菲沃斯矢亞謨斯丸ハ

古魯聖篤末

十分

蘆薈末

二十分

葯刺巴根末

二十分

菲沃斯矢亞鐵斯越幾斯葛拉屈葛

二十五分

硫酸加價鐵

三分

丁香油

一分

ヲ取り酒精ヲ加ヘテ搗和シ適宜ノ丸劑塊ヲ得ルニ至リ每丸〇・一五瓦蘭膜ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ製スヘシ

注意シテ貯フヘシ

沃度化鐵丸 *Pilulae Ferri Iodidi.*

沃度化鐵丸ハ

二十分

鐵粉

十六分

蒸餾水

四十分

ヲ取り瓷臼中ニ容レ絶ニ攪拌シ

沃度

四十分

ヲ少量ニ分チテ徐々ニ混和シ尙ホ攪拌シテ其褐色ノ全ク消失スルニ至リ更ニ

乳糖

二十四分

尋常甘草越幾斯葛拉屈葛末

甘草末

四十分

ヲ加ヘ善ク混和シタル後〇・二五瓦蘭膜ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ鐵粉ヲ以テ衣トシ葛留拔爾撒膜

ノ依的兒溶液少許ニ和シ乾燥スルニ至ル迄振盪シ製スヘシ

本品一丸ニハ大約〇・〇五瓦蘭膜ノ沃度化鐵ヲ含有ス

注意シテ貯フヘシ

炭酸鐵丸 *Pilulae Ferri Valletti.*

炭酸鐵丸ハ

硫酸鐵

五十分

ヲ取り

二百分

沸湯

三十五分

ニ溶解シ豫メ

重碳酸那篤價鐵

五百分

ヲ

微温湯

二百分

ニ溶解セル液ヲ盛リタル潤大ノ壺中ニ濾入シ能ク混和セル後熱湯ヲ以テ其壺子ヲ全滿シ蓋ヲ栓塞

シテ放置シ漸ク沈定スルヲ俟テ上清ヲ去リ仍ホ此同此方法ヲ反復シテ遂ニ其ノ上清ニ硝酸拔爾

膜ヲ和スルモ殆ト濁濁ヲ見サルニ至リ成ルヘク液分ヲ除キタル後瓷皿中ニ於テ其沈澱ニ

白糖末

八分

精製蜂蜜

二十六分

ヲ混和シ之ヲ重湯煎ニ上セ全量四十分ト爲ルニ至ル迄急速ニ蒸發シ丸劑塊ト爲シ貯ヘ用ニ臨テ此

丸劑塊各一瓦蘭膜ニ成ルヘク少量ノ蜀葵根末ヲ加ヘテ十九分ニ分チ桂皮末ヲ衣トシ製スヘシ

共一丸中ニハ〇・〇二五瓦蘭膜ノ鐵ヲ含有ス

水銀丸

三分

水銀

五分

白糖

一分

精製蜂蜜

二分

ヲ取り善ク研和シテ毫モ水銀球ヲ見サルニ至リ之ニ

甘草細末

二分

ヲ加ヘ常水ヲ以テ搗和シ適宜ノ丸劑塊ヲ得ルニ至リ每丸〇・二瓦蘭漢ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ製スヘシ

共一丸中ニハ大約〇・〇五瓦蘭漢ノ水銀ヲ含有ス

大黃丸 *Pinnae Rhei.*

大黃丸ハ

大黃細末
藥用石鹼

六分
二分

ヲ取リ常水適宜ヲ加ヘ搗和シテ丸劑塊ヲ得ルニ至リ每丸〇・二瓦蘭漢ノ重量ヲ有スル丸子ト爲シ製スヘシ

木參兒 *Pix liquida.*

木參兒ハ濃厚油樣黑褐色半透映ノ液ニシテ松樅科植物ノ木材ヨリ乾餾シ得タルモノナリ水ヨリ重ク特異焦性ノ臭味ヲ有ス

本品ハ酒精及依的兒ニハ澄明ニ全溶スヘシ又本品ニ温湯ヲ加ヘ振盪スレハ其水ハ微黃色ヲ呈スルニ止マリ酸性ヲ微シ之ニ過格魯兒化鐵ノ稀薄溶液ヲ加フレハ直チニ褪消スル綠色ヲ呈スヘシ

醋酸鉛 *鉛糖 Plumbi Acetas.*

醋酸鉛ハ透映無色ノ結晶或ハ結晶樣ノ塊ニシテ微ニ醋酸ノ臭氣ヲ有シ大約二分ノ水ニ溶解シ又酒精ニ溶解ス

本品ノ水溶液ハ稀硫酸ニ由テ白色ノ沈澱、沃度化加留膜ニ由テ黃色ノ沈澱ヲ生スヘシ又其水溶液(1:10)ハ澄明ナラサル可カラヌ或ハ僅微ノ蛋白石濁アルモ一滴ノ醋酸ヲ加フレハ澄明トナルヘシ又黃色血濁鹽ヲ加フレハ純白色ノ沈澱ヲ生スヘシ又硫化水素ヲ以テ飽和スレハ黑色ノ沈澱ヲ生シ之ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルモ固性物ヲ殘留ス可カラヌ

注意シテ貯フヘシ

炭酸鉛 *Plumbi Carbonas.*

炭酸鉛ハ重キ白色ノ粉末ニシテ臭氣ナク大氣中ニ變化セス水及酒精ニハ可溶性ノ物質ヲ溶出セス硝酸及醋酸ニハ泡沸シテ容易ク溶解ス

本品ノ醋酸溶液ヲ硫化水素ニテ飽和スレハ黑色ノ沈澱ヲ生スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ固性物ヲ殘留スルコトアルモ痕跡ニ過ク可カラヌ又此醋酸溶液ニ黃色血濁鹽ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ
注意シテ貯フヘシ

酸化鉛 密陀僧 *Plumbi Oxidum. Lithargyrum.*

酸化鉛ハ類黃色乃至赤黃色ノ重キ結晶性粉末或ハ小葉狀結晶ニシテ臭氣ナク大氣中ニ變化セス之ヲ熱スレハ暗色ヲ呈シテ熔融ス

本品ハ水及酒精ニ溶解セス硝酸ニハ全ク或ハ殆ト澄明ニ溶解シテ無色ノ液トナリ其際瓦斯ヲ發スルコトアルモ僅微ニ過キヌ又類赤色ノ蒸氣ヲ放ツ可カラヌ此溶液ニ水ヲ加ヘテ稀釋シ硫化水素ヲ和スレハ黑色ノ沈澱ヲ生スヘシ

本品ノ稀硝酸溶液(1:10)ニ半容量ノ稀硫酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生スヘシ此沈澱ヲ濾過シ得タル液ヲ安母尼亞ニテ過飽シ少量ノ炭酸安母紐膜ヲ加フルモ類藍色ヲ呈ス可カラヌ或ハ類褐色ノ沈澱ヲ生スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラヌ

壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

剝度比爾林 *Podophyllum.*

Podophyllum peltatum Linn.

剝度比爾林ハ木植物ノ根ヨリ得タル無晶形ノ樹脂ニシテ類蠟、類黃或ハ帶褐灰色ヲ爲シ其味苦ク重湯煎ノ温ヲ與フルモ熔融セヌ

本品ハ水ニ溶解セヌ依的兒ニハ僅ニ溶解シ温酒精或ハ安母尼亞水ニハ容易ニ全溶ス其酒精溶液ニ水ヲ加フレハ沈澱ヲ生スヘシ其安母尼亞溶液ニ酸類ヲ加フルモ亦然リ

本品ヲ水ニ和シ振盪スレハ其水染色スルモ極メテ僅微ニ止マルヘシ又燃化スルモ百分ニ付キ二分

以上ノ灰分ヲ遣ヌ可カラヌ

注意シテ貯フヘシ

沸騰散 Pulvis aërophorus.

沸騰散ハ

重炭酸那篤僧膜

酒石酸

白糖

十分
九分
十九分

ヲ取り各別ニ細末ト爲シ低度ノ温ヲ以テ充分ニ乾燥シ善ク混和シ製スヘシ

本品ハ乾燥粉末ニシテ水ニ溶解スレハ強ク沸騰スヘシ
燻中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ但シ久シキニ過ク可カラヌ

英法沸騰散 Pulvis aërophorus anglicus.

英法沸騰散ハ

重炭酸那篤僧膜末

酒石酸末

二瓦爾膜
一・五瓦爾膜

ヲ取り各別ニ紙片ニ包ミ製スヘシ但シ重炭酸那篤僧膜ニハ著色紙酒石酸ニハ白紙ヲ用ツ

制酸散 Pulvis antacidus.

制酸散ハ

沈降製炭酸加爾曼膜

炭酸麻佃濕曼膜

二分
一分

ヲ取り細末ト爲シ親密ニ混和シ製スヘシ

芳香散 Pulvis aromaticus.

芳香散ハ

桂皮末
縮砂末

各等分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

○ 抱湧兒氏散

吐根阿片散

Pulvis Doveri. Pulvis Ipecacuanhae et Opii.

抱湧兒氏散ハ

阿片末

吐根末

各一分
八分

乳糖末

ヲ取り親密ニ混和シ製スヘシ

本品十分中ニハ阿片末一分ヲ含有ス

燻中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ注意シテ貯フヘシ

護膜散 Pulvis gummosus.

護膜散ハ

亞拉昆亞羅膜末

達拉侃篤羅膜末

二分
一分
二分

白糖末

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

苦土大黃散

小兒散

Pulvis Magnesiaë et Rhei. Pulvis infantum.

苦土大黃散ハ

炭酸麻佃濕曼膜

大黃末

茴香油糖

六分
二分
四分

ヲ取り善ク混和シ製スルニ
燥中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

括矢亞 Quassia.

Quassia amara Linn. et Pterocarpus excelsus Lindl.

括矢亞ハ一ハ太サ八センチメートルニ至ル類白色ノ輕キ圓柱形木質ニシテ横断面ハ纖維細ナル同心性ノ圓線及稍。蜿蜒セル纖維細ノ髓線ヲ現ハシ間。帶白灰色ニシテ厚サ二「ミリメートル」ニ過キサル外皮ノ寬ク之ヲ包被セルモノアリ一ハ太サ三センチメートルニ至ル巨大ノ木片ニシテ稍。類黄色ヲ帶ヒ横断面ニハ廣キ同心性ノ圓線及髓線ヲ現ハシ外皮ハ褐黑色ニシテ厚サ十「ミリメートル」ニ至リ纖維狀ノ破折面ヲ爲ス

癩瘡木脂 Resina Guajaci.

Guaicum officinale Linn.

癩瘡木脂ハ類綠色乃至赤褐色ヲ有セル樹脂ノ塊片ニシテ之ヲ熱スレハ熔融シテ芳香性ノ香氣ヲ放テ破折面ハ硝子様ヲ爲シ薄キ碎片ハ透映ナリ其粉末ハ氣中ニ於テ綠色ニ變ス
本品ハ加里瀉液及酒精ニ溶解シ只僅微ノ外皮屑或ハ木屑ヲ遺スヘシ其酒精溶液ハ水ヲ加フレハ濁シテ乳白色トナリ又過格魯兒化鐵ヲ加フレハ藍色ヲ呈スヘシ

藥刺巴脂 Resina Jalapae.

藥刺巴脂ハ

藥刺巴根粗末

酒精

ヲ取り屢。振盪シテ二十四時間温浸シ冷後壓漉シ更ニ其殘滓ニ

酒精

ヲ加ヘ復タ上方ノ如ク温浸漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸餾シテ酒精ヲ去リ殘留セル樹脂ヲ温湯ニ

一分

四分

二分

テ屢。洗滌シ其水ノ色無キヲ度トシ冷後粉碎シ易キニ至ル迄重湯煎上ニ於テ攪拌シツ、乾燥シ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ粉碎シ易ク水及硫化炭素ニ溶解セス酒精ニハ容易ニ全溶シ嚼嚙仿誤ニハ甚タ僅微ニ溶解シ又十分ノ安母尼亞水ニ和シ硝子壺中ニ温浸スレハ溶解スヘシ此溶液ハ冷後凝膠狀ヲ呈ス可カラヌ又稀鹽酸ヲ以テ過飽スルモ僅微ノ沈澱ヲ生スルニ過ク可カラス
注意シテ貯フヘシ

松脂 Resina Pini.

Pinus densiflora Sieb. et Zucc. Pinus Thunbergii Parlat.

松脂ハ鮮黄色不透明或ハ鮮褐色透映ナル脆キ樹脂ニシテ酒精ニハ澄明ニ全溶シ或ハ只僅少ノ殘滓ヲ遺スヘシ異重ハ一・〇七乃至一・〇八ナリ

拉讓奴斯 Bhamnus.

Bhamnus Fragula Linn.

拉讓奴斯ハ厚サ二乃至二「ミリメートル」ノ卷旋セル皮ニシテ稚幹若クハ大枝ヨリ取り外面ハ灰色乃至褐色ヲ爲シ横ニ延長セル白色ノ杓疣ヲ有ス内面ハ滑澤ニシテ褐赤色ナリ杓層ハ甚タ薄ク鱗屑狀ニ剝離シ易ク其内部ニ洋紅色ヲ呈ス其縱破折面ハ杓層様黄色ノ纖維ヲ現ハス味ハ微甘ニシテ苦ク粘滑ナリ

大黃 Rheum.

Rheum officinale Baill. 及亞細亞高地ニ産スル其他 Rheum 屬ノ諸種

大黃ハ外皮ヲ剝除セル堅硬ナル根ノ截片ニシテ種々ノ形狀ヲ爲シ破折面ハ不平坦顆粒狀ニシテ纖維狀ヲ爲サス外面ハ黄色ニシテ多クハ粉塵ヲ帶ヒ内部ハ褐赤色ノ髓線ニ由テ大理石様ノ紋理ヲ現ハス此髓線ハ邊緣ニ在テハ正シク半徑ノ方向ニ其他ハ淺色ノ實體組織中ニ不整ニ通走シ且表面ニ接シテ直徑大約七「ミリメートル」ノ放線球ヲ爲ス

本品ハ特異ノ香味ヲ有シ粉碎スレハ淺褐色ノ粉末ヲ生ス

白糖

Saccharum.

白糖ハ乾燥シタル純白色ノ結晶ニシテ全ク臭氣ナク五分ノ水ニ溶解シ純甘味ヲ有スル澄明無色中性ノ舍利別ト爲ルハ其舍利別ハ隨意ノ比例ニ於テ酒精ト混和セサル可カラズ
本品ノ水溶液(TiO)ハ萘酸安母紐膜硝酸銀又硝酸拔留膜ニ由テ濁濁ヲ生ス可カラズ又硫化水素ニ由テ變化ス可カラズ

乳糖

Saccharum Lactis.

乳糖ハ集結シテ圓塊狀又ハ屑片ヲ爲セル類白色ノ結晶或ハ純白色ノ粉末ニシテ臭氣ナク微ニ甘味ヲ有シ等分ノ沸湯ニ溶解シ六分乃至七分ノ冷水ニハ徐々ニ全溶シ酒精ニハ溶解セズ

本品ノ水溶液ハ無色中性ニシテ硝酸銀又硝酸拔留膜ニ由テ甚々僅微ノ濁濁ヲ生スルニ止マルヘシ又硫酸五分ヲ淺皿ニ盛り之ニ本品一分ヲ撒布スルニ一時間内ニ於テ褐色乃至黑色ヲ呈ス可カラズ

人工加兒爾斯泉鹽

Sal Gaiolinum facticium.

人工加兒爾斯泉鹽ハ

硫酸那篤留膜

ヲ取リ搗碎シテ粗末トナシ三十五度ヲ超ニサル温ヲ與ヘテ其全ク風化スルニ至ル迄塵埃ヲ防キ放置シタル後大約五十度ノ温ニ於テ乾燥シ其重量ノ半ハヲ失フテ度トシテ篩過シ

其粉末

四十八分

ヲ取リ之ニ

硫酸加留膜末

二分

格魯兒化那篤留膜末

二十分

重碳酸那篤留膜末

三十分

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ乾燥白色ノ粉末ニシテ酸類ニ逢ヘハ劇シク泡沸シ水ニ溶解ス

本品六瓦蘭膜ヲ蒸餾水「リートル」ニ溶解シタルモノハ天然加兒爾斯泉ニ符合ス

沙列布

Salap.

Oreus 屬及其他 Opuridae 科各屬ノ附種

沙列布ハ球形或ハ梨子形ヲ爲シ稀ニハ手狀ニ分裂セル球根ニシテ開花ノ時或ハ開花ノ後直チニ掘採シ其莖幹ヲ帶アルモノヲ除キ自餘ノ球根ヲ沸湯ニ投シ摩洗シテ乾燥スヘシ

本品ハ角質樣ニシテ甚々堅ク重シ外面多クハ稍粗糲ニシテ淺褐色或ハ類黃色ヲ爲シ頂端ニ莖芽ノ痕ヲ存ス

本品ノ粉末一分ヲ沸湯百分ニ和シ振盪シテ冷却スルニ至ルトキハ淡味ノ粘漿ト爲リ數時間内ニ於テ絮狀ノ沈澱ヲ生ス可カラズ

撒里聖

Salicinum.

撒里聖ハ光澤アル無色或ハ白色ノ結晶ニシテ臭氣ナク大氣中ニ變化セス其味苦ク中性ノ反應ヲ徴シ二十八分ノ水及三十分ノ酒精ニ溶解シ嚼嚙仿試及依的兒ニハ殆ト溶解セス

本品ハ大約百九十八度ノ熱ニ溶解シテ無色ノ液トナリ強ク之ヲ熱スレハ炭化シ終ニ固性物ヲ殘留セシメテ燃化スヘシ

本品ヲ硫酸ニ和スレハ赤色ヲ呈シテ溶解シ水ヲ加ヘテ稀釋スレハ暗赤色ヲ有スル物質ヲ析出シ其液ハ脱色スヘシ

本品ノ水溶液ニ碳酸又ハ沃度化汞加留膜溶液ヲ加フルモ沈澱ヲ生ス可カラズ又過格魯兒化鐵ヲ加フルモ紫堇色ヲ呈ス可カラズ

本品一分ヲ等分ノ重格羅膜酸加留膜ニ混和シ之ニ十分ノ稀硫酸ヲ加ヘテ蒸餾スレハ「サリール」アルデヒド」ノ香氣ヲ有スル餾液ヲ生シ之ニ過格魯兒化鐵ヲ加フレハ紫堇色ヲ呈スヘシ

撒爾比亞

Salvia

Salvia officinalis Trin.

撒爾比亞ハ葉柄ヲ具ヘ稍厚シ密ニ鈍鋸齒ヲ有スル長形ノ葉ニシテ時トシテハ基礎部ニ於テ耳狀

ノ小葉ヲ著シ外面ニハ細密ノ脈網ヲ現ハシ灰色ノ毳毛ヲ帶フ香味ハ特異香味料樣ニシテ稍苦ク收斂性ナリ

接骨木花 Sambucus

Sambucus nigra Linn.

接骨木花ハ五種ニ支分セル平頭有梗花冠ニシテ各花ノ喙ハ五齒花冠ハ五瓣ヲ有シ五箇ノ雄蕊アリ乾燥シタル花冠ハ大ニ萎縮シテ黄色ヲ呈ス香氣ハ特異微弱ニシテ味ハ著シカラス其褐色ナル品ハ供用メ可カラズ

紫檀

Santalum

Pterocarpus santalinus Linn.

紫檀ハ堅硬緻密暗赤褐色ノ木片ニシテ殆ト臭味ナク水中ニ沈ミテ其水ヲ赤色ニ染メス酒精ニハ樹脂性ノ赤色素ヲ溶出スル

○珊瑚寧

Santoninum

珊瑚寧ハ光澤アル無色無臭中性ノ小葉狀結晶ニシテ光ニ觸レテ黄色ト爲リ味苦ク冷水ニハ殆ト溶解セズ熱湯ニハ稍溶解シ易ク大約四十分ノ酒精及四分ノ嘔囉仿膜ニ溶解シ又亞爾加里液及石灰液ニ溶解ス

本品ハ大約百七十度ノ熱ニ溶融シ更ニ強ク熱スレハ一部分ハ昇華シ一部分ハ炭化シ終ニ固性物ヲ殘留セズニシテ熱化スル

本品ニ苛性加里ノ酒精溶液(1:10)ヲ和メレハ洋紅色ヲ呈スル
本品ハ硝酸及硫酸ニ逢フテ直チニ染色ス可カラズ又本品ノ粉末ニ水及少量ノ稀硫酸ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ニ水ヲ加ヘテ稀釋シ之ニ少量ノ沃度化汞加留液ヲ加フルモ濁濁ヲ生ス可カラズ

光ヲ遮リ注意シテ貯ンハレ

藥刺巴石鹼

Sapo jalapianus

藥刺巴石鹼ハ

藥用石鹼

ヲ取リ之ニ

各四分

稀酒精

八分

ヲ注キテ溶解シ重湯煎ニ上セ絶エヌ攪拌シテ其重量九分ト爲ルニ至ル迄蒸發シ製スル
本品ハ二十分ノ水ニ和メレハ殆ト透明ノ溶液ヲ爲シ樹脂分ヲ析出ス可カラズ
本品ハ黄褐色ヲ有シ酒精ニ溶解ス

注意シテ貯ンハレ

加里石鹼

Sapo kalinus

加里石鹼ハ

加里液(異重一・一四ノモノ)

百三十五分

ヲ取リ重湯煎上ニ温メ攪拌シツテ漸クニ

麻仁亞油

百分

ヲ加ヘテ半時間温メタル後

酒精

二十五分

ヲ混和シ均同ノ稠度ヲ得ルヲ度トシ徐クニ

常水

二百分

ヲ加ヘ尙ホ熱シテ透明ノ石鹼膠トナルニ至リ其一部分ヲ取テ驗スルモ油分ヲ析出セズニシテ熱湯ニ溶解スルヲ度トシ之ヲ攪拌シテ酒精分全ク逃散シ

共殘留物

百五十分

トナルニ至ル迄重湯煎上ニ蒸發シ製スル
本品ハ透明帶褐色軟滑ノ塊ニシテ不快ナラサル微臭ヲ帶ヒ水及酒精ニ溶解シ粒狀物ヲ混有ス可

カラメ

○藥用石鹼 Sapo medicatus.

藥用石鹼ハ

那篤倫鹼液(異重一・一六ノモノ)

ヲ取り重湯煎上ニ温メ攪拌シツハ漸クニ

豚脂

何列布油

ノ熔和物ヲ加ヘテ半時間温メタル後

酒精

ヲ混和シテ均同ノ稠度ヲ得ルヲ度トシ徐クニ

常水

ヲ加ヘテ尙ホ熱シ必要ナルトキハ少量ノ那篤倫鹼液ヲ加ヘテ透明ノ石鹼膠ト爲ルニ至リ其一部分

ヲ取テ驗スルニ脂肪ヲ析出セムシテ熱湯ニ溶解スルヲ度トシ

格魯兒化那篤倫鹼

炭酸那篤倫鹼

ヲ

常水

ニ溶解シ濾過シテ得タル液ヲ右ノ石鹼膠ニ加ヘ攪拌シツハ尙ホ熱シ石鹼ノ全ク析出スルニ至リ重

湯煎ヨリ下メシ其母液ヲ去リ少量ノ水ヲ以テ頻ク洗滌シテ強ク壓搾シテ小片ト爲シ温處

ニ乾燥シ製スヘシ

本品ハ白色ニシテ脂油性ヲ有セズ水及酒精ニハ全ク或ハ殆ト證明ニ溶解ス其溶液ハ硫化水素ニ逢

フモ變化ス可カラヌ又昇汞溶液ヲ和スルモ有色ノ沈澱ヲ生ス可カラヌ

壺中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

撒兒沙巴利刺

Sarsaparilla.

Smilax medica Schleich. 及中央亞米利加ニ産スル其他 *Smilax* 屬ノ諸種

撒兒沙巴利刺ハ長キ圓錐形ノ根ニシテ通常ハ分岐セズ太サ大約五「ミリメートル」ニ至リ外面ハ白

縦線或ハ淺溝ヲ有シ灰色乃至赤褐色ヲ爲ス横断面ハ類色粉質性ノ髓心ヲ現ハシ此髓心ハ内皮細胞

ノ圍輪ニ由テ白色乃至淡褐色ノ中皮ヨリ分割セラシ其内部ニハ圍輪ニ近接シテ多數ノ脈管束アリ

味ハ始メ精滑ニシテ後辛辣ナリ

薩撒富拉斯

Sassafras.

Sassafras officinalis Nees.

薩撒富拉斯ハ本植物ノ根ノ木質ヲ細削セルモノニシテ類褐色乃至淡赤色ヲ有シ輕鬆ニシテ割裂シ

易ク横断面ニハ灰サニ乃至四「ミリメートル」ニ至ル所ノ歲輪ト緻密ニ並列シタル至細無數ノ髓線

トヲ現ハス外面ハ灰色内部ハ赤褐色ヲ爲セル外皮ヲ有シ或ハ之ヲ有セサルモノアリ其香味ハ茴香

樣特異芳香性ニシテ微ニ甘味ヲ帶フ

殆ト芳香性ヲ有セサハ木幹ハ供用ス可カラヌ

海葱

Scilla.

Scilla maritima Linn.

海葱ハ細長片ニ割截セル海葱根中部ノ葱片ニシテ厚サ大約三「ミリメートル」長サ五「センチメートル」

ル其乾燥セルモノハ角質樣透映帶黃白色ヲ爲シ味ハ精滑辛烈ニシテ苦ク

器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

攝涅瓦

Senega.

Polypora Senega Linn.

攝涅瓦ハ多數ノ殘莖及類赤色ノ莖斷ヲ帶フル結節狀ノ根頭ヲ有スル根ニシテ多クハ多數ノ單一小

枝ニ分岐ス其上部ニハ輪節ヲ具ヘ太サ十五「ミリメートル」ニ過キス通常其軸ヲ纏繞シテ隆起セル稜

線ヲ有シ之ニ反對セル一方ニ於テハ間ノ横裂ニ因テ分割セラルハ膨起アリ其横断面ニ於テハ厚サ

大約一「ミリメートル」ニシテ淡褐色ナル外皮ト髓心ナキ淡黃色ノ木心トヲ認ム其木心ハ處々截入

シ或ハ多少空際アリ

本品ハ味粘滑ニシテ後辛烈苦辣臭氣ハ特異ニシテ微弱ナリ

○旃那 Senna.

Cassia acutifolia Delile. Cassia angustifolia Vahl.

〔甲〕「アレキサンダリア」産旃那

本品ハ其基部不同ナル尖卵圓形ノ翼葉ニシテ長サ一乃至三センチメートル廣サ六乃至十二センチメートル多ク細細ナル毛茸ヲ帶ヒ翼狀ノ脈理アリテ灰綠色ヲ有スヘシ其基部均同ニシテ柔毛ヲ帶ヒ疣狀ノ隆起ヲ有シ灰色ニ過キタル厚キ *Gynanchum Arghal* ノ小葉片ヲ混淆シ或ハ其他小枝及莢果ヲ夾雜スルコト多クニ過ク可カラズ

〔乙〕「チンキウ」産旃那

本品ハ甲品ニ類スル稍長形ノ翼葉ニシテ長サ六センチメートル廣サ二センチメートルニ至ル

○芥子 Sinapis.

Sinapis cerema Thunb.

芥子ハ殆ト球圓形ヲ爲シ大サ「ミリメートル」半ニ至リ黄色或ハ灰色乃至赤褐色ヲ有スル種子ナリ單顯微鏡ヲ以テ檢スレハ子皮上極メテ細小ノ凹窩ヲ現ハシ又白色ノ臍點及根芽ノ部位ヲ認ムルヲ得ヘシ

本品ハ搗碎スレハ黄色ノ粉末ト爲リ水ヲ以テ濡ホセハ峻烈ナル揮發芥子油ノ臭氣ヲ發シ又五十分ノ水ヲ和シテ煮沸シ冷後濾過シテ得ル液ハ沃度溶液ニ因テ藍色ヲ呈ス可カラズ

○酒精 Spiritus.

酒精ハ澄明無色ノ液ニシテ全ク揮散シ點火スレハ淡靑藍色ノ火焰ヲ放テ燃焼シ純粹ノ亞爾爾保爾臭ヲ有シ其味灼クカ如ク水ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和シ澄明中性ノ液ト爲ル

本品ハ〇・八三〇乃至〇・八三四ノ異重ヲ有スヘシ是レ百分中純亞爾爾保爾ノ重量大約八十七八分ヲ微スルモノトス

本品ニ同容量ノ硫酸又ハ加里瀉液ヲ加ヘテ少時ヲ經ルモ染色ス可カラズ
本品五十五瓦蘭膜ニ加里瀉液十滴ヲ加ヘ重湯煎上ニ於テ適宜ノ温ヲ與ヘ其殘液大約五瓦蘭膜ト爲ルニ至リ稀硫酸ヲ以テ過飽スルモ「フーセル」油ノ臭氣ヲ放ツ可カラズ
樽中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

依的兒精 *Spiritus aethereus. Lignor Hoffmanni.*

依的兒精 一分
酒精 三分

酒精

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色全ク揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ微シ異重ハ〇・八一ナリ之ニ同容量ノ醋酸加價液ヲ和シテ振盪スレハ本品半容量ニ當ル依的兒精液ヲ分離スヘシ
樽中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

○甘硝石精 *Spiritus Aethyl Nitritus. Spiritus Aetheris nitrosi.*

甘硝石精ハ酒精ニ硝酸ノ作用ヲ受クルニ由テ生スル物質中最モ低温ニ於テ沸騰スル部分ニシテ無色乃至微黄色澄明ノ液ヲ爲シ佳快微甘依的兒精ノ香氣ヲ有シ異重ハ〇・八四〇乃至〇・八五〇ナリ同容量ノ硝酸仿試ニハ澄明ニ混和シ重湯煎ノ温ニ由テ全ク揮散スヘシ刺屈護斯紙上ニハ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ微シ重炭酸加價液ノ結晶片ヲ投加スルモ泡沸ス可カラズ

本品ヲ半容量ノ加里瀉液ニ混和スレハ黄色ヲ呈スヘシト雖モ二十四時以內ニ於テ暗褐色ト爲ル可カラズ又硝酸銀ニ和シテ熱スルモ沈澱又ハ還元ヲ起ス可カラズ硫化水素ニ由テ有色ノ濁濁或ハ沈澱ヲ生メ可カラズ

本品ハ硫酸鐵溶液或ハ沃度化加價液ヲ以テ分解スルニ百分ニ付キ二乃至三分ノ亞硝酸依的兒精 (CH₃NO₂)ヲ微スル所ノ酸化窒素ヲ生ズヘシ
樽中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

芳香安母尼亞精

Spiritus Ammoniae aromaticus.

芳香安母尼亞精ハ

炭酸安母紐膜

安母尼亞水

枸橼油

丁香油

刺實理兒油

酒精

蒸餾水

ヲ取り先ツ蒸餾水ニ安母尼亞水ヲ加ヘテ炭酸安母紐膜ヲ溶解シ別ニ揮發油類ヲ酒精ニ溶解シ此兩液ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ證明微類黃色ノ液ニシテ芳香性安母尼亞精ノ臭氣ヲ有シ異重ハ大約〇・九〇ナリ

本品十立方センチメートルニ定規酸液ヲ和シテ揮發油ノ佳香ヲ有スル中性ノ乳狀液ヲ得ルニハ

共酸液十乃至十一立方センチメートルヲ費サノル可カラヌ是レ百分中大約二分ノ安母尼亞ヲ微

スルモノトス

樽中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯ンヘシ

安母尼亞茴香精

Spiritus Ammoniae foeniculatus.

安母尼亞茴香精ハ

茴香油

ヲ取り

酒精

ニ溶解シ之ニ

安母尼亞水

四十分

百分

八分

一分

一分

六百五十分

二百分

三分

八十分

十七分

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ殆ト無色ナル證明ノ液ニシテ異重ハ大約〇・八五ナリ

本品十瓦爾酸ニ定規酸液ヲ和シテ茴香油ノ佳香ヲ有スル中性ノ乳狀液ヲ得ルニハ共酸液十立方

センチメートルヲ費サノル可カラヌ是レ百分中大約一・七分ノ安母尼亞ヲ微スルモノトス

樽中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯ンヘシ

芳香精

Spiritus aromaticus.

芳香精ハ

丁香

桂皮

肉苳蔻

縮砂

ヲ取り搗碎シ蒸餾器中ニ投レシ

酒精

枸橼油

薄荷油

常水

ヲ注キ蒸餾シテ殆ト〇・九〇ノ異重ヲ有スル液大約千分ヲ餾取シ製スヘシ

本品ハ證明ノ液ニシテ芳香性ノ香味ヲ有ス

樽中ニ容レ密栓シテ貯ンヘシ

樟腦精

Spiritus Camphorae.

樟腦精ハ

樟腦

ヲ取り

十分